

木曾岬干拓地整備事業

環境影響評価書

資料編

平成 18 年 1 月

三重県

目 次

第 8 章 環境影響評価の結果

第 1 節 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果

第 1 項 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として 調査、予測及び評価されるべき環境要素

1	大気質	1
1.1	調査結果の概要	1
8.1.1.1-1	気象調査結果(1)	1
8.1.1.1-2	気象調査結果(2)	3
8.1.1.1-3	気象調査結果(3)	5
1.2	予 測	6
1.2.1	工事の実施	6
8.1.2.1-1	環境大気 予測方法	6
8.1.2.1-2	工事工程と機械の稼働状況	8
8.1.2.1-3	気象条件	13
8.1.2.1-4	ユニットの配置図(工事の実施)	14
8.1.2.1-5	排出源条件等(工事の実施)	15
8.1.2.1-6	発生源条件等(工事の実施)	19
8.1.2.1-7	沿道大気 予測方法	20
8.1.2.1-8	車両の排出源条件等(工事の実施)	22
8.1.2.1-9	工所用車両の走行に伴い発生する粉じんの予測式	36
8.1.2.1-10	車両の発生源条件(工事の実施)	37
8.1.2.1-11	環境大気 1時間値の予測結果 (二酸化窒素・浮遊粒子状物質)	38
8.1.2.1-12	環境大気 降下ばいじんの予測結果	39
1.2.2	存在及び供用	40
8.1.2.2-1	ユニットの配置図(存在及び供用)	40
8.1.2.2-2	環境大気 排出源条件等(存在及び供用)	41
8.1.2.2-3	環境大気 発生源条件等(存在及び供用)	43
8.1.2.2-4	沿道大気 排出源条件等(存在及び供用)	44
8.1.2.2-5	環境大気 1時間値の予測結果 (二酸化窒素・浮遊粒子状物質)	48
8.1.2.2-6	環境大気 降下ばいじんの予測結果	49
2	騒 音	50
2.1	調査結果の概要	50
8.2.1.1-1	環境騒音の現地調査結果	50
8.2.1.2-1	道路交通騒音の現地調査結果	56

8.2.1.2-2	交通量・車速の現地調査結果	62
2.2	予測	66
2.2.1	工事の実施	66
8.2.2.1-1	建設作業騒音の予測式	66
8.2.2.1-2	建設作業騒音の予測条件（工事の実施）	67
8.2.2.1-3	道路交通騒音の予測式	69
8.2.2.1-4	道路交通騒音の予測条件（工事の実施）	70
2.2.2	存在及び供用	73
8.2.2.2-1	作業騒音の予測条件（存在及び供用）	73
8.2.2.2-2	道路交通騒音の予測条件（存在及び供用）	75
3	振動	76
3.1	調査結果の概要	76
8.3.1.1-1	環境振動の現地調査結果	76
8.3.1.1-2	道路交通振動の現地調査結果	83
3.2	予測	89
3.2.1	工事の実施	89
8.3.2.1-1	建設作業振動の予測式	89
8.3.2.1-2	建設作業振動の予測条件（工事の実施）	90
8.3.2.1-3	道路交通振動の予測式	92
8.3.2.1-4	道路交通振動の予測条件（工事の実施）	93
3.2.2	存在及び供用	94
8.3.2.2-1	作業振動の予測条件（存在及び供用）	94
8.3.2.2-2	道路交通振動の予測条件（存在及び供用）	96
4	水質	98
4.1	調査結果の概要	98
8.4.1.1-1	平水時の水質調査結果	98
8.4.1.2-1	降雨時の水質調査結果	104
4.2	予測	107
4.2.1	工事の実施	107
8.4.2.1-1	降雨時に造成面から発生する濁水の予測	107
8.4.2.1-2	公共用水域における拡散式	108
8.4.2.1-3	予測条件（工事の実施）	109
8.4.2.1-4	沈降試験結果	116
8.4.2.1-5	予測結果（工事の実施）	119
4.2.2	存在及び供用	120
8.4.2.2-1	予測条件（存在及び供用）	120
8.4.2.2-2	予測結果（存在及び供用）	122
5	地形及び地質	123
5.2	予測	123

8.5.2.1-1	側方流動	123
8.5.2.1-2	すべり破壊	128
8.5.2.1-3	予測結果	129
第2項 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
6	陸生動物	131
6.1	調査結果の概要	131
8.6.1.2	鳥類	131
8.6.1.4	昆虫類	157
8.6.1.5	クモ類	181
8.6.1.6	土壌動物	188
7	陸生植物	193
7.1	調査結果の概要	193
8.7.1.1-1	植物相調査の調査結果	193
8.7.1.1-2	立木調査の調査結果	198
8.7.1.1-3	植生調査の調査結果	207
8	水生生物	219
8.1	調査結果の概要	219
8.8.1.1	魚類	219
8.8.1.2	底生動物	220
8.8.1.3	潮間帯生物	221
9	生態系 - 資料なし -	
第3項 人と自然との豊かな触れ合い、歴史的文化的な遺産の保存及び良好な景観の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
10	景観	222
10.1	調査結果の概要	222
8.10.1.1	眺望景観の調査結果	222
第4項 環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素		
11	廃棄物等 - 資料なし -	
12	温室効果ガス等	230
12.1	予測及び評価	230
8.12.1.1	工事の実施	230
8.12.1.2	存在及び供用	233
参考1	方法書に対する関係市町村長の意見及び知事の意見	237
参考2	準備書に対する関係市町村長の意見及び知事の意見	246

第8章 環境影響評価の結果

第1節 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果

第1項 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

1 大気質

1.1 調査結果の概要

資料 8.1.1.1-1 気象調査結果(1)

[本編 p124 対応]

表 8.1.1.1-1(1) 風向別出現頻度(年間)

項目 方位	全日		昼間		夜間	
	頻度(件数)	頻度(%)	頻度(件数)	頻度(%)	頻度(件数)	頻度(%)
N	1513	17.3	688	15.4	825	19.2
NNE	578	6.6	296	6.6	282	6.6
NE	194	2.2	82	1.8	112	2.6
ENE	91	1.0	37	0.8	54	1.3
E	95	1.1	25	0.6	70	1.6
ESE	190	2.2	50	1.1	140	3.3
SE	326	3.7	99	2.2	227	5.3
SSE	510	5.8	253	5.7	257	6.0
S	478	5.5	369	8.2	109	2.5
SSW	530	6.1	464	10.4	66	1.5
SW	272	3.1	201	4.5	71	1.7
WSW	191	2.2	104	2.3	87	2.0
W	233	2.7	117	2.6	116	2.7
WNW	744	8.5	395	8.8	349	8.1
NW	1156	13.2	531	11.9	625	14.6
NNW	1559	17.8	729	16.3	830	19.4
Calm	100	1.1	34	0.8	66	1.5

調査地点：木曾岬干拓地

表 8.1.1.1-1(2) 風向別出現頻度(年間)

月	昼間	夜間	月	昼間	夜間
5月	5~18時	19~4時	11月	7~16時	17~6時
6月	5~19時	20~4時	12月	7~16時	17~6時
7月	5~19時	20~4時	1月	7~17時	18~6時
8月	6~18時	19~5時	2月	7~17時	18~6時
9月	6~17時	18~5時	3月	7~17時	18~6時
10月	6~17時	18~5時	4月	6~18時	19~5時

表 8.1.1.1-1(3) 季節別の風向別出現頻度

風向	夏季 (%)	秋季 (%)	冬季 (%)	春季 (%)
N	9.1	24.3	19.4	16.4
NNE	2.7	7.8	9.1	6.9
NE	1.5	2.1	3.3	2.0
ENE	1.4	1.1	0.9	0.7
E	2.0	1.0	0.6	0.7
ESE	5.1	1.2	0.3	2.0
SE	10.3	1.3	0.2	3.0
SSE	13.6	5.0	0.6	3.9
S	11.7	3.4	0.7	5.9
SSW	10.2	4.3	1.6	7.9
SW	4.1	3.2	1.3	3.8
WSW	2.2	1.6	2.1	2.8
W	2.2	2.4	4.4	1.6
WNW	6.0	8.6	12.3	7.2
NW	7.8	12.3	17.7	15.0
NNW	8.0	19.6	24.8	19.0
Calm	1.9	0.7	0.8	1.1

表 8.1.1.1-2(1) 風向別昼夜別の平均風速

単位：m/s

期間	昼夜別	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	平均
年間	全日	2.3	1.9	1.5	1.7	2.7	4.0	4.7	4.3	3.5	2.8	2.9	3.8	4.4	4.5	3.6	2.6	3.5
	昼間	2.5	1.9	1.7	2.1	2.5	4.7	5.3	4.4	3.6	2.8	2.4	4.1	4.8	4.8	4.2	2.8	3.8
	夜間	2.1	1.8	1.4	1.6	2.8	3.6	4.2	3.6	3.0	3.0	3.5	3.5	4.0	4.3	3.1	2.4	3.1
夏季	全日	2.1	1.8	1.3	1.9	2.6	4.2	5.0	4.6	3.8	2.5	2.1	2.5	4.2	3.8	3.2	2.3	3.5
	昼間	2.4	2.0	1.6	2.2	2.7	5.1	5.4	4.8	3.9	2.6	2.0	2.2	4.6	3.9	3.7	2.5	3.9
	夜間	1.8	1.7	1.1	1.7	2.5	3.7	4.5	3.6	2.7	2.4	2.2	2.8	3.4	3.6	2.6	2.0	3.0
秋季	全日	2.3	1.9	1.7	1.4	2.4	3.2	4.2	3.7	3.4	2.8	2.5	4.4	4.1	3.9	3.1	2.5	3.1
	昼間	2.5	1.8	2.1	1.2	1.0	3.0	4.5	3.4	3.4	2.8	2.0	4.9	4.5	4.1	3.6	2.7	3.3
	夜間	2.1	2.0	1.5	1.5	3.0	3.2	4.1	4.1	3.3	2.9	3.3	3.9	3.8	3.8	2.8	2.3	2.9
冬季	全日	2.2	2.0	1.8	1.7	1.7	1.4	1.9	2.5	2.4	2.5	4.2	4.6	4.3	4.4	3.6	2.6	3.4
	昼間	2.4	2.1	2.0	1.9	3.7	1.7	2.3	2.7	2.4	1.6	3.6	5.6	4.5	4.7	4.4	3.0	3.8
	夜間	2.1	1.9	1.6	1.7	1.3	1.0	1.8	2.2	2.3	3.3	4.6	3.9	4.1	4.1	3.0	2.4	3.1
春季	全日	2.5	1.6	1.3	1.9	3.5	3.7	4.8	4.0	3.3	3.3	2.9	2.6	5.0	5.5	4.3	2.9	3.8
	昼間	2.7	1.8	1.2	2.8	2.8	3.8	5.9	4.2	3.4	3.3	2.6	2.5	5.5	6.0	5.0	3.1	4.1
	夜間	2.2	1.6	1.5	1.6	3.6	3.7	4.1	3.4	3.1	3.2	3.3	2.6	4.3	5.2	3.7	2.7	3.5

注) 1. 季節別の区分は以下のとおりである。

夏季：6月～8月 秋季：9月～11月 冬季：12月～2月 春期：3月～5月

2. 平成 14 年 5 月 1 日 0 時から観測を開始した。

表 8.1.1.1-2(2) 風向別風速階級別出現頻度 (年間)

単位：%

風速階級 (m/s)	昼夜 別	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5 ~ 0.9	全日	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.6	3.8
	昼間	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	3.1
	夜間	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	0.8	4.6
1.0 ~ 1.9	全日	2.2	1.0	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.7	0.7	0.6	0.4	0.8	1.6	3.3	4.5	18.5
	昼間	1.9	0.8	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.4	1.1	1.1	0.8	0.4	0.6	1.3	2.7	3.3	15.6
	夜間	2.6	1.3	0.7	0.8	0.7	0.6	0.5	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	1.0	1.9	4.0	5.7	21.4
2.0 ~ 2.9	全日	2.8	0.8	0.2	0.3	0.8	0.6	0.6	0.7	1.9	1.0	0.6	0.6	1.5	2.0	5.3	7.1	26.8
	昼間	2.6	0.8	0.2	0.1	0.2	0.3	0.5	0.9	3.2	1.5	0.8	0.7	1.4	1.5	3.6	5.7	24.0
	夜間	2.9	0.9	0.2	0.4	1.3	1.0	0.7	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	1.7	2.6	7.1	8.6	29.7
3.0 ~ 3.9	全日	1.0	0.1	0.1	0.1	0.4	0.9	0.9	1.4	1.3	0.6	0.3	0.4	1.3	2.1	2.6	3.4	16.9
	昼間	1.5	0.0	0.1	0.0	0.2	0.3	0.7	2.1	2.3	1.0	0.2	0.2	1.1	1.6	2.1	3.8	17.3
	夜間	0.6	0.1	0.0	0.1	0.6	1.5	1.2	0.6	0.3	0.3	0.3	0.6	1.6	2.5	3.2	3.1	16.5
4.0 ~ 5.9	全日	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	1.2	2.2	2.0	1.8	0.5	0.3	0.6	2.5	3.9	3.1	1.3	19.9
	昼間	0.4	0.1	0.0	0.1	0.2	0.6	1.9	3.1	3.1	0.7	0.1	0.5	2.7	3.4	3.2	1.7	21.8
	夜間	0.2	-	-	-	0.2	1.7	2.5	0.9	0.4	0.4	0.5	0.7	2.3	4.4	2.9	0.9	17.8
6.0 ~ 7.9	全日	0.0	-	-	-	0.0	0.4	1.2	0.8	0.3	0.1	0.2	0.3	1.6	2.3	2.2	0.3	9.8
	昼間	0.0	-	-	-	-	0.4	1.8	1.4	0.6	0.1	0.1	0.4	2.3	2.5	3.2	0.4	13.3
	夜間	-	-	-	-	0.1	0.3	0.5	0.1	-	0.1	0.2	0.3	0.9	2.1	1.3	0.2	6.1
8.0 以上	全日	-	-	-	-	0.1	0.2	0.3	0.1	0.0	-	0.0	0.2	0.5	1.0	0.7	0.0	3.2
	昼間	-	-	-	-	-	0.2	0.4	0.2	0.0	-	-	0.3	0.6	1.1	1.3	0.0	4.2
	夜間	-	-	-	-	0.1	0.1	0.3	0.1	-	-	0.1	0.0	0.4	0.9	0.2	0.0	2.3
合計	全日	6.6	2.2	1.0	1.1	2.2	3.7	5.8	5.5	6.1	3.1	2.2	2.7	8.5	13.2	17.8	17.3	100.1
	昼間	6.6	1.8	0.8	0.6	1.1	2.2	5.7	8.2	10.4	4.5	2.3	2.6	8.8	11.9	16.3	15.4	100.0
	夜間	6.6	2.6	1.3	1.6	3.3	5.3	6.0	2.5	1.5	1.7	2.0	2.7	8.1	14.6	19.4	19.2	99.9

注)1.表中の「-」は、出現しなかったことを示す。

2.静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計の100%には静穏を含む。

3.昼夜の区分は表8.1.1.1-1(2)を参照。

4.合計が100とならないのは小数第2位で四捨五入を行っているため。

区分	全日	昼間	夜間
静穏率	1.1	0.8	1.5
欠側率	0.0	0.0	0.0

表 8.1.1.1-3(1) 地上気象観測結果

項目	単位	年間	夏季	秋季	冬季	春期	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
風向	最多風向	-	NNW	SSE	N	NNW	NNW	NW	N	SSE	SSE	N	N	N	NNW	NNW	NNW	NNW	N
	出現率	%	17.8	13.6	24.3	24.8	19.0	13.2	10.6	18.8	13.8	21.8	25.3	25.8	23.1	23.8	27.7	29.3	18.3
	欠測率	%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風速	平均風速	m/s	3.5	3.5	3.1	3.4	3.8	3.3	3.2	3.6	3.8	3.1	3.1	3.2	3.0	3.7	3.6	4.4	3.7
	最大値	m/s	13.2	11.7	10.1	12.4	13.2	8.8	10.1	10.8	11.7	8.8	8.9	10.1	10.5	12.4	11.3	12.7	13.2
	欠測率	%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気温	平均気温		15.1	25.9	16.3	4.8	13.4	18.7	22.6	27.1	27.9	23.0	16.9	9.0	5.8	3.3	5.4	7.4	14.1
	最高値		36.2	36.2	31.9	18.7	27.5	27.5	33.1	34.6	36.2	31.9	27.4	18.0	18.7	14.4	16.0	19.8	26.0
	最低値		-4.5	13.5	0.6	-4.5	-3.0	9.8	13.5	17.8	14.7	5.4	1.2	0.6	-4.2	-4.5	-4.4	-3.0	1.8
	欠測率	%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湿度	平均湿度	%	74	78	76	70	70	74	75	83	76	78	76	75	74	70	67	63	75
	最高値	%	97	95	97	96	97	97	95	95	95	96	96	97	96	96	96	96	96
	最低値	%	22	27	31	26	22	26	27	51	40	32	38	31	36	28	26	22	22
	欠測率	%	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日射量	日合計の平均	MJ/m ²	14.2	19.1	12.2	9.9	15.6	16.5	17.7	19.1	20.4	14.3	13.0	9.2	7.7	9.5	12.7	16.2	14.1
	欠測率	%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注)1. 季節別の区分を以下に示す。

春季：3月～5月 夏季：6月～8月 秋季：9月～11月 冬季：12月～2月

2. 平成14年5月1日0時から観測を開始した。

1.2 予測

1.2.1 工事の実施

資料 8.1.2.1-1 環境大気予測方法

[本編 p 134 対応]

(1) 予測方法

1) 工事機械等からの排出ガス

拡散式

拡散式は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月)に基づき、有風時にはプルーム式、無風・弱風時にはパフ式を用いた。拡散式を次に示す。

有風時(風速 1m/s 以上の場合)

年平均値の予測は次に示すプルーム式(長期平均式)を用いた。

$$C(R, z) = \frac{1}{2\pi} \cdot \frac{Q_p}{\sqrt{\frac{\pi}{8} R \sigma_z u}} \cdot \left(\exp\left\{-\frac{(z-He)^2}{2\sigma_z^2}\right\} + \exp\left\{-\frac{(z+He)^2}{2\sigma_z^2}\right\} \right)$$

($-\pi/16 \leq \arctan(y/x) < \pi/16$ の場合)

$$C(R, z) = 0 \quad (\text{その他の場合})$$

ここで、

$C(R, z)$: 計算点 (R, z) の濃度 (ppm)

R : 点煙源と計算点の水平距離 (m) ($R = \sqrt{x^2 + y^2}$)

x, y : 計算点の x, y 座標 (m)

z : 計算点の z 座標 (m)

Q_p : 点煙源強度 ($\text{m}^3\text{N/s}$)

u : 風速 (m/s)

He : 有効煙突高 (m)

σ_z : 鉛直 (z) 方向の拡散パラメータ (m)

座標は煙源直下の地表面を原点とし、風下方向を x 軸、それと直角な水平方向を y 軸、高さ方向を z 軸とした。

このプルーム式は、次に示す基本となるプルーム式から、長期的には一つの風向内(予測計算は風向を 16 方位区分して行う)では濃度が一様であり、隣接する風向の出現頻度・風速等が類似であると仮定して導かれたものである。すなわち、水平方向の拡散パラメータ σ_y に無関係なプルーム式となっている。「窒素酸化物総量規制マニュアル」によれば、長期平均値に着目した場合には、有風時に使用する拡散式としては上記の式が適当であるとされている。そこで、本予測においても年平均値を予測することを考え合わせ、使用する有風時の拡散式としては上記の式を用いた。

1 時間値の予測は次に示す基本となるプルーム式を用いた。

(基本となるプルーム式)

$$C(x, y, z) = \frac{Q_p}{2\pi\sigma_y\sigma_z u} \cdot \exp\left(-\frac{y^2}{2\sigma_y^2}\right) \cdot \left(\exp\left\{-\frac{(z-He)^2}{2\sigma_z^2}\right\} + \exp\left\{-\frac{(z+He)^2}{2\sigma_z^2}\right\} \right)$$

σ_y : 水平 (y) 方向の拡散パラメータ (m)

無風・弱風時(風速 1m/s 未満の場合)

・無風時(風速 0~0.4m/s の場合)

無風時は次のパフ式を用いた。

$$C(R, z) = \frac{Q_p}{(2\pi)^{3/2} \gamma} \cdot \left\{ \frac{1}{R^2 + \frac{\alpha^2}{\gamma^2} (He - z)^2} + \frac{1}{R^2 + \frac{\alpha^2}{\gamma^2} (He + z)^2} \right\}$$

($-\pi/16 \leq \arctan(y/x) < \pi/16$ の場合)

$C(R, z) = 0$ (その他の場合)

ここで、

$$R^2 = x^2 + y^2$$

α, γ : 拡散パラメータに関する定数

$C(R, z)$: 計算点 (R, z) の濃度 (ppm)

R : 点煙源と計算点の水平距離 (m) ($R = \sqrt{x^2 + y^2}$)

x, y : 計算点の x, y 座標 (m)

z : 計算点の z 座標 (m)

Q_p : 点煙源強度 (m^3N/s)

He : 有効煙突高 (m)

・弱風時(風速 0.5~0.9m/s の場合)

弱風時は次の弱風パフ式(長期平均式)を用いた。

$$C(R, z) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \cdot \frac{Q_p}{\frac{\pi}{8} \gamma} \cdot \left\{ \frac{1}{\eta_-^2} \cdot \exp\left(-\frac{u^2(z - He)^2}{2\gamma^2 \eta_-^2}\right) + \frac{1}{\eta_+^2} \cdot \exp\left(-\frac{u^2(z + He)^2}{2\gamma^2 \eta_+^2}\right) \right\}$$

$$\eta_-^2 = R^2 + \frac{\alpha^2}{\gamma^2} (z - He)^2$$

$$\eta_+^2 = R^2 + \frac{\alpha^2}{\gamma^2} (z + He)^2$$

α, γ : 拡散パラメータに関する定数

$C(R, z)$: 計算点 (R, z) の濃度 (ppm)

R : 点煙源と計算点の水平距離 (m) ($R = \sqrt{x^2 + y^2}$)

x, y : 計算点の x, y 座標 (m)

z : 計算点の z 座標 (m)

Q_p : 点煙源強度 (m^3N/s)

u : 風速 (m/s)

He : 有効煙突高 (m)

なお、上式による予測を行う場合は、風向出現率を補正することを原則とした。

工事工程と機械の稼働状況、供用後の発生車両について表 8.1.2.1-2(1)～(8)に示す。
なお、表中に示す作業機械のダンプ及び供用後の発生車両の台数は、片道の台数を示す。

表 8.1.2.1-2(1) 工事工程と機械の稼働状況(1年次)

工種		月目												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ストックヤード	整地工												←	→
	補助道路												←	→
	防災工(排水路)												←	→
	防災工(沈砂池)												←	→
	フェンス工												←	→
作業機械 (台/時間)	ダンプ ¹													7
	ブルドーザー											4	7	
	バックホー											1	4	
	転圧機													2
	杭打ち											2	2	

1 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を經由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

表 8.1.2.1-2(2) 工事工程と機械の稼働状況(2年次)

工種		月目												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
わんぱく原っぱ(東)	土工	←												→
わんぱく原っぱ(西)	土工	←												→
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88
	ダンプ ²													
	ブルドーザー	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	バックホー													
	転圧機													
杭打ち														
供用後の 発生車両	ストックヤード発生車両	トラック台数 ² (台/時間)												
		7	7	5	0	0	3	7	14	12	10	11	17	

1 伊勢湾岸自動車道直下の県道 103 号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。

2 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を經由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

表 8.1.2.1-2(3) 工事工程と機械の稼働状況 (3 年次)

工種		月目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		わんぱく原っぱ(東)	土工	←										
わんぱく原っぱ(西)	土工	←												→
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹		60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	ダンプ ²													
	ブルドーザー		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	バックホー													
	転圧機													
	杭打ち													
供用後の 発生車両	ストックヤード発生車両	トラック台数 ² (台/時間)	7	7	5	0	0	3	7	15	13	10	12	18

1 伊勢湾岸自動車道直下の県道 103 号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。

2 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を経由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

表 8.1.2.1-2(4) 工事工程と機械の稼働状況 (4 年次)

工種		月目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		わんぱく原っぱ(東)	土工	←										
わんぱく原っぱ(西)	土工	←												→
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	ダンプ ²													
	ブルドーザー		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	バックホー													
	転圧機													
	杭打ち													
供用後の 発生車両	ストックヤード発生車両	トラック台数 ² (台/時間)	7	7	3	0	0	2	2	12	19	39	16	16

1 伊勢湾岸自動車道直下の県道 103 号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。

2 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を経由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

表 8.1.2.1-2(5) 工事工程と機械の稼働状況 (5年次)

工種		月目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		主要幹線道路		土工										←→
		横断暗渠工							←→					
		給水工										←→		
わんぱく原っぱ(東)		土工	←											→
わんぱく原っぱ(西)		土工	←											→
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹		30	30	30	30	30	2						
	ダンプ ²											15	15	
	ブルドーザー		6	6	6	6	6	1	1	1	1	2	1	
	バックホー								1	1	1	2	1	1
	転圧機								1	1	1	3	2	1
	杭打ち													
供用後の 発生車両	ストックヤード発生車両	トラック台数 ² (台/時間)	7	7	3	0	0	2	2	13	22	45	17	16

1 伊勢湾岸自動車道直下の県道 103 号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。

2 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を経由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

表 8.1.2.1-2(6) 工事工程と機械の稼働状況(6年次)

工種		月目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
主要幹線道路	舗装(車道)											←→	←→	
	舗装(歩道)											←→		
	排水工							←→	←→					
	境界B工							←→	←→					
	フェンス工										←→	←→		
わんぱく原っぱ(東)	補助道路										←→			
	排水路工				←→									
	植栽基盤工					←→	←→							
	道路(舗装)											←→		
	駐車場											←→		
	植栽工										←→	←→	←→	
	給水工								←→	←→				
電気施設工								←→	←→					
わんぱく原っぱ(西)	排水路工					←→								
	植栽基盤工						←→	←→						
	道路(舗装)											←→		
	駐車場											←→		
	植栽工											←→	←→	
	電気施設工								←→	←→				
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹													
	ダンプ ²										5	22	5	5
	ブルドーザー				3	7	6	6		1	6	1	1	
	バックホー				3	3	4	7	5	1	8	7	7	
	転圧機									1	4	1	1	
	杭打ち													
供用後の 発生車両	ストックヤード発生車両	トラック台数 ^{2 3} (台/時間)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

1 伊勢湾岸自動車道直下の県道103号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。

2 国道23号から鍋田川右岸側道路または一般県道108号、木曾川左岸側道路を経由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。

3 6年次以降は搬入・搬出量が未定であるため、6年次以降の台数は、1年次～5年次の間の各月の平均搬出・搬入量の最大値である25台/時とした。

表 8.1.2.1-2(7) 工事工程と機械の稼働状況 (7 年次)

工種		月目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冒険広場	土工(整地工)							←→						
	土工(築山工)							←→						
	道路(盛土)									←→				
	道路(舗装)												←→	
	排水路							←→						
	駐車場												←→	
	植栽工											←→		→
	給水工											←→		
電気施設工										←→				
デイキャンプ場	土工(整地工A)							←→						
	土工(整地工B)							←→						
	道路(盛土)									←→				
	道路(舗装)												←→	
	排水路工							←→						
	駐車場												←→	
	駐車場											←→		
	植栽工											←→		→
	給水工										←→			
	電気施設工										←→			
作業機械 (台/時間)	ダンプ(わんぱく原っぱ盛土) ¹													
	ダンプ ²							18	18	12	6		12	
	ブルドーザー							9	9	3	1		4	
	バックホー							2	2	3	3	14	10	10
	転圧機							6	6	3	1	1	4	
	杭打ち													
供用後の 発生車両	ストックヤード 発生車両	トラック台数 ^{2 3} (台/時間)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

- 1 伊勢湾岸自動車道直下の県道 103 号(愛知)より干拓地内に至るルートから搬出入する。
- 2 国道 23 号から鍋田川右岸側道路または一般県道 108 号、木曾川左岸側道路を經由し、緑風橋に至るルートから搬出入する。
- 3 6 年次以降は搬入・搬出量が未定であるため、6 年次以降の台数は、1 年次～5 年次の間の各月の平均搬出・搬入量の最大値である 25 台/時とした。

表 8.1.2.1-2(8) 供用後の発生車両 (8 年次以降)

供用後の発生車両 (8 年次以降)		台数 (台/日)
ストックヤード発生車両	トラック台数(台/日)	150
施設利用車両	小型車 (台/日)	2,500

予測に使用する風向風速データは、干拓地排水機場付近で実施した通年調査結果を用いた。

排出源高さの風速は、「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)に基づき、下記のべき乗則の式を用いた。

$$U = U_0 (H/H_0)^P$$

ここで、 U : 高さ H (m) の風速 (m/s)
 U_0 : 基準高さ H_0 の風速 (m/s)
 H : 排出源の高さ (m)
 H_0 : 基準とする高さ (m)
 P : べき指数

べき指数 P は郊外の場合の $1/5$ とした。

表 8.1.2.1-3(1) 季節別風向別出現頻度及び平均風速 (昼間)

風 向	出現頻度 (%)				平均風速 (m/s)			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
N	15.2	8.1	22.6	17.8	3.1	2.5	2.7	3.0
NNE	7.9	2.7	7.2	9.9	2.7	2.4	2.5	2.4
NE	1.5	1.2	1.9	2.9	1.8	2.0	1.8	2.1
ENE	0.8	1.0	0.8	0.7	1.2	1.6	2.1	2.0
E	0.3	1.1	0.5	0.2	2.8	2.2	1.2	1.9
ESE	0.7	2.5	0.8	0.1	2.8	2.7	1.0	3.7
SE	1.5	5.7	0.4	0.2	3.8	5.1	3.0	1.7
SSE	3.1	13.1	3.9	0.4	5.9	5.4	4.5	2.3
S	8.8	16.2	4.1	1.0	4.2	4.8	3.4	2.7
SSW	12.3	15.7	7.9	3.3	3.4	3.9	3.4	2.4
SW	4.9	5.7	5.3	1.5	3.3	2.6	2.8	1.6
WSW	3.1	2.3	2.1	1.7	2.6	2.0	2.0	3.6
W	1.5	2.2	2.8	4.3	2.5	2.2	4.9	5.6
WNW	7.7	6.8	8.1	13.8	5.5	4.6	4.5	4.5
NW	12.9	7.6	11.8	16.6	6.0	3.9	4.1	4.7
NNW	17.0	7.3	19.0	24.9	5.0	3.7	3.6	4.4
Calm	0.7	0.9	0.8	0.6	-	-	-	-

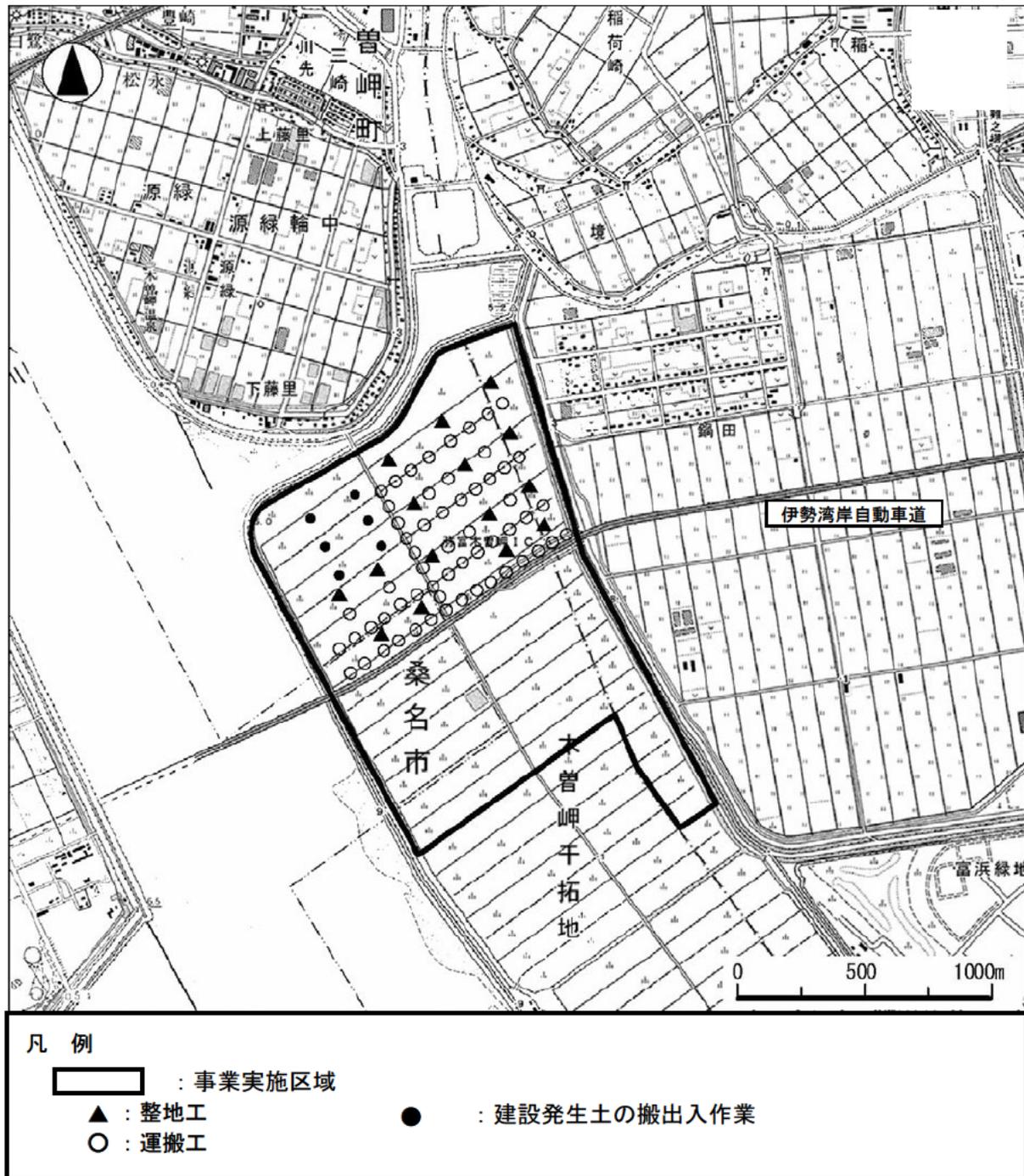


図 8.1.2.1-4(1) ユニットの配置（2 年次）

a ユニットの排出源条件

ユニットの数量、排出係数

ユニットの数量、排出係数を表 8.1.2.1-5(1)に示した。

工事工程に基づき工事機械等の稼働が最大となる時期として、わんぱく原っぱの盛土工事期間中で搬入土砂の量がピークとなる2年次を選定した。

工種ごとの工事機械の組み合わせと対応するユニット、排出係数は「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)に記載してあるユニットの中から設定した。

表 8.1.2.1-5(1) ユニットの数量、排出係数

予測対象 時期	作業内容	設定 ユニット	数 量	排出ガス対策型 排出係数 (g/ユニット/日)		排出源高さ (m)
				窒素酸化物 (NOx)	浮遊粒子状物質 (SPM)	
2年次	整地工	路体盛土、 路床盛土	15	4,729	190.5	2.9
	建設発生土の搬出入	土砂掘削	6	5,243	208.5	3.1
	ダンプトラック運行	-	58	大型車類の自動車の走行に係る排出係数を用いた		

出典)「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)

注)各ユニットの想定建設機械については、整地工がブルドーザー1台とダンプ2台、建設発生土の搬出入がバックホー1台とダンプ1台、ダンプトラックの運行はダンプ1台とする。

稼働条件

工事機械の月作業日数は20日、工事時間帯は8時から17時、稼働時間は1日6時間とした。なお、稼働時間については、「建設機械等損量算定表(平成16年度版)」((社)日本建設機械化協会)を参考にした。

排出源の位置

工事区域にユニットを配置し、排出源とする。ユニットの設定位置は図 8.1.2.1-4 に示すとおりである。

予測地点の高さ

予測範囲における予測地点の高さについて、予測地点3地点のうち最も標高の高い源緑橋付近の標高0.9mを用いることとし、地盤から高さ1.5mの位置を設定した。

バックグラウンド濃度

年平均値の予測には、環境大気の現況調査を行なっている源緑橋及び鍋田(愛知)における4季の平均値をバックグラウンド濃度とした。また、1時間値の予測には、源緑橋及び鍋田(愛知)における1時間値の最大値をバックグラウンド濃度とした。

バックグラウンド濃度を表 8.1.2.1-5(2)~(3)に示した。

表 8.1.2.1-5(2) 環境大気の予測（年平均値）に係るバックグラウンド濃度

項目	バックグラウンド濃度	
	源緑橋	鍋田（愛知）
窒素酸化物	0.032ppm	0.033ppm
二酸化窒素	0.021ppm	0.021ppm
浮遊粒子状物質	0.031mg/m ³	0.036mg/m ³

表 8.1.2.1-5(3) 環境大気の予測（1時間値）に係るバックグラウンド濃度

項目	バックグラウンド濃度	
	源緑橋	鍋田（愛知）
二酸化窒素	0.062ppm	0.057ppm
浮遊粒子状物質	0.128mg/m ³	0.120mg/m ³

窒素酸化物の値

二酸化窒素の予測の過程で用いた窒素酸化物の値を以下に示す。

表 8.1.2.1-5(4) 環境大気の予測（年平均値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
最大着地濃度地点	0.0001 未満	0.0064 (0.0065)
源緑橋	-	0.0003
鍋田（愛知）	-	0.0026
下藤里	0.0001 未満	0.0025

表 8.1.2.1-5(5) 環境大気の予測（1時間値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
最大着地濃度地点	0.0051	0.2347
源緑橋	-	0.0550
鍋田（愛知）	-	0.0971
下藤里	0.0051	0.0876

b 窒素酸化物から二酸化窒素への変換

工事機械

工事機械については、窒素酸化物から二酸化窒素への変換は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に基づき、現地調査で得られたバックグラウンド濃度から変換する次の式を用いた。

$$[NO_2] / [NO_x] = [NO_2BG] / [NO_xBG]$$

ただし、 $[NO_2]$: バックグラウンドを含む NO_2 濃度 (ppm)

$[NO_x]$: NO_x の寄与濃度にバックグラウンドの NO_x 濃度を加算した値 (ppm)

$[NO_2BG]$: 調査で得られた NO_2 のバックグラウンド濃度 (ppm)

$[NO_xBG]$: 調査で得られた NO_x のバックグラウンド濃度 (ppm)

② 工事用車両

工事用車両については、「道路環境影響評価の技術手法」（財団法人道路環境研究所、平成12年11月）に基づき、現地調査で得られたバックグラウンド濃度から変換する次の式を用いた。

$$[NO_2] = 0.0587[NO_x]^{0.416} (1 - [NO_x]_{BG} / [NO_x]_T)^{0.630}$$

ここで、 $[NO_x]$: 窒素酸化物の対象道路の寄与濃度 (ppm)

$[NO_2]$: 二酸化窒素の対象道路の寄与濃度 (ppm)

$[NO_x]_{BG}$: 窒素酸化物のバックグラウンド濃度 (ppm)

$[NO_x]_T$: 窒素酸化物のバックグラウンド濃度と対象道路の寄与濃度の合計値 (ppm)

$$([NO_x]_T = [NO_x] + [NO_x]_{BG})$$

c 年平均値から年間98%値（または年間2%除外値）への換算

年平均値から年間98%値（または年間2%除外値）への変換は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成11年11月）に基づき、大気汚染常時監視測定局のデータを利用して、年平均値と日平均値の年間98%値（または2%除外値）との関係を解析した式を用いた。換算式の算定に際しては、環境省が観測集計している全国の一般環境測定局の年平均値と年間98%値（または2%除外値）のデータのうち、事業実施区域に近い桑名上野浄水場測定局（三重県）及び弥富町役場、飛鳥村松之郷測定局（ともに愛知県）の平成10年度から平成14年度の年平均値と年間98%値（または2%除外値）との関係を解析した式を用いた。

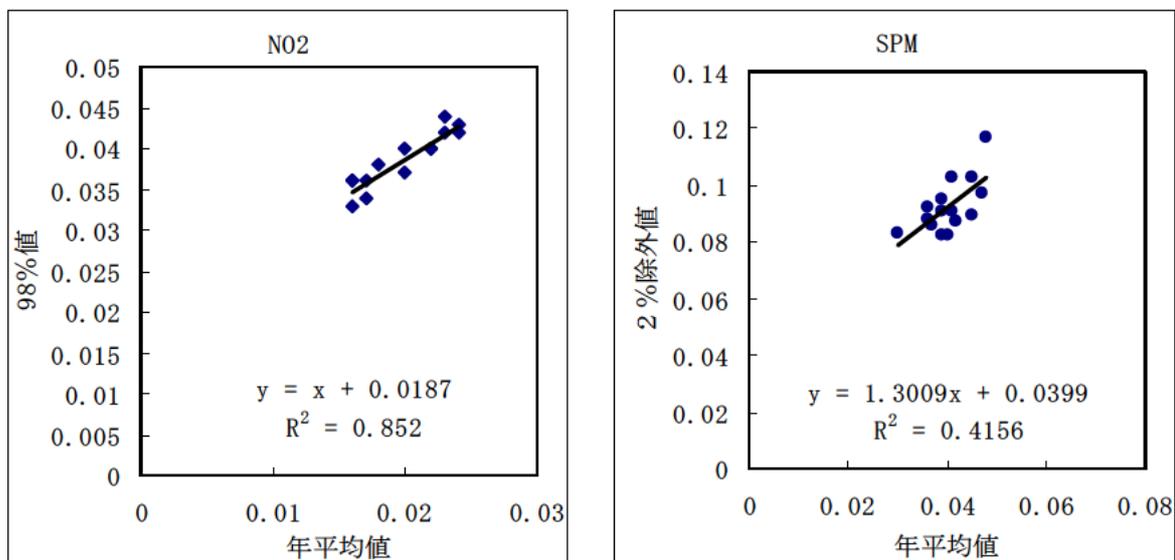


図 8.1.2.1-5(1) 年平均値と年間98%値等の関係図

d 工事機械の稼働及び土地の造成等に伴い発生する粉じん等
予測式

予測式は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に基づき、次に示す式を用いた。

$$C_d(x) = \sum_{i=1}^n \int_0^{\pi/8} \frac{a \cdot N_u \cdot N_d}{A \cdot u_i^c} \cdot \frac{1}{(-b+2)} \left\{ (x_i + \Delta x_i)^{-b+2} - x_i^{-b+2} \right\} f_i d\theta$$

ここで、

$C_d(x)$: (x)地点の地上1.5mにおける降下ばいじんの予測値 (t/km²/月)

n : 方位 (= 16)

a : 降下ばいじん量を表す係数

N_u : ユニット数

N_d : 季節別の平均月間工事日数 (日/月)

u_i : 風向 i の平均風速 (m/s)

* $u_i < 1$ の場合は、 $u = 1$ とした。

b : 降下ばいじんの距離減衰を表す係数

f_i : 風向 i の出現割合 (%)

c : 風速の影響を表す係数 ただし、 $c = 1$

x_i : 風向 i の発生源の奥行き距離 (m)

x_i : 風向 i の予測地点と敷地境界の距離 (m)

* $x_i < 1$ の場合は、 $x_i = 1$ とした。

A : 降下ばいじんの発生源の面積 (m²)

a 工事機械の発生源条件

ユニットの数量、降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数

ユニットの数量、降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数を表 8.1.2.1-6(1)に示した。

工事工程に基づき工事機械等の稼働が最大となる時期として、わんぱく原っぱの盛土工事期間中で搬入土砂の量がピークとなる 2 年次を選定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に記載されているユニットの中から、各工種の工事機械の組み合わせと対応するユニットを設定し、降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数を設定した。

表 8.1.2.1-6(1) ユニットの数量、降下ばいじん量 a 及び距離減衰を表す係数 b

予測対象時期	工 種	設定ユニット	数 量	a	b
2 年次	整地工	路体盛土、路床盛土	15	1,500	1.7
	建設発生土の搬出入	土砂掘削	6	1,500	1.7
	ダンプトラック運行	現場内運搬（散水なし）	58	73	2.3

出典）「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）

注）各ユニットの想定建設機械については、整地工がブルドーザー 1 台とダンプ 2 台、建設発生土の搬出入がバックホー 1 台とダンプ 1 台、ダンプトラックの運行はダンプ 1 台とする。

稼働条件

工事機械の月作業日数は 20 日、工事時間帯は 8 時から 17 時、稼働時間は 1 日 6 時間とした。なお、稼働時間については、「建設機械等損量算定表（平成 16 年度版）」（（社）日本建設機械化協会）を参考にした。

発生源の位置

工事区域にユニットを配置し、発生源とする。ユニットの設定位置を先の図 8.1.2.1-4(1)に示した。

a 工事用車両からの排出ガス

拡散式

拡散式は「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)に基づき、有風時についてはプルーム式、弱風時についてはパフ式を用いた。

窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の濃度については、点煙源を連続して配置し、各々の点煙源から排出される窒素酸化物(または浮遊粒子状物質)の濃度を合成して求めた。

この場合、各々の点煙源から排出される窒素酸化物(または浮遊粒子状物質)の濃度は、有風時(風速 1m/s を超える場合)についてはプルーム式を、また、弱風時(風速 1m/s 以下の場合)についてはパフ式を用いた。

プルーム式：有風時(風速が 1m/s を超える場合)

$$C(x, y, z) = \frac{Q}{2\pi \cdot u \cdot \sigma_y \cdot \sigma_z} \cdot \exp\left(-\frac{y^2}{2\sigma_y^2}\right) \cdot \left[\exp\left\{-\frac{(z-H)^2}{2\sigma_z^2}\right\} + \exp\left\{-\frac{(z+H)^2}{2\sigma_z^2}\right\} \right]$$

ここで、

- $C(x, y, z)$: (x, y, z) 地点における窒素酸化物濃度(ppm) (または浮遊粒子状物質濃度(mg/m³))
 Q : 点煙源の窒素酸化物の排出量(ml/s) (または浮遊粒子状物質の排出量(mg/s))
 u : 平均風速(m/s)
 H : 排出源の高さ(m)
 σ_y, σ_z : 水平(y), 鉛直(z)方向の拡散幅(m)
 x : 風向に沿った風下距離(m)
 y : x 軸に直角な水平距離(m)
 z : x 軸に直角な鉛直距離(m)

・鉛直方向の拡散幅 σ_z

$$\sigma_z = \sigma_{z0} + 0.31L^{0.83}$$

ここで、 σ_{z0} : 鉛直方向の初期拡散幅(m)

遮音壁がない場合 . . . $\sigma_{z0} = 1.5$

遮音壁(高さ 3m 以上)がある場合 . . . $\sigma_{z0} = 4.0$

L : 車道部端からの距離($L=x-W/2$)(m)

x : 風向に沿った風下距離(m)

W : 車道部幅員(m)

なお、 $x < W/2$ の場合は $\sigma_z = \sigma_{z0}$ とした。

- ・ 水平方向の拡散幅 σ_y

$$\sigma_y = W/2 + 0.46L^{0.81}$$

なお、 $x < W/2$ の場合は $\sigma_y = W/2$ とした。

パフ式：弱風時(風速が 1m/s 以下の場合)

$$C(x, y, z) = \frac{Q}{(2\pi)^{3/2} \cdot \alpha^2 \cdot \gamma} \cdot \left\{ \frac{1 - \exp\left(-\frac{\lambda}{t_0^2}\right)}{2\lambda} + \frac{1 - \exp\left(-\frac{m}{t_0^2}\right)}{2m} \right\}$$

ここで、

$$\lambda = \frac{1}{2} \cdot \left\{ \frac{x^2 + y^2}{\alpha^2} + \frac{(z - H)^2}{\gamma^2} \right\}$$

$$m = \frac{1}{2} \cdot \left\{ \frac{x^2 + y^2}{\alpha^2} + \frac{(z + H)^2}{\gamma^2} \right\}$$

t_0 : 初期拡散幅に相当する時間(s)

α, γ : 拡散幅に関する係数

- ・ 初期拡散幅に相当する時間 t_0

$$t_0 = \frac{W}{2\alpha}$$

ここで、 W : 車道幅員(m)

α : 以下に示す拡散幅に関する係数(m/s)

- ・ 拡散幅に関する係数 α, γ

$$\alpha = 0.3$$

$$\gamma = 0.18(\text{昼間})$$

$$0.09(\text{夜間})$$

ただし、昼間及び夜間の区分は、原則として午前 7 時から午後 7 時までを昼間、午後 7 時から午前 7 時までを夜間とした。

a 車両の排出源条件等

①大気汚染物質排出量

・ 排出係数の算出の流れ

予測に用いる排出係数は、「道路環境影響評価の技術手法（（財）道路環境研究所）」に基づき算出した。その中では、中央環境審議会の第三次答申による自動車排出ガス量の許容限度の新長期目標値に基づいて排出係数を設定しており、その基準年は平成 30 年となっている。

予測年次は工事用車両が最大となる時期を考慮し、5 年次（三重県側：ストックヤード土砂運搬搬入・搬出）、2 年次（愛知県側：わんぱく原っぱ盛土土砂搬入）である。工事着手を平成 17 年度と仮定し、予測年は平成 18 年と平成 21 年と設定した。新長期目標値の達成時期は平成 17 年であり、予測年に新長期目標値を達していない異なる排出規制値の車両が混在して走行している可能性が考えられるため、図 8.1.2.1-2(1)に示すように排出係数を算出した。

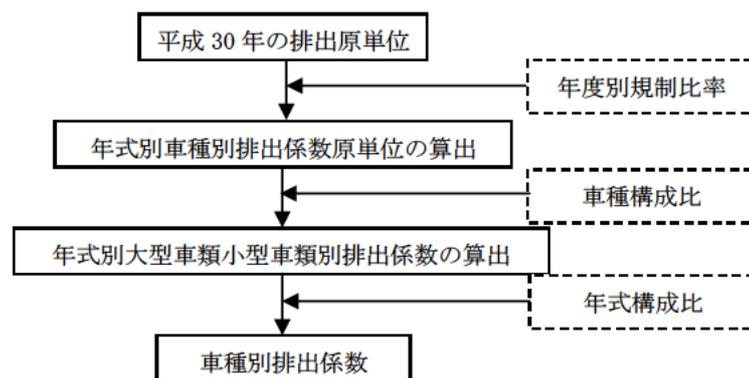


図 8.1.2.1-8(1) 排出係数算出の流れ

・ 年式別車種別排出係数原単位の算出

「道路環境影響評価の技術手法（（財）道路環境研究所）」に示されている平成 30 年の原単位に、規制値の低減比の逆数（求める年次に適用される規制値／平成 17 年の長期目標値）をかけることにより、年式別車種別排出係数の原単位を求めた。表 8.1.2.1-8(1)に年別の窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の車種別の規制値を示す。求めた年式別車種別排出係数の原単位を表 8.1.2.1-8(2)～(5)に示す。

表 8.1.2.1-8(5) 年式別排出係数原単位 (時速 100km/h)

窒素酸化物												
8車種排出係数の区分		単位	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
ガソリン	乗用車	g/km	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.080	0.080
	貨物車類	軽量	g/km	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.095	0.095
		中量	g/km	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.043
	重量	g/kWh	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.046	
ディーゼル	乗用車	重量1250kg以下	g/km	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.434	0.434
		重量1250kgを超えるもの	g/km	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.217	0.434	0.434
	貨物車類	軽量	g/km	0.068	0.068	0.068	0.068	0.068	0.068	0.068	0.136	0.136
中量		g/km	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.166	0.166	
重量		g/kWh	0.198	0.198	0.198	0.198	0.198	0.198	0.198	0.335	0.335	

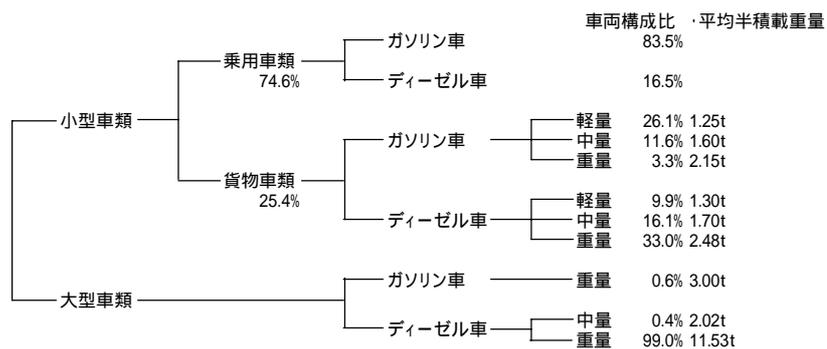
窒素酸化物											
8車種排出係数の区分		単位	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6
ガソリン	乗用車	g/km	0.080	0.080	0.080	0.249	0.249	0.249	0.249	0.249	0.249
	貨物車類	軽量	g/km	0.095	0.095	0.095	0.296	0.296	0.296	0.296	0.296
		中量	g/km	0.043	0.043	0.133	0.133	0.133	0.133	0.133	0.133
	重量	g/kWh	0.046	0.046	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	
ディーゼル	乗用車	重量1250kg以下	g/km	0.434	0.620	0.620	0.620	0.620	0.620	0.775	0.775
		重量1250kgを超えるもの	g/km	0.434	0.579	0.579	0.579	0.579	0.868	0.868	0.868
	貨物車類	軽量	g/km	0.136	0.195	0.195	0.195	0.195	0.195	0.292	0.292
中量		g/km	0.237	0.237	0.237	0.237	0.237	0.237	0.440	0.440	
重量		g/kWh	0.446	0.446	0.446	0.446	0.446	0.446	0.594	0.594	

浮遊粒子状物質												
8車種排出係数の区分		単位	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
ガソリン	乗用車	g/km	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
	貨物車類	軽量	g/km	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
		中量	g/km	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	重量	g/km	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
ディーゼル	乗用車	重量1250kg以下	g/km	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.043	0.043
		重量1250kgを超えるもの	g/km	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.011	0.043	0.043
	貨物車類	軽量	g/km	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.029	0.029
中量		g/km	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012	0.012	0.050	0.050	
重量		g/km	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.044	0.044	

浮遊粒子状物質											
8車種排出係数の区分		単位	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6
ガソリン	乗用車	g/km	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
	貨物車類	軽量	g/km	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
		中量	g/km	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
	重量	g/km	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
ディーゼル	乗用車	重量1250kg以下	g/km	0.043	0.066	0.066	0.066	0.066	0.166	0.166	0.166
		重量1250kgを超えるもの	g/km	0.043	0.062	0.062	0.062	0.062	0.154	0.154	
	貨物車類	軽量	g/km	0.029	0.045	0.045	0.045	0.045	0.112	0.112	0.112
中量		g/km	0.074	0.074	0.074	0.074	0.074	0.207	0.207	0.207	
重量		g/km	0.061	0.061	0.061	0.061	0.061	0.171	0.171	0.171	

・年式別車種別排出係数の算出

年式別車種別排出係数原単位に、乗用車の場合は車種構成比を、貨物車類の場合は車両構成比と平均半積載重量を乗じて合成することにより、小型車類・大型車類別の排出係数を算出した。図 8.1.2.1-8(2)に排出係数の合成に用いた車種構成比及び貨物車類の平均積載重量を示す。算出結果を表 8.1.2.1-8(6)に示す。



出典)「道路環境影響評価の技術手法(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)」

図 8.1.2.1-8(2) 排出係数の合成に用いた車種構成比及び平均半積載重量

表 8.1.2.1-8(6) 2 車種別年式別排出係数

窒素酸化物											
車種	速度	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
小型車	40	0.0775	0.0775	0.0775	0.0775	0.0775	0.0775	0.0775	0.0775	0.1359	0.1359
	60	0.0576	0.0576	0.0576	0.0576	0.0576	0.0576	0.0576	0.0576	0.1005	0.1005
	80	0.0687	0.0687	0.0687	0.0687	0.0687	0.0687	0.0687	0.0687	0.1202	0.1202
	100	0.1134	0.1134	0.1134	0.1134	0.1134	0.1134	0.1134	0.1134	0.1992	0.1992
大型車	40	1.3478	1.3478	1.3478	1.3478	1.3478	1.3478	1.3478	1.3478	2.2780	2.2780
	60	1.0897	1.0897	1.0897	1.0897	1.0897	1.0897	1.0897	1.0897	1.8418	1.8418
	80	1.3934	1.3934	1.3934	1.3934	1.3934	1.3934	1.3934	1.3934	2.3551	2.3551
	100	2.2612	2.2612	2.2612	2.2612	2.2612	2.2612	2.2612	2.2612	3.8218	3.8218
車種	速度	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	
小型車	40	0.1529	0.1679	0.1733	0.2692	0.2692	0.2811	0.3178	0.3178	0.3183	
	60	0.1140	0.1238	0.1296	0.1999	0.1999	0.2075	0.2352	0.2352	0.2358	
	80	0.1373	0.1493	0.1555	0.2329	0.2329	0.2423	0.2769	0.2769	0.2775	
	100	0.2272	0.2495	0.2555	0.3775	0.3775	0.3953	0.4530	0.4530	0.4536	
大型車	40	3.0326	3.0326	3.0343	3.0343	3.0343	3.0343	4.0456	4.0456	4.0461	
	60	2.4519	2.4519	2.4537	2.4537	2.4537	2.4537	3.2712	3.2712	3.2717	
	80	3.1353	3.1353	3.1372	3.1372	3.1372	3.1372	4.1826	4.1826	4.1832	
	100	5.0880	5.0880	5.0898	5.0898	5.0898	5.0898	6.7866	6.7866	6.7872	

浮遊粒子状物質											
車種	速度	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
小型車	40	0.0050	0.0050	0.0050	0.0050	0.0050	0.0050	0.0050	0.0050	0.0204	0.0204
	60	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0039	0.0153	0.0153
	80	0.0036	0.0036	0.0036	0.0036	0.0036	0.0036	0.0036	0.0036	0.0149	0.0149
	100	0.0066	0.0066	0.0066	0.0066	0.0066	0.0066	0.0066	0.0066	0.0216	0.0216
大型車	40	0.0714	0.0714	0.0714	0.0714	0.0714	0.0714	0.0714	0.0714	0.4759	0.4759
	60	0.0545	0.0545	0.0545	0.0545	0.0545	0.0545	0.0545	0.0545	0.3631	0.3631
	80	0.0559	0.0559	0.0559	0.0559	0.0559	0.0559	0.0559	0.0559	0.3723	0.3723
	100	0.0756	0.0756	0.0756	0.0756	0.0756	0.0756	0.0756	0.0756	0.5035	0.5035
車種	速度	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	
小型車	40	0.0247	0.0290	0.0290	0.0290	0.0290	0.0290	0.0753	0.0753	0.0753	
	60	0.0185	0.0217	0.0217	0.0217	0.0217	0.0217	0.0559	0.0559	0.0559	
	80	0.0184	0.0211	0.0211	0.0211	0.0211	0.0211	0.0551	0.0551	0.0551	
	100	0.0269	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0761	0.0761	0.0761	
大型車	40	0.6609	0.6609	0.6609	0.6609	0.6609	0.6609	1.8506	1.8506	1.8506	
	60	0.5044	0.5044	0.5044	0.5044	0.5044	0.5044	1.4123	1.4123	1.4123	
	80	0.5171	0.5171	0.5171	0.5171	0.5171	0.5171	1.4480	1.4480	1.4480	
	100	0.6993	0.6993	0.6993	0.6993	0.6993	0.6993	1.9579	1.9579	1.9579	

・ 予測年の車種別排出係数の算出

2 車種別年式別排出係数に、表 8.1.2.1-8(7) に示す年式別車両構成比を乗じ足し合わせて排出係数を求めた。予測に用いた予測年の排出係数を表 8.1.2.1-8(8) に示す。

表 8.1.2.1-8(7) 年式別車両構成比

単位：%

車種	予測年	1 年前	2 年前	3 年前	4 年前	5 年前
小型車類	15.99	14.79	13.40	12.10	10.60	9.17
大型車類	17.53	15.83	14.14	12.45	10.73	9.02
車種	6 年前	7 年前	8 年前	9 年前	10 年前	11 年以上前
小型車類	7.63	6.06	4.46	2.93	1.84	1.03
大型車類	7.32	5.57	3.83	2.27	1.08	0.23

出典) 「道路環境影響評価の技術手法 (財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)」

表 8.1.2.1-8(8) 予測年の車種別排出係数

車種	予測年 速度 (km/h)	平成 21 年		平成 18 年	
		窒素酸化物 (g/km・台)	浮遊粒子状物質 (g/km・台)	窒素酸化物 (g/km・台)	浮遊粒子状物質 (g/km・台)
小型車類	40	0.1042	0.0113	0.1490	0.0203
	60	0.0773	0.0085	0.1105	0.0152
	100	0.1525	0.0127	0.2164	0.0216
大型車類	40	1.7185	0.2140	2.2835	0.4306
	60	1.3895	0.1633	1.8463	0.3286
	80	1.7767	0.1675	2.3608	0.3370

車両の走行条件

・一般車両の交通量

一般車両の交通量は、工事期間中の交通量が現況と変わらないものとして、対応する現地調査結果の交通量を用いた。現地調査を行っていない地点三崎については、交通の流れの状況等から源緑輪中と同じとした。また、工事作業は平日に行うとし、予測には平日の交通量調査結果を用いた。愛知県側からの土砂の搬入経路として想定される県道103号(愛知)の交通量は現地調査結果を用いた。交通量調査結果を表8.1.2.1-8(10)～(11)に示す。また、併走する伊勢湾岸自動車道の交通量については平成22年の計画交通量を用いた。走行速度は各予測地点における規制速度とした。

・工所用車両及び土砂搬入車両の交通量

工所用車両の交通量が最大となる時期とした。工所用車両台数の最大は360台/日(片道)であり、工事開始から5年次の10月目である。走行速度は各予測地点における規制速度とした。

愛知県側からの土砂の搬入車両については、1年間の最大運搬土砂量が831,000m³(2年次。工事計画より)であり、月作業日数を20日、時間帯を8時から17時、計画地での作業時間を0.5時間(工所用車両も同じとした)、トラック1台あたりの運搬土砂6m³とすると、1日あたりの搬入車両台数は700台(片道)とした。時間帯別の車両台数は、車両配分の均等化より、表8.1.2.1-8(12)のとおり設定した。

表8.1.2.1-8(9) 各予測地点に対応する交通量調査地点と規制速度

予測地点		対応する交通量調査地点	規制速度	
下藤里		下藤里	40 km/h	
源緑輪中		源緑輪中	40 km/h	
三崎		鍋田川	40 km/h	
三崎		源緑輪中	40 km/h	
県道103号 (愛知)	県道103号	県道103号(愛知)	60 km/h	
	伊勢湾岸 自動車道	伊勢湾岸自動車道の H22年計画交通量	小型	100 km/h
			大型	80 km/h

三崎の交通量は、交通の流れの状況等により、源緑輪中を用いた。

表 8.1.2.1-8(10) 沿道大気の予測に用いた交通量（工事中、平日）

下藤里（工事中、平日）

単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	51	1	0	0	51	1	
7時	86	7	0	0	86	7	
8時	36	22	0	60	36	82	
9時	24	19	0	60	24	79	
10時	26	10	0	120	26	130	
11時	29	15	0	120	29	135	
12時	26	7	0	0	26	7	
13時	26	17	0	120	26	137	
14時	17	10	0	120	17	130	
15時	33	13	0	60	33	73	
16時	41	9	0	60	41	69	
17時	76	15	0	0	76	15	
18時	41	2	0	0	41	2	
19時	48	6	0	0	48	6	
20時	27	0	0	0	27	0	
21時	17	1	0	0	17	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

源緑輪中（工事中、平日）

単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	16	1	0	0	16	1	
7時	68	2	0	0	68	2	
8時	60	11	0	60	60	71	
9時	38	13	0	60	38	73	
10時	52	20	0	120	52	140	
11時	47	7	0	120	47	127	
12時	64	11	0	0	64	11	
13時	54	11	0	120	54	131	
14時	65	5	0	120	65	125	
15時	76	12	0	60	76	72	
16時	60	21	0	60	60	81	
17時	99	10	0	0	99	10	
18時	48	9	0	0	48	9	
19時	74	4	0	0	74	4	
20時	25	4	0	0	25	4	
21時	16	1	0	0	16	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（工事中、平日）

単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	270	23	0	0	270	23	
7時	544	25	0	0	544	25	
8時	337	36	0	60	337	96	
9時	137	39	0	60	137	99	
10時	97	44	0	120	97	164	
11時	109	34	0	120	109	154	
12時	141	28	0	0	141	28	
13時	131	43	0	120	131	163	
14時	101	46	0	120	101	166	
15時	161	44	0	60	161	104	
16時	203	51	0	60	203	111	
17時	362	30	0	0	362	30	
18時	241	26	0	0	241	26	
19時	196	13	0	0	196	13	
20時	118	3	0	0	118	3	
21時	69	4	0	0	69	4	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（工事中、平日）

単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	16	1	0	0	16	1	
7時	68	2	0	0	68	2	
8時	60	11	0	60	60	71	
9時	38	13	0	60	38	73	
10時	52	20	0	120	52	140	
11時	47	7	0	120	47	127	
12時	64	11	0	0	64	11	
13時	54	11	0	120	54	131	
14時	65	5	0	120	65	125	
15時	76	12	0	60	76	72	
16時	60	21	0	60	60	81	
17時	99	10	0	0	99	10	
18時	48	9	0	0	48	9	
19時	74	4	0	0	74	4	
20時	25	4	0	0	25	4	
21時	16	1	0	0	16	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

県道 103 号(愛知)(工事中、平日) 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	7	2	0	0	0	0	60 km/h
1時	0	2	0	0	0	0	
2時	0	2	0	0	0	0	
3時	11	6	0	0	0	0	
4時	7	14	0	0	0	0	
5時	14	24	0	0	0	0	
6時	94	48	0	0	0	0	
7時	240	62	0	0	0	0	
8時	102	41	0	132	0	132	
9時	52	71	0	176	0	176	
10時	86	84	0	176	0	176	
11時	78	105	0	176	0	176	
12時	66	59	0	175	0	175	
13時	52	82	0	174	0	174	
14時	67	105	0	174	0	174	
15時	67	84	0	174	0	174	
16時	92	77	0	44	0	44	
17時	190	62	0	0	0	0	
18時	109	41	0	0	0	0	
19時	85	25	0	0	0	0	
20時	40	14	0	0	0	0	
21時	33	15	0	0	0	0	
22時	14	3	0	0	0	0	
23時	21	13	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

伊勢湾岸自動車道(工事中、平日) 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度	
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	小型	大型
0時	408	1000	0	0	408	1000	100 km/h	80 km/h
1時	285	931	0	0	285	931		
2時	197	891	0	0	197	891		
3時	195	1085	0	0	195	1085		
4時	204	1076	0	0	204	1076		
5時	394	1334	0	0	394	1334		
6時	1568	1568	0	0	1568	1568		
7時	2968	1000	0	0	2968	1000		
8時	2454	1322	0	0	2454	1322		
9時	1822	1570	0	0	1822	1570		
10時	1768	1752	0	0	1768	1752		
11時	1526	1546	0	0	1526	1546		
12時	1338	1414	0	0	1338	1414		
13時	1600	1472	0	0	1600	1472		
14時	1536	1536	0	0	1536	1536		
15時	1824	1376	0	0	1824	1376		
16時	2222	1298	0	0	2222	1298		
17時	2532	1180	0	0	2532	1180		
18時	2806	1098	0	0	2806	1098		
19時	2490	902	0	0	2490	902		
20時	1750	874	0	0	1750	874		
21時	1286	954	0	0	1286	954		
22時	996	924	0	0	996	924		
23時	620	1108	0	0	620	1108		

表中の数字は往復の台数を示す。

表 8.1.2.1-8(11) 沿道大気の予測に用いた交通量（工事中、休日）

下藤里（工事中、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	15	0	0	0	15	0	
7時	22	1	0	0	22	1	
8時	30	3	0	0	30	3	
9時	30	1	0	0	30	1	
10時	54	1	0	0	54	1	
11時	47	2	0	0	47	2	
12時	26	1	0	0	26	1	
13時	46	0	0	0	46	0	
14時	49	0	0	0	49	0	
15時	33	3	0	0	33	3	
16時	35	0	0	0	35	0	
17時	29	0	0	0	29	0	
18時	23	0	0	0	23	0	
19時	22	0	0	0	22	0	
20時	16	0	0	0	16	0	
21時	19	1	0	0	19	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

源緑輪中（工事中、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	9	1	0	0	9	1	
7時	23	2	0	0	23	2	
8時	60	4	0	0	60	4	
9時	72	10	0	0	72	10	
10時	77	4	0	0	77	4	
11時	63	6	0	0	63	6	
12時	71	1	0	0	71	1	
13時	81	0	0	0	81	0	
14時	97	3	0	0	97	3	
15時	105	2	0	0	105	2	
16時	88	1	0	0	88	1	
17時	81	6	0	0	81	6	
18時	62	2	0	0	62	2	
19時	45	0	0	0	45	0	
20時	11	1	0	0	11	1	
21時	17	3	0	0	17	3	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（工事中、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	42	2	0	0	42	2	
7時	100	5	0	0	100	5	
8時	121	5	0	0	121	5	
9時	129	1	0	0	129	1	
10時	137	8	0	0	137	8	
11時	121	8	0	0	121	8	
12時	150	4	0	0	150	4	
13時	151	3	0	0	151	3	
14時	173	9	0	0	173	9	
15時	182	5	0	0	182	5	
16時	167	11	0	0	167	11	
17時	180	8	0	0	180	8	
18時	131	3	0	0	131	3	
19時	69	3	0	0	69	3	
20時	64	0	0	0	64	0	
21時	50	1	0	0	50	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（工事中、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	9	1	0	0	9	1	
7時	23	2	0	0	23	2	
8時	60	4	0	0	60	4	
9時	72	10	0	0	72	10	
10時	77	4	0	0	77	4	
11時	63	6	0	0	63	6	
12時	71	1	0	0	71	1	
13時	81	0	0	0	81	0	
14時	97	3	0	0	97	3	
15時	105	2	0	0	105	2	
16時	88	1	0	0	88	1	
17時	81	6	0	0	81	6	
18時	62	2	0	0	62	2	
19時	45	0	0	0	45	0	
20時	11	1	0	0	11	1	
21時	17	3	0	0	17	3	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

県道 103 号(愛知)(工事中、休日) 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	7	2	0	0	81	51	60 km/h
1時	0	2	0	0	52	53	
2時	0	2	0	0	57	45	
3時	11	6	0	0	55	85	
4時	7	14	0	0	86	154	
5時	14	24	0	0	171	300	
6時	94	48	0	0	1118	445	
7時	240	62	0	0	785	617	
8時	102	41	0	0	490	793	
9時	52	71	0	0	455	796	
10時	86	84	0	0	480	745	
11時	78	105	0	0	534	638	
12時	66	59	0	0	474	728	
13時	52	82	0	0	484	729	
14時	67	105	0	0	572	680	
15時	67	84	0	0	765	660	
16時	92	77	0	0	1029	403	
17時	190	62	0	0	895	244	
18時	109	41	0	0	596	158	
19時	85	25	0	0	308	97	
20時	40	14	0	0	214	60	
21時	33	15	0	0	0	0	
22時	14	3	0	0	193	68	
23時	21	13	0	0	113	50	

表中の数字は往復の台数を示す。

伊勢湾岸自動車道(工事中、休日) 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度	
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	小型	大型
0時	408	1000	0	0	408	1000	100 km/h	80 km/h
1時	285	931	0	0	285	931		
2時	197	891	0	0	197	891		
3時	195	1085	0	0	195	1085		
4時	204	1076	0	0	204	1076		
5時	394	1334	0	0	394	1334		
6時	1568	1568	0	0	1568	1568		
7時	2968	1000	0	0	2968	1000		
8時	2454	1322	0	0	2454	1322		
9時	1822	1570	0	0	1822	1570		
10時	1768	1752	0	0	1768	1752		
11時	1526	1546	0	0	1526	1546		
12時	1338	1414	0	0	1338	1414		
13時	1600	1472	0	0	1600	1472		
14時	1536	1536	0	0	1536	1536		
15時	1824	1376	0	0	1824	1376		
16時	2222	1298	0	0	2222	1298		
17時	2532	1180	0	0	2532	1180		
18時	2806	1098	0	0	2806	1098		
19時	2490	902	0	0	2490	902		
20時	1750	874	0	0	1750	874		
21時	1286	954	0	0	1286	954		
22時	996	924	0	0	996	924		
23時	620	1108	0	0	620	1108		

表中の数字は往復の台数を示す。

表 8.1.2.1-8(12) 三重県側からの工事車両台数及び愛知県側からの土砂搬入車両台数の設定

時間帯	三重県側からの工事車両台数		愛知県側からの土砂搬入車両台数	
	入車(台)	出車(台)	入車(台)	出車(台)
8:00	60	-	88	44
9:00	60	-	88	88
10:00	60	60	88	88
11:00	60	60	88	88
12:00	-	-	87	88
13:00	60	60	87	87
14:00	60	60	87	87
15:00	-	60	87	87
16:00	-	60	-	44
合計	360	360	700	700

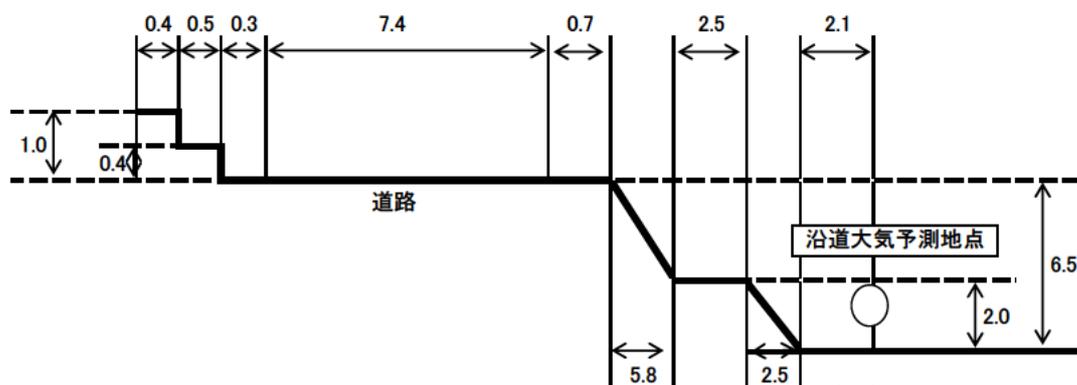
③ 排出源及び予測地点の位置、高さ

排出源については点煙源を車道部の中央に配置し、点煙源の高さは路面高さ+1mとした。予測地点は道路敷地境界における高さ1.5mとした。

各予測地点の道路断面を図8.1.2.1-8(3)~(4)に示した。なお、愛知県側からの搬入経路の予測断面は、既存図面（近畿自動車道名古屋神戸線（弥富町～長島町）環境影響評価等）より引用した。

(単位：m)

下藤里②



鍋田川

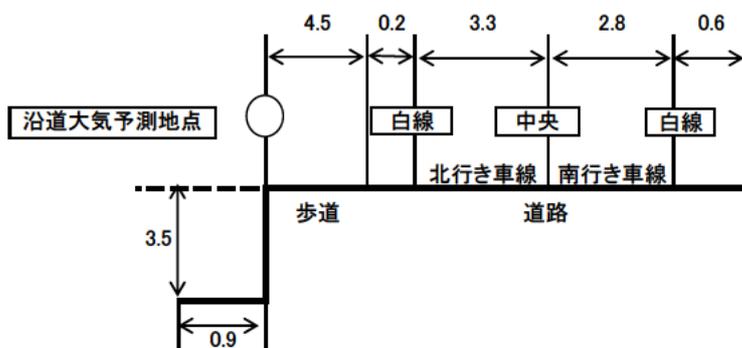
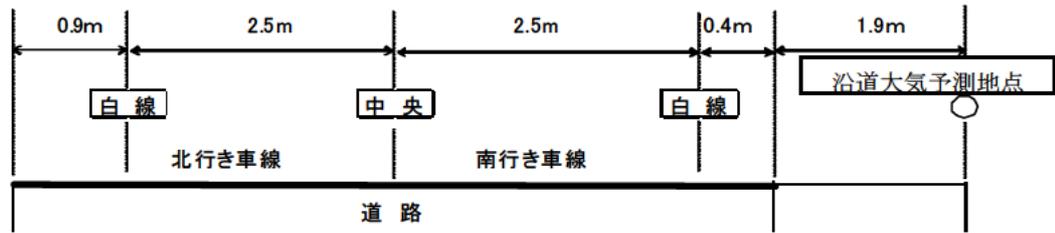
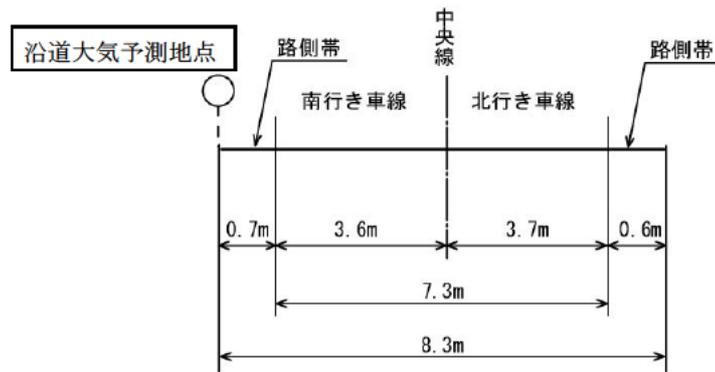


図 8.1.2.1-8(3) 各予測地点の道路断面

源緑輪中



三崎②



県道 103号

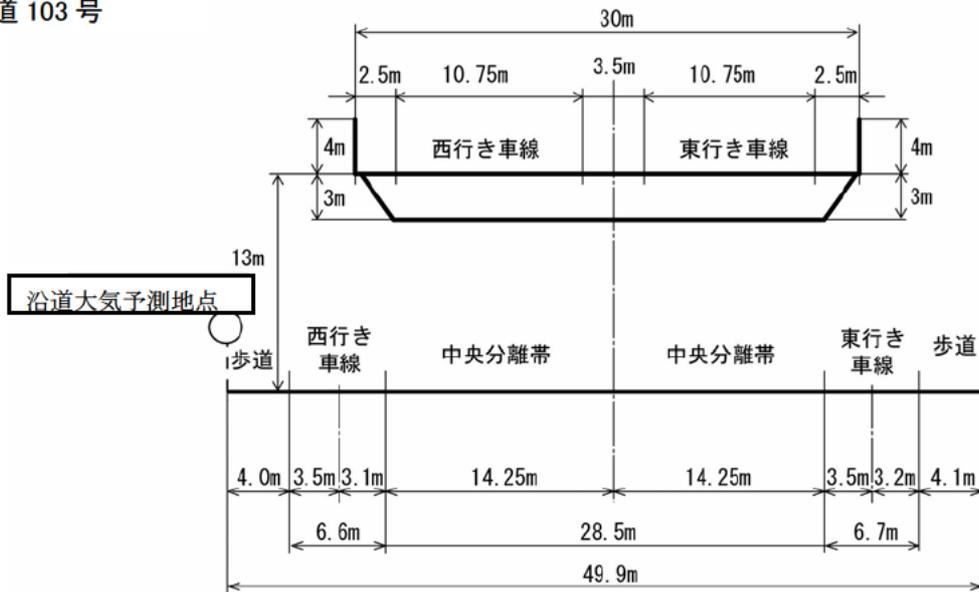


図 8.1.2.1-8(4) 各予測地点の道路断面

バックグラウンド濃度

沿道大気現況調査地点と同一地点の予測地点（沿道大気予測地点三崎）は、現況調査結果の4季の平均値及び1時間値の最高値をそれぞれ年平均値及び1時間値の予測に用いるバックグラウンド濃度とした。本地点については、一般車両からの寄与濃度がバックグラウンド濃度に含まれていることから、工事用車両による寄与濃度だけを負荷して予測した。

その他の予測地点（沿道大気予測地点下藤里、源緑輪中、三崎及び県道103号（愛知））は現況調査地点（環境大気）との位置関係から考慮し、下藤里、源緑輪中及び三崎は環境大気現況調査地点源緑橋を、県道103号（愛知）は環境大気現況調査地点鍋田を設定した。本地点については、一般車両からの寄与濃度と工事用車両による寄与濃度を負荷して予測した。

各予測地点のバックグラウンド濃度を表8.1.2.1-8(13)～(14)に示した。

表8.1.2.1-8(13) 沿道大気予測（年平均値）に係るバックグラウンド濃度

項目	バックグラウンド濃度				
	予測地点 下藤里	予測地点 源緑輪中	予測地点 三崎	予測地点 三崎	予測地点 県道103号 (愛知)
窒素酸化物	0.032 ppm	0.032 ppm	0.047 ppm	0.032 ppm	0.033 ppm
二酸化窒素	0.021 ppm	0.021 ppm	0.026 ppm	0.021 ppm	0.021 ppm
浮遊粒子状物質	0.031 mg/m ³	0.031 mg/m ³	0.038 mg/m ³	0.031 mg/m ³	0.036 mg/m ³

表8.1.2.1-8(14) 沿道大気予測（1時間値）に係るバックグラウンド濃度

項目	バックグラウンド濃度				
	予測地点 下藤里	予測地点 源緑輪中	予測地点 三崎	予測地点 三崎	予測地点 県道103号 (愛知)
二酸化窒素	0.062 ppm	0.062 ppm	0.073 ppm	0.062 ppm	0.057 ppm
浮遊粒子状物質	0.128 mg/m ³	0.128 mg/m ³	0.120 mg/m ³	0.128 mg/m ³	0.120 mg/m ³

窒素酸化物の値

二酸化窒素の予測の過程で用いた窒素酸化物の値を以下に示す。

表8.1.2.1-8(15) 沿道大気予測（年平均値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
下藤里	0.0001 未満	0.0001
源緑輪中	0.0001	0.0003
三崎	-	0.0001
三崎	0.0001	0.0002
県道103号（愛知）	0.0005	0.0001

表8.1.2.1-8(16) 沿道大気予測（1時間値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
下藤里	0.0008	0.0043
源緑輪中	0.0013	0.0068
三崎	-	0.0057
三崎	0.0014	0.0074
県道103号（愛知）	0.0030	0.0064

b 窒素酸化物から二酸化窒素への変換

「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)に基づき、
現地調査で得られたバックグラウンド濃度から変換する次の式を用いた。

$$[NO_2] = 0.0587[NO_x]^{0.416} (1 - [NO_x]_{BG} / [NO_x]_T)^{0.630}$$

ここで、 $[NO_x]$: 窒素酸化物の対象道路の寄与濃度 (ppm)

$[NO_2]$: 二酸化窒素の対象道路の寄与濃度 (ppm)

$[NO_x]_{BG}$: 窒素酸化物のバックグラウンド濃度 (ppm)

$[NO_x]_T$: 窒素酸化物のバックグラウンド濃度と対象道路の寄与濃度の合計
値 (ppm)

$$([NO_x]_T = [[NO_x] + [NO_x]_{BG}])$$

c 年平均値から年間98%値(又は年間2%除外値)への換算

年平均値から年間98%値(又は年間2%除外値)への換算は、「道路環境影響評価の技術
手法」(財団法人道路環境研究所、平成12年11月)に示されている表8.1.2.1-8(17)の換
算式を用いた。

表 8.1.2.1-8(17) 年平均値から年間98%値(年間2%除外値)への換算式

項目	換算式
二酸化窒素	$[年間98\%値] = a([NO_2]_{BG} + [NO_2]_R) + b$ $a = 1.12 + 0.58 \cdot \exp(-[NO_2]_R / [NO_2]_{BG})$ $b = 0.0112 - 0.0049 \cdot \exp(-[NO_2]_R / [NO_2]_{BG})$
浮遊粒子状物質	$[年間2\%除外値] = a([SPM]_{BG} + [SPM]_R) + b$ $a = 1.87 + 0.86 \cdot \exp(-[SPM]_R / [SPM]_{BG})$ $b = 0.0081 - 0.0174 \cdot \exp(-[SPM]_R / [SPM]_{BG})$

注) $[NO_2]_R$: 二酸化窒素の道路寄与濃度の年平均値 (ppm)
 $[NO_2]_{BG}$: 二酸化窒素のバックグラウンド濃度の年平均値 (ppm)
 $[SPM]_R$: 浮遊粒子状物質の道路寄与濃度の年平均値 (mg/m³)
 $[SPM]_{BG}$: 浮遊粒子状物質のバックグラウンド濃度の年平均値 (mg/m³)

(1) 予測式

予測式は、「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)に基づき、次に示す式を用いた。

$$C_d(x) = a \cdot (u/u_0)^{-b} \cdot (x/x_0)^{-c}$$

ここで、 $C_d(x)$: 工事用車両 1 台の運行により発生源 1m² から発生し拡散する粉じん等のうち発生源からの距離 x (m) の地点の地上 1.5m に堆積する降下ばいじん量 (t/km²/m²/台)

a : 基準降下ばいじん量 (t/km²/m²/台)
(基準風速時の基準距離における工事用車両 1 台当たりの発生源 1m² からの降下ばいじん量)

u : 平均風速 (m/s)

u_0 : 基準風速 ($u_0 = 1\text{m/s}$)

b : 風速の影響を表す係数 ($b = 1$)

x : 風向に沿った風下距離 (m)

x_0 : 基準距離 (m) ($x_0 = 1\text{m}$)

c : 降下ばいじんの拡散を表す係数

(1) 車両の発生源条件

降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数

工事用車両の降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数を、「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)に基づき設定し、表 8.1.2.1-10(1)に示した。

なお、予測には舗装路の係数を用いた。

表 8.1.2.1-10(1) 基準降下ばいじん量 a 及び降下ばいじんの拡散を表す係数 c

工事用道路の状況	a	c
未舗装散水なし	0.061	2.3
未舗装散水あり	0.041	
舗装路	0.0087	

注) パラメータ a 及び c の値は工事用車両通行帯の幅員を 3.5m として解析することにより設定されたもの。

出典)「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)

車両の走行条件

工事用車両の交通量が最大となる時期とした。工事用車両台数の最大は 360 台/日(片道)であり、工事開始から 5 年次の 10 月目である。走行速度は各予測地点における規制速度とした。

土砂の搬入車両は、先の「資料 8.1.2.1-8 a 車両の排出源条件等」と同様とした。

発生源及び予測地点の位置、高さ

発生源については工事用車両が走行する道路の幅員内に工事用車両の通行帯を設定した。工事用車両の走行に係る粉じん等は、設定した工事用車両の通行帯から一様に発生するものとした。予測地点は道路敷地境界における高さ 1.5m とした。

各予測地点の道路断面は、先の「資料 8.1.2.1-8 a 車両の排出源条件等」に示す図 8.1.2.1-8(3)～(4)と同様とした。

(1) 1時間値

気象条件のうち、風向については事業実施区域の北側に保全対象となる集落が存在することから、南系の風向の出現頻度が高いSSW(南南西)とした。また、風速は、有風(1m/s以上)と、無風(0.4m/s以下)及び弱風(0.5~0.9m/s)では一般的に有風時の方が高濃度が出現するとされており、有風時の中では風速が弱いほど高濃度が出現する。これらのことから今回の予測では、パターンを変えた予備計算によって最悪時となった風速1m/sの時に予測を行った。大気安定度については、工事が昼間であることから強不安定(A)から中立(D)の場合について予測を行い、最も高濃度となった大気安定度Dの時のについて結果をまとめた。

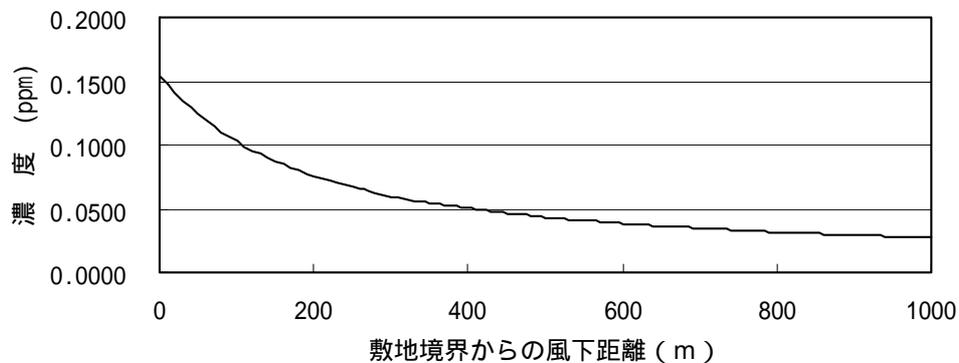


図 8.1.2.1-11(1) 1時間値の予測結果(二酸化窒素:2年次)

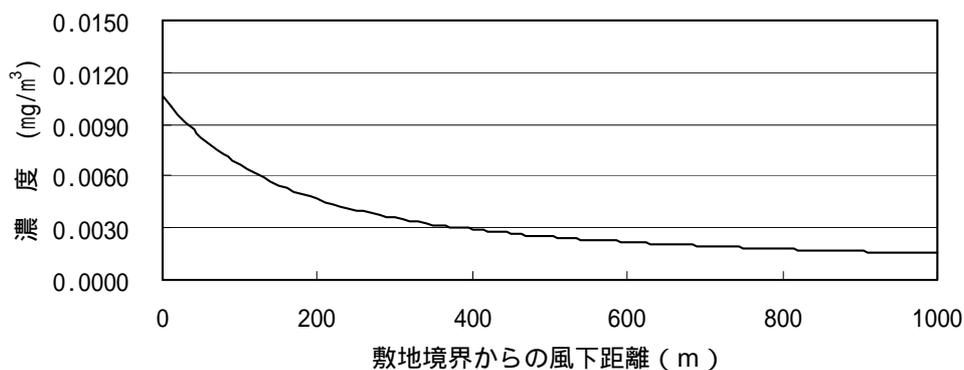


図 8.1.2.1-11(2) 1時間値の予測結果(浮遊粒子状物質:2年次)

(1) 工事機械の稼働及び土地の造成等に伴い発生する粉じん等

昼間の時間帯における季節別風向出現割合及び季節別風向別平均風速を用いて、季節別に風向の全方向に対して降下ばいじん量を算出し、その中でも最も寄与量が高くなった風向時の数値を予測結果とした。

最大寄与量は敷地境界に出現し、予測対象時期の敷地境界における季節別月間降下ばいじん量の予測結果は表 8.1.2.1-12(1)に示すとおりである。これによると、南風の出現頻度の高い夏季を除くと、北系の風の時に降下ばいじん量が多く秋季に最大となり、 $3.419\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ と予測された。このときの敷地境界から風下 1km までの寄与量を図 8.1.2.1-12(1)に示した。

表 8.1.2.1-12(1) 降下ばいじんの予測結果 (最大寄与量)

単位: $\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$

季節	最大寄与量予測結果	バックグラウンド 降下ばいじん総量
春	2.608 (SSW)	2.66
夏	2.832 (SSW)	2.79
秋	3.419 (N)	2.49
冬	2.567 (WNW)	2.11

注) 1.バックグラウンド降下ばいじん総量は、環境大気の現地調査を行った干拓地内ストックヤード予定地付近木曽岬干拓地における各季の調査結果とした。

2.表中の()内は、最も寄与量が高くなった風向を示し、数値はその風向時の敷地境界における予測値である。

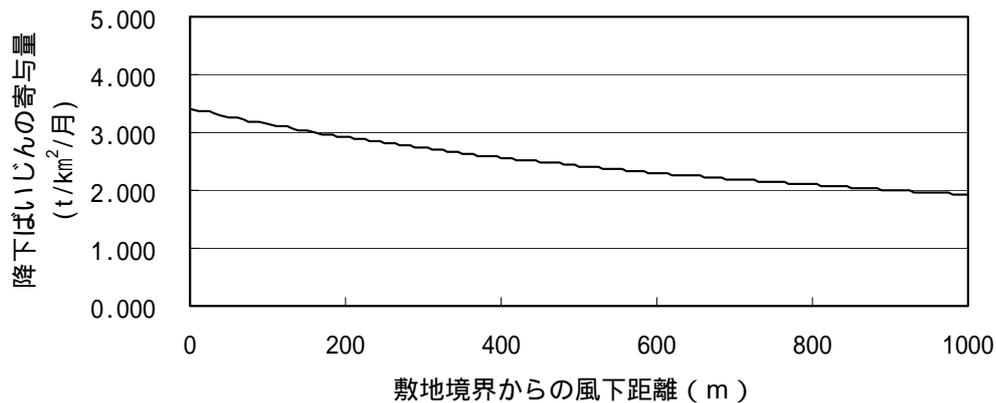


図 8.1.2.1-12(1) 降下ばいじんの予測結果 (2年次: 秋季)

1.2.2 存在及び供用

資料 8.1.2.2-1 ユニットの配置図（存在及び供用）

[本編 p149 対応]

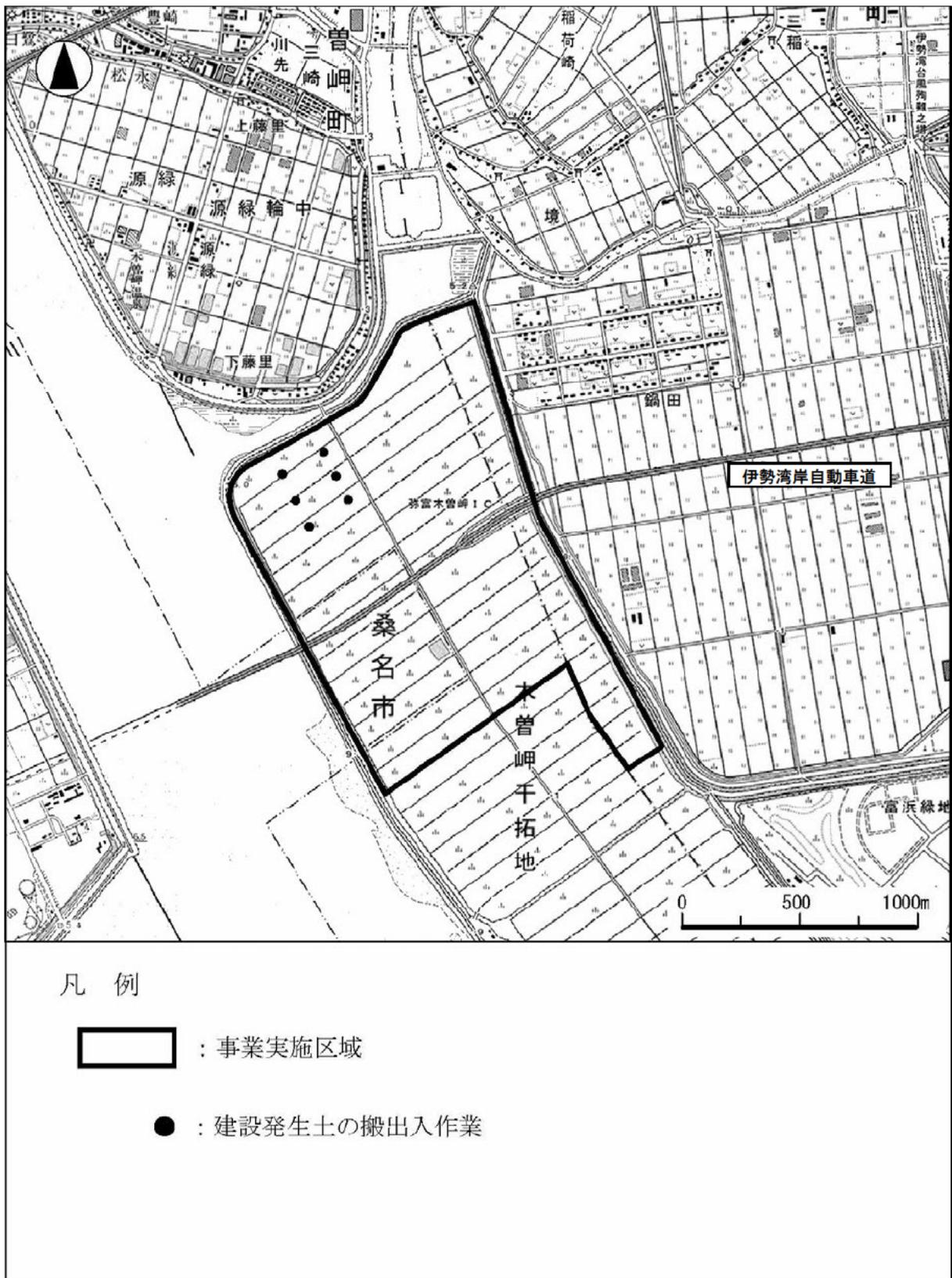


図 8.1.2.2-1(1) ユニット（作業機械等の排出源）の設定位置

(1) 予測方法

1) 環境大気

a 作業機械等からの排出ガス

発生車両等からの排出ガスの大気予測は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に基づき行なった。

予測手順、拡散式、気象条件、バックグラウンド濃度、窒素酸化物から二酸化窒素への変換及び年平均値から年間 98% 値（又は年間 2% 除外値）への換算は、先の「資料 8.1.2.1-1 環境大気 1) 工事機械等からの排出ガス」と同様とした。

ア 計画施設を利用する車両及びストックヤードにおける搬出入車両の排出係数

計画施設を利用する車両及びストックヤードにおける搬出入車両に係る予測に用いる車種別排出係数を「道路環境影響評価の技術手法」（財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月）に基づき設定し、表 8.1.2.2-2(1) に示した。

表 8.1.2.2-2(1) 計画施設を利用する車両に係る予測に用いる車種別排出係数

項目		窒素酸化物 (g/km・台)		浮遊粒子状物質 (g/km・台)	
車種		小型車類	大型車類	小型車類	大型車類
平均走行速度	20km/h	0.118	2.08	0.007	0.107

出典)「道路環境影響評価の技術手法」（財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月）

イ 作業機械等の排出係数

作業機械等からの排出ガスが最大となる時期として、ストックヤードにおいて建設発生土の搬出入作業を 6 箇所で行なう場合を設定した。

「道路環境影響評価の技術手法」（財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月）に記載しているユニットの中から、建設発生土の搬出入作業の作業機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。

作業機械に係るユニットの数量及び排出係数を表 8.1.2.2-2(2) に示した。

表 8.1.2.2-2(2) 作業機械に係るユニットの数量、排出係数

作業種類	設定ユニット	数量	排出ガス対策型 排出係数 (g/ユニット/日)		排出源高さ (m)
			NOx	SPM	
ストックヤードにおける建設発生土搬出入	土砂掘削	6	5,243	208.5	3.1

出典)「道路環境影響評価の技術手法」（財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月）

注) ユニットの想定建設機械については、バックホー 1 台とダンプ 1 台とする。

ウ 施設内交通の走行条件及び作業機械の稼働条件

施設内交通の走行条件

計画施設を利用する車両の台数及び走行時間帯を「木曾岬干拓地 広場設計業務委託報告書」（三重県、平成 16 年 3 月）に基づき設定し、施設内交通の走行条件としてまとめ、

表 8.1.2.2-2(3)に示した。

なお、施設内を走行する車両の速度を 20km/h とし、車両台数は次のようにして算出した。

・施設利用者数	= 年間参加者数 × 最大日率 = 494,803 × 1/66 = 7,497 人
・車両台数	= 施設利用者数 / 3 = 2,499 2,500 台/日

*1:最大日率は、「観光計画の手法」より 1/30 ~ 1/100 とされており、中間値の 1/66 とした。

*2:車 1 台当りの平均乗用人員は、「観光計画の手法」より 2 ~ 3 人とされており、最大値の 3 台とした。

表 8.1.2.2-2(3) 施設内交通の走行条件

車種	台数	走行速度	走行時間帯
小型車類	2,500 台/日	20km/h	9 時 ~ 17 時

台数は片道の台数を示す。

作業機械の稼働条件

ストックヤードにおける建設発生土搬出入作業の月作業日数は 20 日、作業時間帯は 8 時から 17 時、稼働時間は 1 日 6 時間とした。また、計画施設を利用する車両は、毎日施設が開いているものと想定し、時間は 9 時から 17 時とした。なお、稼働時間については、「建設機械等損量算定表（平成 16 年度版）」（(社)日本建設機械化協会）を参考にした。

エ 排出源の位置

計画施設を利用する車両の排出源については点煙源を施設の駐車場位置及び収容台数（「木曾岬干拓地整備事業 公園緑地設計業務委託報告書」参照）に合わせ配置した。点煙源の高さは路面高さ + 1m とした。

作業機械等の排出源についてはストックヤード区域に設定したユニットを配置した。

ユニット（作業機械等の排出源）の設定位置は図 8.1.2.2-1(1)に示した。

オ その他

二酸化窒素の予測の過程で用いた窒素酸化物の値は以下に示す。

表 8.1.2.2-2(4) 環境大気の予測（年平均値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	作業機械からの寄与濃度 (ppm)
最大着地濃度地点	0.0001 未満	0.0045
源緑橋	-	0.0001
鍋田（愛知）	-	0.0003
下藤里	0.0001 未満	0.0011

表 8.1.2.2-2(5) 環境大気の予測（1 時間値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	作業機械からの寄与濃度 (ppm)
最大着地濃度地点	0.0042	0.1750
源緑橋	-	0.0557
鍋田（愛知）	-	0.1155
下藤里	0.0042	0.0952

(1) 作業機械等の稼働に伴い発生する粉じん等

1) 作業機械等の発生源条件

降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数

作業機械等の稼働に伴い発生する粉じん等が最大となる時期として、ストックヤードにおいて建設発生土の搬出入作業を6箇所で行なう場合を設定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に記載しているユニットの中から、建設発生土の搬出入作業の作業機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。作業機械に係るユニットの数量、降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数を表8.1.2.2-3(1)に示した。

搬出入車両の降下ばいじん量及び距離減衰を表す係数も同様に、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に基づき設定し、表8.1.2.2-3(2)に示した。なお、予測には現場内運搬(散水なし)での係数を用いた。

表 8.1.2.2-3(1) 作業機械等に係るユニットの数量、降下ばいじん量 a 及び距離減衰を表す係数 b

作業種類	設定ユニット	数量	a	b
ストックヤードにおける建設発生土搬出入	土砂掘削	6	1,500	1.7

出典)「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)

注) ユニットの想定建設機械については、バックホー1台とダンプ1台とする。

表 8.1.2.2-3(2) 搬出入車両1台当たりの降下ばいじん量 a 及び距離減衰を表す係数 b

分類	a	b
現場内運搬(散水なし)	73	2.3
現場内運搬(散水あり)	23	
現場内運搬(舗装路)	7.5	

出典)「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)

注) 係数 a は、作業用道路延長 L = 300m として求められた値。

稼働条件

ストックヤードにおける建設発生土搬出入作業の月作業日数は20日、作業時間帯は8時から17時、稼働時間は1日6時間とした。なお、稼働時間については、「建設機械等損量算定表(平成16年度版)」((社)日本建設機械化協会)を参考にした。

発生源の位置

ストックヤード区域にユニットを配置し、発生源とする。ユニットの設定位置を先の図8.1.2.2-1(1)に示した。地盤の高さについては、工事中と同じとした。

(1) 沿道大気

1) 車両の排出源条件

大気汚染物質排出量

発生車両に係る予測に用いる車種別排出係数は、先の「資料 8.1.2.1-8 a 車両の排出源条件等」と同様に算出した。予測年度は、工事着手を平成 17 年度と仮定した時の供用開始年度の平成 24 年度とした。表 8.1.2.2-4(1)に予測に用いた排出係数を示す。

表 8.1.2.2-4(1) 予測年の車種別排出係数

車種	速度(km/h)	窒素酸化物 (g/km・台)	浮遊粒子状物質 (g/km・台)
小型車類	40	0.0842	0.0068
	60	0.0625	0.0052
	100	0.1232	0.0083
大型車類	40	1.4266	0.1038
	60	1.1534	0.0792
	80	1.4749	0.0812

車両の走行条件

・一般車両の交通量

一般車両の交通量は、現況と変わらないものとして現地調査結果の交通量を用いた。表 8.1.2.2-4(3)～8.1.2.2-4(4)に予測に用いた交通量を示す。現地調査を行っていない地点三崎 については、周辺道路及び交通の流れの状況から地点源緑輪中と同じとした。走行速度は各予測地点における規制速度とした。

・発生車両の交通量

発生車両の交通量が最大となる時期とした。事業計画によると、供用時における事業実施区域への来車台数は、大型車（ストックヤードの搬出入車両）が 150 台/日（片道）、小型車が 2,500 台/日（片道）である。時間帯別の車両台数の設定を表 8.1.2.2-4(5)に示した。走行速度は各予測地点における規制速度とした。

表 8.1.2.2-4(2) 各予測地点に対応する交通量調査地点と規制速度

予測地点	対応する交通量調査地点	規制速度
下藤里	下藤里	40 km/h
源緑輪中	源緑輪中	40 km/h
三崎	鍋田川	40 km/h
三崎	源緑輪中	40 km/h

三崎 の交通量は、交通の流れの状況等により、源緑輪中を用いた。

表 8.1.2.2-4(3) 沿道大気の予測に用いた交通量（供用時、平日）

下藤里（供用時、平日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	51	1	0	0	51	1	
7時	86	7	0	0	86	7	
8時	36	22	0	25	36	47	
9時	24	19	420	25	444	44	
10時	26	10	420	50	446	60	
11時	29	15	835	50	864	65	
12時	26	7	835	0	861	7	
13時	26	17	830	50	856	67	
14時	17	10	830	50	847	60	
15時	33	13	415	25	448	38	
16時	41	9	415	25	456	34	
17時	76	15	0	0	76	15	
18時	41	2	0	0	41	2	
19時	48	6	0	0	48	6	
20時	27	0	0	0	27	0	
21時	17	1	0	0	17	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

源緑輪中（供用時、平日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	16	1	0	0	16	1	
7時	68	2	0	0	68	2	
8時	60	11	0	25	60	36	
9時	38	13	420	25	458	38	
10時	52	20	420	50	472	70	
11時	47	7	835	50	882	57	
12時	64	11	835	0	899	11	
13時	54	11	830	50	884	61	
14時	65	5	830	50	895	55	
15時	76	12	415	25	491	37	
16時	60	21	415	25	475	46	
17時	99	10	0	0	99	10	
18時	48	9	0	0	48	9	
19時	74	4	0	0	74	4	
20時	25	4	0	0	25	4	
21時	16	1	0	0	16	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（供用時、平日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	270	23	0	0	270	23	
7時	544	25	0	0	544	25	
8時	337	36	0	25	337	61	
9時	137	39	420	25	557	64	
10時	97	44	420	50	517	94	
11時	109	34	835	50	944	84	
12時	141	28	835	0	976	28	
13時	131	43	830	50	961	93	
14時	101	46	830	50	931	96	
15時	161	44	415	25	576	69	
16時	203	51	415	25	618	76	
17時	362	30	0	0	362	30	
18時	241	26	0	0	241	26	
19時	196	13	0	0	196	13	
20時	118	3	0	0	118	3	
21時	69	4	0	0	69	4	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（供用時、平日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	16	1	0	0	16	1	
7時	68	2	0	0	68	2	
8時	60	11	0	25	60	36	
9時	38	13	420	25	458	38	
10時	52	20	420	50	472	70	
11時	47	7	835	50	882	57	
12時	64	11	835	0	899	11	
13時	54	11	830	50	884	61	
14時	65	5	830	50	895	55	
15時	76	12	415	25	491	37	
16時	60	21	415	25	475	46	
17時	99	10	0	0	99	10	
18時	48	9	0	0	48	9	
19時	74	4	0	0	74	4	
20時	25	4	0	0	25	4	
21時	16	1	0	0	16	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

表 8.1.2.2-4(4) 沿道大気の予測に用いた交通量（供用時、休日）

下藤里（供用時、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	15	0	0	0	15	0	
7時	22	1	0	0	22	1	
8時	30	3	0	0	30	3	
9時	30	1	420	0	450	1	
10時	54	1	420	0	474	1	
11時	47	2	835	0	882	2	
12時	26	1	835	0	861	1	
13時	46	0	830	0	876	0	
14時	49	0	830	0	879	0	
15時	33	3	415	0	448	3	
16時	35	0	415	0	450	0	
17時	29	0	0	0	29	0	
18時	23	0	0	0	23	0	
19時	22	0	0	0	22	0	
20時	16	0	0	0	16	0	
21時	19	1	0	0	19	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

源緑輪中（供用時、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	9	1	0	0	9	1	
7時	23	2	0	0	23	2	
8時	60	4	0	0	60	4	
9時	72	10	420	0	492	10	
10時	77	4	420	0	497	4	
11時	63	6	835	0	898	6	
12時	71	1	835	0	906	1	
13時	81	0	830	0	911	0	
14時	97	3	830	0	927	3	
15時	105	2	415	0	520	2	
16時	88	1	415	0	503	1	
17時	81	6	0	0	81	6	
18時	62	2	0	0	62	2	
19時	45	0	0	0	45	0	
20時	11	1	0	0	11	1	
21時	17	3	0	0	17	3	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（供用時、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	42	2	0	0	42	2	
7時	100	5	0	0	100	5	
8時	121	5	0	0	121	5	
9時	129	1	420	0	549	1	
10時	137	8	420	0	557	8	
11時	121	8	835	0	956	8	
12時	150	4	835	0	985	4	
13時	151	3	830	0	981	3	
14時	173	9	830	0	1003	9	
15時	182	5	415	0	597	5	
16時	167	11	415	0	582	11	
17時	180	8	0	0	180	8	
18時	131	3	0	0	131	3	
19時	69	3	0	0	69	3	
20時	64	0	0	0	64	0	
21時	50	1	0	0	50	1	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

三崎（供用時、休日） 単位：台/時

	一般車両		発生車両		合計		速度
	小型	大型	小型	大型	小型	大型	
0時	0	0	0	0	0	0	40 km/h
1時	0	0	0	0	0	0	
2時	0	0	0	0	0	0	
3時	0	0	0	0	0	0	
4時	0	0	0	0	0	0	
5時	0	0	0	0	0	0	
6時	9	1	0	0	9	1	
7時	23	2	0	0	23	2	
8時	60	4	0	0	60	4	
9時	72	10	420	0	492	10	
10時	77	4	420	0	497	4	
11時	63	6	835	0	898	6	
12時	71	1	835	0	906	1	
13時	81	0	830	0	911	0	
14時	97	3	830	0	927	3	
15時	105	2	415	0	520	2	
16時	88	1	415	0	503	1	
17時	81	6	0	0	81	6	
18時	62	2	0	0	62	2	
19時	45	0	0	0	45	0	
20時	11	1	0	0	11	1	
21時	17	3	0	0	17	3	
22時	0	0	0	0	0	0	
23時	0	0	0	0	0	0	

表中の数字は往復の台数を示す。

表 8.1.2.2-4(5) 時間帯別の車両台数の設定

時間帯	小型車		大型車（ストックヤードの搬出入車両）	
	入車(台)	出車(台)	入車(台)	出車(台)
8:00	-	-	25	-
9:00	420	-	25	-
10:00	420	-	25	25
11:00	415	420	25	25
12:00	415	420	-	-
13:00	415	415	25	25
14:00	415	415	25	25
15:00	-	415	-	25
16:00	-	415	-	25
合計	2,500	2,500	150	150

排出源及び予測地点の位置

先の「資料 8.1.2.1-8 a 車両の排出源条件等」と同様とした。

バックグラウンド濃度

先の「資料 8.1.2.1-8 a 車両の排出源条件等」と同様とした。なお、二酸化窒素の予測の過程で用いた窒素酸化物の値は以下に示す。

表 8.1.2.2-4(6) 沿道大気予測（年平均値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
下藤里	0.0001 未満	0.0001
源緑輪中	0.0001	0.0003
三崎	-	0.0001
三崎	0.0001	0.0002

表 8.1.2.2-4(7) 沿道大気予測（1時間値）に係る窒素酸化物の値

予測地点	一般車両からの寄与濃度 (ppm)	工事機械からの寄与濃度 (ppm)
下藤里	0.0008	0.0034
源緑輪中	0.0013	0.0056
三崎	-	0.0046
三崎	0.0014	0.0059

(1) 1時間値

気象条件は、「資料 8.1.2.1-11 環境大気 1時間値の予測結果」と同様に、風向は SSW (南南西)、風速は 1m/s、大気安定度は D の時について結果をまとめた。

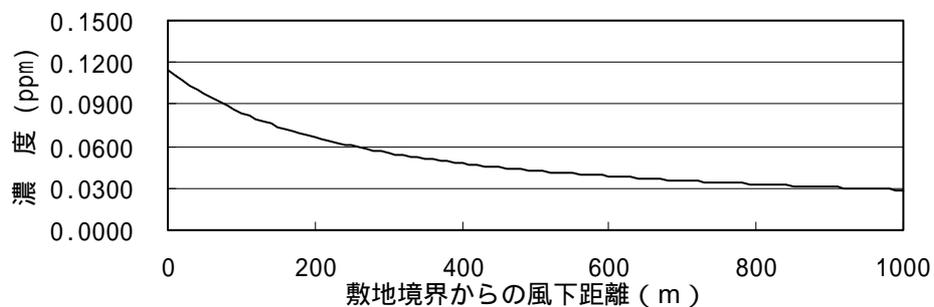


図 8.1.2.2-5(1) 1時間値の予測結果(二酸化窒素)

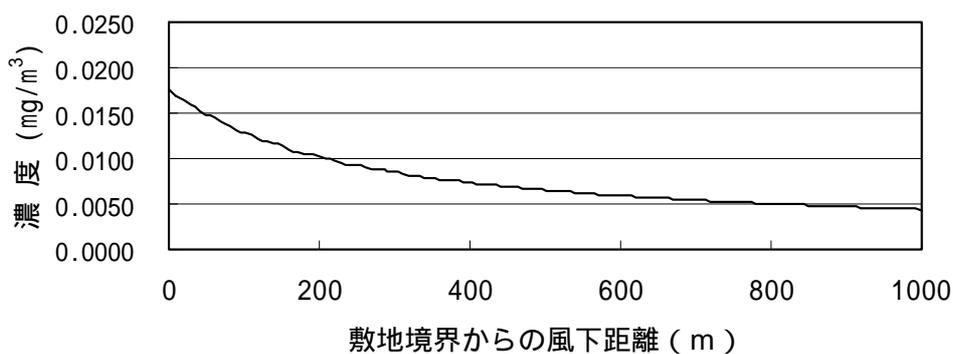


図 8.1.2.2-5(2) 1時間値の予測結果(浮遊粒子状物質)

(1) 作業機械等の稼働に伴い発生する粉じん等

予測は、「資料 8.1.2.1-5 排出源条件等 d 工事機械の稼働及び土地の造成等に伴い発生する粉じん等」と同様に行った。

最大寄与量の出現場所である敷地境界における季節別月間降下ばいじん量の予測結果は、表 8.1.2.2-6(1)に示すとおりである。これによると、秋季に最大となり、2.054t/km²/月と予測された。このときの敷地境界から風下 1km までの寄与量を図 8.1.2.2-6(1)に示した。

表 8.1.2.2-6(1) 降下ばいじんの予測結果 (最大寄与量)

季節	最大寄与量 (t/km ² /月)	バックグラウンド 降下ばいじん総量 (t/km ² /月)
春	1.202 (SSW)	2.66
夏	1.533 (S)	2.79
秋	2.054 (N)	2.49
冬	1.450 (NNE)	2.11

注) 1.バックグラウンド降下ばいじん総量は、環境大気の現地調査を行った干拓地内ストックヤード予定地付近木曾岬干拓地における各季の調査結果とした。

2.表中の()内は、最も寄与量が高くなった風向を示し、表中の数値はその風向時の敷地境界における予測値である。

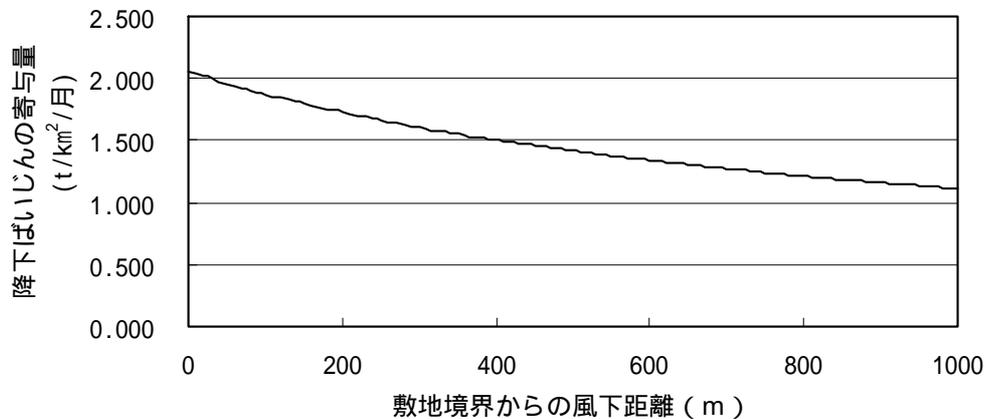


図 8.1.2.2-6(1) 降下ばいじんの予測結果 (秋季)

2 騒音

2.1 調査結果の概要

資料 8.2.1.1-1 環境騒音の現地調査結果

[本編 p166 対応]

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.2.1.1-1(1) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	49	54	69	51	55
	7~8	51	56	77		
	8~9	50	56	68		
	9~10	57	63	75		
	10~11	51	55	77		
	11~12	52	56	79		
	12~13	50	54	71		
	13~14	55	58	78		
	14~15	51	54	74		
	15~16	49	54	70		
	16~17	51	56	73		
	17~18	50	55	69		
	18~19	46	52	65		
	19~20	48	54	73		
20~21	46	51	68			
21~22	45	49	65			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 9 日（土）

表 8.2.1.1-1(2) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	51	55	78	52	54
	7~8	52	57	80		
	8~9	50	55	67		
	9~10	57	61	78		
	10~11	60	62	86		
	11~12	50	55	70		
	12~13	49	53	78		
	13~14	50	54	73		
	14~15	53	57	75		
	15~16	50	53	72		
	16~17	51	56	77		
	17~18	49	55	76		
	18~19	45	52	74		
	19~20	45	49	68		
20~21	45	50	66			
21~22	41	44	59			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里
 調査年月日：平成14年11月10日（日）

表 8.2.1.1-1(3) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	47	50	66	49	53
	7~8	48	52	69		
	8~9	50	53	74		
	9~10	49	54	75		
	10~11	49	53	71		
	11~12	47	52	70		
	12~13	54	56	72		
	13~14	51	55	72		
	14~15	50	53	76		
	15~16	52	56	77		
	16~17	51	55	77		
	17~18	47	51	71		
	18~19	46	50	65		
	19~20	48	51	75		
20~21	47	52	63			
21~22	45	49	64			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里
 調査年月日：平成14年11月6日（水）

表 8.2.1.1-1(4) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	51	53	75	55	56
	7~8	55	57	81		
	8~9	53	55	77		
	9~10	57	63	77		
	10~11	56	57	87		
	11~12	54	58	82		
	12~13	56	57	85		
	13~14	58	59	84		
	14~15	56	56	87		
	15~16	53	56	84		
	16~17	54	57	79		
	17~18	56	57	80		
	18~19	56	56	84		
	19~20	52	54	83		
20~21	48	50	67			
21~22	50	51	79			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里
 調査年月日：平成 14 年 11 月 9 日（土）

表 8.2.1.1-1(5) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	51	54	74	55	55
	7~8	56	58	82		
	8~9	53	56	81		
	9~10	56	60	84		
	10~11	60	62	85		
	11~12	55	58	80		
	12~13	55	57	82		
	13~14	58	57	87		
	14~15	54	57	84		
	15~16	54	55	83		
	16~17	55	58	79		
	17~18	52	53	80		
	18~19	48	51	77		
	19~20	46	49	68		
20~21	48	51	78			
21~22	47	47	77			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里
 調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.2.1.1-1(6) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	50	52	72	52	53
	7~8	50	53	75		
	8~9	50	53	76		
	9~10	53	56	79		
	10~11	51	55	72		
	11~12	51	54	78		
	12~13	50	52	77		
	13~14	50	53	76		
	14~15	52	53	81		
	15~16	55	59	84		
	16~17	55	58	81		
	17~18	52	51	80		
	18~19	48	49	77		
	19~20	55	52	87		
20~21	48	52	69			
21~22	47	48	72			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田
 調査年月日：平成14年11月6日（水）

表 8.2.1.1-1(7) 現地調査結果（鍋田 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	53	57	77	54	57
	7~8	56	60	77		
	8~9	54	58	81		
	9~10	56	61	77		
	10~11	52	57	76		
	11~12	52	57	76		
	12~13	53	56	79		
	13~14	56	59	80		
	14~15	57	59	85		
	15~16	55	58	87		
	16~17	55	60	84		
	17~18	55	58	80		
	18~19	57	59	83		
	19~20	53	57	79		
20~21	47	52	70			
21~22	48	51	70			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田
 調査年月日：平成14年11月10日（日）

表 8.2.1.1-1(8) 現地調査結果（鍋田 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	46	50	62	49	53
	7~8	49	54	72		
	8~9	51	55	76		
	9~10	51	54	76		
	10~11	50	54	72		
	11~12	49	53	74		
	12~13	51	53	79		
	13~14	48	52	75		
	14~15	48	53	69		
	15~16	51	55	73		
	16~17	50	54	73		
	17~18	49	53	72		
	18~19	49	51	74		
	19~20	47	51	70		
20~21	48	51	75			
21~22	47	49	68			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：曙
 調査年月日：平成14年11月12日（火）

表 8.2.1.1-1(9) 現地調査結果（曙 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	7～8	46	49	61	47	50
	8～9	45	49	68		
	9～10	45	49	64		
	10～11	48	52	74		
	11～12	49	51	71		
	12～13	47	50	65		
	13～14	46	50	67		
	14～15	45	49	63		
	15～16	51	54	79		
	16～17	47	50	73		
	17～18	48	51	75		
18～19	47	51	73			

注1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

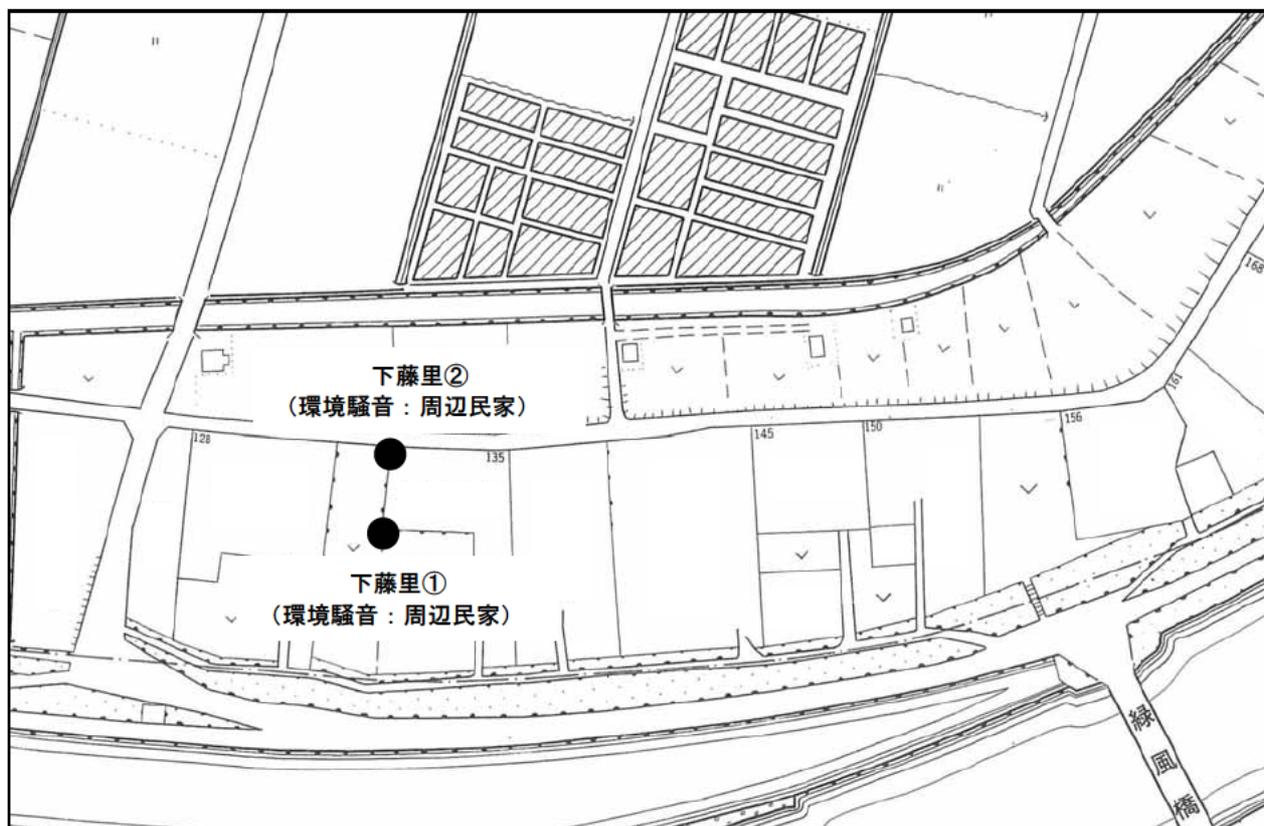


図 8.2.1.1-1(1) 下藤里詳細調査地点



図 8.2.1.1-1(2) 鍋田詳細調査地点

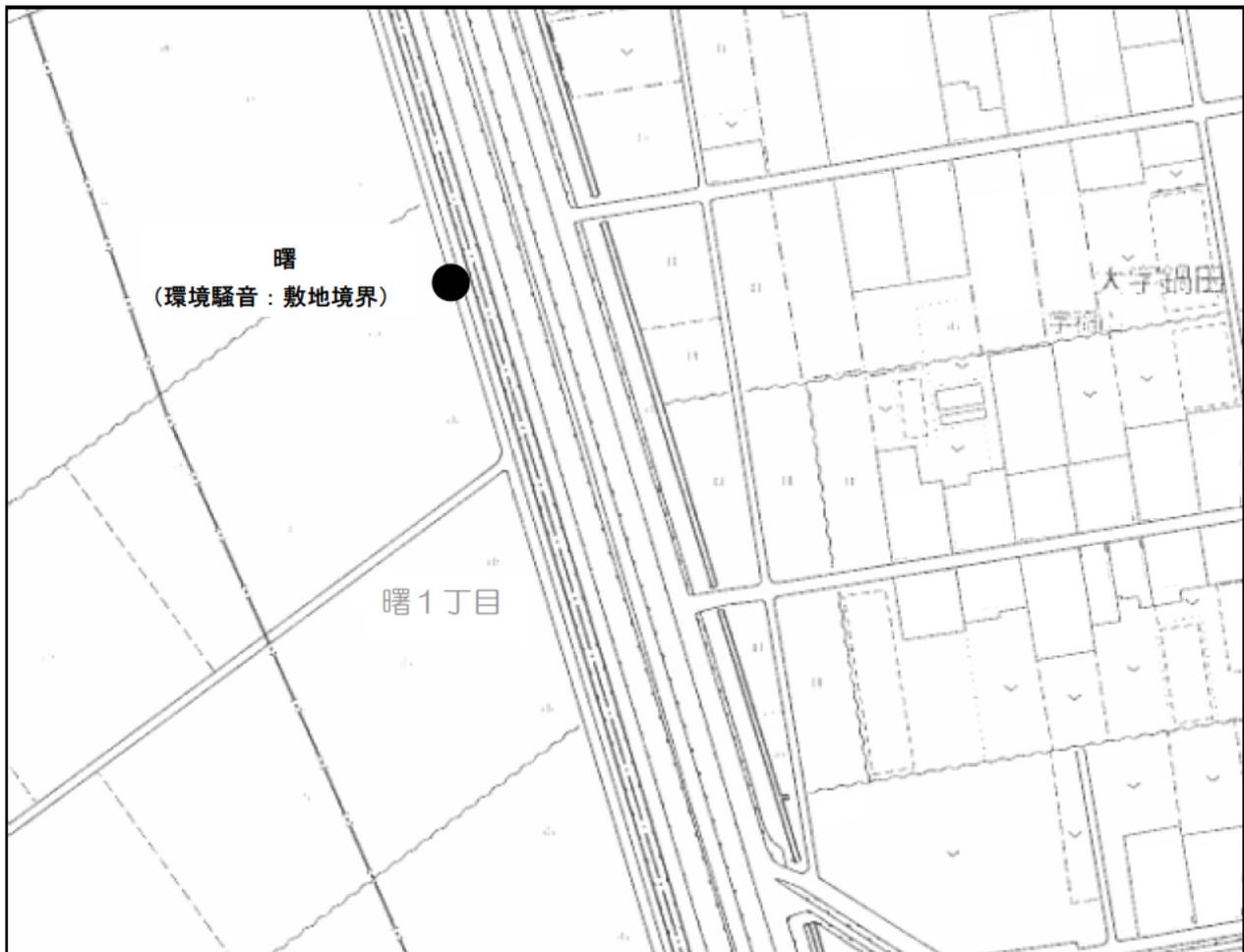


図 8.2.1.1-1(3) 曙詳細調査地点

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.2.1.2-1(1) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	50	55	73	54	56
	7~8	53	58	77		
	8~9	52	58	72		
	9~10	64	64	75		
	10~11	52	55	73		
	11~12	52	58	72		
	12~13	49	55	71		
	13~14	56	59	81		
	14~15	52	54	75		
	15~16	51	55	74		
	16~17	53	57	77		
	17~18	52	57	75		
	18~19	48	54	74		
	19~20	49	56	69		
20~21	48	53	68			
21~22	45	49	67			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.2.1.2-1(2) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	46	49	62	48	52
	7~8	48	52	75		
	8~9	48	52	70		
	9~10	47	53	67		
	10~11	50	54	76		
	11~12	47	53	67		
	12~13	53	56	77		
	13~14	48	54	67		
	14~15	49	52	76		
	15~16	50	55	77		
	16~17	48	53	69		
	17~18	45	50	64		
	18~19	45	49	63		
	19~20	45	51	67		
20~21	47	52	64			
21~22	44	49	61			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田川
 調査年月日：平成14年11月6日（水）

表 8.2.1.2-1(3) 現地調査結果（鍋田川 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	66	71	86	66	71
	7~8	71	74	99		
	8~9	66	73	86		
	9~10	66	71	94		
	10~11	65	70	90		
	11~12	64	70	90		
	12~13	63	70	85		
	13~14	64	70	87		
	14~15	65	70	94		
	15~16	65	71	88		
	16~17	66	72	87		
	17~18	67	73	91		
	18~19	66	73	85		
	19~20	64	71	86		
20~21	61	68	81			
21~22	60	66	83			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田川
 調査年月日：平成14年11月10日（日）

表 8.2.1.2-1(4) 現地調査結果（鍋田川 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	59	63	79	62	68
	7~8	63	68	85		
	8~9	62	69	81		
	9~10	61	67	81		
	10~11	61	69	82		
	11~12	61	69	89		
	12~13	62	68	87		
	13~14	62	68	92		
	14~15	63	69	85		
	15~16	62	68	82		
	16~17	64	70	93		
	17~18	63	70	84		
	18~19	62	68	81		
	19~20	60	65	80		
20~21	60	65	83			
21~22	58	63	81			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：源緑輪中
 調査年月日：平成 15 年 11 月 27 日（木）

表 8.2.1.2-1(5) 現地調査結果（源緑輪中 平日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6～7	57	57	86	62	65
	7～8	62	66	87		
	8～9	62	67	86		
	9～10	62	65	90		
	10～11	64	70	87		
	11～12	61	65	86		
	12～13	64	68	91		
	13～14	61	65	86		
	14～15	61	66	85		
	15～16	63	68	89		
	16～17	64	68	90		
	17～18	65	70	90		
	18～19	61	65	89		
	19～20	62	65	86		
20～21	59	60	86			
21～22	59	57	90			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：源緑輪中
 調査年月日：平成 15 年 12 月 7 日（日）

表 8.2.1.2-1(6) 現地調査結果（源緑輪中 休日）

時間帯	観測時間	等価騒音レベル (dB)	時間率騒音レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6～7	55	57	82	61	64
	7～8	60	60	88		
	8～9	61	64	86		
	9～10	62	67	86		
	10～11	61	66	87		
	11～12	61	65	86		
	12～13	62	67	86		
	13～14	60	66	81		
	14～15	63	69	86		
	15～16	62	69	83		
	16～17	61	67	87		
	17～18	63	67	94		
	18～19	61	65	83		
	19～20	60	63	83		
20～21	56	57	85			
21～22	57	58	81			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。
 注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

調査地点：県道 103 号(愛知)
 調査年月日：平成 16 年 8 月 25 日(水)

表 8.2.1.2-1(7) 現地調査結果(県道 103 号(愛知) 平日)

時間帯	観測 時間	等価騒音 レベル (dB)	時間率騒音 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L_{Aeq}	L_{A5}	L_{Amax}	L_{Aeq}	L_{A5}
昼間	6~7	64	70	86	65	69
	7~8	68	73	92		
	8~9	64	69	90		
	9~10	66	71	87		
	10~11	66	71	89		
	11~12	66	71	89		
	12~13	65	70	87		
	13~14	65	71	84		
	14~15	64	70	84		
	15~16	66	72	88		
	16~17	66	70	88		
	17~18	64	69	87		
	18~19	63	67	87		
	19~20	61	65	83		
	20~21	59	64	80		
21~22	60	63	89			

注)1 L_{Aeq} の基準時間帯平均騒音レベルは、エネルギー平均により求めた。

注)2 L_5 の基準時間帯平均騒音レベルは算術平均により求めた。

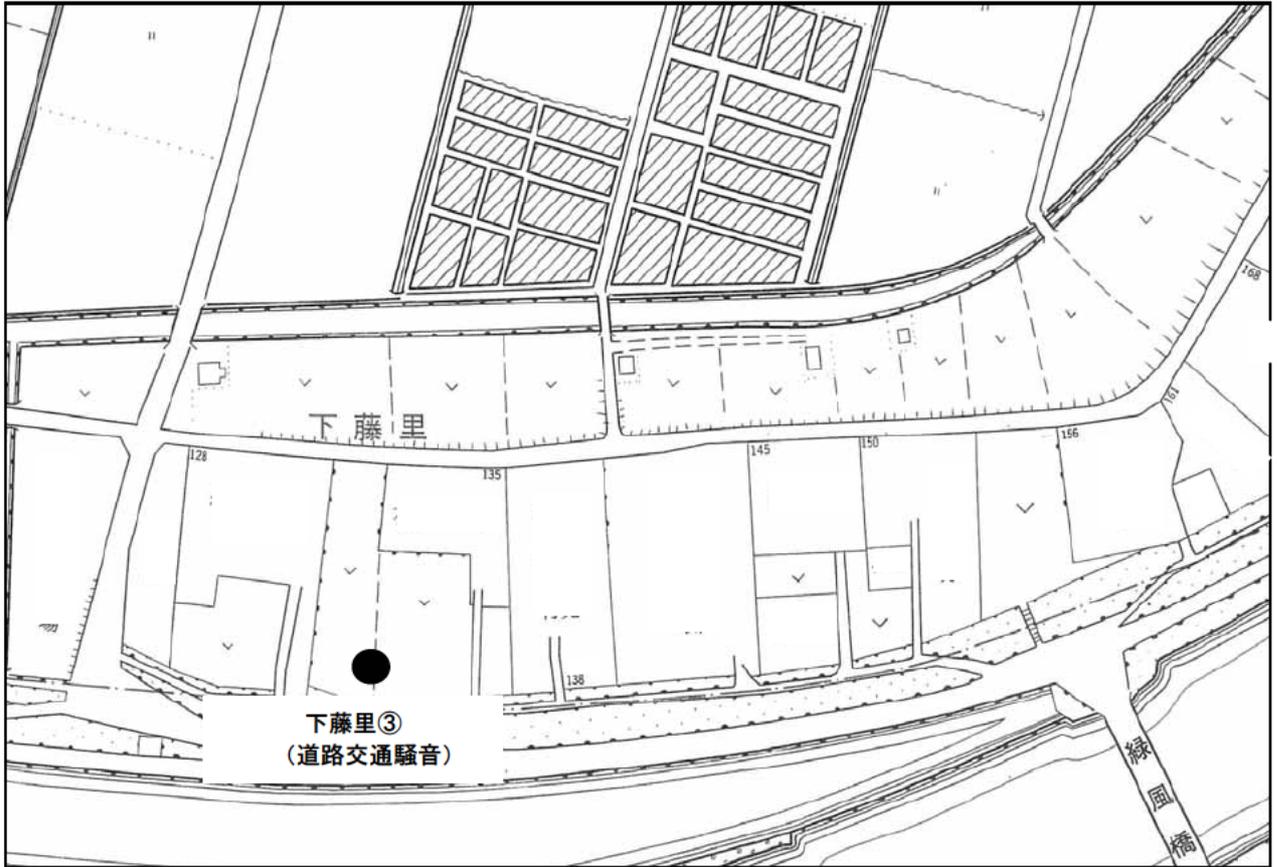


図 8.2.1.2-1(1) 下藤里詳細調査地点

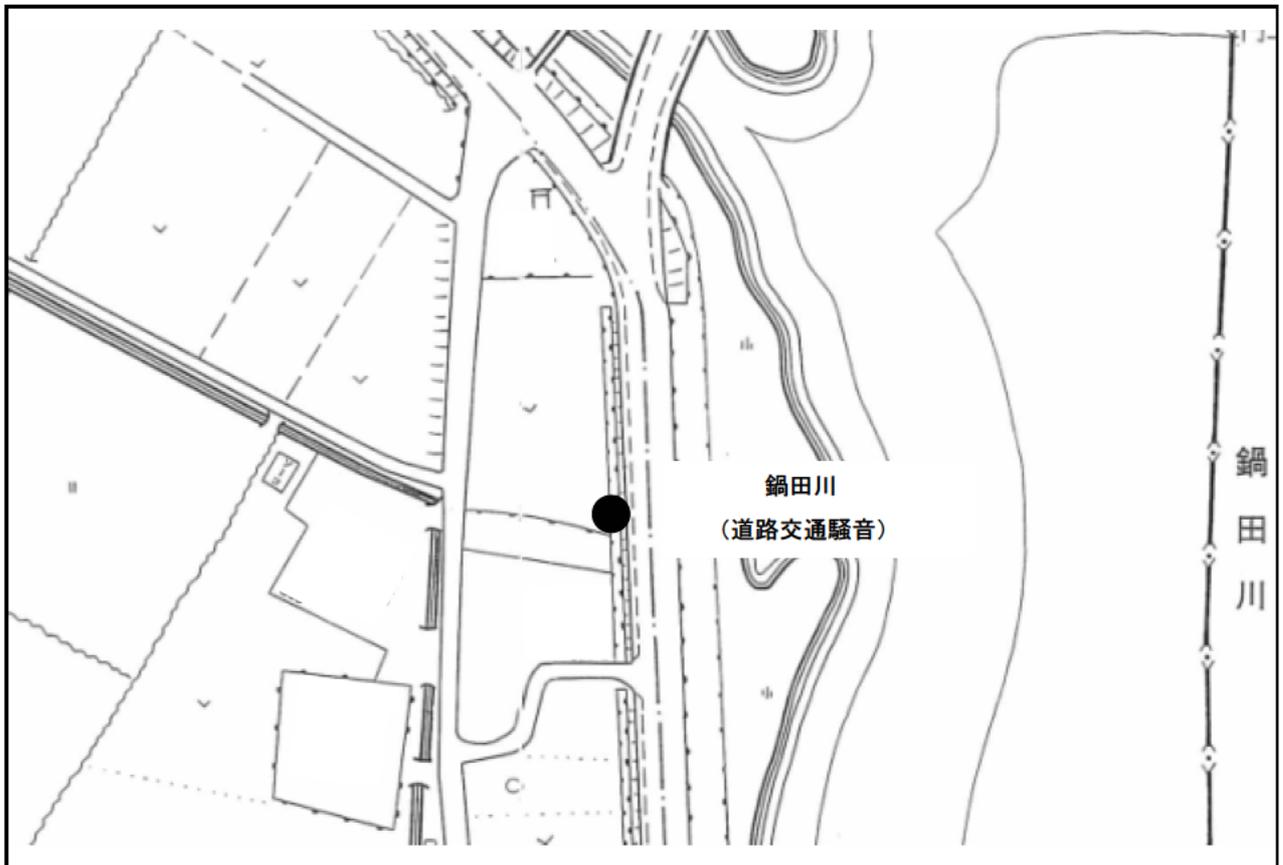


図 8.2.1.2-1(2) 鍋田川詳細調査地点

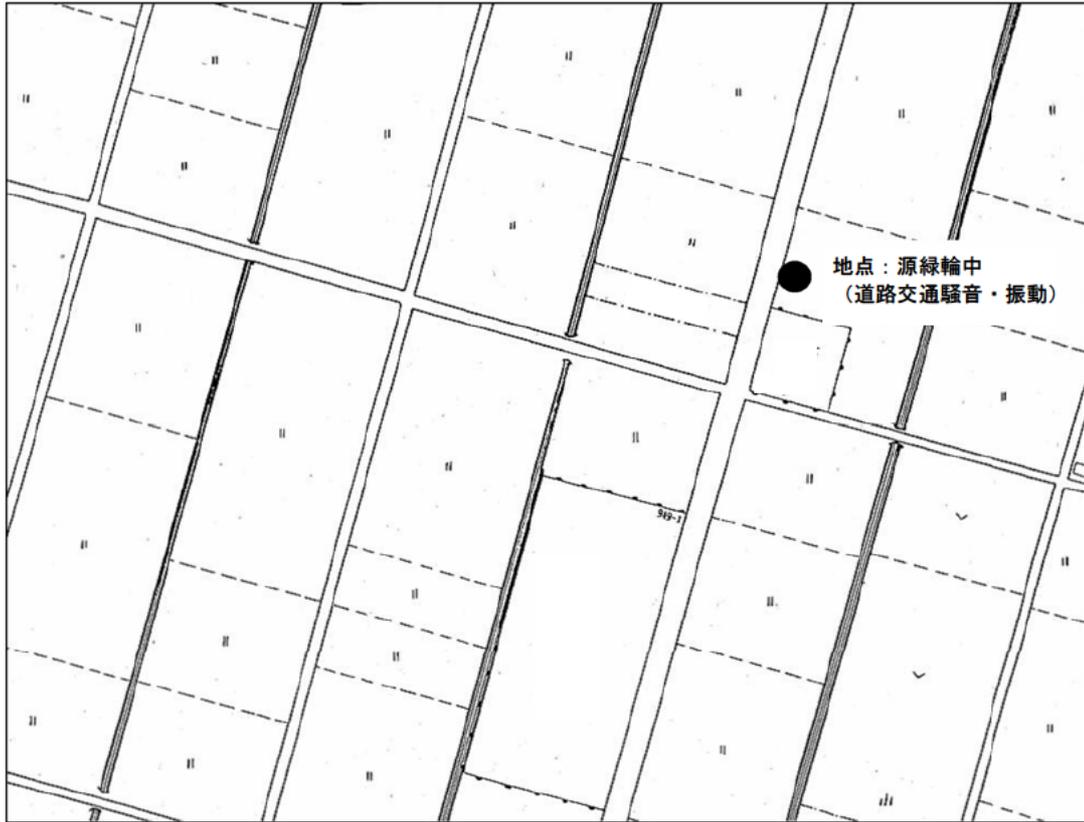


図 8. 2. 1. 2-1 (3) 源緑輪中詳細調査地点



図 8. 2. 1. 2-1 (4) 県道 103 号(愛知)詳細調査

調査地点：下藤里

調査年月日：調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.2.1.2-2(1) 現地調査結果（下藤里 平日）

観測時間	平日 (H14.11.6)																	
	西方向					東方向					断面							
	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車		
6:00	0	9	9	0	0.0	47	1	42	43	0	2.3	71	1	51	52	0	1.9	59
7:00	3	17	20	0	15.0	62	4	69	73	3	5.5	71	7	86	93	3	7.5	66
8:00	6	15	21	0	28.6	72	16	21	37	0	43.2	67	22	36	58	0	37.9	69
9:00	3	13	16	0	18.8	57	16	11	27	0	59.3	57	19	24	43	0	44.2	57
10:00	7	14	21	0	33.3	56	3	12	15	0	20.0	52	10	26	36	0	27.8	54
11:00	4	14	18	0	22.2	50	11	15	26	1	42.3	55	15	29	44	1	34.1	52
12:00	3	13	16	0	18.8	56	4	13	17	0	23.5	52	7	26	33	0	21.2	54
13:00	9	17	26	0	34.6	53	8	9	17	1	47.1	58	17	26	43	1	39.5	56
14:00	1	7	8	0	12.5	56	9	10	19	0	47.4	53	10	17	27	0	37.0	55
15:00	4	16	20	0	20.0	57	9	17	26	2	34.6	52	13	33	46	2	28.3	54
16:00	0	28	28	0	0.0	59	9	13	22	0	40.9	54	9	41	50	0	18.0	57
17:00	6	63	69	1	8.7	70	9	13	22	0	40.9	55	15	76	91	1	16.5	62
18:00	1	32	33	1	3.0	62	1	9	10	0	10.0	61	2	41	43	1	4.7	61
19:00	3	37	40	1	7.5	71	3	11	14	0	21.4	64	6	48	54	1	11.1	67
20:00	0	20	20	0	0.0	76	0	7	7	0	0.0	71	0	27	27	0	0.0	74
21:00	1	10	11	0	9.1	68	0	7	7	0	0.0	67	1	17	18	0	5.6	67
合計	51	325	376	3	13.6	61	103	279	382	7	27.0	60	154	604	758	10	20.3	60

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：下藤里

調査年月日：調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.2.1.2-2(2) 現地調査結果（下藤里 休日）

観測時間	休日 (H14.11.10)																	
	西方向					東方向					断面							
	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車		
6:00	0	4	4	0	0.0	43	0	11	11	0	0.0	65	0	15	15	0	0.0	54
7:00	0	8	8	0	0.0	56	1	14	15	0	6.7	66	1	22	23	0	4.3	61
8:00	2	12	14	2	14.3	54	1	18	19	0	5.3	55	3	30	33	2	9.1	55
9:00	0	16	16	2	0.0	57	1	14	15	0	6.7	51	1	30	31	2	3.2	54
10:00	0	30	30	0	0.0	57	1	24	25	0	4.0	60	1	54	55	0	1.8	58
11:00	2	23	25	0	8.0	47	0	24	24	0	0.0	49	2	47	49	0	4.1	48
12:00	0	14	14	0	0.0	53	1	12	13	0	7.7	55	1	26	27	0	3.7	54
13:00	0	26	26	2	0.0	54	0	20	20	2	0.0	54	0	46	46	4	0.0	54
14:00	0	33	33	2	0.0	40	0	16	16	3	0.0	50	0	49	49	5	0.0	45
15:00	1	16	17	2	5.9	50	2	17	19	1	10.5	50	3	33	36	3	8.3	50
16:00	0	17	17	2	0.0	52	0	18	18	1	0.0	54	0	35	35	3	0.0	53
17:00	0	17	17	0	0.0	58	0	12	12	0	0.0	52	0	29	29	0	0.0	55
18:00	0	10	10	0	0.0	65	0	13	13	0	0.0	58	0	23	23	0	0.0	62
19:00	0	9	9	0	0.0	57	0	13	13	0	0.0	57	0	22	22	0	0.0	57
20:00	0	9	9	0	0.0	61	0	7	7	0	0.0	56	0	16	16	0	0.0	59
21:00	0	9	9	0	0.0	55	1	10	11	0	9.1	47	1	19	20	0	5.0	51
合計	5	253	258	12	1.9	54	8	243	251	7	3.2	55	13	496	509	19	2.6	54

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：鍋田川
 調査年月日：調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.2.1.2-2(3) 現地調査結果（鍋田川 平日）

観測時間	平日 (H14.11.6)																	
	北方向						南方向						断面					
	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車		
6:00	13	41	54	0	24.1	59	10	229	239	1	4.2	56	23	270	293	1	7.8	58
7:00	12	88	100	6	12.0	57	13	456	469	4	2.8	54	25	544	569	10	4.4	55
8:00	25	167	192	4	13.0	60	11	170	181	0	6.1	63	36	337	373	4	9.7	62
9:00	24	72	96	1	25.0	52	15	65	80	1	18.8	55	39	137	176	2	22.2	53
10:00	24	58	82	2	29.3	54	20	39	59	2	33.9	55	44	97	141	4	31.2	54
11:00	27	57	84	2	32.1	54	7	52	59	2	11.9	49	34	109	143	4	23.8	51
12:00	12	73	85	0	14.1	55	16	68	84	2	19.0	45	28	141	169	2	16.6	50
13:00	22	62	84	1	26.2	55	21	69	90	0	23.3	48	43	131	174	1	24.7	51
14:00	29	52	81	1	35.8	52	17	49	66	1	25.8	48	46	101	147	2	31.3	50
15:00	31	93	124	1	25.0	60	13	68	81	1	16.0	47	44	161	205	2	21.5	54
16:00	32	119	151	1	21.2	59	19	84	103	2	18.4	49	51	203	254	3	20.1	54
17:00	18	260	278	1	6.5	60	12	102	114	1	10.5	50	30	362	392	2	7.7	55
18:00	12	154	166	0	7.2	64	14	87	101	2	13.9	53	26	241	267	2	9.7	59
19:00	8	127	135	0	5.9	56	5	69	74	0	6.8	49	13	196	209	0	6.2	52
20:00	2	70	72	1	2.8	59	1	48	49	1	2.0	54	3	118	121	2	2.5	56
21:00	3	35	38	0	7.9	60	1	34	35	2	2.9	53	4	69	73	2	5.5	57
合計	294	1528	1822	21	16.1	57	195	1689	1884	22	10.4	52	489	3217	3706	43	13.2	55

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：鍋田川
 調査年月日：調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.2.1.2-2(4) 現地調査結果（鍋田川 休日）

観測時間	平日 (H14.11.6)																	
	北方向						南方向						断面					
	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)	交通量(台/時)				大型車混入率(%)	車速(km/h)
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車		
6:00	2	13	15	0	13.3	66	0	29	29	1	0.0	48	2	42	44	1	4.5	57
7:00	2	41	43	1	4.7	57	3	59	62	0	4.8	55	5	100	105	1	4.8	56
8:00	3	61	64	0	4.7	59	2	60	62	2	3.2	52	5	121	126	2	4.0	55
9:00	0	59	59	2	0.0	62	1	70	71	1	1.4	49	1	129	130	3	0.8	55
10:00	4	60	64	1	6.3	62	4	77	81	0	4.9	46	8	137	145	1	5.5	54
11:00	2	67	69	1	2.9	63	6	54	60	0	10.0	54	8	121	129	1	6.2	58
12:00	2	65	67	0	3.0	64	2	85	87	1	2.3	50	4	150	154	1	2.6	57
13:00	3	75	78	2	3.8	66	0	76	76	1	0.0	50	3	151	154	3	1.9	58
14:00	4	100	104	5	3.8	67	5	73	78	3	6.4	50	9	173	182	8	4.9	58
15:00	3	103	106	0	2.8	59	2	79	81	3	2.5	54	5	182	187	3	2.7	56
16:00	7	86	93	2	7.5	63	4	81	85	0	4.7	46	11	167	178	2	6.2	55
17:00	3	86	89	1	3.4	63	5	94	99	0	5.1	49	8	180	188	1	4.3	56
18:00	2	59	61	1	3.3	61	1	72	73	0	1.4	53	3	131	134	1	2.2	57
19:00	1	27	28	0	3.6	53	2	42	44	0	4.5	52	3	69	72	0	4.2	52
20:00	0	21	21	1	0.0	57	0	43	43	3	0.0	55	0	64	64	4	0.0	56
21:00	0	19	19	0	0.0	58	1	31	32	0	3.1	59	1	50	51	0	2.0	58
合計	38	942	980	17	3.9	61	38	1025	1063	15	3.6	51	76	1967	2043	32	3.7	56

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：源緑輪中
 調査年月日：調査年月日：平成 15 年 11 月 27 日（木）

表 8.2.1.2-2(5) 現地調査結果（源緑輪中 平日）

観測時間	平日 (H.15.11.27)																	
	北方向						南方向						断面					
	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)			大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計			二輪車
6:00	1	8	9	0	11.1	47	0	8	8	0	0.0	42	1	16	17	0	5.9	45
7:00	1	13	14	0	7.1	48	1	55	56	2	1.8	48	2	68	70	2	2.9	48
8:00	7	29	36	2	19.4	47	4	31	35	0	11.4	43	11	60	71	2	15.5	45
9:00	8	18	26	0	30.8	50	5	20	25	1	20.0	42	13	38	51	1	25.5	46
10:00	12	21	33	0	36.4	46	8	31	39	0	20.5	42	20	52	72	0	27.8	44
11:00	4	26	30	1	13.3	49	3	21	24	1	12.5	46	7	47	54	2	13.0	47
12:00	5	34	39	1	12.8	51	6	30	36	2	16.7	50	11	64	75	3	14.7	51
13:00	8	26	34	0	23.5	47	3	28	31	1	9.7	46	11	54	65	1	16.9	47
14:00	2	33	35	1	5.7	53	3	32	35	2	8.6	46	5	65	70	3	7.1	49
15:00	6	44	50	1	12.0	50	6	32	38	0	15.8	47	12	76	88	1	13.6	48
16:00	10	35	45	1	22.2	45	11	25	36	0	30.6	46	21	60	81	1	25.9	45
17:00	1	53	54	2	1.9	58	9	46	55	0	16.4	46	10	99	109	2	9.2	51
18:00	3	32	35	0	8.6	48	6	16	22	0	27.3	47	9	48	57	0	15.8	48
19:00	1	63	64	1	1.6	53	3	11	14	0	21.4	44	4	74	78	1	5.1	48
20:00	2	16	18	0	11.1	46	2	9	11	0	18.2	50	4	25	29	0	13.8	48
21:00	0	8	8	0	0.0	53	1	8	9	0	11.1	54	1	16	17	0	5.9	53
合計	71	459	530	10	13.4	49	71	403	474	9	15.0	46	142	862	1004	19	14.1	48

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：源緑輪中
 調査年月日：調査年月日：平成 15 年 12 月 7 日（日）

表 8.2.1.2-2(6) 現地調査結果（源緑輪中 休日）

観測時間	休日 (H.15.12.7)																	
	北方向						南方向						断面					
	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)			大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計			二輪車
6:00	1	4	5	1	20.0	42	0	5	5	0	0.0	37	1	9	10	1	10.0	39
7:00	1	12	13	0	7.7	49	1	11	12	0	8.3	41	2	23	25	0	8.0	44
8:00	2	29	31	2	6.5	45	2	31	33	0	6.1	44	4	60	64	2	6.3	44
9:00	3	25	28	0	10.7	42	7	47	54	2	13.0	38	10	72	82	2	12.2	40
10:00	2	25	27	0	7.4	43	2	52	54	0	3.7	45	4	77	81	0	4.9	44
11:00	4	22	26	0	15.4	43	2	41	43	1	4.7	44	6	63	69	1	8.7	44
12:00	1	37	38	0	2.6	48	0	34	34	0	0.0	43	1	71	72	0	1.4	46
13:00	0	40	40	0	0.0	46	0	41	41	0	0.0	42	0	81	81	0	0.0	44
14:00	2	59	61	0	3.3	47	1	38	39	0	2.6	47	3	97	100	0	3.0	47
15:00	0	75	75	1	0.0	48	2	30	32	1	6.3	43	2	105	107	2	1.9	45
16:00	1	51	52	1	1.9	40	0	37	37	3	0.0	43	1	88	89	4	1.1	41
17:00	3	50	53	1	5.7	43	3	31	34	1	8.8	43	6	81	87	2	6.9	43
18:00	2	41	43	0	4.7	44	0	21	21	0	0.0	48	2	62	64	0	3.1	46
19:00	0	36	36	0	0.0	46	0	9	9	1	0.0	41	0	45	45	1	0.0	44
20:00	1	9	10	1	10.0	47	0	2	2	0	0.0	41	1	11	12	1	8.3	46
21:00	2	13	15	0	13.3	50	1	4	5	0	20.0	41	3	17	20	0	15.0	47
合計	25	528	553	7	4.5	45	21	434	455	9	4.6	43	46	962	1008	16	4.6	44

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

調査地点：県道103号(愛知)
 調査年月日：調査年月日：平成16年8月25日(水)

表 8.2.1.2-2(7) 現地調査結果(県道103号(愛知) 平日)

観測時間	平日 (H.16.8.25)																	
	東方向						西方向						断面					
	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)	交通量(台/時)				大型車 混入率 (%)	車速 (km/h)
	大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車			大型車	小型車	計	二輪車		
6:00	26	71	97	0	26.8	76	22	23	45	0	48.9	69	48	94	142	0	33.8	72
7:00	50	207	257	0	19.5	75	12	33	45	0	26.7	76	62	240	302	0	20.5	75
8:00	24	76	100	0	24.0	75	17	26	43	0	39.5	71	41	102	143	0	28.7	73
9:00	33	27	60	0	55.0	69	38	25	63	0	60.3	78	71	52	123	0	57.7	73
10:00	50	34	84	0	59.5	69	34	52	86	1	39.5	66	84	86	170	1	49.4	68
11:00	40	26	66	1	60.6	67	65	52	117	0	55.6	77	105	78	183	1	57.4	72
12:00	20	40	60	0	33.3	70	39	26	65	0	60.0	67	59	66	125	0	47.2	69
13:00	46	28	74	0	62.2	63	36	24	60	0	60.0	61	82	52	134	0	61.2	62
14:00	60	36	96	0	62.5	64	45	31	76	0	59.2	70	105	67	172	0	61.0	67
15:00	41	30	71	0	57.7	60	43	37	80	0	53.8	51	84	67	151	0	55.6	55
16:00	37	33	70	0	52.9	59	40	59	99	0	40.4	54	77	92	169	0	45.6	57
17:00	15	27	42	0	35.7	76	47	163	210	0	22.4	59	62	190	252	0	24.6	67
18:00	16	25	41	0	39.0	78	25	84	109	0	22.9	64	41	109	150	0	27.3	71
19:00	8	21	29	0	27.6	63	17	64	81	0	21.0	58	25	85	110	0	22.7	60
20:00	5	16	21	0	23.8	68	9	24	33	0	27.3	64	14	40	54	0	25.9	66
21:00	11	9	20	0	55.0	65	4	24	28	0	14.3	65	15	33	48	0	31.3	65
全時間	482	706	1188	1	40.6	69	493	747	1240	1	39.8	66	975	1453	2428	2	40.2	67

注) 大型車混入率(%)は、二輪車を除いて算出した。

2.2 予測

2.2.1 工事の実施

資料 8.2.2.1-1 建設作業騒音の予測式

[本編 p172 対応]

予測式は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に基づき、次の式を用いた。

ユニットの作業範囲及び施設の位置に点音源を設定し、予測地点における各点音源からの伝搬計算を行い合成 L_{Aeq} を求めた。合成 L_{Aeq} に、 L_5 と L_{Aeq} との差 L を加える方法によって予測した。

なお、地表面効果 L_{gi} による減衰量は、安全側をみて、「0」とした。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \sum_{i=1}^n 10^{L_{Aeqi}/10}$$

$$L_{Aeqi} = L_{wi} - 8 - 20 \log_{10} r_i + L_{gi} + L_{di}$$

$$L_{A5} = L_{Aeq} + L$$

- ここに、
- L_{Aeq} : 予測地点における等価騒音レベル (dB)
 - L_{wi} : 音源 i のパワーレベル (dB)
 - L_{Aeqi} : 音源 i による予測地点における等価騒音レベル (dB)
 - r_i : 音源 i と予測地点の距離 (m)
 - L_{gi} : 地表面効果による補正量 (dB)
 - L_{di} : 回折効果による補正量 (dB)
 - L_{A5} : 予測地点における騒音レベルの 90% レンジの上端値 (dB)
 - L : 等価騒音レベルと L_{A5} との差 (dB)

また、ダンプトラックについてのパワーレベルの算出は以下の式を用い、計画地での作業時間を 0.5 時間とした。

$$L_{wj} = L_j + 10 \log_{10}(l / t)$$

- L_{wj} : ユニットの見かけのパワーレベル (dB)
- L_j : ユニットのエネルギーレベル (dB)
- t : 継続時間

(1) ユニット及びその数量

工事工程に基づき工事機械等の稼働が最大となる時期として、わんぱく原っぱの盛土工事期間中で搬入土砂の量がピークとなる2年次を選定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成11年11月）に記載しているユニットの中から、各工種ごとの工事機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。

本事業の工種ごとに設定したユニットとその数量を表8.2.2.1-2(1)に示した。

表 8.2.2.1-2(1) 設定したユニット及びその数量

予測対象 時期	工 種	設 定 ユニット	数量	パワー レベル (dB)	エネルギー レベル (dB)	L (dB)	卓 越 周波数(Hz)
工事開始 2年次	整地工	路床盛土工	15	108	-	3	250
	ダンプトラック運行	現場内運搬 (未舗装)	58	-	107	-5	400
	建設発生土の搬出入作業	土砂掘削	6	104	-	5	400

注) 各ユニットの想定建設機械については、整地工がブルドーザー1台とダンプ2台、ダンプトラックの運行はダンプ1台、建設発生土の搬出入がバックホー1台とダンプ1台とする。

(2) ユニットの配置

ユニットの配置を図8.2.2.1-2(1)に示した。計画地内の地上高さは、計画地北側（伊勢湾岸自動車道より北側）は標高4.52m、計画地南側（伊勢湾岸自動車道より南側）は工事終了時の最も高い地点である標高-0.2m（事業計画より。冒険広場内の築山をのぞく。）とした。また、音源の高さは地上1.5mとした。

(3) 遮音壁の位置

木曾岬干拓地を取り囲む堤防により遮音効果が見込めることから、堤防を遮音壁と見なして回折効果を算出した。遮音壁（堤防）の高さは、現在と同じ標高6.2mとした。

(4) 予測高さ

予測地点の高さは、安全側の仮定として、予測地点のうち最も標高の高い源緑橋地点付近の標高0.9mを用いた。

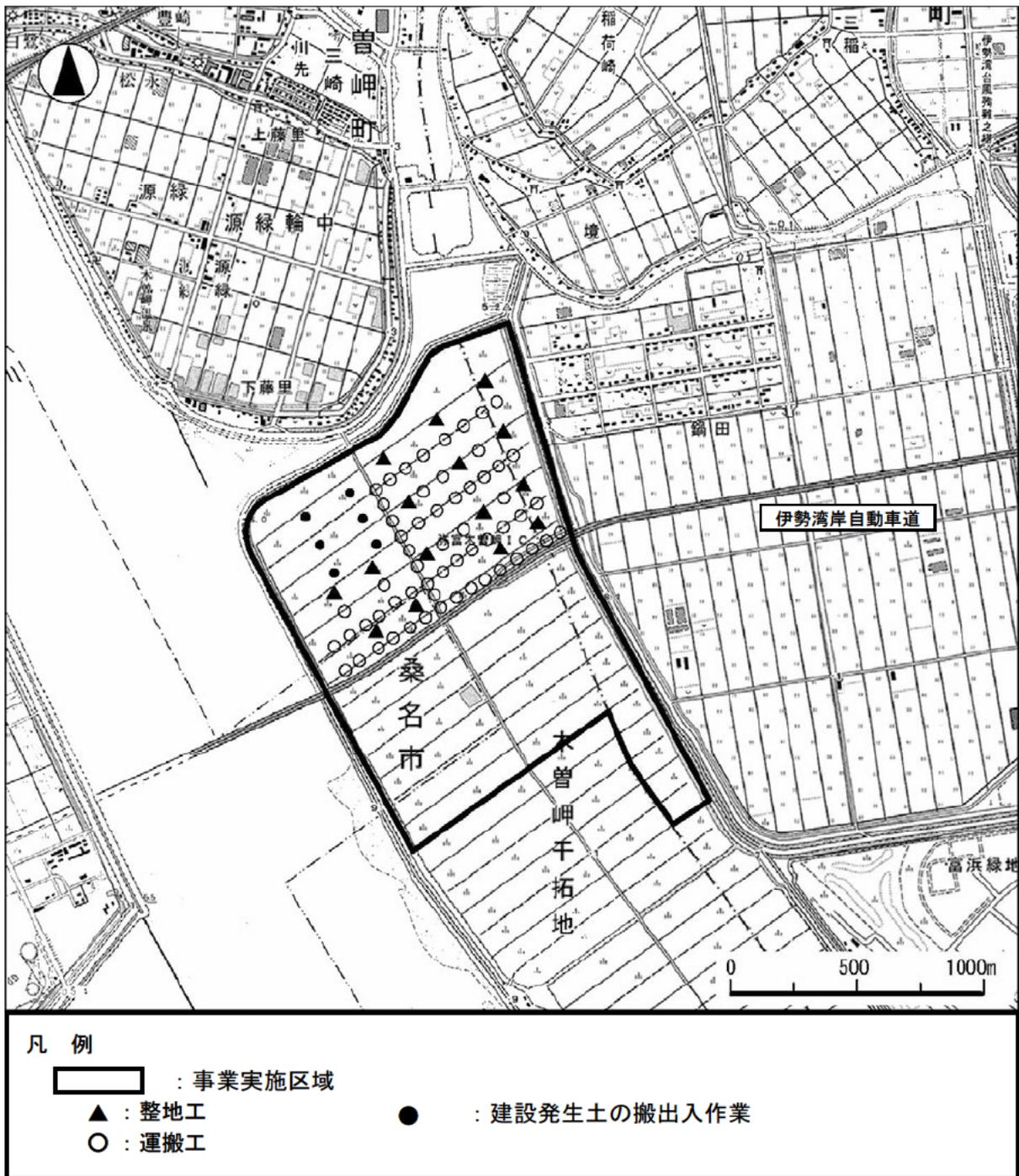


図 8. 2. 2. 1-2 (1) ユニットの配置 (工事の実施)

(1) 予測式

予測式は、次に示す(社)日本音響学会の ASJ RTN-Model 2003 を用いた。

$$L_{Aeq} = 10 \cdot \log_{10} \left(10^{L_{AE}/10} \cdot \frac{N}{3600} \right)$$

$$L_{AE} = 10 \log_{10} \frac{1}{T_0} \sum_i 10^{L_{PAi}/10} \cdot \Delta t_i$$

T_0 : 基準時間, 1 [s]

$L_{PA,i}$: i 番目の区間を通過する自動車による予測地点における騒音レベル [dB]

t_i : 自動車が i 番目の区間を通過する時間 [s]

L_{Aeq} : 等価騒音レベル [dB]

L_{AE} : ユニットパターンの時間積分値をレベル表示した値
(単発騒音暴露レベル) [dB]

N : 交通量 [台/h]

$$L_{PA,i} = L_{WA} - 8 - 20 \log_{10} r_i + L_{d,i} + L_{g,i}$$

ここで、

$L_{PA,i}$: i 番目の区間を通過する自動車による予測地点における騒音レベル [dB]

L_{WA} : 自動車走行騒音の A 特性音響パワーレベル [dB]

r_i : i 番目の区間を通過する自動車から予測地点までの距離 [m]

$L_{d,i}$: i 番目の区間を通過する自動車に対する回折効果に関する補正量 [dB]

$L_{g,i}$: i 番目の区間を通過する自動車に対する地表面効果に関する補正量 [dB]

車両のパワーレベルは、下記に示す一般道路におけるパワーレベル式を用いて計算した。

・大型車類 : $L_{WA} = 53.2 + 30 \log_{10} V$

・小型車類 : $L_{WA} = 46.7 + 30 \log_{10} V$

ここで、 L_{WA} : A 特性パワーレベル (dB)

V : 走行速度 (km/h)

(1) 予測条件

1) 交通量

a 一般車両

一般車両の交通量は、工事期間中の交通量が現況と変わらないものとして現地調査結果（資料 8.2.1.2-2 参照）の交通量を用いた。

現地調査を実施していない三崎地点については、同じ県道 108 号沿いにある源緑輪中地点の調査結果を用いた。なお、工事作業は平日のみ行うこととし、予測には平日の交通量調査結果を用いた。

b 工事用車両

予測に用いた工事用車両の交通量は、交通量が最大となる時期の値とした。事業内容により走行ルートが異なるため、ストックヤード・施設整備については三重県側のルートを走行し、工事用車両の最大は工事開始から 5 年次の 10 月目で 360 台/日（片道）である。また、愛知県側からの土砂搬入車両については、愛知県側のルートを走行し、土砂搬入量がピークとなる 2 年次で、工事用車両は 700 台/日（片道）である。なお、三重県側のルートでは地点ごとの工事用車両の走行台数が確定していないことから、各地点とも全ての工事用車両が走行するものとして、予測を行った。

2) 走行速度

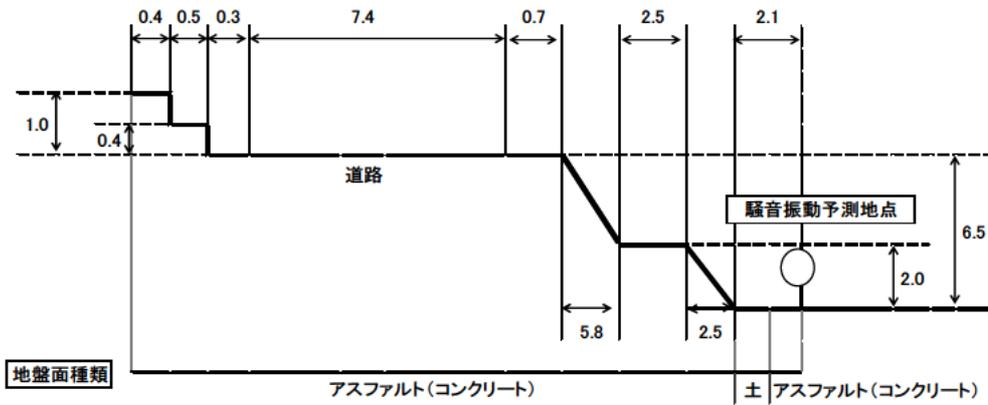
走行速度は各予測地点における規制速度とした。

3) 音源の位置、高さ

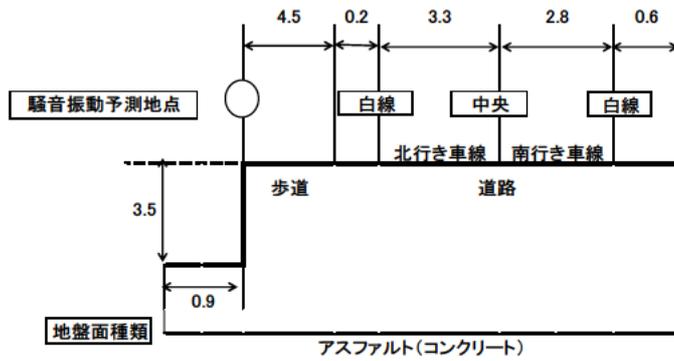
各予測地点の道路断面を図 8.2.2.1-4(1)～(2)に示した。車線の中央に音源を配置し、無指向性点音源が反射面（路面）上の高さ 0m にあり、2 空間に音を放射しているものとした。

(単位:m)

下藤里③



鍋田川



源緑輪中

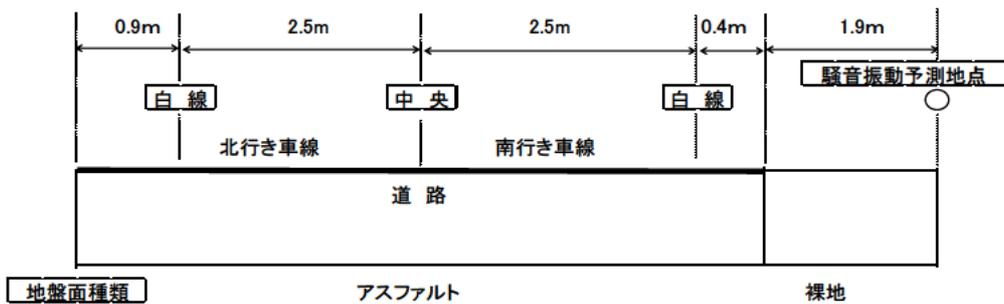
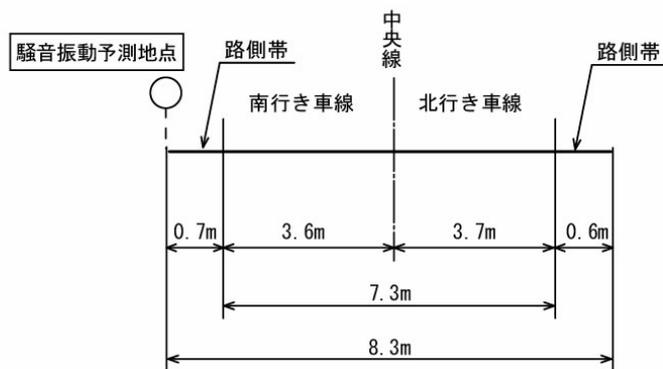


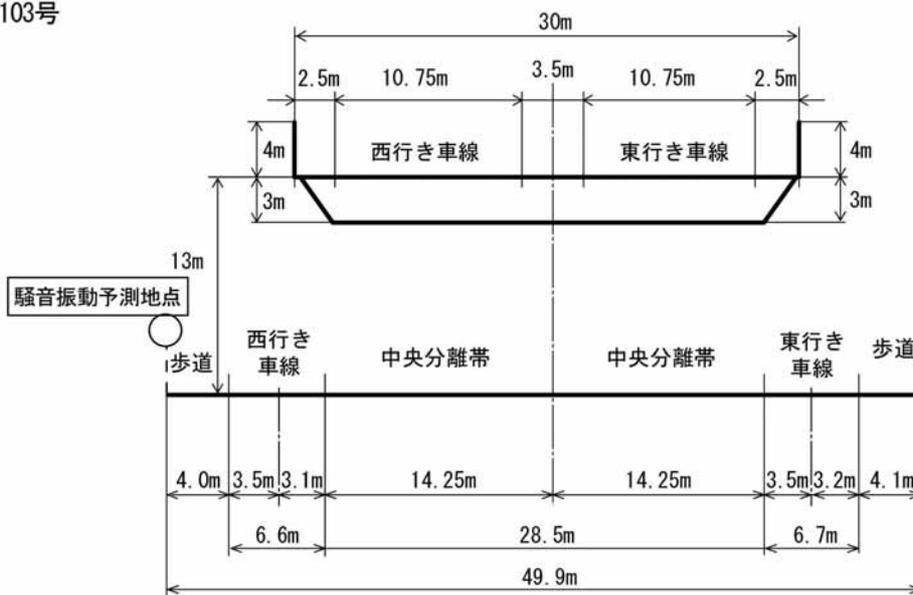
図 8.2.2.1-4(1) 各予測地点の道路断面

三 崎



地盤面種類 ————— アスファルト (コンクリート)

県道103号



地盤面種類 ————— アスファルト (コンクリート)

図 8.2.2.1-4(2) 各予測地点の道路断面

(1) ユニット及びその数量

作業機械等から発生する騒音レベルが最大となる時期として、ストックヤードにおいて建設発生土の搬出入作業を6箇所で行う場合を設定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に記載しているユニットの中から、建設発生土の搬出入作業の工事機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。

設定したユニットとその数量を表8.2.2.2-1(1)に示した。

表 8.2.2.2-1(1) 設定したユニット及びその数量

作業内容	設定ユニット	数量	パワーレベル (dB)	L (dB)	卓越周波数 (Hz)
建設発生土の搬出入作業	土砂掘削	6	104	5	400

注) ユニットの想定建設機械については、バックホー1台とダンプ1台とする。

(2) ユニットの配置

ユニットの配置を図8.2.2.2-1(1)に示した。

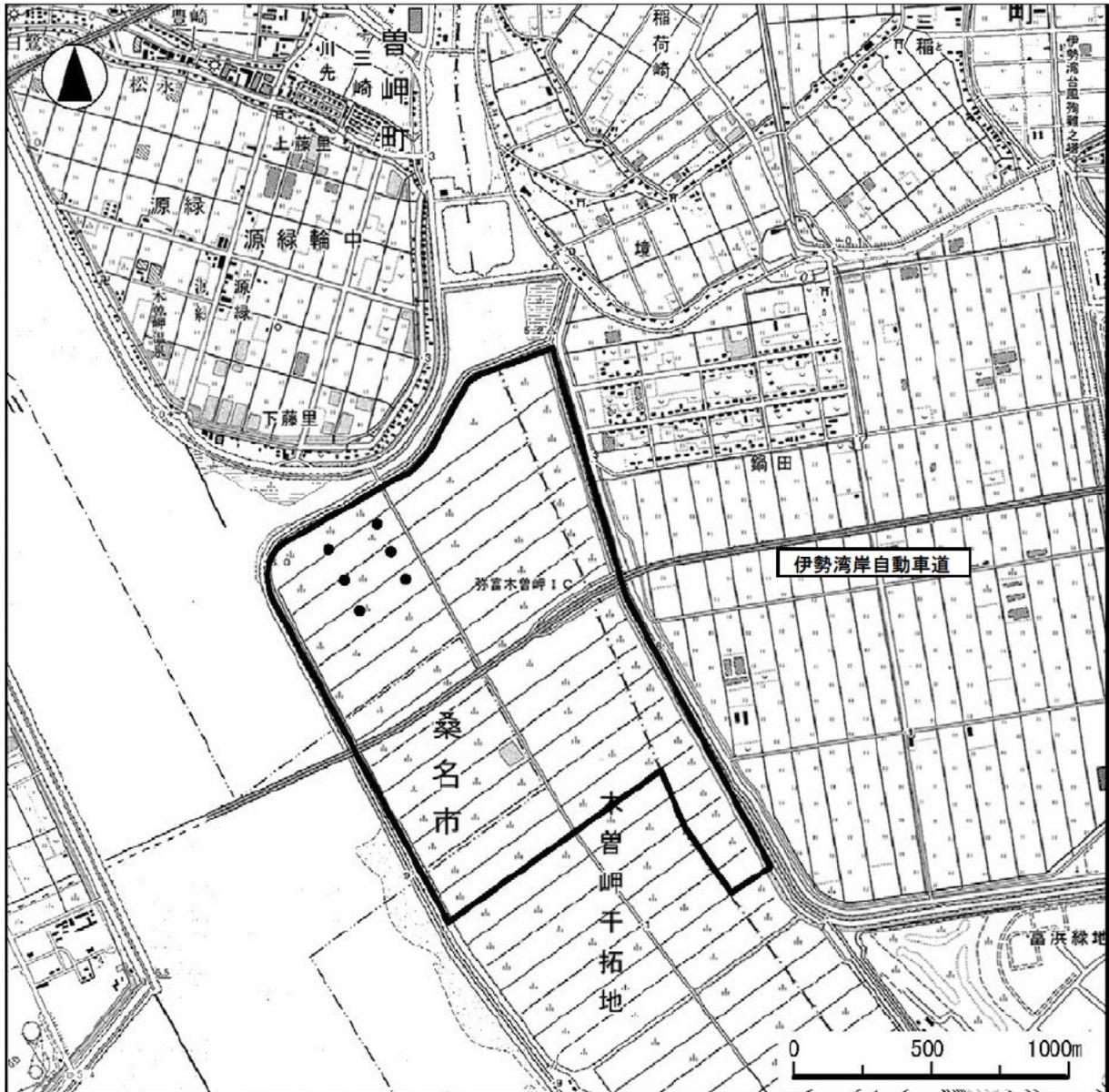
計画地内の地上高さは、安全側の仮定として、ストックヤードの最も高い地点である標高3.0m地点(事業計画より。冒険広場内の築山をのぞく。)を基準とした。なお、音源の高さは地上1.5mとした。

(3) 遮音壁の位置

木曾岬干拓地を取り囲む堤防により遮音効果が見込めることから、堤防を遮音壁と見なして回折効果を算出した。遮音壁(堤防)の高さは、現在と同じ標高6.2mとした。

(4) 予測高さ

予測地点の高さは、安全側の仮定として、予測地点のうち最も標高の高い源緑橋地点付近の標高0.9mを用いた。



凡 例

□ : 事業実施区域

● : 建設発生土の搬出入作業

図 8. 2. 2. 2-1(1) ユニットの配置 (存在及び供用)

(1) 交通量

1) 一般車両

一般車両の交通量は、供用時の交通量が現況と変わらないものとして現地調査結果の交通量（資料 8.2.1.2-2 参照）を用いた。現地調査を実施していない三崎地点については、同じ県道 108 号沿いにある源緑輪中地点の調査結果を用いた。

2) 発生車両

発生車両の交通量が最大となる時期とした。事業計画によると、供用時における事業実施区域への来車台数は、2,650 台/日（片道）であり、そのうち大型車（ストックヤードの搬出入車両）が 150 台/日（片道）、小型車が 2,500 台/日（片道）である。安全側の仮定として、各地点とも全ての発生車両が走行するものとして、予測を行った。

(2) 走行速度

走行速度は各予測地点における規制速度とした。

(3) 音源の位置、高さ

各予測地点の道路断面は、先の「資料 8.2.2.1-4 道路交通騒音の予測条件（工事の実施）」と同様とした。車線の中央に音源を配置し、無指向性点音源が反射面（路面）上の高さ 0m にあり、2 空間に音を放射しているものとした。

3 振動

3.1 調査結果の概要

資料 8.3.1.1-1 環境振動の現地調査結果

[本編 p187 対応]

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.3.1.1-1(1) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	<30	<30	50
	8	<30	42		
	9	<30	40		
	10	<30	43		
	11	33	50		
	12	<30	37		
	13	<30	41		
	14	35	43		
	15	<30	44		
	16	<30	<30		
	17	34	50		
	18	<30	34		
19	<30	42			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 9 日（土）

表 8.3.1.1-1(2) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	41	<30	43
	8	<30	37		
	9	<30	42		
	10	<30	30		
	11	<30	35		
	12	<30	<30		
	13	<30	43		
	14	<30	34		
	15	<30	36		
	16	<30	33		
	17	<30	37		
	18	<30	42		
19	<30	32			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成14年11月10日（日）

表 8.3.1.1-1(3) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	36	<30	52
	8	<30	38		
	9	<30	40		
	10	<30	30		
	11	<30	35		
	12	32	46		
	13	33	46		
	14	<30	34		
	15	31	41		
	16	35	52		
	17	<30	40		
	18	<30	41		
19	<30	33			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成14年11月6日（水）

表 8.3.1.1-1(4) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	41	<30	63
	8	<30	42		
	9	<30	38		
	10	<30	42		
	11	33	49		
	12	<30	42		
	13	<30	43		
	14	34	45		
	15	<30	41		
	16	31	41		
	17	33	63		
	18	<30	35		
19	<30	34			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成14年11月9日（土）

表 8.3.1.1-1(5) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	30	39	<30	47
	8	<30	35		
	9	<30	36		
	10	<30	34		
	11	<30	40		
	12	<30	33		
	13	<30	47		
	14	<30	35		
	15	<30	41		
	16	<30	35		
	17	<30	42		
	18	<30	37		
19	<30	34			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成14年11月10日（日）

表 8.3.1.1-1(6) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測時間	時間率振動レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	31	<30	55
	8	<30	41		
	9	<30	44		
	10	<30	31		
	11	<30	34		
	12	32	47		
	13	35	50		
	14	<30	32		
	15	32	41		
	16	36	55		
	17	<30	43		
	18	<30	38		
19	<30	38			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.3.1.1-1(7) 現地調査結果（鍋田 平日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	32	48	31	72
	8	33	57		
	9	31	54		
	10	31	43		
	11	31	59		
	12	31	72		
	13	30	47		
	14	35	58		
	15	32	61		
	16	33	53		
	17	32	54		
	18	<30	58		
19	<30	61			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田

調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.3.1.1-1(8) 現地調査結果（鍋田 休日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	35	<30	41
	8	<30	36		
	9	<30	40		
	10	<30	38		
	11	30	36		
	12	<30	37		
	13	<30	39		
	14	31	41		
	15	<30	37		
	16	<30	38		
	17	<30	35		
	18	<30	<30		

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：曙

調査年月日：平成 14 年 11 月 12 日（火）

表 8.3.1.1-1(9) 現地調査結果（曙 平日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	<30	35	<30	41
	8	<30	36		
	9	<30	40		
	10	<30	38		
	11	30	36		
	12	<30	37		
	13	<30	39		
	14	31	41		
	15	<30	37		
	16	<30	38		
	17	<30	35		
	18	<30	<30		

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

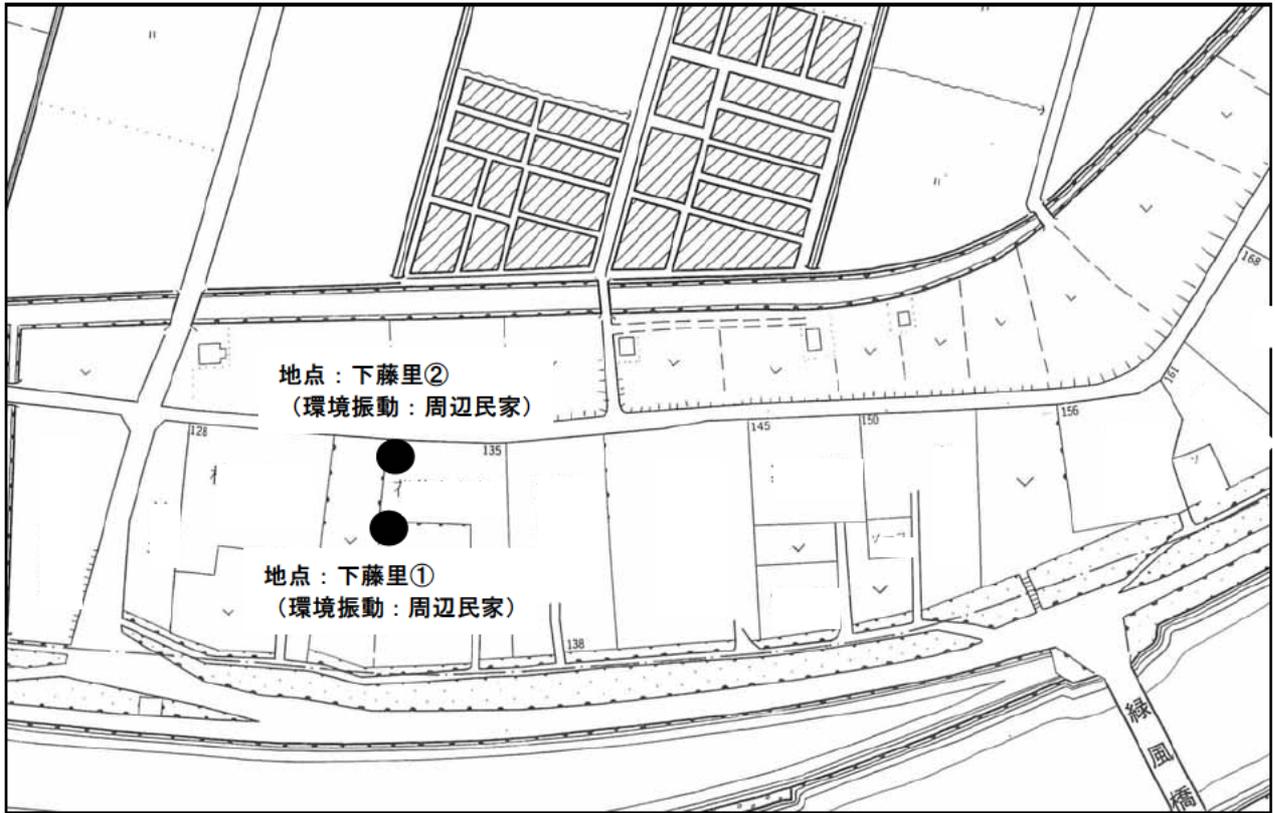


図 8. 3. 1. 1-1 (1) 下藤里詳細調査地点



図 8. 3. 1. 1-1 (2) 鍋田詳細調査地点

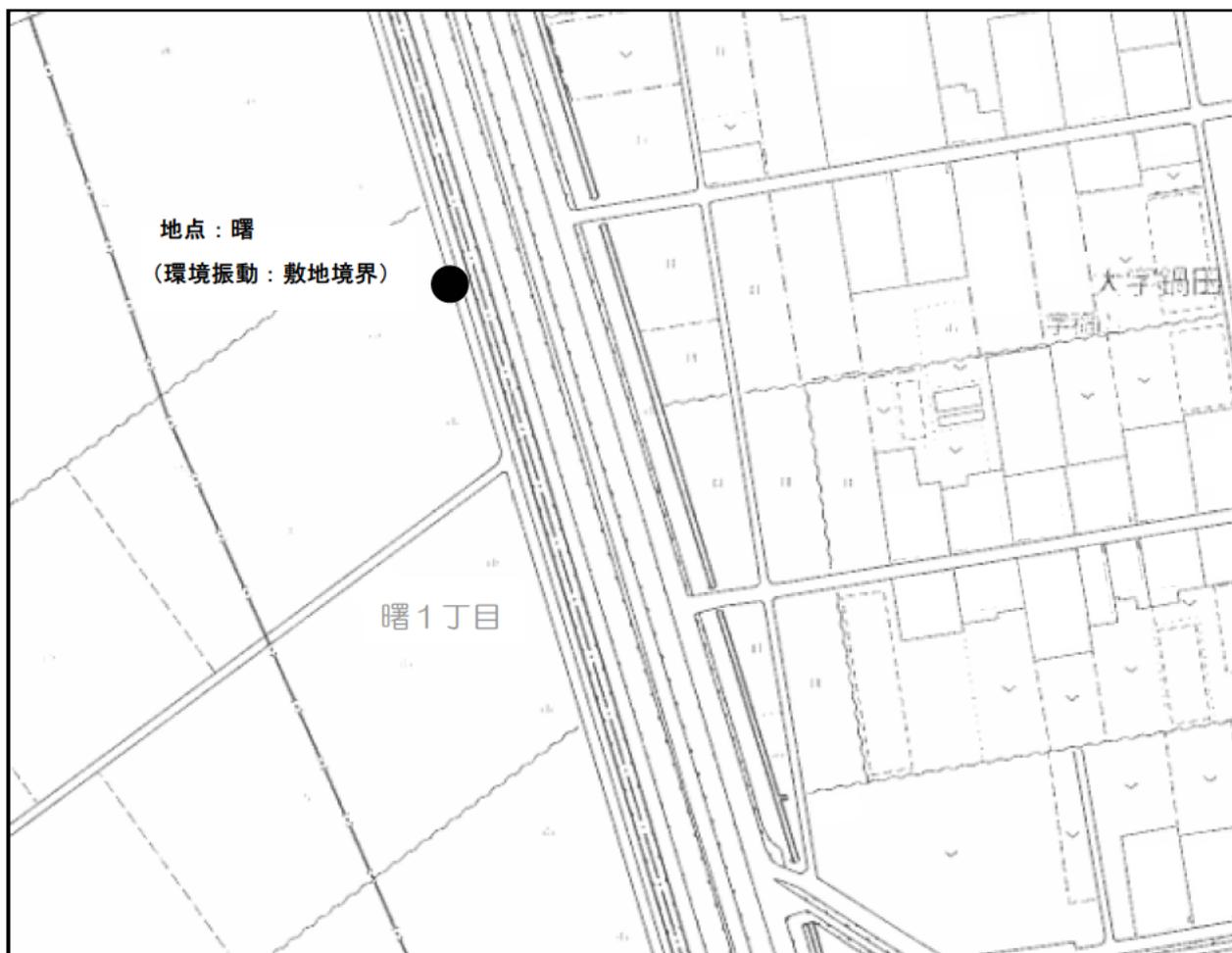


図 8.3.1.1-1(3) 曙詳細調査地点

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.3.1.1-2(1) 現地調査結果（下藤里 平日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	< 30	46	<30	76
	8	< 30	41		
	9	< 30	40		
	10	< 30	42		
	11	< 30	43		
	12	< 30	37		
	13	< 30	37		
	14	31	45		
	15	< 30	76		
	16	< 30	< 30		
	17	< 30	41		
	18	< 30	34		
19	< 30	38			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：下藤里

調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.3.1.1-2(2) 現地調査結果（下藤里 休日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	< 30	30	<30	46
	8	< 30	31		
	9	< 30	34		
	10	< 30	33		
	11	< 30	< 30		
	12	< 30	45		
	13	< 30	42		
	14	< 30	32		
	15	< 30	35		
	16	< 30	46		
	17	< 30	38		
	18	< 30	38		
19	< 30	< 30			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田川

調査年月日：平成 14 年 11 月 6 日（水）

表 8.3.1.1-2(3) 現地調査結果（鍋田川 平日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	34	42	33	56
	8	33	46		
	9	34	53		
	10	32	51		
	11	31	52		
	12	33	50		
	13	31	52		
	14	35	56		
	15	32	55		
	16	31	55		
	17	34	54		
	18	31	54		
19	32	52			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：鍋田川

調査年月日：平成 14 年 11 月 10 日（日）

表 8.3.1.1-2(4) 現地調査結果（鍋田川 休日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	< 30	54	30	66
	8	< 30	39		
	9	< 30	43		
	10	< 30	53		
	11	53	66		
	12	37	59		
	13	< 30	43		
	14	< 30	55		
	15	31	59		
	16	< 30	42		
	17	< 30	49		
	18	< 30	53		
19	< 30	49			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：源緑輪中

調査年月日：平成 15 年 11 月 27 日（木）

表 8.3.1.1-2(5) 現地調査結果（源緑輪中 平日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	< 30	58	31	61
	8	< 30	51		
	9	< 30	45		
	10	31	56		
	11	31	49		
	12	32	56		
	13	33	59		
	14	< 30	46		
	15	32	53		
	16	31	61		
	17	33	60		
	18	33	60		
19	31	43			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：源緑輪中

調査年月日：平成 15 年 12 月 7 日（日）

表 8.3.1.1-2(6) 現地調査結果（源緑輪中 休日）

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
昼間	7	< 30	43	<30	58
	8	< 30	48		
	9	< 30	39		
	10	30	50		
	11	< 30	48		
	12	< 30	47		
	13	< 30	41		
	14	30	58		
	15	< 30	39		
	16	< 30	53		
	17	< 30	57		
	18	< 30	44		
19	< 30	38			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

調査地点：県道 103 号(愛知)

調査年月日：平成 16 年 8 月 25 日(水)

表 8.3.1.1-2(7) 現地調査結果(県道 103 号(愛知) 平日)

時間帯	観測 時間	時間率振動 レベル (dB)		基準時間帯 (dB)	
		L ₁₀	L _{max}	L ₁₀	L _{max}
夜間	6	41	53		
昼間	7	41	53	43	60
	8	41	49		
	9	44	57		
	10	44	53		
	11	47	56		
	12	42	51		
	13	44	57		
	14	45	58		
	15	43	54		
	16	44	60		
	17	42	49		
	18	43	51		
夜間	19	42	51	40	50
	20	40	48		
	21	41	50		
	22	38	44		
	23	41	47		
	24	40	48		
	1	38	47		
	2	42	47		
	3	38	47		
4	40	50			
5	41	47			

注) L₁₀の基準時間帯平均振動レベルは算術平均により求めた。

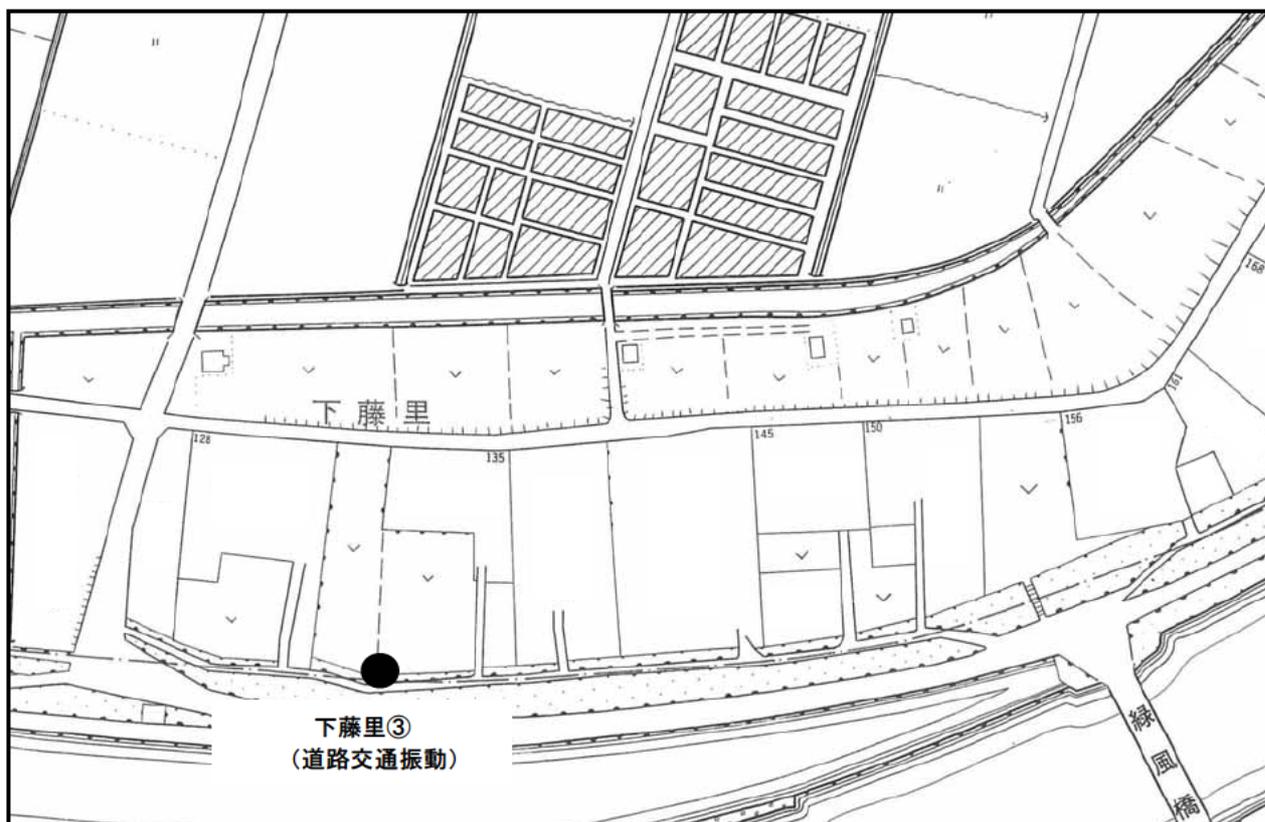


図 8. 3. 1. 1-2(1) 下藤里詳細調査地点



図 8. 3. 1. 1-2(2) 鍋田川詳細調査地点

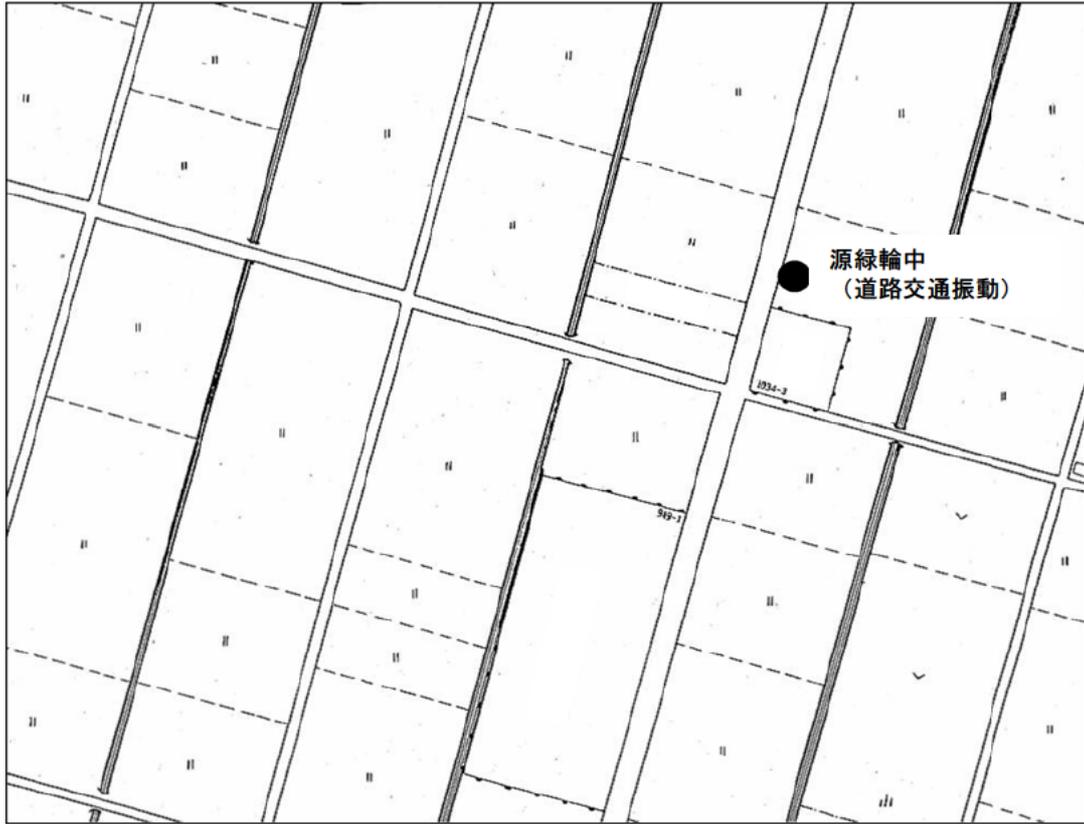


図 8.3.1.1-2(3) 源緑輪中詳細調査地点



図 8.3.1.1-2(4) 国道 103号(愛知)詳細調査地点

3.2 予測

3.2.1 工事の実施

資料 8.3.2.1-1 建設作業振動の予測式

[本編 p193 対応]

予測式は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に基づき、次の式を用いた。

ユニットの作業範囲及び施設の位置に振動源を設定し、予測地点における各振動源からの伝搬計算を行い合成振動レベルを求めた。なお、固結地盤の内部減衰係数は安全をみて=0.001を用いた。

$$L(r) = L(r_0) - 15 \log_{10}(r/r_0) - 8.68 (r - r_0)$$

- ここで、 $L(r)$: 予測地点における振動レベル (dB)
 $L(r_0)$: 基準点における振動レベル (dB)
 r : 建設機械またはユニットの稼働位置から予測点までの距離 (m)
 r_0 : 建設機械またはユニットの稼働位置から基準点までの距離 (5m)
: 内部減衰係数 (固結地盤 0.001)

(1) ユニット及びその数量

工事工程に基づき工事機械等の稼働が最大となる時期として、わんぱく原っぱの盛土工事期間中で搬入土砂の量がピークとなる2年次を選定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(建設省都市局都市計画課、平成11年11月)に記載しているユニットの中から、工種ごとの工事機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。本事業の工種ごとに設定したユニットとその数量を表8.3.2.1-2(1)に示した。

表 8.3.2.1-2(1) 設定したユニット及びその数量

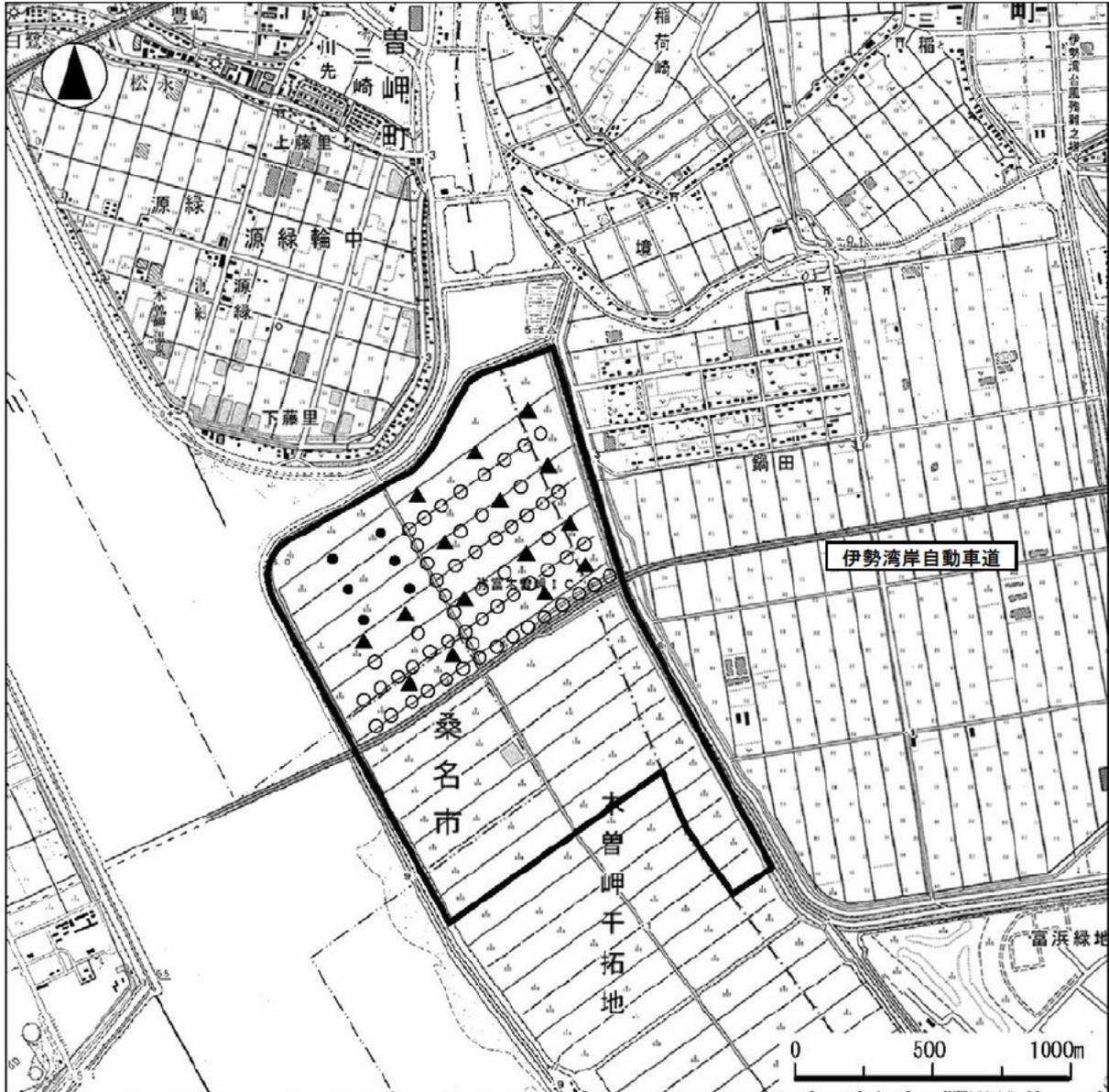
予測対象 時期	工 種	設定ユニット	数量	基準点 振動レベル (dB)
工事開始 2年次	整地工	路体・路床盛土工	15	69
	ダンプトラック運行	現場内運搬(未舗装)	58	57
	建設発生土の搬出入作業	土砂掘削	6	54

注)1 ユニットと基準点の距離:5m

注)2 各ユニットの想定建設機械については、整地工がブルドーザー1台とダンプ2台、ダンプトラックの運行はダンプ1台、建設発生土の搬出入がバックホー1台とダンプ1台とする。

(2) ユニットの配置

ユニットの配置を図 8.3.2.1-2(1)に示した。



凡例

■ : 事業実施区域

▲ : 整地工

○ : 運搬工

● : 建設発生土の搬出入作業

予測式は、「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)に基づき、次の式を用いた。

$$L_{10} = L_{10}^* + L$$

$$L = a \cdot \log_{10}(\log_{10} Q') - a \cdot \log_{10}(\log_{10} Q)$$

ここで、

L_{10} : 振動レベルの 80 パーセントレンジの上端値の予測値 (dB)

L_{10}^* : 現況の振動レベルの 80 パーセントレンジの上端値 (dB)

L : 工事用車両による振動レベルの増分 (dB)

Q : 現況の 500 秒間の 1 車線当りの等価交通量 (台/500 秒/車線)

Q' : 工事用車両の上乗せ時の 500 秒間の 1 車線当りの等価交通量
(台/500 秒/車線)

$$= \frac{500}{3,600} \times \frac{1}{M} \times \{N_L + K(N_H + N_{HC})\}$$

M : 上下車線合計の車線数

N_L : 現況の小型車時間交通量 (台/時)

N_H : 現況の大型車時間交通量 (台/時)

N_{HC} : 工事用車両台数 (台/時)

K : 大型車の小型車への換算係数 $K=13$

a : 定数 $a=47$

(1) 振動源条件

1) 交通量

a 一般車両

一般車両の交通量は、工事期間中の交通量が現況と変わらないものとして現地調査結果の交通量を用いた。

現地調査を実施していない三崎地点については、同じ県道 108 号沿いにある源緑輪中地点の調査結果を用いた（資料 8.2.1.2-2(5)参照）。なお、工事作業は平日のみ行うこととし、予測には交通量調査結果から各地点における最大の交通量を用いた。

b 工用車両

予測に用いた工用車両の交通量は、交通量が最大となる時期の値とした。事業内容により走行ルートが異なるため、ストックヤード・施設整備については三重県側のルートを走行し、工用車両の最大は工事開始から 5 年次の 10 月目で 360 台/日（片道）である。また、愛知県側からの搬入については、愛知県側のルートを走行し、土砂搬入量がピークとなる 2 年次で、工用車両は 700 台/日（片道）である。なお、三重県側のルートでは地点ごとの工用車両の走行台数が確定していないことから、各地点とも全ての工用車両が走行するものとして、予測を行った。時間帯別車両台数の設定は、資料 8.1.2.1-8(10)参照。

2) 予測設定条件

予測計算に用いた予測設定条件を予測地点別に表 8.3.2-1-4 に示した。なお、予測計算に必要な大型車から小型車への換算係数 K 及び定数 a は、「道路環境影響評価の技術手法」の記載に基づいた。

表 8.3.2.1-4 道路交通振動の予測設定条件

項目 地点名	車線数 M	大型車の小型車への 換算係数 K	定数 a
下藤里	1	13	47
鍋田川	2	13	47
源緑輪中	2	13	47
三崎	2	13	47
県道 103 号(愛知)	4	13	47

3.2.2 存在及び供用

(1) 予測式

予測式は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に基づき、次の式を用いた。

ユニットの作業範囲及び施設の位置に振動源を設定し、予測地点における各振動源からの伝搬計算を行い合成振動レベルを求めた。なお、固結地盤の内部減衰係数は安全をみて $=0.001$ を用いた。

$$L(r) = L(r_0) - 15 \log_{10}(r/r_0) - 8.68 (r - r_0)$$

ここで、 $L(r)$: 予測地点における振動レベル (dB)

$L(r_0)$: 基準点における振動レベル (dB)

r : 作業機械またはユニットの稼動位置から予測点までの距離 (m)

r_0 : 作業機械またはユニットの稼動位置から基準点までの距離 (5m)

: 内部減衰係数(固結地盤 0.001)

(2) 予測条件

1) ユニット及びその数量

作業機械等から発生する振動レベルが最大となる時期として、ストックヤードにおいて建設発生土の搬出入作業を 6 箇所で行う場合を設定した。

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に記載しているユニットの中から、建設発生土の搬出入作業の工事機械の組み合わせと対応するユニットを設定した。

設定したユニットとその数量を表 8.3.2.2-1(1)に示した。

表 8.3.2.2-1(1) ユニット及びその数量

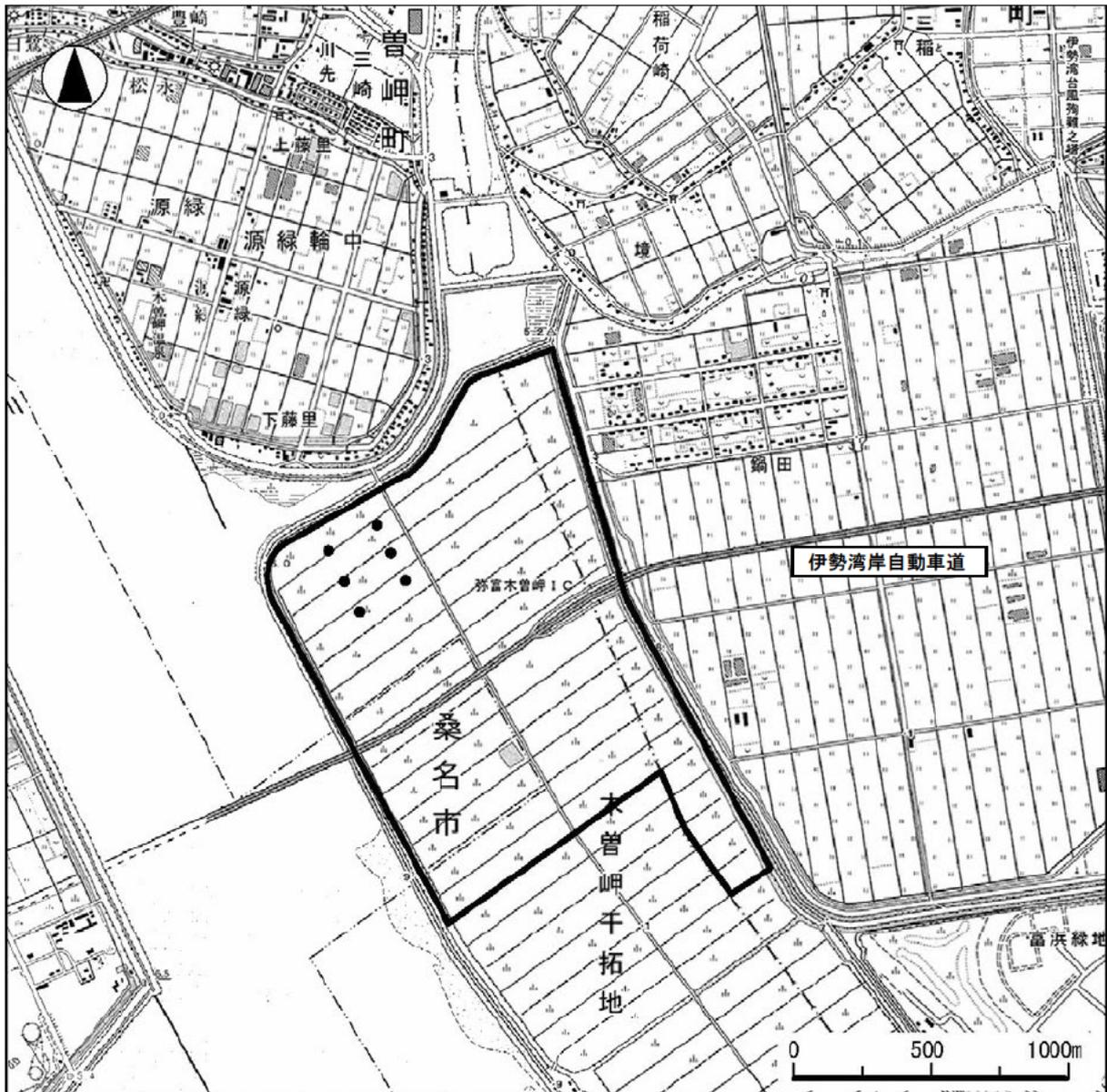
作業内容	設定ユニット	数量	基準点振動レベル (dB)
建設発生土の搬出入作業	土砂掘削	6	54

注)1 ユニットと基準点の距離：5m

注)2 ユニットの想定建設機械については、バックホー1台とダンプ1台とする。

2) ユニットの配置

ユニットの配置を図 8.3.2.2-1(1)に示した。



凡 例

: 事業実施区域

: 建設発生土の搬出入作業

図 8.3.2.2-1(1) ユニットの配置 (存在及び供用)

(1) 予測式

予測式は、「道路環境影響評価の技術手法」(財団法人道路環境研究所、平成 12 年 11 月)に基づき、次の式を用いた。

$$L_{10}=L_{10}^*+L$$

$$L=a \cdot \log_{10}(\log_{10}Q')-a \cdot \log_{10}(\log_{10}Q)$$

ここで、

- L_{10} : 振動レベルの 80 パーセントレンジの上端値の予測値 (dB)
 L_{10}^* : 現況の振動レベルの 80 パーセントレンジの上端値 (dB)
 L : 発生車両による振動レベルの増分 (dB)
 Q : 現況の 500 秒間の 1 車線当りの等価交通量 (台/500 秒/車線)
 Q' : 発生車両の上乗せ時の 500 秒間の 1 車線当りの等価交通量
 (台/500 秒/車線)
- $$= \frac{500}{3,600} \times \frac{1}{M} \times \{N_L + K(N_H + N_{HC})\}$$
- M : 上下線合計の車線数
 N_L : 現況の小型車時間交通量 (台/時)
 N_H : 現況の大型車時間交通量 (台/時)
 N_{HC} : 発生車両台数 (台/時)
 K : 大型車の小型車への換算係数 $K=13$
 a : 定数 $a=47$

(2) 振動源条件

1) 交通量

a 一般車両

一般車両の交通量は、供用時の交通量が現況と変わらないものとして現地調査結果の交通量(資料 8.2.1.2-2 参照)を用いた。現地調査を実施していない三崎地点については、同じ県道 108 号沿いにある源緑輪中地点の調査結果を用いた。なお、予測には交通量調査結果から各地点における最大の交通量を用いた。

b 発生車両

発生車両の交通量が最大となる時期とした。事業計画によると、供用時における事業実施区域への来車台数は、2,650 台/日(片道)であり、そのうち大型車(ストックヤードの搬出入車両)が 150 台/日(片道)、小型車が 2,500 台/日(片道)である。安全側の仮定として、各地点とも全ての発生車両が走行するものとして、予測を行った。時間帯別車両台数の設定は、資料 8.1.2.2-4(3)参照。

2) 予測設定条件

予測計算に用いた予測設定条件を予測地点別に表 8.3.2.2-2(1)に示した。なお、予測計算に必要な大型車から小型車への換算係数 K 及び定数 a は、「道路環境影響評価の技術手法」の記載に基づいた。

表 8.3.2.2-2(1) 道路交通振動の予測設定条件

項目 地点名	車線数 M	大型車の小型車への 換算係数 K	定数 a
下藤里	1	13	47
鍋田川	2	13	47
源緑輪中	2	13	47
三崎	2	13	47

4 水質

4.1 調査結果の概要

資料 8.4.1.1-1 平水時の水質調査結果

[本編 p206 対応]

(1) 平水時の水質調査結果

平水時の水質調査結果を表 8.4.1.1-1(1)～表 8.4.1.1-1(4)に示す。図 8.4.1.1-1(1)～図 8.4.1.1-1(3)には、各項目の季節変化を示す。

表 8.4.1.1-1(1) 平水時の水質調査結果（春季）

調査項目等	単位	調査地点					
		ストックード 西水路		排水機場水路		木曽川	
		下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮
採水時刻	-	9:45	13:30	10:10	13:50	10:45	14:40
pH	-	7.0	7.3	8.1	7.1	7.5	7.9
BOD	mg/L	2.1	3.4	3.7	6.7	1.6	1.6
COD	mg/L	4.5	5.6	8.8	11	1.9	2.3
SS	mg/L	6.4	7.0	4.6	9.6	8.6	6.1
DO	mg/L	6.0	7.9	8.0	15	8.1	8.0
大腸菌群数	MPN/100m L	70	46	14	9	70	700
n-ヘキサ抽出物質	mg/L	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
T-N	mg/L	0.93	0.95	1.1	1.8	0.57	0.57
T-P	mg/L	0.050	0.067	0.31	0.39	0.030	0.032
水温		20.4	23.0	20.9	22.5	18.9	19.4
外観	-	帯黄	帯黄	帯黄	帯黄	ほぼ透明	ほぼ透明
塩分	-	7.50	6.54	3.96	5.27	5.82	2.82
流量	m ³ /分	8.5	7.1	27.1	26.2	-	-

調査日：平成 14 年 5 月 13 日

表 8.4.1.1-1(2) 平水時の水質調査結果 (夏季)

調査項目等	単位	調査地点					
		スツーカート 西水路		排水機場水路		木曾川	
		下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮
採水時刻	-	9:30	13:30	10:30	14:00	10:00	13:40
pH	-	8.4	8.7	8.5	8.6	7.5	7.5
BOD	mg/L	7.2	11	12	11	1.7	1.9
COD	mg/L	12	15	15	16	4.1	4.3
SS	mg/L	16	27	26	60	6.6	9.3
DO	mg/L	12	12	11	14	6.5	7.2
大腸菌群数	MPN/100m L	23	23	17	26	26	49
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
T-N	mg/L	1.1	1.8	2.9	3.0	0.53	0.36
T-P	mg/L	0.54	0.55	1.3	1.3	0.083	0.061
水温		27.5	30.3	32.8	31.8	31.0	31.6
外観	-	微混濁	微混濁	微混濁	微混濁	微混濁	微混濁
塩分	-	17.2	17.3	18.3	18.3	20.4	15.3
流量	m ³ /分	8.0	7.9	2.0	11	-	-
カドミウム	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
全シアン化合物	mg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
鉛	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
六価クロム	mg/L	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
砒素	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
総水銀	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
P C B	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロフェン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
テトラクロロフェン	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
四塩化炭素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ジクロロメタン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
1,1-ジクロロフェン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
ビス-1,2-ジクロロフェン	mg/L	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,3-ジクロロベンゼン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ベンゼン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
チウラム	mg/L	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
シマジン	mg/L	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
セレン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	mg/L	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
ほう素	mg/L	2.1	2.1	2.2	2.2	2.4	2.0
ふっ素	mg/L	0.24	0.23	0.35	0.39	0.24	0.24

調査日：平成 14 年 8 月 8 日

表 8.4.1.1-1(3) 平水時の水質調査結果 (秋季)

調査項目等	単位	調査地点					
		ストックヤード西水路		排水機場水路		木曾川	
		下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮
採水時刻	-	10:00	14:00	10:30	14:20	10:40	14:00
pH	-	7.6	7.9	8.4	8.3	7.9	8.0
BOD	mg/L	2.3	3.0	3.4	2.7	0.9	0.9
COD	mg/L	5.1	6.4	10	8.1	3.1	1.9
SS	mg/L	10	12	29	17	6.3	5.8
DO	mg/L	5.6	9.3	12	12	7.5	9.0
大腸菌群数	MPN/100m L	350	350	70	23	6	22
n-アミノ抽出物質	mg/L	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
T-N	mg/L	0.60	0.62	0.48	0.50	0.37	0.50
T-P	mg/L	0.35	0.39	0.18	0.19	0.041	0.036
水温		15.0	10.5	10.1	11.5	13.5	12.7
外観	-	帯黄	帯黄	帯黄	帯黄	ほぼ透明	ほぼ透明
		微混濁	微混濁	微混濁	微混濁		
塩分	-	17.6	18.2	13.2	13.4	21.1	12.3
流量	m ³ /分	10.2	7.8	23.2	15.9	-	-

調査日：平成 14 年 11 月 20 日

表 8.4.1.1-1(4) 平水時の水質調査結果 (冬季)

調査項目等	単位	調査地点					
		ストックヤード西水路		排水機場水路		木曾川	
		下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮
採水時刻	-	8:50	12:15	9:30	12:20	9:10	12:40
pH	-	7.1	7.5	8.3	8.3	7.8	7.9
BOD	mg/L	1.9	4.4	7.7	8.8	1.8	1.6
COD	mg/L	5.3	8.5	14	15	2.8	2.5
SS	mg/L	6.6	8.0	10	14	1.9	1.5
DO	mg/L	7.5	11	12	14	9.0	10
大腸菌群数	MPN/100m L	23	11	4	4	0	0
n-アミノ抽出物質	mg/L	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
T-N	mg/L	0.71	0.93	0.69	1.0	0.40	0.45
T-P	mg/L	0.15	0.22	0.19	0.17	0.030	0.029
水温		10.5	11.5	8.5	8.0	8.0	9.0
外観		微混濁	微混濁	微混濁	微混濁	ほぼ透明	ほぼ透明
塩分	-	14.4	16.8	8.71	9.19	19.4	14.0
流量	m ³ /分	19.7	16.0	19.3	26.7	-	-

調査日：平成 15 年 2 月 14 日

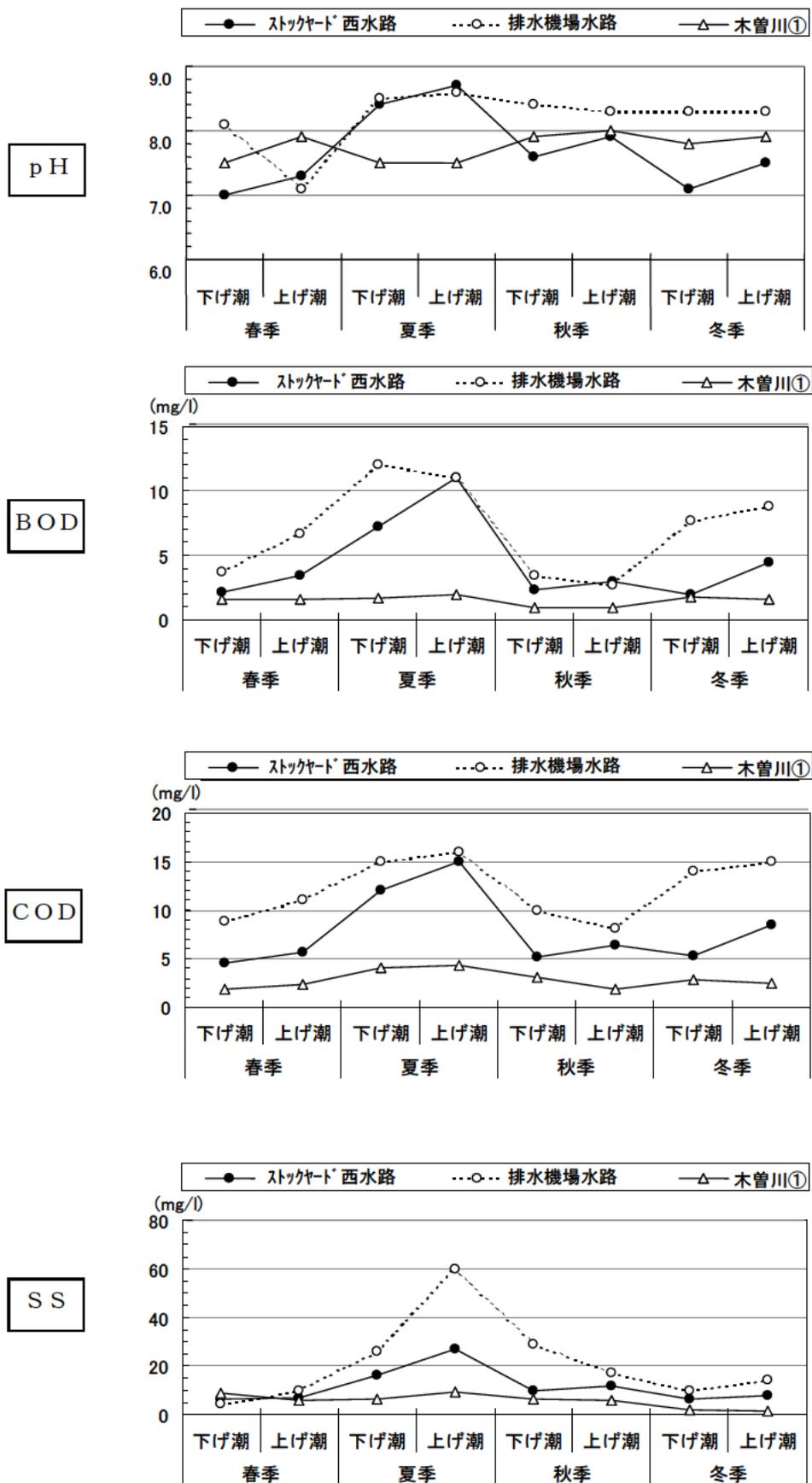
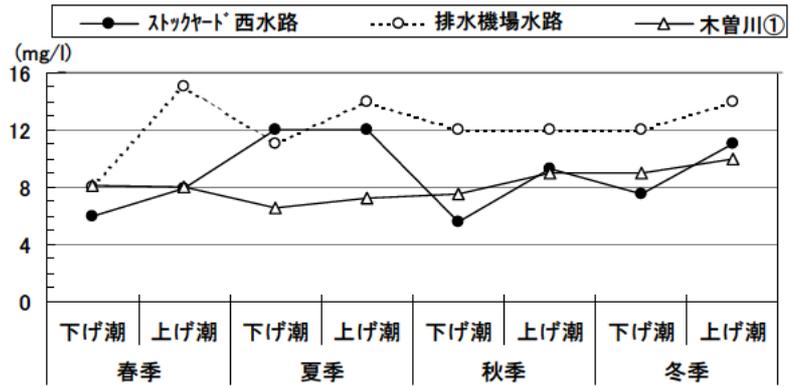
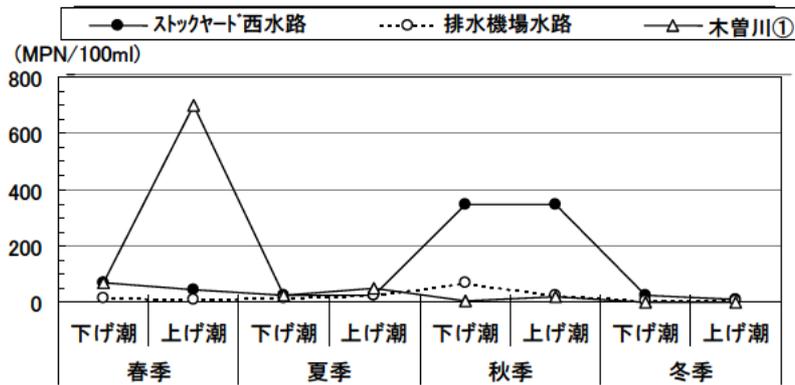


図 8.4.1.1-1(1) 水質調査結果 (季節変化)

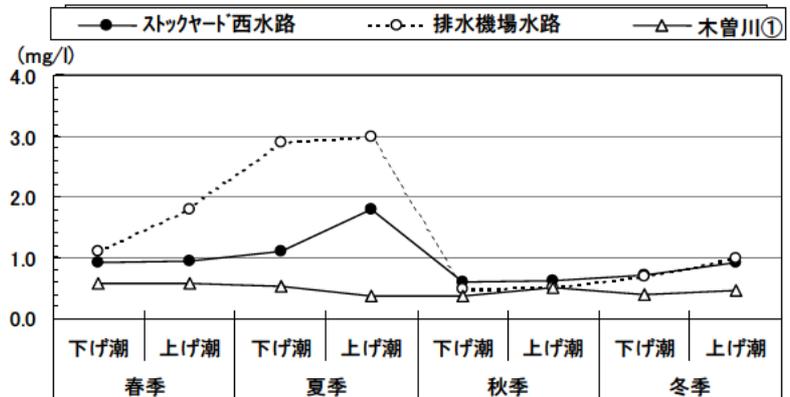
DO



大腸菌群数 (MPN法)



T-N



T-P

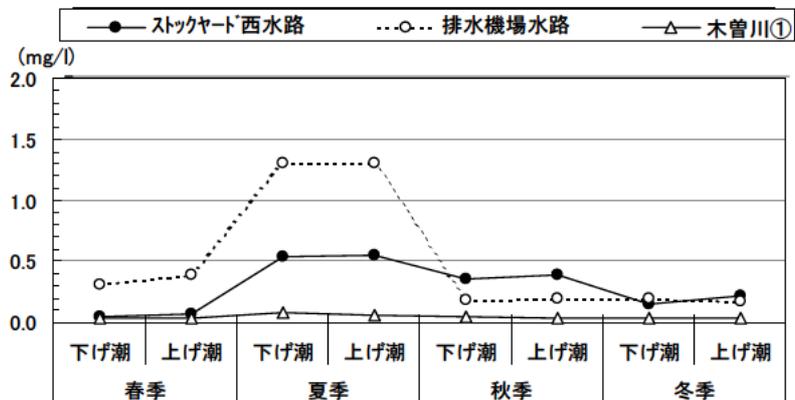


図 8.4.1.1-1(2) 水質調査結果 (季節変化)

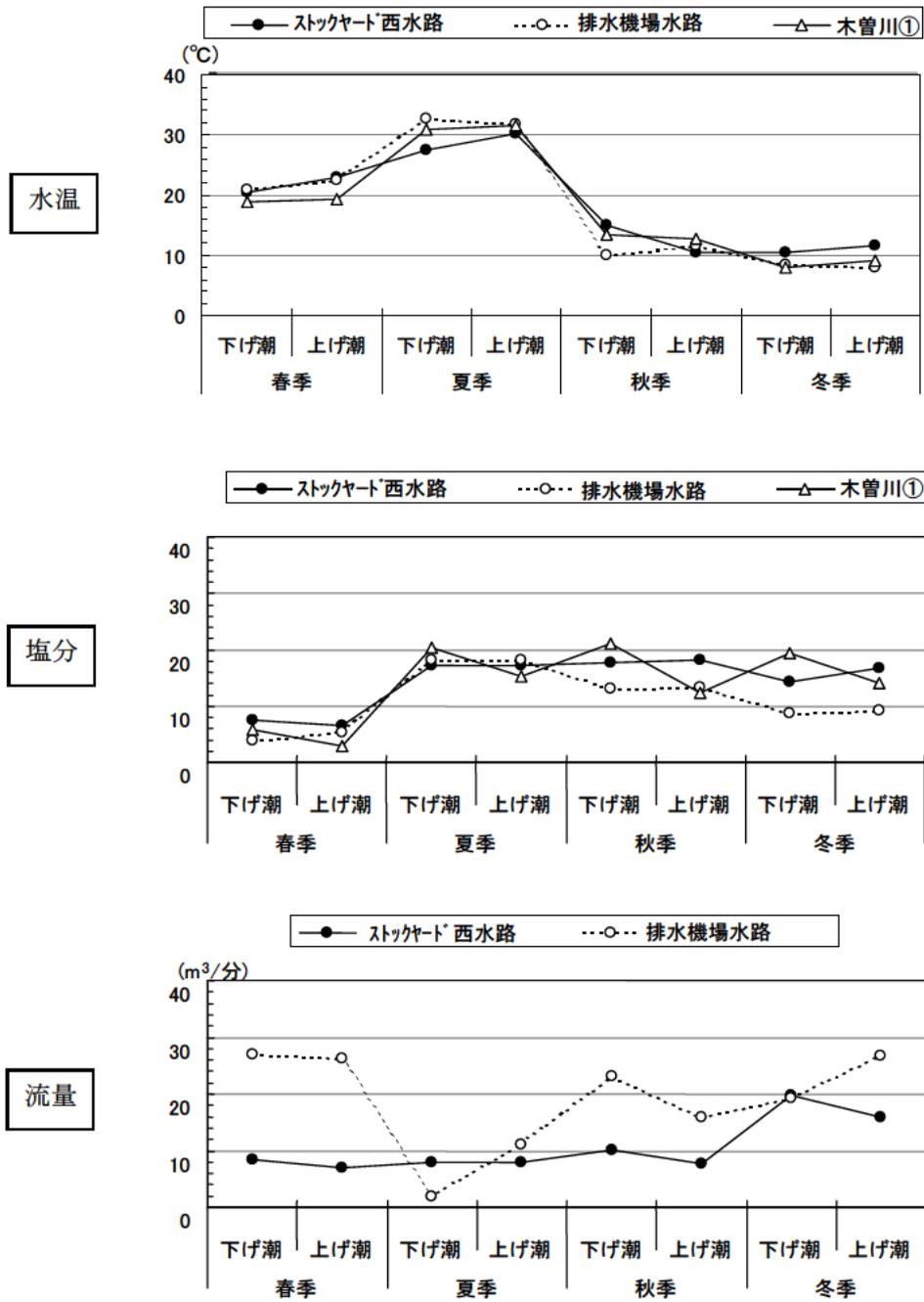


図 8.4.1.1-1 (3) 水質調査結果 (季節変化)

(1) 降雨時の水質調査結果（平成 15 年）

平成 15 年の降雨時の水質調査結果を表 8.4.1.2-1(1)に、平成 16 年の調査結果は表 8.4.1.2-1(2)に示す。

表 8.4.1.2-1(1) 降雨時の水質調査結果（平成 15 年）

調査地点	調査項目等	単位	平成 15 年 6 月 18 日			平成 15 年 6 月 19 日					
			上げ潮			下げ潮			上げ潮		
ストップド 西水路	採水時刻	-	16:00	16:45	17:50	10:45	11:50	12:50	16:35	17:35	18:35
	SS	mg/L	14	16	14	6	6	7	8	8	12
	水温		21.0	21.5	21.5	22.0	22.2	23.0	23.7	23.6	23.6
	外観		黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁	黄白濁
	塩分	-	2.9	3.3	3.3	2.6	2.1	2.1	2.2	2.3	2.4
	流量	m ³ /分	9.24	9.36	9.00	9.30	9.00	9.18	8.46	8.22	8.46
排水機場 水路	採水時刻	-	16:10	17:05	18:05	11:05	12:05	13:05	16:50	17:50	18:50
	SS	mg/L	10	9	7	11	12	9	15	10	10
	水温		23.4	23.5	23.5	23.8	23.7	23.8	24.0	24.1	24.0
	外観		灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁	灰茶濁
	塩分	-	9.7	9.9	9.5	8.5	8.3	8.2	8.4	8.3	8.4
	流量	m ³ /分	84.0	89.4	79.2	79.2	81.6	84.0	84.0	86.4	79.8
木曽川	採水時刻	-	16:00	17:00	18:00	11:00	12:00	13:00	16:50	17:50	18:50
	SS	mg/L	22	11	5	5	8	10	17	16	16
	水温		22.8	21.3	21.5	22.4	22.2	22.4	22.0	21.7	22.0
	外観		黄白濁	黄白濁	微淡黄	微淡黄	微淡黄	微淡黄	黄白濁	黄白濁	黄白濁
	塩分	-	4.3	3.8	5.0	7.9	5.1	3.8	3.3	4.7	6.6
	流量	m ³ /分	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 8.4.1.2-1(2) 降雨時の水質調査結果（平成 16 年）

調査地点	調査月日 及び時刻	SS (mg/L)	温度 ()	外観	塩分 (%)	流量 (m ³ /分)
東水路	8 月 30 日 18:00	250	-	暗灰濁	-	-
	8 月 31 日 9:30	26	-	灰茶濁	-	-
中央水路	8 月 31 日 9:15	49	-	灰茶濁	-	-
木曽川	8 月 30 日 18:30	290	-	黄白濁	-	-
	8 月 31 日 10:00	11	-	淡白濁	-	-

- 注) 1.平成 15 年 6 月 18 日の調査は、28mm/h の降雨より約 48 時間後に実施。
 2.平成 15 年 6 月 19 日の調査は、28mm/h の降雨より約 72 時間後に実施。
 3.平成 16 年 8 月 30 日の調査は、57mm/h の降雨より約 3 時間後に実施。
 4.平成 16 年 8 月 31 日の調査は、12mm/h の降雨より約 3 時間後、57mm/h の降雨より約 18 時間後に実施。
 5.降雨データは、調査地点から最も近い津地方気象台桑名観測所における観測結果。

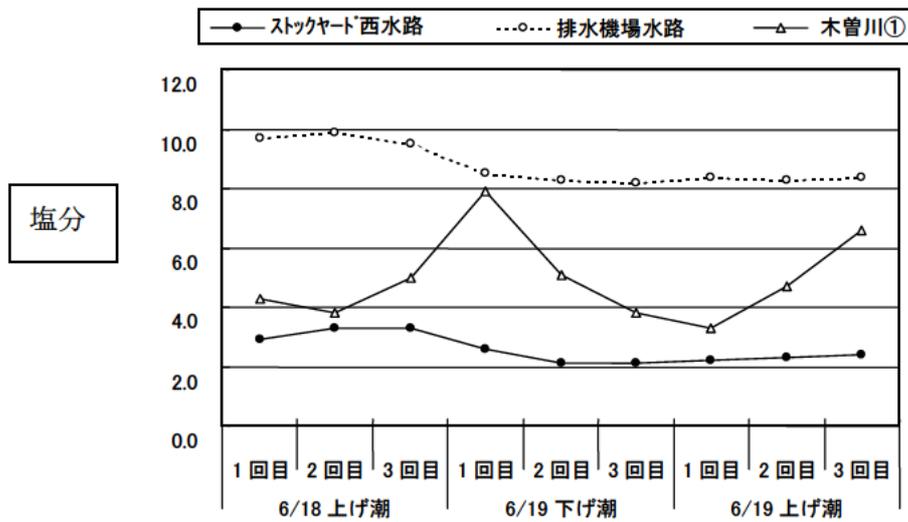
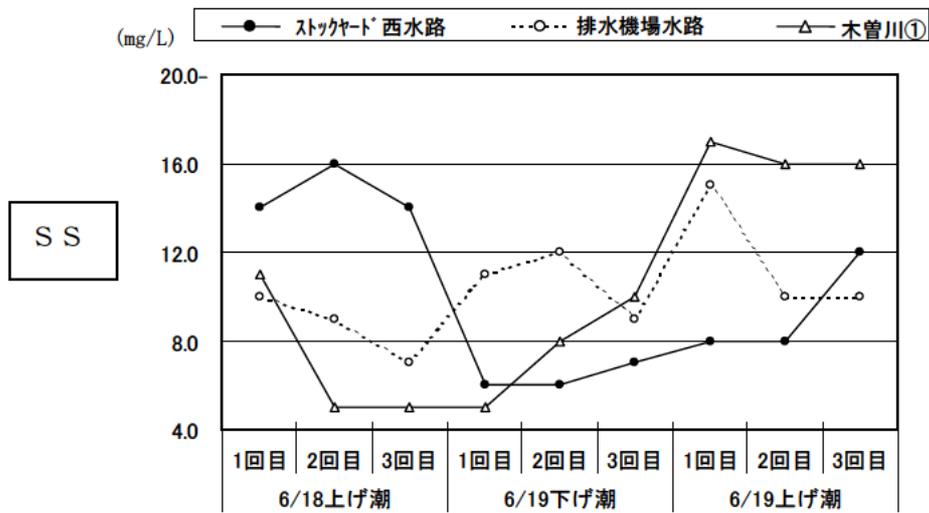


図 8.4.1.2-1 降雨時の水質調査結果 (平成15年)

(2) 調査日の降雨の状況

調査時の降雨の状況を表 8.4.1.2-1(3)に示した。

表 8.4.1.2-1(3) 調査日の降雨の状況

表中の数字は時間雨量：単位 mm

時刻	平成 15 年				平成 16 年			
	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	8月28日	8月29日	8月30日	8月31日
1時	0	0	0	0	0	0	0	12
2時	0	1	0	0	0	0	0	1
3時	0	1	0	0	0	0	0	0
4時	0	0	0	0	0	0	0	0
5時	0	0	0	0	0	0	0	0
6時	0	1	0	0	0	0	1	0
7時	0	2	0	0	0	0	0	0
8時	0	1	1	0	0	0	0	0
9時	0	0	2	0	0	0	0	0
10時	0	0	1	0	0	0	0	0
11時	0	0	2	0	0	0	1	0
12時	2	0	1	0	0	1	0	0
13時	1	0	2	0	0	0	0	0
14時	13	0	1	0	0	0	11	0
15時	2	0	1	0	0	0	57	0
16時	28	0	1	0	0	0	0	0
17時	0	0	0	0	0	0	0	0
18時	0	0	0	0	0	0	0	0
19時	0	0	1	0	0	0	0	0
20時	0	0	0	0	0	0	0	0
21時	0	0	0	0	0	0	0	0
22時	0	0	0	0	0	0	0	0
23時	0	0	0	0	0	0	0	0
24時	0	0	0	0	0	0	4	0
計	46	6	13	0	0	1	74	13

注) 1. 平成 15 年の調査日は 6 月 18 日～6 月 19 日。平成 16 年の調査日は 8 月 30 日～8 月 31 日。

2. 降雨データは、調査地点から最も近い津地方気象台桑名観測所における観測結果。

4.2 予測

4.2.1 工事の実施

(1) 濁水発生量の算出

降雨時に造成面から発生する濁水発生量は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に基づき算出した。算出にあたっては、工事区域の流域区分ごとの面積と降雨強度及び工事区域の地表面の状態により設定する雨水流出係数を考慮して、次のように算出した。

$$Q = f1 \cdot \frac{I \cdot A1}{1,000} + f2 \cdot \frac{I \cdot A2}{1,000}$$

ここで、
 Q : 雨水流出量 (m³/h)
 I : 降雨強度 (mm/h)
 $f1$: 造成区域の雨水流出係数 (= 0.5)
 $f2$: 非造成区域の雨水流出係数 (= 0.3)
 $A1$: 流域内の造成区域面積 (m²)
 $A2$: 流域内の非造成区域面積 (m²)

(2) 表面積及び滞留時間の算出

表面積及び滞留時間は、沈砂設備等の床面積及び容量と濁水流入量を用いて、次のように算出した。

$$\text{表面積負荷 (m/h)} = \frac{\text{沈砂設備等への濁水流入量 (m}^3\text{/h)}}{\text{沈砂設備等の床面積 (m}^2\text{)}}$$

$$\text{滞留時間 (h)} = \frac{\text{沈砂設備等の貯水容量 (m}^3\text{)}}{\text{沈砂設備等への濁水流入量 (m}^3\text{/h)}}$$

(3) 排水機場水路における SS 濃度の算出

排水機場水路は、東水路（中央水路経由）及び西水路が合流した水路であるため、排水機場水路における SS 濃度は、各水路での SS 濃度と雨水流出量を用いて、次のように完全混合式により算出した。

$$C = \frac{C_0 \cdot q_0 + C_1 \cdot q_1}{q_0 + q_1}$$

ここで、
 C : 混合後の SS 濃度 (mg/L)
 C_0, C_1 : 各水路における SS 濃度 (mg/L)
 q_0, q_1 : 各水路における雨水流出量 (m³/h)

次に示す岩井・井上の式を用いた。

一様な一方向の定常流が存在する 2 次元の無限の広がりを持つ海洋中において、点状汚濁源から連続的に汚濁物質が放出される場合の拡散計算式である。

$$S = \frac{q}{2\pi d \sqrt{K_x K_y}} \exp\left(\frac{ux}{2K_x} - \lambda t\right) K_0(\eta)$$

ここで、 S : 浮遊物質 (SS) の濃度 (mg/L)
 q : 単位時間当たりの発生汚濁負荷量 ($\mu\text{g/s}$)
 u : x 方向の定常流流速 (cm/s)
 K_x : x 方向の拡散係数 (cm^2/s)
 K_y : y 方向の拡散係数 (cm^2/s)
 λ : 汚濁物質の減少係数 (1/s)
 d : 汚濁物質の混合層の厚さ (cm)
 $K_0(\eta)$: 第 2 種ベッセル関数

$$K_0(\eta) = \int_0^{\infty} \exp(-\eta \cosh t) dt$$

$$\eta = \frac{u}{2} \sqrt{\frac{1}{K_x} \left(\frac{x^2}{K_x^2} + \frac{y^2}{K_y^2} \right)}$$

なお、 $y = 0$ とし、かつ、 $K_x = K_y = K$ 、 $\lambda = 0$ と仮定すると $xu/2K > 50$ の条件のもとでは、以下のような式となる。予測ではこの式を用いた。

$$S = \frac{q}{2\pi d K} \exp\left(\frac{xu}{2K}\right) \cdot K_0\left(\frac{xu}{2K}\right) \approx \frac{q}{2d \sqrt{\pi K u x}}$$

ここで、 x : 流入点からの距離 (cm)

(1) 雨水流出係数の設定

雨水流出係数は、「面整備事業環境影響評価技術マニュアル（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）に基づき設定した。

雨水流出係数は、工事時の地表面の状態により設定するものとし、工事区域が造成区域（基本的に裸地面）の場合は 0.5、非造成区域（植栽等のある区域）の場合は 0.3 とした。

(2) 降雨強度の設定

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）によると、予測で用いる降雨強度は事業実施区域の周辺地域における日常的な降雨量を設定することとしている。事業実施区域に最も近い津地方気象台桑名観測所における過去 10 年間の年別の最大 1 時間降水量を表 8.4.2.1-3(1) に示す。本地域では降雨強度は弱く、50mm/h 以上の年が 2 回であり、ほとんどの年が 30mm/h 前後となっており、過去 10 年間の平均が 37mm/h である。そこで、本予測の対象とする降雨強度として、過去 10 年間の年別最大 1 時間降水量の平均値 37mm/h を設定した。

表 8.4.2.1-3(1) 桑名観測所の年別最大 1 時間降水量

観測年（年）	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	10 年間平均
最大 1 時間降水量 (mm/h)	32	21	34	17	57	70	48	34	26	29	37

出典)：地域気象観測所データ（気象庁）

注) 2000 年には東海豪雨が発生している。

参考) 気象庁の気象観測法の区分では、降雨強度により弱雨、並雨、強雨の 3 段階である。弱雨は瞬間強度 0.0～3.0mm/h 未満（気象庁の区分：強度 0）、並雨は瞬間強度 3.0～15.0mm/h 未満（同：強度 1）、強雨は瞬間強度 15.0mm/h 以上（同：強度 2）と区分している。

(3) 沈砂設備の条件

事業実施区域内には、沈砂設備として沈砂池を、わんぱく原っぱ（東側）に 9 ヶ所、わんぱく原っぱ（西側）に 3 ヶ所、デイキャンプ場に 6 ヶ所、冒険広場に 3 ヶ所、ストックヤードに 12 ヶ所設置するものとして予測を行った。

事業実施区域内に設置する沈砂設備の条件を表 8.4.2.1-3(2) に、想定した沈砂池の概要を図 8.4.2.1-3(1) に、配置を図 8.4.2.1-3(2) に示す。

表 8.4.2.1-3(2) 予測時に想定した沈砂設備の条件

沈砂設備等	設置場所	設置数	沈砂池 1 ヶ所あたりの容量(m ³)	沈砂池 1 ヶ所あたりの床面積(m ²)
沈砂池	わんぱく原っぱ（東側）	9	156	16
	デイキャンプ場	6	156	16
	わんぱく原っぱ（西側）	3	156	16
	冒険広場	3	156	16
	ストックヤード	12	156	16

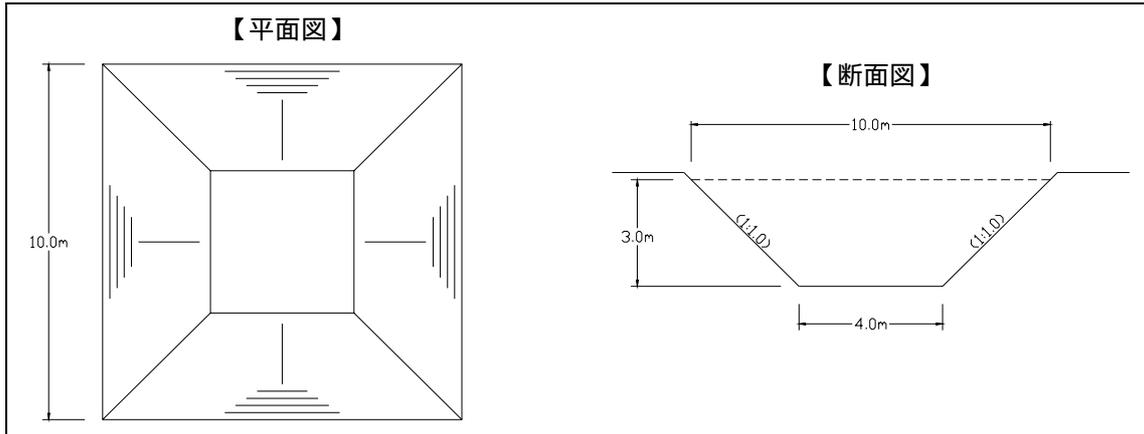


図 8.4.2.1-3(1) 予測時に想定した沈砂池の形状

予測時には、図 8.4.2.1-3(1)のような形状の沈砂池を、図 8.4.2.1-3(3)の流域面積の区分毎に、図 8.4.2.1-3(2)のように設置することを想定した。

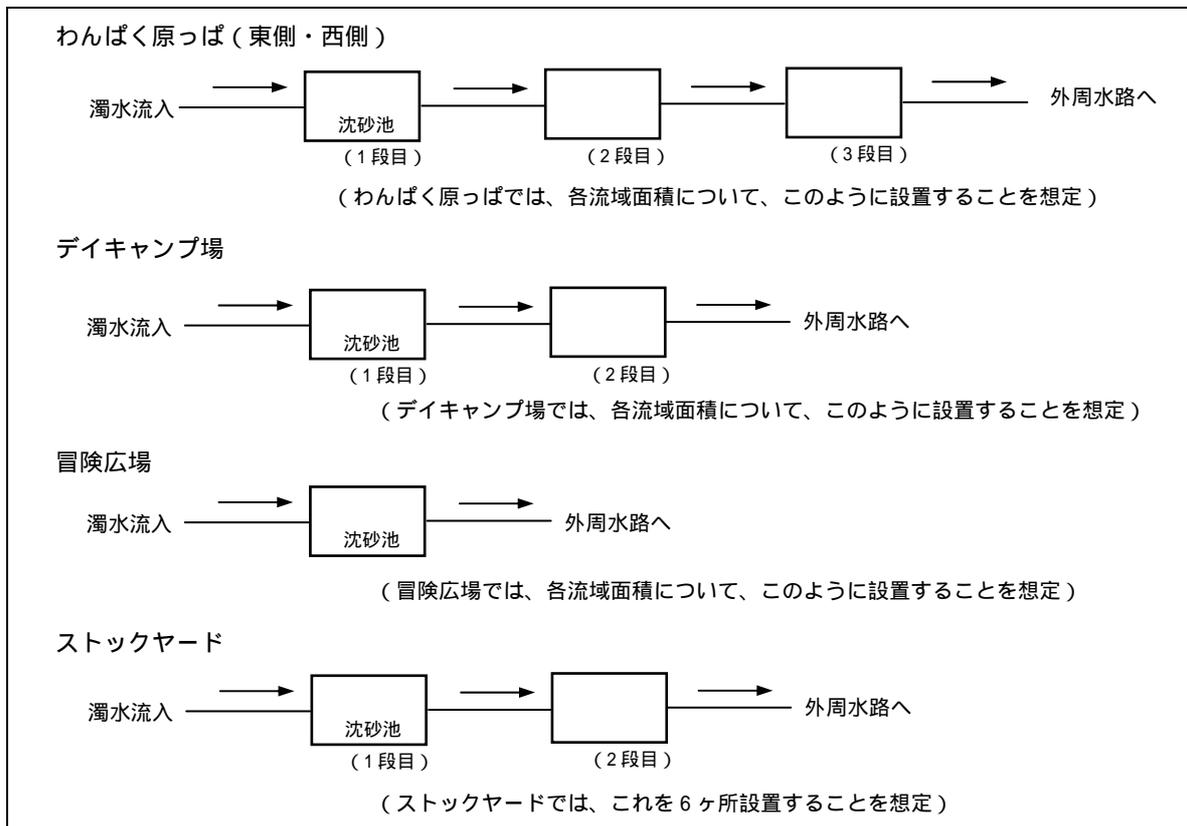


図 8.4.2.1-3(2) 予測時に想定した沈砂池の概要

なお、実際の濁水の発生は、搬入される土砂成分等の影響を受ける。そのため、持ち込まれる土砂について事前に試験を実施し、沈砂池から外周水路へ排出される排出水のSS濃度が降雨時の現況調査結果(250mg/L)を超えないよう、裸地となる面積、降雨強度等も考慮して適切に沈砂池を設置する。

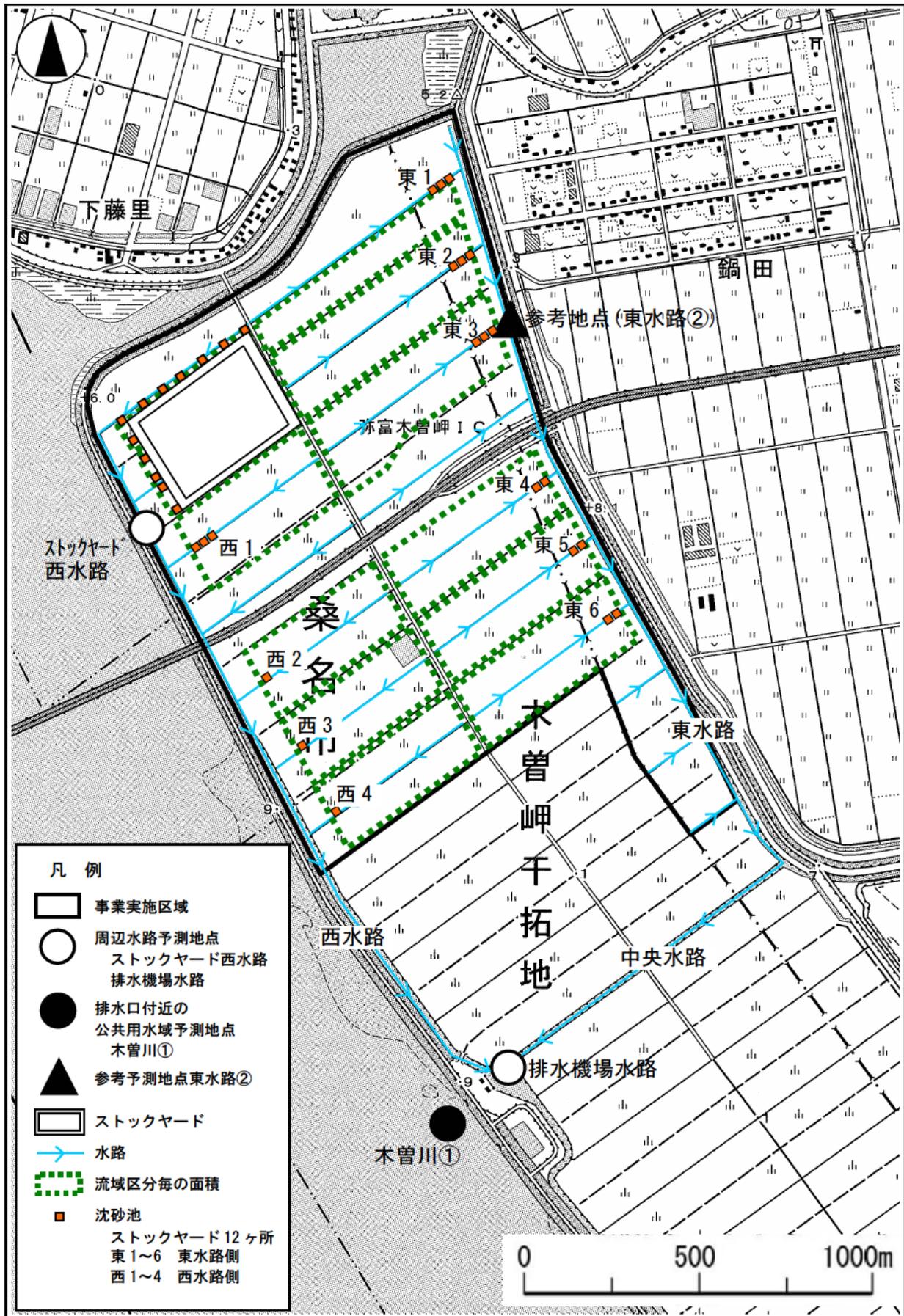


図 8.4.2.1-3(3) 沈砂設備等の配置 (工事中)

(4) その他の条件

その他の条件を次に示す。

表 8.4.2.1-3(3) その他の条件

予測条件：降雨強度 37(mm/h)の場合

対象箇所	流域番号	流域面積 A1(m ²)	流出 係数	降雨 強度 (mm/h)	沈砂池 1ヶ 所あたりの 表面積負荷 (m/h)	沈砂池 の 設置数	対象流域の 沈砂池の 濁水流入量 (m ³ /h)	対象流 域内の 沈砂池 の貯水 容量 (m ³)	滞留 時間 (h)
わんぱく 原っぱ (東側)	東 1	59,700	0.5	37	69.0	3	1,104	468	0.424
	東 2	127,300	0.5	37	147.2	3	2,355	468	0.199
	東 3	129,500	0.5	37	149.7	3	2,396	468	0.195
デイキャ ンプ場	東 4	110,168	0.5	37	127.4	2	2,038	312	0.153
	東 5	111,492	0.5	37	128.9	2	2,063	312	0.151
	東 6	109,697	0.5	37	126.8	2	2,029	312	0.154
わんぱく 原っぱ (西側)	西 1	107,200	0.5	37	124.0	3	1,983	468	0.236
冒険広場	西 2	94,067	0.5	37	108.8	1	1,740	156	0.090
	西 3	102,266	0.5	37	118.2	1	1,892	156	0.082
	西 4	98,440	0.5	37	113.8	1	1,821	156	0.086
ストック ヤード	ストック ヤード	126,800	0.5	37	146.6	12	2,346	1872	0.798

参考予測条件：降雨強度 15(mm/h)の場合

対象箇所	流域番号	流域面積 A1(m ²)	流出 係数	降雨 強度 (mm/h)	沈砂池 1ヶ 所あたりの 表面積負荷 (m/h)	沈砂池 の 設置数	対象流域の 沈砂池の 濁水流入量 (m ³ /h)	対象流 域内の 沈砂池 の貯水 容量 (m ³)	滞留 時間 (h)
わんぱく 原っぱ (東側)	東 1	59,700	0.5	15	28.0	3	448	468	1.045
	東 2	127,300	0.5	15	59.7	3	955	468	0.490
	東 3	129,500	0.5	15	60.7	3	971	468	0.482
デイキャ ンプ場	東 4	110,168	0.5	15	51.6	2	826	312	0.378
	東 5	111,492	0.5	15	52.3	2	836	312	0.373
	東 6	109,697	0.5	15	51.4	2	823	312	0.379
わんぱく 原っぱ (西側)	西 1	107,200	0.5	15	50.3	3	804	468	0.582
冒険広場	西 2	94,067	0.5	15	44.1	1	705	156	0.221
	西 3	102,266	0.5	15	47.9	1	767	156	0.203
	西 4	98,440	0.5	15	46.1	1	738	156	0.211
ストック ヤード	ストック ヤード	126,800	0.5	15	59.4	12	951	1872	1.968

参考予測条件：降雨強度 57(mm/h)の場合

対象箇所	流域番号	流域面積 A1(m ²)	流出 係数	降雨 強度 (mm/h)	沈砂池1ヶ 所あたりの 表面積負荷 (m/h)	沈砂池 の 設置数	対象流域の 沈砂池の 濁水流入量 (m ³ /h)	対象流 域内の 沈砂池 の貯水 容量 (m ³)	滞留 時間 (h)
わんぱく 原っぱ (東側)	東1	59,700	0.5	57	106.3	3	1,701	468	0.275
	東2	127,300	0.5	57	226.8	3	3,628	468	0.129
	東3	129,500	0.5	57	230.7	3	3,691	468	0.127
デイキャン プ場	東4	110,168	0.5	57	196.2	2	3,140	312	0.099
	東5	111,492	0.5	57	198.6	2	3,178	312	0.098
	東6	109,697	0.5	57	195.4	2	3,126	312	0.100
わんぱく 原っぱ (西側)	西1	107,200	0.5	57	191.0	3	3,055	468	0.153
冒険広場	西2	94,067	0.5	57	167.6	1	2,681	156	0.058
	西3	102,266	0.5	57	182.2	1	2,915	156	0.054
	西4	98,440	0.5	57	175.3	1	2,806	156	0.056
ストック ヤード	ストック ヤード	126,800	0.5	57	225.9	12	3,614	1872	0.518

(5) SS 流出負荷量（初期濃度）の設定

「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」（建設省都市局都市計画課、平成 11 年 11 月）より、広域地造成工事において発生する濁水の SS 濃度は最大で 2,000mg/L であることから、2,000mg/L とした。

(6) 土砂沈降特性

土砂沈降特性を把握するため、事業実施区域内の 5 地点で土壌を採取し、沈降試験を行った。試験方法については、「公害防止の技術と法規（水質編）」（経済産業省産業技術環境局）の沈降試験方法に従い実施した。ただし、沈降試験に用いる土砂は、粒径を異にする微細粒子の集合体であると考えられること、また、降雨時に採取した現地の水の SS 濃度分析結果と同様の分析方法とすること等を考慮して、図 8.4.2.1-3(4)に示すような円筒容器を製作し、これを用いて沈降試験を実施した。試験は、図 8.4.2.1-3(5)に示した手順で実施した。

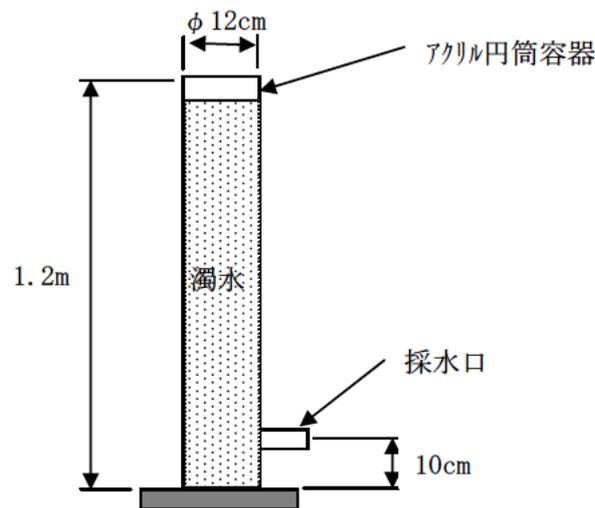


図 8.4.2.1-3(4) 沈降試験容器

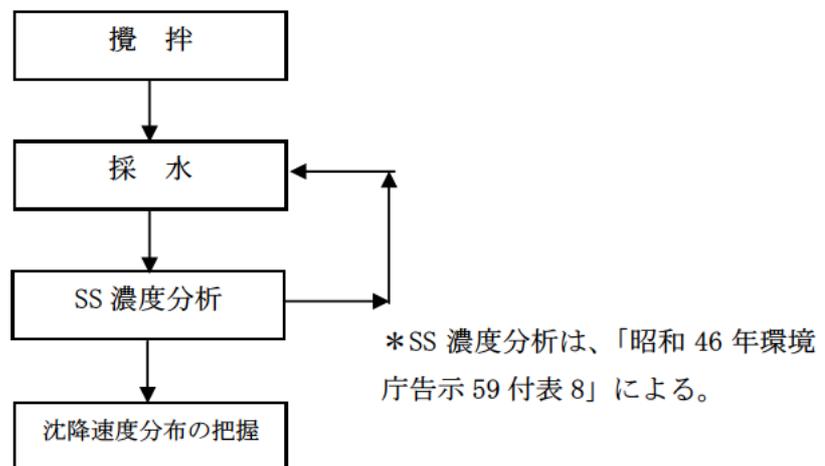


図 8.4.2.1-3(5) 沈降試験の手順

次に、沈降試験結果をもとに、沈降速度分布曲線を各採取試料について以下の関係式で求めた。

$$\frac{C_t}{C_0} = a \cdot \ln(v) + b$$

ただし、 C_0 : 初期濃度(mg/L)
 C_t : t 時間後の濃度
 : 沈降速度 (= 表面積負荷) (m/h)
 a, b : 係数

なお、沈砂池排出口における SS 濃度は、各試料の沈降速度分布曲線と前述の予測条件を用いて求めた。

(7) 岩井・井上の式における予測条件の設定

x 方向の定常流流速(cm/s)は、「伊勢湾潮流図」(海上保安庁、平成 7 年)によると伊勢湾の中央部で約 0.5~0.6 ノット(約 25~30cm/s)であるため、25cm/s に設定した。

拡散係数は、「瀬戸内海環境保全臨時措置法施行規則第 4 条第 1 項の事前評価について」(昭和 49 年 4 月 9 日環水規第 76 号)より $10^4 \text{cm}^2/\text{s}$ とした。

汚濁物質の混合層の厚さ(cm)は、海の干満の影響を受けるため干潮と満潮の平均を用い 100cm とした。

流入点からの距離については 100cm とした。

単位時間当たりの発生活濁負荷量については、排水機場の SS 濃度と排水機場の処理能力 ($=0.55 \text{ (m}^3/\text{s)}$) を単位換算し掛け合わせて算出した。

沈降試験結果を表 8.4.2.1-4 に示した。

表 8.4.2.1-4(1) 沈降試験結果

経過時刻 (分)	沈降速度 (m/h)	わんぱく原っぱ (東側)		わんぱく原っぱ (西側)		デイキャンプ場		冒険広場		ストックヤード	
		SS 濃度 (mg/L)	残留率 C_t/C_0								
2	29.469	634	0.317	680	0.340	530	0.265	251	0.126	528	0.264
5	11.682	600	0.300	638	0.319	520	0.260	186	0.093	502	0.251
10	5.788	572	0.286	480	0.240	490	0.245	144	0.072	488	0.244
30	1.912	516	0.258	372	0.186	412	0.206	102	0.051	432	0.216
60	0.947	440	0.220	288	0.144	350	0.175	72	0.036	332	0.166
120	0.469	390	0.195	230	0.115	298	0.149	57	0.029	214	0.107
240	0.232	314	0.157	178	0.089	234	0.117	45	0.023	161	0.081
360	0.153	264	0.132	138	0.069	202	0.101	36	0.018	133	0.067
480	0.114	239	0.120	127	0.064	176	0.088	32	0.016	113	0.057
1440	0.038	173	0.087	79	0.040	149	0.075	24	0.012	78	0.039
2880	0.019	108	0.054	49	0.025	79	0.040	16	0.008	76	0.054

注) 初期濃度は 2,000(mg/L) とした。

表 8.4.2.1-4(2) 沈降速度分布曲線

関係式		わんぱく原っぱ (東側)	わんぱく原っぱ (西側)	デイキャンプ場	冒険広場	ストックヤード
$\frac{C_t}{C_0} = a \cdot \ln(v) + b$	a	0.0378	0.0455	0.0332	0.0152	0.0373
	b	0.2115	0.1702	0.1725	0.0512	0.1570
	R ²	0.9810	0.9583	0.9809	0.8964	0.9415

C_0 : 初期濃度
 C_t : t 時間後の濃度
 v : 初期濃度
 a, b : 係数
 R : 相関係数

各試料における沈降速度分布図を図 8. 4. 2. 1-4(1)～(5)に示した。

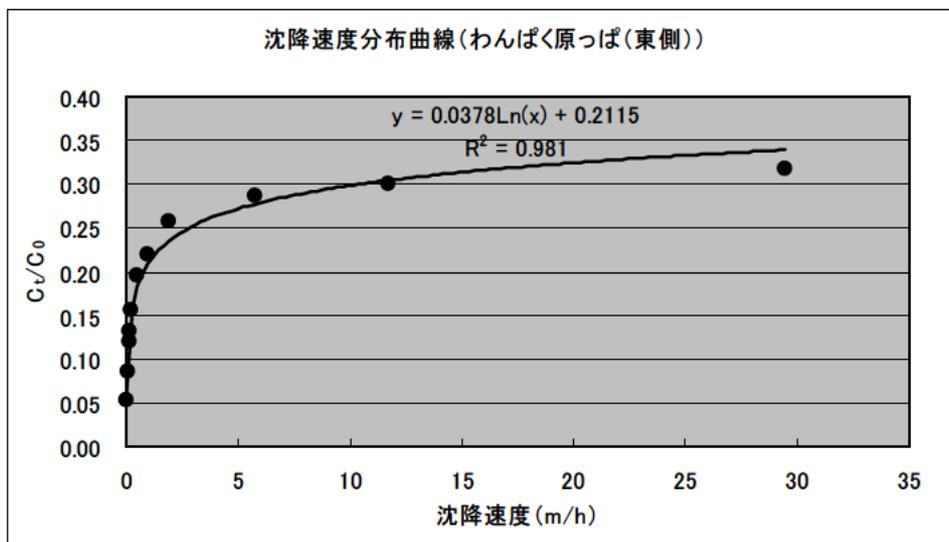


図 8. 4. 2. 1-4(1) 沈降速度分布図(わんぱく原っぱ(東側))

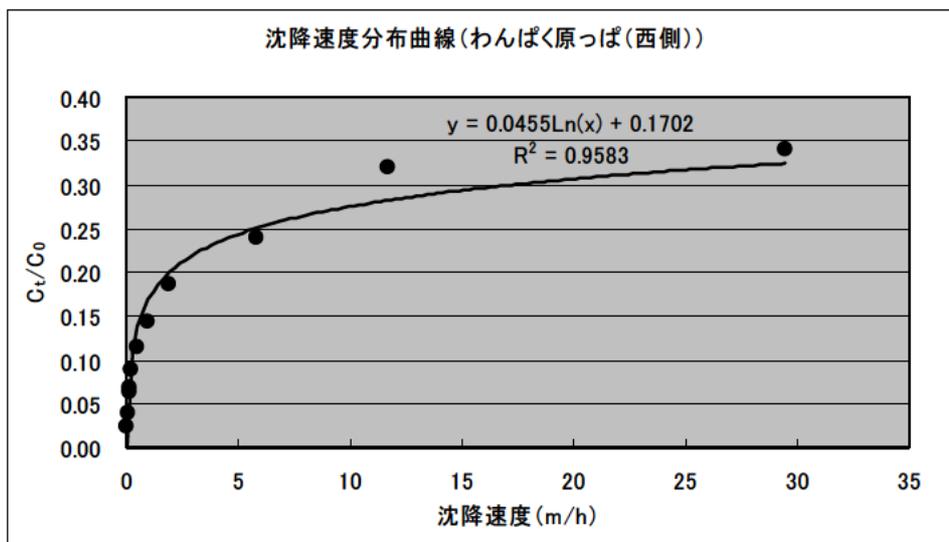


図 8. 4. 2. 1-4(2) 沈降速度分布図(わんぱく原っぱ(西側))

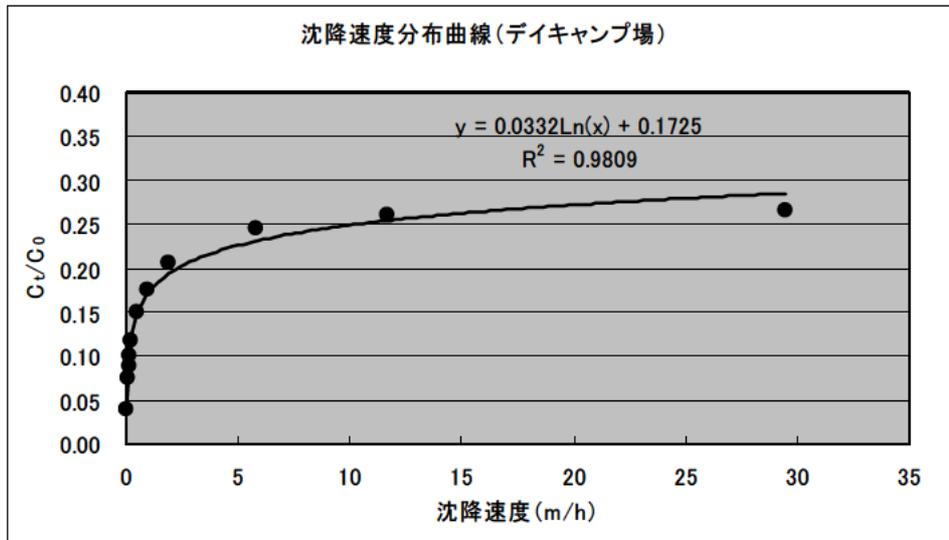


図 8. 4. 2. 1-4 (3) 沈降速度分布図(デイキャンプ場)

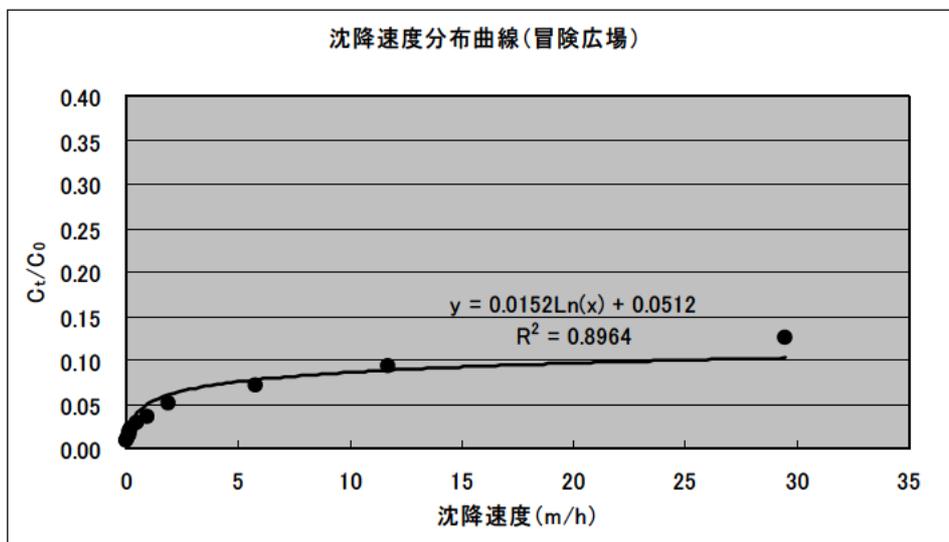


図 8. 4. 2. 1-4 (4) 沈降速度分布図(冒険広場)

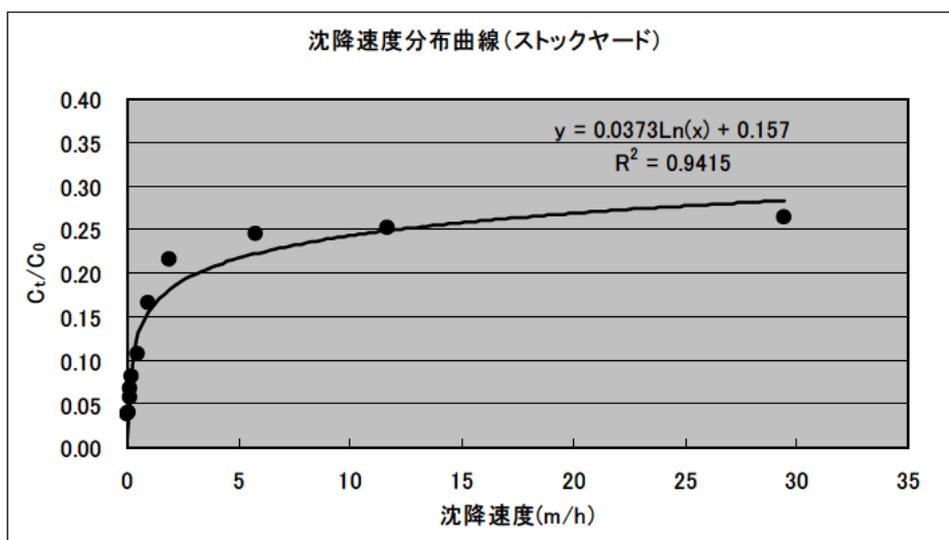


図 8. 4. 2. 1-4 (5) 沈降速度分布図(ストックヤード)

工事の実施の際の水質の予測結果を表 8.4.2.1-5 に示した。ただし、この予測結果は、木曾岬干拓地にある土砂により行っているため、実際に搬入される土砂のものとはなっていない。従って、下記の予測結果は、搬入土砂が木曾岬干拓地にある土砂と同等と想定した場合の予測結果である。

表 8.4.2.1-5 予測結果比較表（工事の実施）

項 目		予測 1	予測 2	予測 3	現況降雨時最大
予測結果	ストックヤード西水路(mg/L)	118	153	171	250 (東水路)
	参考：東水路 (mg/L)	99	129	145	
	排水機場水路(mg/L)	153	185	202	
	木曾川 (mg/L)	47	57	63	290
予測条件	降雨強度(mm/h)	15	37	57	-
	沈砂池	<ul style="list-style-type: none"> ・(ストックヤード) 床面積 16m²の沈砂池 12ヶ ・(わんぱく原っぱ(東側)) 床面積 16m²の沈砂池 9ヶ ・(わんぱく原っぱ(西側)) 床面積 16m²の沈砂池 3ヶ ・(デイキャンプ場) 床面積 16m²の沈砂池 6ヶ ・(冒険広場) 床面積 16m²の沈砂池 3ヶ 			-
備 考		降雨強度は、気象庁の気象観測法の区分で強雨に区分される15mm/hとした。	降雨強度は、桑名観測所の年別時間雨量の最大値の10年間の平均値とした。	降雨強度は、現況調査時の時間最大雨量とした。	-

注) 1. 造成工事において発生する濁水の初期濃度は2,000(mg/L)とした。

2. 排水機場水路では、東水路と西水路が合流するため、完全混合式により予測した。

3. 公共水域予測地点におけるSS濃度は、排水機場の予測結果を用いて、公共水域における拡散式により算出した。

4.2.2 存在及び供用

資料 8.4.2.2-1 予測条件（存在及び供用）

[本編 p213 対応]

(1) 降雨強度等

降雨強度、土砂沈砂特性及び岩井・井上の式における予測条件の設定は、資料 8.4.2.1-3 と同様とした。

(2) 雨水流出係数の設定

雨水流出係数は、供用時の地表面の状態により設定するものとし、裸地面の場合は 0.5、植栽等のある区域の場合は 0.3 とした。

(3) 沈砂設備等の条件

事業実施区域内には、沈砂設備としてストックヤード内の 12 ヶ所に沈砂池を設置するものとして予測を行った。

事業実施区域内に設置する沈砂設備等の条件を表 8.4.2.2-1(1) に、配置を図 8.4.2.2-1(1) に示す。想定した沈砂池の概要は「資料 8.4.2.1-3 予測条件（工事の実施）」と同様とした。

表 8.4.2.2-1(1) 沈砂設備等の条件

沈砂設備等	設置場所	設置数	沈砂池 1 ヶ所あたりの容量(m ³)	沈砂池 1 ヶ所あたりの床面積(m ²)
沈砂池	ストックヤード	12	156	16

(4) その他の条件等

その他の条件を次に示す。

表 8.4.2.2-1(2) その他の条件

流域番号	流域面積 A1(m ²)	流出係数	降雨強度 (mm/h)	沈砂池 1 ヶ所あたりの表面積負荷 (m ² /h)	沈砂池の設置数	対象流域の沈砂池への濁水流入量 (m ³ /h)	対象流域内の沈砂池への貯水容量 (m ³)	滞留時間 (h)
ストックヤード	126,800	0.5	15	59.4	12	951	1872	1.968
ストックヤード	126,800	0.5	37	146.6	12	2,346	1872	0.798
ストックヤード	126,800	0.5	57	225.9	12	3,614	1872	0.518

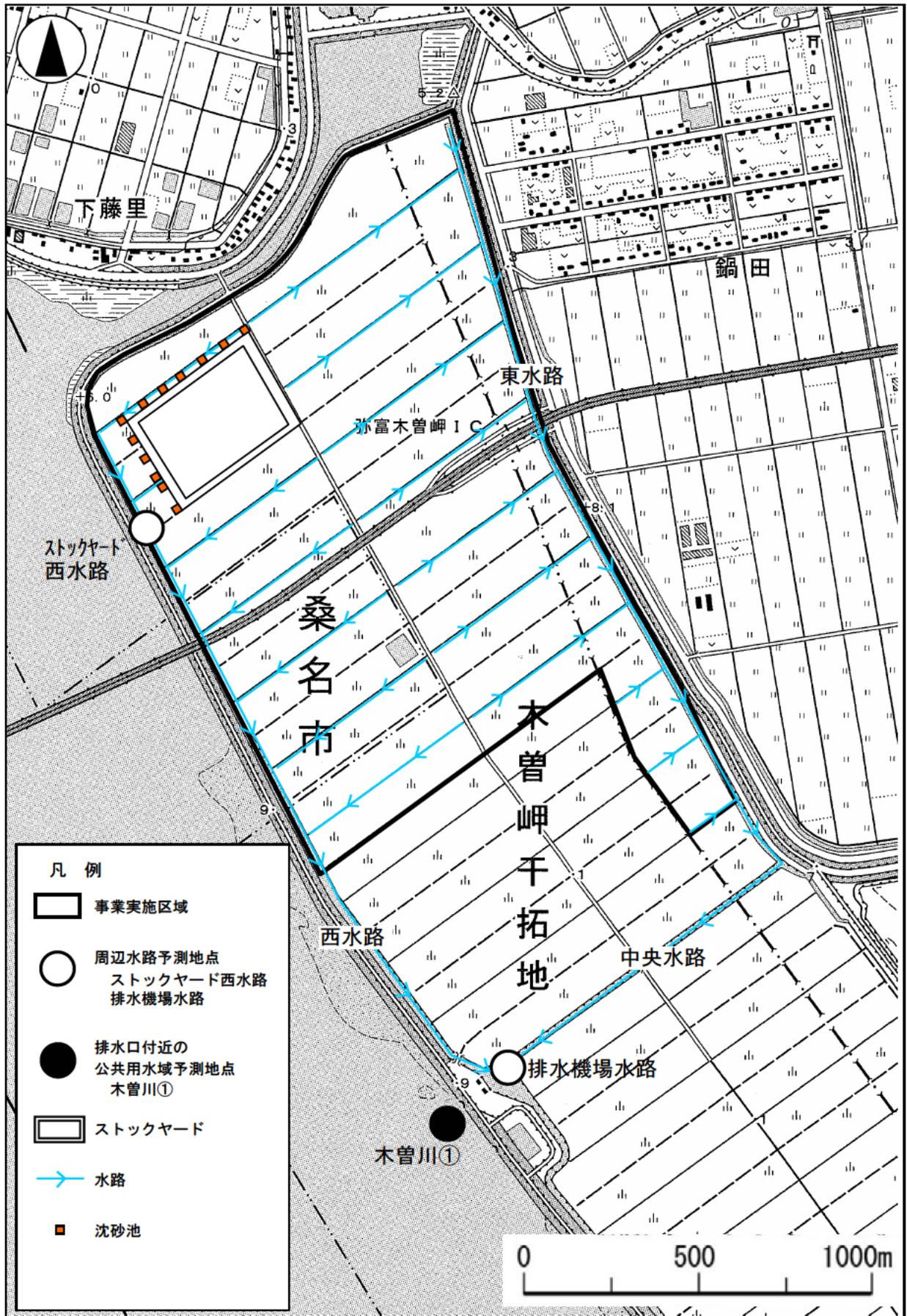


図 8.4.2.2-1(1) 沈砂設備等の配置（存在及び供用）

工事の実施の際の水質の予測結果を表 8.4.2.2-2 に示した。ただし、この予測結果は、木曾岬干拓地にある土砂により行っているため、実際に搬入される土砂のものとはなっていない。従って、下記の予測結果は、搬入土砂が木曾岬干拓地にある土砂と同等と想定した場合の予測結果である。

表 8.4.2.2-2 予測結果比較表（存在及び供用）

項目		予測 1	予測 2	予測 3	現況降雨時最大
予測結果	ストックヤード西水路(mg/L)	117	153	171	250
	排水機場水路(mg/L)	117	153	171	(東水路)
	木曾川 (mg/L)	37	47	53	290
予測条件	降雨強度(mm/h)	15	37	57	-
	沈砂池	・(ストックヤード) 床面積 16 m ² の沈砂池 12ヶ			-
備考		降雨強度は、気象庁の気象観測法の区分で強雨に区分される 15mm/h とした。	降雨強度は、桑名観測所の年別時間雨量の最大値の 10 年間の平均値とした。	降雨強度は、現況調査時の時間最大雨量とした。	

- 注) 1. 造成工事において発生する濁水の初期濃度は 2,000(mg/L)とした。
 2. 排水機場水路では、東水路と西水路が合流するため、完全混合式により予測した。
 3. 公共用水域予測地点における SS 濃度は、排水機場の予測結果を用いて、公共用水域における拡散式により算出した。

5 地形及び地質

5.2 予測

5.2.1 存在及び供用

(4) 予測方法

資料 8.5.2.1-1 側方流動

[本編 p227 ~ 228 対応]

「平成7年度木曾岬地区堤防安全性等点検業務 報告書」(東海農政局木曾岬干拓建設事業所)(以下既往報告書)を参考に沈下量の計算を行い、沈下量との関係から側方流動量を推定した。

1) 計算断面モデル

ストックヤード(盛土高:5.02m、盛土勾配 1:2)

わんぱく原っぱ(盛土高:5.02m、盛土勾配 1:5)

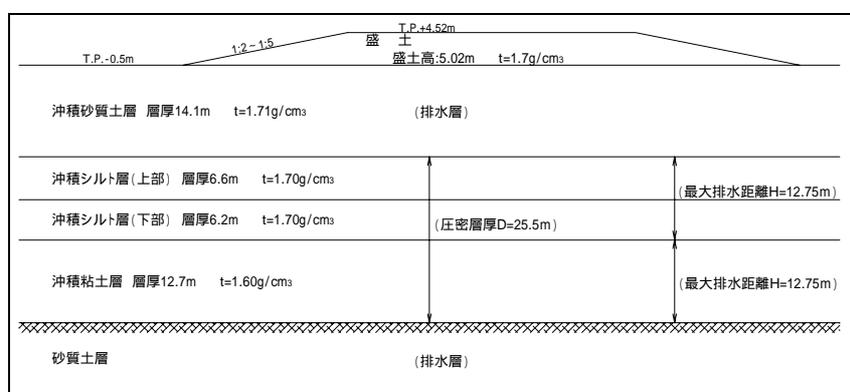


図 8.5.2.1-1(1) 沈下量計算等標準断面図

2) 土質条件

土質条件は、既往報告書を参考とした。また、盛土に使用する土砂の土質定数は現在不明であることから、一般的な盛土材の定数を用いる。

表 8.5.2.1-1(1) 土質定数

地層	平均 N 値	単位体積重量 g/cm ³			強度特性		圧密特性			変形特性		備考
		t	sat		内部摩擦角 (°)	粘着力 c (tf/m ²)	圧縮指数 Cc	体積圧縮係数 mv (m ² /tf)	圧密係数 Cv (cm ² /d)	ポアソン比	変形係数 E (tf/m ²)	
沖積砂質土層 As	11.8	1.71	1.77	0.77	30	2.0				0.33	3304	上部
	17.2										4816	下部
沖積シルト層 (上部) Asi-u	-	1.70	1.70	0.70	0	5.5	0.5	0.0024	1500	0.48	1155	
沖積シルト層 (下部) Asi-L	-	1.70	1.70	0.70	0	6.5	0.5	0.0024	700	0.48	1365	
沖積粘土層 Ac	-	1.60	1.60	0.60	0	0.39Z +3.6	0.5	0.0035	160	0.48	3486	
計画盛土	-	1.7	1.8	0.8	30							

3) 計算方法

沈下量は、以下に示す mv 法による推定式を用いて算出した。なお、実際の沈下量の計算は、市販のソフトウェア（富士通エフアイピー「圧密沈下計算システムデカルト」）を用いた。

$$\bullet s = mv \cdot \Delta P \cdot D_0$$

s : 圧密沈下量 (cm)

ΔP : 増加荷重 (kg/cm²)

mv : 平均荷重 (P) に対応する体積圧縮係数 (cm²/kg)

(mv は既往報告書の沖積シルト層と沖積粘土層の圧密代表曲線 (図 8.5.2.1-1(2)) より求めた。なお、沖積シルト層の上部と下部は、同様な圧密曲線の特性を持つことから、代表曲線を同一とした。)

D_0 : 圧密層厚 (cm)

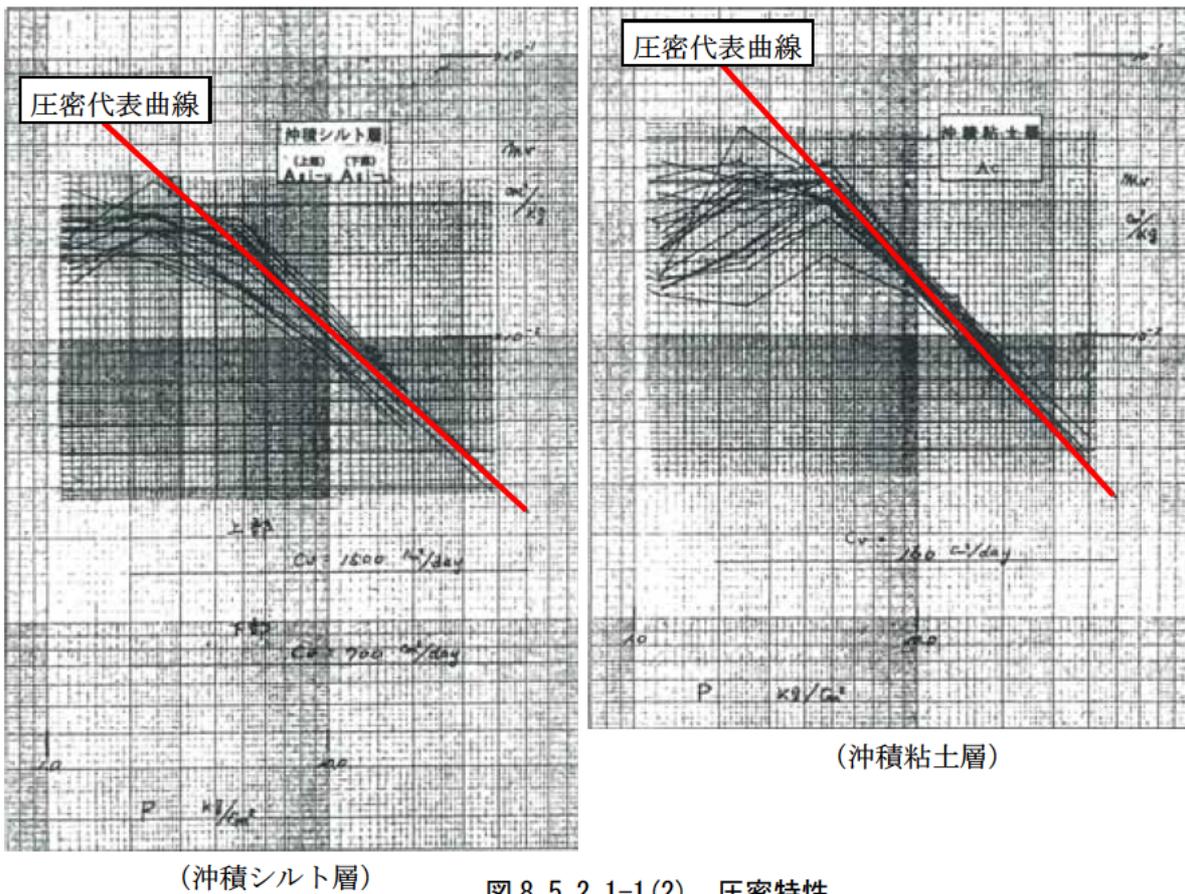


図 8.5.2.1-1(2) 圧密特性

増加荷重は以下のように求めた。

● 盛土荷重

単位体積荷重を γ とした盛土において、隣り合った 2 点間で区切られた微小区間を帯荷重と同様に線荷重の集まりとして増加応力を求める。

よって、増加応力 σ_y は以下ようになる。

$$\bullet \sigma_y = \frac{2q}{\pi} \frac{y^3}{(x^2 + y^2)^2}$$

ここで、2点間を通る直線の式を
 $y = a_1 \cdot x + b_1$, $y = a_2 \cdot x + b_2$
 とおくと微小区間による荷重 q と荷重載荷高 h は
 以下の式から求められる。

$$\cdot q = \gamma \int_{x_1}^{x_2} ((a_1 x + b_1) - (a_2 x + b_2)) dx$$

$$\cdot h = \frac{|(a_2 x_1 + b_2) + (a_2 x_2 + b_2)|}{2}$$

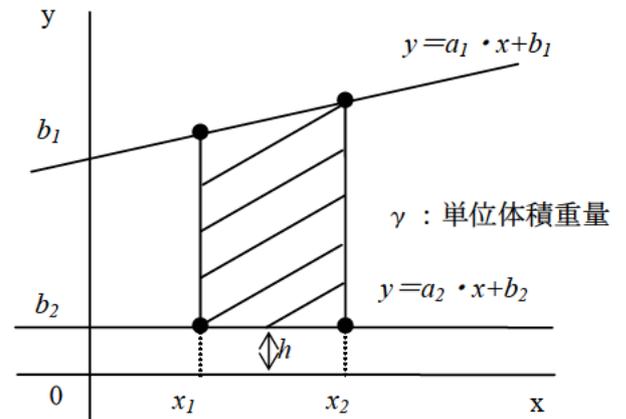


図 8.5.2.1-1(3) 盛土の分割

●集中荷重

下図に示すような地盤に集中荷重 P が载荷された場合の任意の深さ y における地盤内の応力増分を、Boussinesq は地盤を等方で半無限弾性体との仮定のもとに、以下のように表した。

鉛直応力増分 $\Delta\sigma_y$

$$\cdot \Delta\sigma_y = \frac{3Py^3}{2\pi R^5}$$

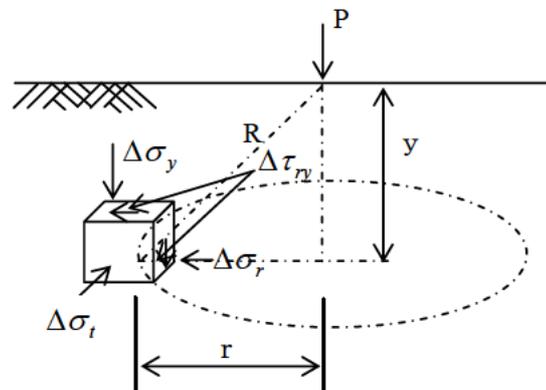


図 8.5.2.1-1(4) 集中荷重 P が作用した場合の地盤内応力

●線荷重

下左図に示すように z 軸線上に単位長さ当たり q なる強さの様な線荷重が働くとき、土中の応力は集中荷重を受けるときの Boussinesq の式において、

$$P = q \cdot dz$$

として、 z を $-\infty$ から $+\infty$ の区間で積分して求められる。 z 方向には応力の変化がないので、座標系は平面変形の 2 次元問題 (下右図) となり、応力は以下のように求められる。

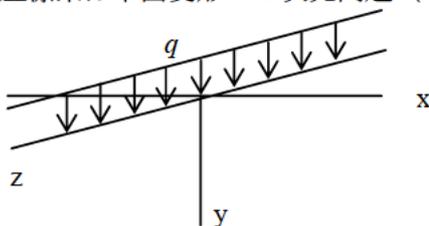


図 8.5.2.1-1(5) 線荷重の分布

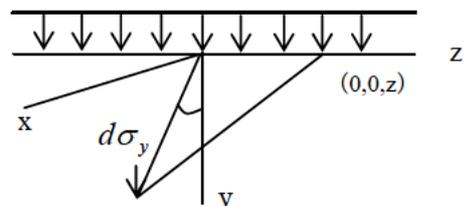


図 8.5.2.1-1(6) 線荷重による地中応力

$$\cdot \sigma_y = \frac{2q}{\pi} \frac{y^3}{(x^2 + y^2)^2}$$

帯荷重

帯荷重は線荷重による応力 y を帯幅について積分することによって求められる。
帯幅を x_1 から x_2 とすると帯荷重による応力は以下ようになる。

$$\begin{aligned}\sigma_y &= \frac{2q}{\pi} \int_{x_1}^{x_2} \frac{y^3}{(x^2 + y^2)^2} dx \\ &= \frac{2qy^3}{\pi} \left[\frac{1}{2y^2} \left(\frac{x}{x^2 + y^2} + \frac{1}{y} \tan^{-1} \frac{x}{y} \right) \right]_{x_1}^{x_2} \\ &= \frac{qy}{\pi} \left[\frac{x}{x^2 + y^2} + \frac{1}{y} \tan^{-1} \frac{x}{y} \right]_{x_1}^{x_2} \\ &= \frac{q}{\pi} \left[\left(\frac{x_2 y}{x_2^2 + y^2} + \tan^{-1} \frac{x_2}{y} \right) - \left(\frac{x_1 y}{x_1^2 + y^2} + \tan^{-1} \frac{x_1}{y} \right) \right] \\ &= \frac{q}{\pi} \left(\frac{x_2 y}{R_2^2} - \frac{x_1 y}{R_1^2} + \beta_2 - \beta_1 \right) \quad (R^2 = x^2 + y^2) \\ &= \frac{q}{\pi} (\sin \beta_2 \cdot \cos \beta_2 - \sin \beta_1 \cdot \cos \beta_1 + \beta_2 - \beta_1) \quad \left(\frac{xy}{R^2} = \frac{x}{R} \cdot \frac{y}{R} = \sin \beta \cdot \cos \beta \right) \\ &= \frac{q}{\pi} (\sin(\beta_2 - \beta_1) \cdot \cos(\beta_2 + \beta_1) + \beta_2 - \beta_1)\end{aligned}$$

上式において、 $\beta = \beta_2 - \beta_1$ ， $\phi = \beta_2 + \beta_1$ とおくと

$$\sigma_y = \frac{q}{\pi} (\sin \beta \cdot \cos \phi + \beta)$$

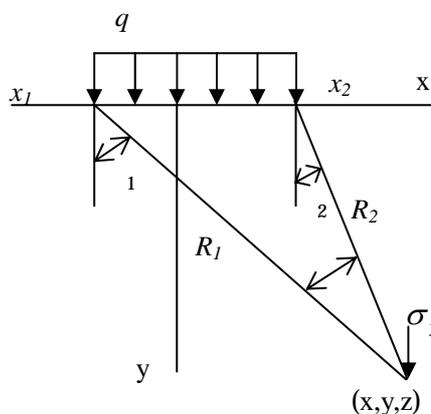


図 8.5.2.1-1(7) 帯荷重による地中応力

圧密に要する時間は、以下に示す式により算出した。

$$t = \frac{H^2}{cv} \cdot Tv$$

t : 圧密に要する時間(day)

H : 最大排水距離(cm) 圧密層厚 D_0 とする時
両面排水の場合 $H=D_0/2$
片面排水の場合 $H=D_0$

(圧密対象層である沖積シルト層、沖積粘土層の上下に分布する沖積砂質土層は、圧密層に比べ透水性が大きく排水層として期待できるため、両面排水で計算を行った。)

cv : 圧密係数(cm^2/day)

Tv : 圧密度 Uv に対応する時間係数

(沈下速度の計算は、圧密層を構成する各土層の cv 値の中から最小値の土層の cv 値をとり、下記に示した圧密層厚に換算し、単一土層として計算している。沈下速度の計算は、上述した市販ソフトにより行った。)

4) 側方変位量（水平変位量）と側方変位（水平変位）の影響範囲

側方変位量（水平変位量）と側方変位（水平変位）の影響範囲及び沈下量には、図 8.5.2.1-1(8)に示す関係（設計要領第一集，（日本道路公団、平成 10 年））があることが知られている。これより、沈下量に対し側方変位量（水平変位量）が大きくなるのは法尻部で最も大きく、側方変位（水平変位）の影響が及ぶ範囲は法尻から最大で軟弱層厚(D)の約 2 倍程度となり、軟弱地盤より影響範囲が求められる。また、盛土法尻からの距離と沈下量がわかれば側方変位量（水平変位量）が求められる。

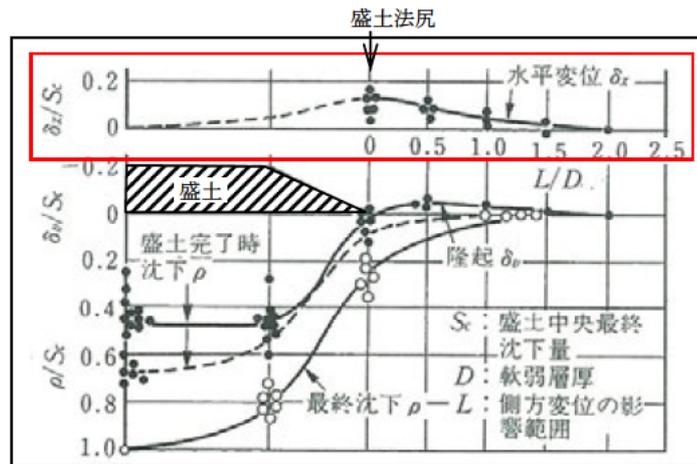


図 8.5.2.1-1(8) 盛土による地盤の変位

注) 図 8.5.2.1-1(5)は名神、東名その他高速道路及び建設省一般国道改良工事などで実際に観測された盛土の沈下形状や側方への影響を示したものである。なお、ここで取り上げられている盛土の幅は 30m~60m で、本計画のような面状で広い範囲の盛土の状況とは異なるが、宅地造成などで面的な整備を行う住宅都市整備公団の「軟弱地盤技術指針」の中では、側方地盤への影響について目安を付ける例として上述に添付した既往資料が取り上げられている。

木曾岬干拓地の地盤上に計画盛土高さ(5.02m)を行う際に、地盤及び盛土自体のすべり破壊発生の有無を安定計算により確認した。

1) 計算断面モデル

側方流動の計算断面モデルのうち、盛土勾配の厳しいストックヤードの断面モデルとした。

2) 計算断面モデル

側方流動の検討で使用した土質条件と同様とした。

3) 計算方法

安定計算は以下に示す有効応力法を用いて行った。なお、実際の計算は市販ソフトウェア(富士通エフアイピー「安定計算プログラムCOSTANA」)を用いた。

・有効応力法

$$F_s = \frac{\Sigma(c' \cdot l + W' \cdot \cos \alpha \cdot \tan \phi')}{\Sigma W \cdot \sin \alpha}$$

F_s : 安全率

c' : 有効応力に関する土の粘着力

l : 細片部のすべり面の長さ

: 細片部のすべり面平均傾斜角

ϕ' : 有効応力に関するせん断抵抗角

W : 細片の土の全重量

W' : 地下水位以下の浮力を考えた細片の有効重量

1) 沈下量と圧密沈下時間

盛土中央部における沈下時間と沈下量及び最終沈下量は、表 8.5.2.1-3(1)に示すとおりである。盛土中央部での最終沈下量は 0.64m であるが、圧密度が 90% となる沈下時間は約 11.5 年の時間を要する結果となった。

表 8.5.2.1-3(1) 沈下時間と沈下量(盛土中央部)

圧密度(%)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
沈下時間(日)	40	157	352	625	977	1422	2000	2815	4209	
沈下量(m)	0.064	0.128	0.192	0.256	0.320	0.384	0.449	0.513	0.577	0.640

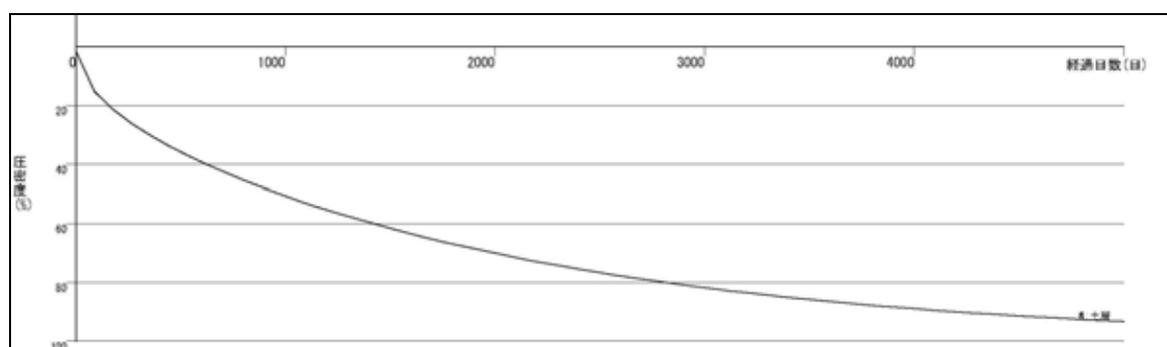


図 8.5.2.1-3(1) 盛土中央部における圧密度～圧密時間曲線

2) 地盤の安定性

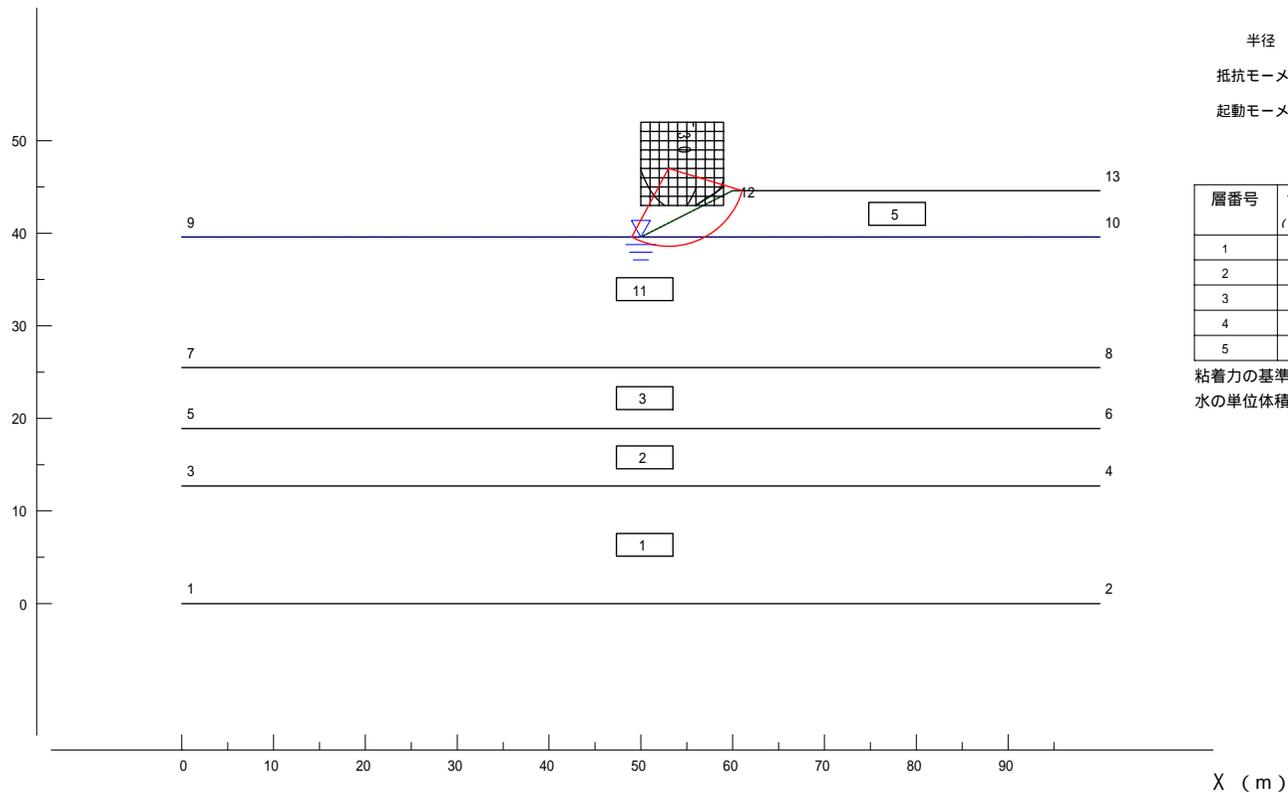
安定計算結果は図 8.5.2.1-3(2)に示すとおりである。その結果、最小の安全率は約 2.3 となり、安全率 1.2 を十分に満足している結果となった(安全率が 1 未満になると破壊を意味する)。従って、想定した土質条件では盛土による地盤の破壊は起こらないため地盤の破壊による周辺地盤への影響も起こらないこととなる。

なお、地下水位は干拓地地盤高さとし、計算に用いた地盤の定数等は同図の中に記載した。

ストックヤード

縮尺 ; 1/ 821

最小安全率 $F_{c min} = 2.331$
 円弧の中心 $X = 53.00$ (m)
 $Y = 47.00$ (m)
 半径 $R = 8.40$ (m)
 抵抗モーメント $M_o = 3182.2$ (k N · m)
 起動モーメント $M_n = 1365.0$ (k N · m)



層番号	飽和重量 (k N / m)	湿潤重量 (k N / m)	内部摩擦角 (度)	粘着力 (k N / m)	粘着力の 一次係数	水平震度	鉛直震度
1	16.00	16.00	0.00	36.00	0.39	0.000	0.000
2	17.00	17.00	0.00	65.00	0.00	0.000	0.000
3	17.00	17.00	0.00	55.00	0.00	0.000	0.000
4	17.70	17.10	30.00	20.00	0.00	0.000	0.000
5	18.00	17.00	30.00	0.00	0.00	0.000	0.000

粘着力の基準 Y 座標 = 0.000 (m)
 水の単位体積重量 = 10.00 (k N / m)

130

図 8.5.2.1-3(2) 等安全率図(常時)

6 陸生動物

6.1 調査結果の概要

資料 8.6.1.2 鳥類

[本編 p254 対応]

表 8.6.1.2 (1) 鳥類確認種一覧(1/2)

No.	目名	科名	種名	学名	渡り区分	平成14年度				平成15年度				
						春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
1	カイツリ	カイツリ	カイツリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	留鳥									
2			ハシカイツリ	<i>Podiceps nigricollis</i>	冬鳥									
3			カムリカイツリ	<i>Podiceps cristatus</i>	冬鳥									
4	ヘリカシ	カ	カシ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥									
5	コノリ	サ	コイサ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	留鳥									
6			サコイ	<i>Butorides striatus</i>	夏鳥									
7			アマサ	<i>Bubulcus ibis</i>	夏鳥									
8			タイサ	<i>Egretta alba</i>	留鳥									
9			チウサ	<i>Egretta intermedia</i>	夏鳥									
10			コサ	<i>Egretta garzetta</i>	留鳥									
11			アサ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥									
12	カ	カ	カモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥									
13			カガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	留鳥									
14			カモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥									
15			カヨカモ	<i>Anas strepera</i>	冬鳥									
16			ペトリカモ	<i>Anas penelope</i>	冬鳥									
17			オカガモ	<i>Anas acuta</i>	冬鳥									
18			ハシカモ	<i>Anas clypeata</i>	冬鳥									
19			アサシロ	<i>Aythya ferina</i>	冬鳥									
20			キンコハシロ	<i>Aythya fuligula</i>	冬鳥									
21			アサガモ	<i>Aythya marila</i>	冬鳥									
22			アサシロ	<i>Bucephala clangula</i>	冬鳥									
23			ミササギ	<i>Mergus albellus</i>	冬鳥									
24			ウミササギ	<i>Mergus serrator</i>	冬鳥									
25			カササギ	<i>Mergus merganser</i>	冬鳥(稀)									
26	カ	カ	ミサ	<i>Pandion haliaetus</i>	(留鳥)									
27			ハチマシ	<i>Pernis apivorus</i>	旅鳥									
28			ヒ	<i>Milvus migrans</i>	(留鳥)									
29			オオカ	<i>Accipiter gentilis</i>	(留鳥)									
30			ノカ	<i>Accipiter nisus</i>	旅鳥									
31			カササギ	<i>Buteo lagopus</i>	冬鳥(稀)									
32			ノカ	<i>Buteo buteo</i>	冬鳥									
33			カサ	<i>Butastur indicus</i>	旅鳥									
34			ハチマシ	<i>Circus cyaneus</i>	冬鳥									
35			アサシロ	<i>Circus melanoleucos</i>	旅鳥									
36			カサ	<i>Circus spilonotus</i>	留鳥									
37		ハチマシ	ハチマシ	<i>Falco peregrinus</i>	(留鳥)									
38			コサシロ	<i>Falco columbarius</i>	冬鳥									
39			カサシロ	<i>Falco tinnunculus</i>	(留鳥)									
40	カ	カ	カサ	<i>Coturnix japonica</i>	冬鳥									
41			カサ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥									
42	カ	カ	カサ	<i>Rallus aquaticus</i>	冬鳥									
43			カサ	<i>Porzana fusca</i>	旅鳥									
44			カサ	<i>Gallinula chloropus</i>	夏鳥									
45			カサ	<i>Fulica atra</i>	冬鳥									
46	カ	カ	カサ	<i>Rostratula benghalensis</i>	夏鳥									
47			カサ	<i>Charadrius dubius</i>	夏鳥									
48			カサ	<i>Charadrius placidus</i>	(留鳥)									
49			カサ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	(留鳥)									
50			カサ	<i>Charadrius mongolus</i>	旅鳥									
51			カサ	<i>Pluvialis fulva</i>	旅鳥									
52			カサ	<i>Pluvialis squatarola</i>	旅鳥									
53			カサ	<i>Vanellus cinereus</i>	留鳥									
54			カサ	<i>Vanellus vanellus</i>	冬鳥									
55		カ	カサ	<i>Arenaria interpres</i>	旅鳥									
56			カサ	<i>Calidris ruficollis</i>	旅鳥									
57			カサ	<i>Calidris subminuta</i>	旅鳥									
58			カサ	<i>Calidris temminckii</i>	旅鳥									
59			カサ	<i>Calidris acuminata</i>	旅鳥									
60			カサ	<i>Calidris alpina</i>	冬鳥									
61			カサ	<i>Calidris ferruginea</i>	旅鳥									
62			カサ	<i>Calidris tenuirostris</i>	旅鳥									
63			カサ	<i>Tringa totanus</i>	旅鳥									
64			カサ	<i>Tringa stagnatilis</i>	旅鳥									
65			カサ	<i>Tringa nebularia</i>	旅鳥									
66			カサ	<i>Tringa ochropus</i>	旅鳥									
67			カサ	<i>Tringa glareola</i>	旅鳥									
68			カサ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	旅鳥									
69			カサ	<i>Actitis hypoleucos</i>	(留鳥)									
70			カサ	<i>Xenus cinereus</i>	旅鳥									
71			カサ	<i>Limosa lomosa melanuroides Gould</i>	旅鳥									
72			カサ	<i>Numenius arquata</i>	旅鳥									
73			カサ	<i>Numenius madagascariensis</i>	旅鳥									
74			カサ	<i>Numenius phaeopus</i>	旅鳥									
75			カサ	<i>Numenius minutus</i>	迷鳥									
76			カサ	<i>Gallinago gallinago</i>	冬鳥									
77			カサ	<i>Gallinago hardwickii</i>	旅鳥									
78	カ	カ	カサ	<i>Himantopus himantopus</i>	留鳥(稀)									
79			カサ	<i>Larus ridibundus</i>	冬鳥									
80			カサ	<i>Larus argentatus</i>	冬鳥									
81			カサ	<i>Larus schistisagus</i>	冬鳥(稀)									
82			カサ	<i>Larus canus</i>	冬鳥(稀)									

表 8.6.1.2 (1) 鳥類確認種一覧(2/2)

No.	目名	科名	種名	学名	渡り区分	平成14年度				平成15年度				
						春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
83	(ホドリ)	(ホ)	ウミコ	<i>Larus crassirostris</i>	(留鳥)									
84			ウミコ	<i>Larus saundersi</i>	冬鳥									
85			ウミコ	<i>Sterna hirundo</i>	旅鳥									
86			ウミコ	<i>Sterna albifrons</i>	(夏鳥)									
87	ハト	ハト	ウミコ	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥									
88			ウミコ	<i>Sphenurus sieboldii</i>	旅鳥									
89	アサギ	アサギ	ウミコ	<i>Asio flammeus</i>	冬鳥									
90			ウミコ	<i>Ninox scutulata</i>	(夏鳥)									
91	アマツバメ	アマツバメ	ウミコ	<i>Apus affinis</i>	冬鳥(稀)									
92			ウミコ	<i>Apus pacificus</i>	旅鳥									
93	フウボウ	フウボウ	ウミコ	<i>Alcedo atthis</i>	(留鳥)									
94	キツツキ	キツツキ	ウミコ	<i>Jynx torquilla</i>	冬鳥									
95			ウミコ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	旅鳥									
96	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	留鳥									
97		ツバメ	ツバメ	<i>Riparia riparia</i>	旅鳥									
98			ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥									
99			ツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	(夏鳥)									
100			ツバメ	<i>Delichon urbica</i>	旅鳥									
101		セキレイ	セキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	旅鳥									
102			セキレイ	<i>Motacilla alba</i>	(留鳥)									
103			セキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	(留鳥)									
104			セキレイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	旅鳥									
105			セキレイ	<i>Anthus spinoletta</i>	冬鳥									
106	サシユウケイ	サシユウケイ	サシユウケイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	旅鳥									
107	ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥									
108	ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥									
109			ヒヨドリ	<i>Lanius sphenocercus</i>	迷鳥									
110	ツグミ	ツグミ	ツグミ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	冬鳥									
111			ツグミ	<i>Saxicola torquata</i>	旅鳥									
112			ツグミ	<i>Monticola solitarius</i>	(留鳥)									
113			ツグミ	<i>Turdus cardis</i>	旅鳥									
114			ツグミ	<i>Turdus chrysolaus</i>	冬鳥									
115			ツグミ	<i>Turdus pallidus</i>	冬鳥									
116			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥									
117	カシ	カシ	カシ	<i>Cettia diphone</i>	(留鳥)									
118			カシ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	旅鳥									
119			カシ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>	夏鳥									
120			カシ	<i>Phylloscopus borealis</i>	旅鳥									
121			カシ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	旅鳥									
122			カシ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	旅鳥									
123			カシ	<i>Cisticola juncidis</i>	留鳥									
124	ヒメ	ヒメ	ヒメ	<i>Ficedula narcissina</i>	旅鳥									
125			ヒメ	<i>Muscicapa dauurica</i>	旅鳥									
126	ヒメ	ヒメ	ヒメ	<i>Aegithalos caudatus</i>	冬鳥(稀)									
127	ツリス	ツリス	ツリス	<i>Remiz pendulinus</i>	冬鳥									
128	ツリス	ツリス	ツリス	<i>Parus varius</i>	冬鳥(稀)									
129			ツリス	<i>Parus major</i>	冬鳥									
130	ツリス	ツリス	ツリス	<i>Zosterops japonicus</i>	冬鳥									
131	ツリス	ツリス	ツリス	<i>Bucephala clangula</i>	留鳥									
132			ツリス	<i>Emberiza fucata</i>	冬鳥									
133			ツリス	<i>Emberiza rustica</i>	冬鳥									
134			ツリス	<i>Emberiza spodocephala</i>	冬鳥									
135			ツリス	<i>Emberiza variabilis</i>	旅鳥									
136			ツリス	<i>Emberiza schoeniclus</i>	冬鳥									
137	アトリ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	旅鳥									
138			アトリ	<i>Carduelis sinica</i>	留鳥									
139			アトリ	<i>Carduelis flammea</i>	冬鳥									
140			アトリ	<i>Uragus sibiricus</i>	冬鳥									
141			アトリ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	冬鳥									
142			アトリ	<i>Eophona personata</i>	旅鳥									
143			アトリ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	旅鳥									
144	ハオトリ	ハオトリ	ハオトリ	<i>Passer montanus</i>	留鳥									
145	ハオトリ	ハオトリ	ハオトリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	留鳥									
146	ハオトリ	ハオトリ	ハオトリ	<i>Garrulus glandarius</i>	旅鳥									
147			ハオトリ	<i>Corvus dauricus</i>	冬鳥									
148			ハオトリ	<i>Corvus frugilegus</i>	冬鳥									
149			ハオトリ	<i>Corvus corone</i>	留鳥									
150			ハオトリ	<i>Corvus macrorhynchos</i>	留鳥									
計	14目	36科	151種			95種	57種	85種	74種	98種	51種	95種	69種	

外来種														
1	キジ	キジ	キジ	<i>Bambusicola thoracica</i>	-									
2	ハト	ハト	ハト	<i>Columba livia</i>	-									
3	ハト	ハト	ハト	<i>Melospittacus undulatus</i>	-									
4	スズメ	スズメ	スズメ	<i>Amandava amandava</i>	-									
総計	15目	38科	154種			96種	58種	87種	75種	99種	53種	97種	71種	

- 注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生動物目録 - 本邦産野生動物の種の現状 - (脊椎動物編)」に従った。
- 注2) シギ・チドリ類: 春:3月~5月、夏:6月~7月、秋:8月~11月、冬:12月~2月
 その他の鳥類: 春:3月~5月、夏:6月~8月、秋:9月~11月、冬:12月~2月とした。
- 注3) 渡り区分は現地調査結果に基づき判断し、木曾岬干拓地及びその周辺の渡り区分とした(ここで言う周辺とは、鳥類相の調査範囲である鍋田干拓地、源緑輪中、木曾川河口等に加え、弥富野鳥園を含む範囲とした)が、現地調査結果から判断がつかない種に関しては「三重県立博物館, 1979. 三重県立博物館研究報告 自然科学第1号 2. 三重県の鳥類相」に準じた。
- 注4) 渡り区分の解説は以下の通り。
 留鳥: 現地調査結果から、木曾岬干拓地及びその周辺に一年中生息し、繁殖していると考えられた種
 (留鳥): ほぼ年間を通して確認されているが、木曾岬干拓地及びその周辺では繁殖していないと考えられた種
 留鳥(稀): 周辺地域に留鳥として生息し、木曾岬干拓地及びその周辺に稀に飛来してくると考えられた種
 夏鳥: 春に越冬地から渡来し、木曾岬干拓地及びその周辺で繁殖していると考えられた種
 (夏鳥): 周辺地域に夏鳥として渡来し繁殖するが、木曾岬干拓地及びその周辺では繁殖していないと考えられた種
 冬鳥: 秋に繁殖地から渡来し、木曾岬干拓地及びその周辺で越冬していると考えられた種
 冬鳥(稀): 周辺地域に冬鳥として渡来し、木曾岬干拓地及びその周辺に稀に飛来してくると考えられた種
 旅鳥: 繁殖地と越冬地を往復する渡り途中の春秋だけに出現する種
 迷鳥: 本来の生息地や渡りのコースからはずれて、木曾岬干拓地及びその周辺に偶発的に出現すると考えられた種
- 注5) 弥富野鳥園における鳥類の繁殖の情報については、弥富野鳥園ホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/shizen/yasei/iyatomi/iyatomi.html>) を参照した。

表 8.6.1.2 (2) 鳥類(ラインセンサス調査)確認種一覧(8/24)

No.	目名	科名	種名	学名	渡り(回)	平成14年11月																	
						R1		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9	
						午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
1	ツバメ	ツバメ科	Tachybatus ruficollis	冬鳥	渡り(回)																		
2	ツバメ	ツバメ科	Podiceps nigricollis	冬鳥	渡り(回)																		
3	ツバメ	ツバメ科	Podiceps cristatus	冬鳥	渡り(回)																		
4	カササギ	カササギ科	Phalacrocorax carbo	留鳥	渡り(回)																		
5	カササギ	カササギ科	Phalacrocorax pectoratus	留鳥	渡り(回)																		
6	カササギ	カササギ科	Butorides striatus	夏鳥	渡り(回)																		
7	カササギ	カササギ科	Bubulcus ibis	留鳥	渡り(回)																		
8	カササギ	カササギ科	Egretta alba	留鳥	渡り(回)																		
9	カササギ	カササギ科	Egretta intermedia	留鳥	渡り(回)																		
10	カササギ	カササギ科	Egretta garzetta	留鳥	渡り(回)																		
11	カササギ	カササギ科	Ardea cinerea	留鳥	渡り(回)																		
12	カササギ	カササギ科	Anas platyrhynchos	冬鳥	渡り(回)																		
13	カササギ	カササギ科	Anas poecilorhynchos	留鳥	渡り(回)																		
14	カササギ	カササギ科	Anas crecca	留鳥	渡り(回)																		
15	カササギ	カササギ科	Anas strepera	冬鳥	渡り(回)																		
16	カササギ	カササギ科	Anas penelope	冬鳥	渡り(回)																		
17	カササギ	カササギ科	Anas acuta	冬鳥	渡り(回)																		
18	カササギ	カササギ科	Anas cygnata	冬鳥	渡り(回)																		
19	カササギ	カササギ科	Aythya ferina	冬鳥	渡り(回)																		
20	カササギ	カササギ科	Aythya lula	冬鳥	渡り(回)																		
21	カササギ	カササギ科	Aythya marila	冬鳥	渡り(回)																		
22	カササギ	カササギ科	Mergus albellus	冬鳥	渡り(回)																		
23	カササギ	カササギ科	Mergus serrator	冬鳥	渡り(回)																		
24	カササギ	カササギ科	Pandion haliaetus	(留鳥)	渡り(回)																		
25	カササギ	カササギ科	Milvus migrans	(留鳥)	渡り(回)																		
26	カササギ	カササギ科	Accipiter gentilis	(留鳥)	渡り(回)																		
27	カササギ	カササギ科	Accipiter nisus	留鳥	渡り(回)																		
28	カササギ	カササギ科	Buteo buteo	冬鳥	渡り(回)																		
29	カササギ	カササギ科	Circus cyaneus	冬鳥	渡り(回)																		
30	カササギ	カササギ科	Circus melanoleucos	留鳥	渡り(回)																		
31	カササギ	カササギ科	Circus spilonotus	留鳥	渡り(回)																		
32	カササギ	カササギ科	Falco peregrinus	(留鳥)	渡り(回)																		
33	カササギ	カササギ科	Falco columbarius	冬鳥	渡り(回)																		
34	カササギ	カササギ科	Falco tinnunculus	(留鳥)	渡り(回)																		
35	カササギ	カササギ科	Coturnix japonica	冬鳥	渡り(回)																		
36	カササギ	カササギ科	Phasianus colchicus	冬鳥	渡り(回)																		
37	カササギ	カササギ科	Falilus aquaticus	冬鳥	渡り(回)																		
38	カササギ	カササギ科	Porzana fusca	留鳥	渡り(回)																		
39	カササギ	カササギ科	Gallinula chloropus	留鳥	渡り(回)																		
40	カササギ	カササギ科	Rastattia benghalensis	留鳥	渡り(回)																		
41	カササギ	カササギ科	Charadrius dubius	留鳥	渡り(回)																		
42	カササギ	カササギ科	Charadrius placidus	(留鳥)	渡り(回)																		
43	カササギ	カササギ科	Charadrius alexandrinus	(留鳥)	渡り(回)																		
44	カササギ	カササギ科	Ploveria fulva	留鳥	渡り(回)																		
45	カササギ	カササギ科	Vanellus cinereus	冬鳥	渡り(回)																		
46	カササギ	カササギ科	Vanellus vanellus	冬鳥	渡り(回)																		
47	カササギ	カササギ科	Arenaria interpres	留鳥	渡り(回)																		
48	カササギ	カササギ科	Callotis acuminata	留鳥	渡り(回)																		
49	カササギ	カササギ科	Callotis alpeina	留鳥	渡り(回)																		
50	カササギ	カササギ科	Callotis ferruginea	留鳥	渡り(回)																		
51	カササギ	カササギ科	Tringa stagnatilis	留鳥	渡り(回)																		
52	カササギ	カササギ科	Tringa nebularia	留鳥	渡り(回)																		
53	カササギ	カササギ科	Tringa ochropus	留鳥	渡り(回)																		
54	カササギ	カササギ科	Tringa glareola	留鳥	渡り(回)																		
55	カササギ	カササギ科	Heteroscelus brevipes	留鳥	渡り(回)																		
56	カササギ	カササギ科	Actitis hypoleucos	(留鳥)	渡り(回)																		
57	カササギ	カササギ科	Limosa lomosa melanuroides Gould	留鳥	渡り(回)																		
58	カササギ	カササギ科	Numenius arquata	留鳥	渡り(回)																		
59	カササギ	カササギ科	Numenius phaeopus	留鳥	渡り(回)																		
60	カササギ	カササギ科	Numenius minutus	留鳥	渡り(回)																		
61	カササギ	カササギ科	Gallinago gallinago	留鳥	渡り(回)																		
62	カササギ	カササギ科	Gallinago hardwickii	留鳥	渡り(回)																		
63	カササギ	カササギ科	Himantopus himantopus	(留鳥)	渡り(回)																		
64	カササギ	カササギ科	Larus ridibundus	冬鳥	渡り(回)																		
65	カササギ	カササギ科	Larus argentatus	冬鳥	渡り(回)																		
66	カササギ	カササギ科	Larus schistisagus	冬鳥(種)	渡り(回)																		
67	カササギ	カササギ科	Larus canus	留鳥	渡り(回)																		
68	カササギ	カササギ科	Larus crassirostris	(留鳥)	渡り(回)																		
69	カササギ	カササギ科	Sterna hirundo	留鳥	渡り(回)																		
70	カササギ	カササギ科	Sterna albifrons	(留鳥)	渡り(回)																		
71	カササギ	カササギ科	Steropterna orientalis	留鳥	渡り(回)																		
72	カササギ	カササギ科	Icthyophaga atricapilla	留鳥	渡り(回)																		
73	カササギ	カササギ科	Ninox scutulata	(留鳥)	渡り(回)																		
74	カササギ	カササギ科	Apus affinis	冬鳥(種)	渡り(回)																		
75	カササギ	カササギ科	Alcedo atthis	(留鳥)	渡り(回)																		
76	カササギ	カササギ科	Junc torquillia	留鳥	渡り(回)																		
77	カササギ	カササギ科	Dendrocopos sibiricus	留鳥	渡り(回)																		
78	カササギ	カササギ科	Alauda arvensis	留鳥	渡り(回)																		
79	カササギ	カササギ科	Riparia riparia	留鳥	渡り(回)																		
80	カササギ	カササギ科	Hirundo rustica	留鳥	渡り(回)																		
81	カササギ	カササギ科	Hirundo daurica	(留鳥)	渡り(回)																		
82	カササギ	カササギ科	Delichon urbica	留鳥	渡り(回)																		
83	カササギ	カササギ科	Motacilla cinerea	留鳥	渡り(回)																		
84	カササギ	カササギ科	Motacilla alba	(留鳥)	渡り(回)																		
85	カササギ	カササギ科	Motacilla alba	(留鳥)	渡り(回)																		
86	カササギ	カササギ科	Anthus hodsoni	留鳥	渡り(回)																		
87	カササギ	カササギ科	Anthus spinoletta	冬鳥	渡り(回)																		
88	カササギ	カササギ科	Pericrocotus divaricatus	留鳥	渡り(回)																		
89	カササギ	カササギ科	Myzopetes amurensis	留鳥	渡り(回)																		
90	カササギ	カササギ科	Lanius excubitorides	留鳥	渡り(回)																		
91	カササギ	カササギ科	Lanius shenzhouensis	留鳥	渡り(回)																		
92	カササギ	カササギ科	Phoenicurus aureus	留鳥	渡り(回)																		
93	カササギ	カササギ科	Saxicola torquata	留鳥	渡り(回)																		
94	カササギ	カササギ科	Mentocercus solitarius	(留鳥)	渡り(回)																		
95	カササギ	カササギ科	Turdus pallidus	冬鳥	渡り(回)																		
96	カササギ	カササギ科	Turdus naumanni	冬鳥	渡り(回)																		
97	カササギ	カササギ科	Cettia diphone	(留鳥)	渡り(回)																		
98	カササギ	カササギ科	Acrocephalus arundinaceus	留鳥	渡り(回)																		
99	カササギ	カササギ科	Phylloscopus borealisoides	留鳥	渡り(回)																		
100	カササギ	カササギ科	Cisticola juncidis	留鳥	渡り(回)																		
101	カササギ	カササギ科	Aegialitis caudatus	冬鳥(種)	渡り(回)																		
102	カササギ	カササギ科	Renzia pendulirostris	留鳥	渡り(回)																		
103	カササギ	カササギ科	Parus varius	冬鳥(種)	渡り(回)																		
104	カササギ	カササギ科	Parus major	冬鳥	渡り(回)																		
105	カササギ	カササギ科	Zosterops japonicus	冬鳥	渡り(回)																		
106	カササギ	カササギ科	Bucconia clangula	冬鳥	渡り(回)																		
107	カササギ	カササギ科	Emberiza lucida	冬鳥	渡り(回)																		
108	カササギ	カササギ科	Emberiza rustica	冬鳥	渡り(回)																		
109	カササギ	カササギ科	Emberiza spodocephala	冬鳥	渡り(回)																		
110	カササギ	カササギ科	Emberiza variabilis	留鳥	渡り(回)																		
111	カササギ	カササギ科	Emberiza schoeniclus	留鳥	渡り(回)																		
112	カササギ	カササギ科	Finlayia leptorrhinola	留鳥	渡り(回)																		
113	カササギ	カササギ科	Carduelis sinica	留鳥	渡り(回)																		
114	カササギ	カササギ科	Carduelis flammaea	冬鳥	渡り(回)																		
115	カササギ	カササギ科	Urauba sibiricus	冬鳥	渡り(回)																		
116	カササギ	カササギ科	Pyrrhula pyrrhula	冬鳥	渡り(回)																		
117	カササギ	カササギ科	Eophona perssonia	留鳥	渡り(回)																		
118	カササギ	カササギ科	Passer montanus	留鳥	渡り(回)																		
119	カササギ	カササギ科	Sturus cineraceus	留鳥	渡り(回)																		
120	カササギ	カササギ科	Corvus dauricus	冬鳥	渡り(回)																		
121	カササギ	カササギ科	Corvus traillaeus	冬鳥	渡り(回)																		
122	カササギ	カササギ科	Corvus corone	留鳥	渡り(回)																		
123	カササギ	カササギ科	Corvus macrorhynchos	留鳥	渡り(回)																		
計	14目	36科				17種	12種	22種	12種	29種	19種	26種	25種	23種	19種	13種	12種	13種	22種	21種	17種	13種	
外来種																							
2	カササギ	カササギ科	Bambuscolia thoracica	-	渡り(回)																		
3	カササギ	カササギ科	Columba livia	-	渡り(回)																		
3	カササギ	カササギ科	Anadava anadava	-	渡り(回)																		

注1)種名および配列は原則として「環境庁、1993.日本産野生動物目録-本邦産野生動物種の現状-(脊椎動物編)」に従った。
 注2)渡り区分は現地調査結果に基づき推定し、木曾平干拓地及びその周辺の渡り区分とした(ここで言う周辺とは、鳥類種の調査範囲である、鍋田干拓地、源線橋中、木曾川河口等)に加え、弥富野鳥園を含む範囲としたが、現地調査結果から判断がつかない種に調査区分は「三重県立博物館、1979.三重県立博物館研究報告 自然科学第1号 2.三重県鳥類相」に準じた。
 注3)渡り区分の解説は以下の通り
 留鳥: 現地調査結果から、木曾平干拓地及びその周辺に一年中生息し、繁殖していると考えられた種
 (留鳥): ほぼ年間を通じて確認されているが、木曾平干拓地及びその周辺には繁殖していないと考えられた種
 留鳥(種): 周辺地域に留鳥として生息し、木曾平干拓地及びその周辺に稀に飛来してくと考えられた種
 (夏鳥): 春に越冬地から渡来し、木曾平干拓地及びその周辺に繁殖していると考えられた種
 (渡鳥): 周辺地域に渡来し、木曾平干拓地及びその周辺に稀に飛来し、繁殖していると考えられた種
 冬鳥: 秋に繁殖地から渡来し、木曾平干拓地及びその周辺に越冬していると考えられた種
 冬鳥(種): 周辺地域に冬鳥として渡来し、木曾平干拓地及びその周辺に稀に飛来してくと考えられた種
 旅鳥: 繁殖地と越冬地を往復する渡り途中の春秋だけに出現する種
 迷鳥: 本来の生息地や渡りのコースからはずれて、木曾平干拓地及びその周辺に偶発的に出現すると考えられた種

表 8.6.1.2 (2) 鳥類(ラインセンサス調査)確認種一覧(14/24)

Table with columns: No., 目名 (Scientific Name), 科名 (Family), 種名 (Species), 学名 (Latin Name), 渡り (Migration), and 18 observation periods (R1-R9) for May 2015. The table lists various bird species like Tachybatus ruficollis, Anas platyrhynchos, and others, along with their counts in each period.

注1)種名および配列は原則として「環境庁、1993. 日本産野生動物目録-本邦産野生動物種の現状-(脊椎動物編)」に従った。
注2)渡り区分は現地調査結果に基づき推定し、木曾川干拓地及びその周辺の渡り区分とした(ここで言う周辺とは、鳥類種の調査範囲である、鍋田干拓地、源線橋中、木曾川河口等)に加え、弥生野鳥園を含む範囲としたが、現地調査結果から判断がつかない種に関しては「三重県立博物館、1979. 三重県立博物館研究報告 自然科学第1号 2. 三重県の鳥類相」に準じた。
注3)渡り区分の解説は以下の通り
留鳥: 現地調査結果から、木曾川干拓地及びその周辺に一年中生息し、繁殖していると考えられた種
(留鳥): ほぼ年間を通じて確認されているが、木曾川干拓地及びその周辺では繁殖していないと考えられた種
留鳥(稀): 周辺地域に留鳥として生息し、木曾川干拓地及びその周辺に稀に飛来してくると考えられた種
夏鳥: 春に越冬地から渡来し、木曾川干拓地及びその周辺で繁殖していると考えられた種
(夏鳥): 周辺地域に留鳥として生息するが、木曾川干拓地及びその周辺では繁殖していないと考えられた種
冬鳥: 秋に繁殖地から渡来し、木曾川干拓地及びその周辺で越冬していると考えられた種
冬鳥(稀): 周辺地域に冬鳥として渡来し、木曾川干拓地及びその周辺に稀に飛来してくると考えられた種
旅鳥: 繁殖地と越冬地を往復する渡り途中の春秋だけに出現する種
迷鳥: 本来の生息地や渡りのコースからはずれず、木曾川干拓地及びその周辺に偶発的に出現すると考えられた種

表8.6.1.2 (2) 鳥類(ラインセンサス調査)確認種一覧(18/24)

Table with columns for No., 目名 (Scientific Name), 科名 (Family), 種名 (Species), 学名 (Latin Name), 渡り (Migration), and observation counts for 12 months (R1-R12) in two columns (午前/午後).

注1)種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生動物目録- 本邦産野生動物種の現状-(脊椎動物編)」に従った。
注2)渡り区分は現地調査結果に基づき推定し、木曾平干拓地及びその周辺の渡り区分とした(ここで言う周辺とは、鳥類種の調査範囲である、
...
注3)渡り区分の解説は以下の通り

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(1/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度		
1	ヒムシ	ヒムシ	ヒムシ科の一種	Hypogastruridae gen. sp.				
2		イムシ	イムシ科の一種	Neanuridae gen. sp.				
3		シロヒムシ	シロヒムシ科の一種	Onychiuridae gen. sp.				
4		ツチヒムシ	ツチヒムシ科の一種	Isotomidae gen. sp.				
5		アヤヒムシ	アヤヒムシ科類	Entomobryidae gen. spp.				
6		マルヒムシ	マルヒムシ科の一種	Sminthuridae gen. sp.				
7	トンボ	イトトンボ	イトトンボ	<i>Cercion sieboldii</i>				
8		アシイトトンボ	アシイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>				
9		アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Ischnura senegalensis</i>				
10		モノサトトンボ	モノサトトンボ	<i>Copera annulata</i>				
11		アオイトトンボ	ホミオツネイトトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>				
12		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>				
13		ヤンマ	ネアカヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>				
14			アヤヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>				
15			キヤンマ	<i>Anax parthenope</i>				
16		トンボ	ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia</i>				
17			ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>				
18			シオカトトンボ	<i>Orthetrum albistylum</i>				
19			ウスハシトンボ	<i>Pantala flavescens</i>				
20			ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>				
21			マユアザナ	<i>Sympetrum eroticum</i>				
22			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>				
23			シメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>				
24			マユアザナ	<i>Sympetrum kunkeli</i>				
25		コキブリ	チャバネコキブリ	チャバネコキブリ	<i>Blattella germanica</i>			
26			モリチャバネコキブリ	モリチャバネコキブリ	<i>Blattella nipponica</i>			
27		カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>			
28			コカマキリ	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>			
29			チョウセンカマキリ	チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>			
30			オオカマキリ	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>			
31		オオカマキリの一種	オオカマキリの一種	<i>Tenodera sp.</i>				
32	シロアリ	ミノガシロアリ	イシシロアリ	<i>Coptotermes formosanus</i>				
33			ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>				
34	ハゲムシ	ケラ	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>				
35		コオロギ	ハラカメコオロギ	ハラカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campester</i>			
36			ミツカドコオロギ	ミツカドコオロギ	<i>Loxoblemmus doenitzi</i>			
37			モリカメコオロギ	モリカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>			
38			クマコオロギ	クマコオロギ	<i>Mitius minor</i>			
39			クノコオロギ	クノコオロギ	<i>Modicogryllus siamensis</i>			
40			ヒゲシロアス	ヒゲシロアス	<i>Polionemobius flavoantennalis</i>			
41			シバアス	シバアス	<i>Polionemobius mikado</i>			
42			エンマコオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>			
43			ツツレサセコオロギ	ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>			
44			コオロギ科類	コオロギ科類	Gryllidae gen. spp.			
45		クサビバカリ	クサビバカリ	クサビバカリ	<i>Natula matsurai</i>			
46			クサビバカリ	クサビバカリ	<i>Svistella bifasciata</i>			
47			キアサバカリ	キアサバカリ	<i>Trigonidium japonicum</i>			
48		スズメシ	スズメシ	スズメシ	<i>Meloimorpha japonicus</i>			
49		マツムシ	マツムシ	マツムシ	<i>Xenogryllus marmoratus</i>			
50		クマスズメシ	クマスズメシ	クマスズメシ	<i>Sclerogryllus punctatus</i>			
51		カナタタキ	カナタタキ	カナタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>			
52		アリツカコオロギ	アリツカコオロギ	アリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus sapporensis</i>			
53			クノアリツカコオロギ	クノアリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus teranishii</i>			
54		カンタン	ヒロハネカンタン	ヒロハネカンタン	<i>Oecanthus eurvelitra</i>			
55			カンタン	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>			
56		キリギリス	セシヅクムシ	セシヅクムシ	<i>Ducetia japonica</i>			
57			サトウマキモドキ	サトウマキモドキ	<i>Holochlora japonica</i>			
58			ツクムシ	ツクムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>			
59			アシクワムシ	アシクワムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>			
60			ヒメキス	ヒメキス	<i>Eobiana engelhardti</i>			
61			ウスイロササキリ	ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>			
62			コバネササキリ	コバネササキリ	<i>Conocephalus japonicus</i>			
63			赤ササキリ	赤ササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>			
64			クビキリキス	クビキリキス	<i>Euconocephalus varius</i>			
65			クサキリ	クサキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>			
66				シブイロササキリモドキ	シブイロササキリモドキ	<i>Xesthophrys javanicus</i>		
67			オノハゲムシ	オノハゲムシ	オノハゲムシ	<i>Atractomorpha lata</i>		
68		ハゲムシ	ショウリウハゲムシ	ショウリウハゲムシ	<i>Acrida cinerea</i>			
69			ショウリウハゲムシモドキ	ショウリウハゲムシモドキ	<i>Gonista bicolor</i>			
70			トノサマハゲムシ	トノサマハゲムシ	<i>Locusta migratoria</i>			
71			クノサマハゲムシモドキ	クノサマハゲムシモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>			
72			イモハゲムシ	イモハゲムシ	<i>Trilophidia japonica</i>			
73			マダラハゲムシ	マダラハゲムシ	<i>Aiolopus thalassinus</i>			
74			ナキイコ	ナキイコ	<i>Mongolotettix japonicus</i>			
75			ツチイコ	ツチイコ	<i>Nomadacris japonica</i>			
76			コバネイコ	コバネイコ	<i>Oxya vezoensis</i>			
77			ハゲムシ	ヒシバゲムシ	ヒシバゲムシ	<i>Crietettix japonicus</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(2/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
78	(ハ) ッタ	(ヒシハ) ッタ	ハネカヒシハ ッタ	<i>Euparatettix insularis</i>		
79			ハヒシハ ッタ	<i>Tetrix japonica</i>		
80			ヒヒシハ ッタ	<i>Tetrix minor</i>		
81			ヒシハ ッタの一種	<i>Tetrix</i> sp.		
82	ハザミムシ	ハザミムシ	ハマハザミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>		
83			キアハザミムシ	<i>Euborellia plebeja</i>		
84			ヒゲシロハザミムシ	<i>Gonolabis marginalis</i>		
85		オオハザミムシ	<i>Labidura riparia japonica</i>			
86	チャタテムシ	ホリチャタテ	ホリチャタテの一種	<i>Stenopsocus</i> sp.		
87			チャタテムシ類	<i>Psocoptera</i> fam. & gen. spp.		
88	カメムシ	ヒシウカ	ヨキヒシウカ	<i>Oecleopsis artemisiae</i>		
89			ヒシウカ	<i>Pentastiridius apicalis</i>		
90			ウカ	ホミドリウカ	<i>Saccharosydne procerus</i>	
91		ナガウカの一種	<i>Stenocranus</i> sp.			
92		テラウチウカ	<i>Terauchiana singularis</i>			
93		コウウカ	<i>Tropidocephala brunnipennis</i>			
94		ヒメヒシウカ	<i>Laodelphax striatella</i>			
95		ゴマウカ	<i>Phyllodinus nigropunctatus</i>			
96		ウカ科の一種	<i>Delphacidae</i> gen. sp.			
97		ハネカウカ	マダラハネカウカ	<i>Pamendanga matsumurae</i>		
98		コガシラウカ	ウスコガシラウカ	<i>Akotropis fumata</i>		
99		クノバウカ	ヒラクノバウカ	<i>Ossoides lineatus</i>		
100		アオハコト	ヒイロハコト	<i>Mimophantia maritima</i>		
101	ヒメ	アツヒメ	<i>Graptosaltria nigrofuscata</i>			
102		ツツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>			
103		ニイヒメ	<i>Platypleura kaempferi</i>			
104	コガシラウフキ	コガシラウフキ	<i>Eoscartopis assimilis</i>			
105	アワフキムシ	ハマハアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>			
106		ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>			
107	ヨコバ	アオキヨコバ	<i>Batrachomorpha mundus</i>			
108		クノバヨコバ	<i>Penthimia nitida</i>			
109		イネクノバ	<i>Stroggylocephalus agrestis</i>			
110		ホシヨコバ	<i>Xestocephalus japonicus</i>			
111		ホシヨコバ	<i>Nirvana pallida</i>			
112		マシヨコバ	<i>Kolla atramentaria</i>			
113		カキツメヨコバ	<i>Apheliona ferruginea</i>			
114		ヒトツメヨコバ	<i>Ishiharella polyphemus</i>			
115		ミドリツメヨコバ	<i>Edwardsiana flavescens</i>			
116		ミドリツメヨコバの一種	<i>Edwardsiana</i> sp.			
117		ヨツメツメヨコバ	<i>Empoasca limbata</i>			
118		ヨキツメヨコバ	<i>Eupteryx minuscula</i>			
119		アヲツメヨコバ	<i>Arboridia apicalis</i>			
120		ホシツメヨコバ	<i>Limassolla multipunctata</i>			
121		ヒメヨコバイ亜科類	<i>Typhlocybinae</i> gen. spp.			
122		ヒシモンヨコバ	<i>Hishimonus sellatus</i>			
123		ミドリツメヨコバ	<i>Balclutha incisus</i>			
124		アヲツメヨコバの一種	<i>Macrosteles</i> sp.			
125		トバヨコバ	<i>Alobaldia tobae</i>			
126		シロミヤクイツメヨコバ	<i>Paramesodes albinervosus</i>			
127	イネツメヨコバ	<i>Recilia oryzae</i>				
128	アノツメヨコバ	<i>Stymphalus rubrolineatus</i>				
129	トガヨコバ	<i>Doratulina producta</i>				
130	クノバツメヨコバ	<i>Exitianus indicus</i>				
131	ツメヨコバ	<i>Nephotettix cincticeps</i>				
132	ヨコバイ科類	<i>Cicadellidae</i> gen. spp.				
133	キジラミ	ヒメキジラミ	<i>Livia jesoensis</i>			
134		ホシキジラミ	<i>Aphalara fasciata</i>			
135		イタドリキジラミ	<i>Aphalara itadori</i>			
136		クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>			
137		ヤマトキジラミ	<i>Accizia jamatonica</i>			
138		キジラミ属の一種	<i>Psylla</i> sp.			
139		クノバキジラミ	<i>Trioza nigra</i>			
140	アヲラムシ	アヲラムシ	<i>Acyrtosiphon nipponicum</i>			
141		クノバアヲラムシ	<i>Sinomegoura citricola</i>			
142	アヲラムシ科類	<i>Aphididae</i> gen. spp.				
143	イトアメンボ	ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>			
144	アメンボ	アメンボ	<i>Gerris paludum</i>			
145		ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>			
146	ミスギワカメムシ	ミスギワカメムシ	<i>Saldula ornata</i>			
147		ウスミスギワカメムシ	<i>Saldula pallipes</i>			
148	コオイムシ	コオイムシ	<i>Diplonychus japonicus</i>			
149	ミスムシ	ミスムシ	<i>Sigara nigroventralis</i>			
150		ミスムシ	<i>Sigara substriata</i>			
151	マツムシ	マツムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>			
152	カスミカメムシ	カスミカメムシ	<i>Monalocoris filicis</i>			
153		アヲカスミカメ	<i>Apolygus lucorum</i>			
154		アヲカスミカメ属の一種	<i>Apolygus</i> sp.			

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(3/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
155	(カメムシ)	(カメムシ)	ムモンミト'リカミカ'の一種	<i>Lygocoris</i> sp.		
156			フタゲ'ムキ'カミカ	<i>Stenodema calcaratum</i>		
157			アカシ'カミカ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>		
158			ウズメミト'リカミカ	<i>Taylorilygus pallidulus</i>		
159			ゴミド'リヒ'ト'カミカ	<i>Campylomma chinensis</i>		
160			ヒ'ト'カミカ'属の一種	<i>Campylomma</i> sp.		
161			ハシリカミカ'属の一種	<i>Haliidapus</i> sp.		
162			ヒョウタンカミカ	<i>Pilophorus setulosus</i>		
163			クハヒョウタンカミカ	<i>Pilophorus typicus</i>		
164			シラゲ'ヨモギ'カミカ	<i>Plagiognathus albipennis</i>		
165			カミカメ'シ科の一種	Miridae gen. sp.		
166		マキハ'サガ'メ	ハネサガ'マキハ'サガ'メ	<i>Nabis stenoferus</i>		
167		ハナカメムシ	ツバメハナカメムシ	<i>Orius nagaii</i>		
168			ヒメハナカメムシ	<i>Orius sauteri</i>		
169			ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>		
170		グ'ンバ'ムシ	ウツク'ンバ'イ	<i>Cantacader lethierryi</i>		
171			ウツク'グ'ンバ'イ	<i>Stephanitis pyrioides</i>		
172		サガ'メ	トゲ'サガ'メ	<i>Polididus perarmatus</i>		
173			シマサガ'メ	<i>Sphecanolestes impressicollis</i>		
174			モモ'トヒ'イロサガ'メ	<i>Oncocephalus femoratus</i>		
175			ヌゲ'ラカト'キサガ'メ	<i>Empicoris rubromaculatus</i>		
176			ヒ'ロウ'ト'サガ'メ	<i>Ectrychotes andreae</i>		
177			アカシマサガ'メ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>		
178			クハヒョウタン'サガ'メ	<i>Peirates turpis</i>		
179			キイロサガ'メ	<i>Sirthena flavipes</i>		
180		イトカメムシ	ヒメイトカメムシ	<i>Metacanthus pulchellus</i>		
182		ナガ'カメムシ	ヒメジ'ユウジ'ナガ'カメムシ	<i>Tropidothorax belogolowi</i>		
183			ジ'ユウジ'ナガ'カメムシ	<i>Tropidothorax cruciger</i>		
184			ヒメナガ'カメムシ	<i>Nysius plebejus</i>		
185			ヒメナガ'カメムシ'の一種	<i>Nysius</i> sp.		
186			ヒメヒラタナガ'カメムシ	<i>Cymus aurescence</i>		
187			ヒラタナガ'カメムシ'属の一種	<i>Cymus</i> sp.		
188			コバ'ネナガ'カメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>		
189			ホソコバ'ネナガ'カメムシ	<i>Macropes obnubilus</i>		
190			ヒメオオカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>		
191			ヨツホ'シヒ'ナガ'カメムシ	<i>Botocudo japonicus</i>		
192			オオモンシロナガ'カメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>		
193			ヒラタヒョウタン'ナガ'カメムシ	<i>Pachybrachius luridus</i>		
194			サヒ'ヒョウタン'ナガ'カメムシ	<i>Pamerarma rustica</i>		
195			モンシロナガ'カメムシ	<i>Panaorus albomaculatus</i>		
196			シロハラナガ'カメムシ	<i>Panaorus japonicus</i>		
197			キハ'リヒョウタン'ナガ'カメムシ	<i>Paraparomius lateralis</i>		
198			クハアシホリナガ'カメムシ	<i>Paromius exiguus</i>		
181			ミナホナガ'カメムシ	<i>Paromius piratoides</i>		
199			イチゴ'ヒ'ナガ'カメムシ	<i>Stigmatonotum geniculatum</i>		
200		メダ'ナガ'カメムシ	メダ'ナガ'カメムシ	<i>Chauliops fallax</i>		
201		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>		
202		オオホシカメムシ	ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta cincticollis</i>		
203			オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>		
204		ホソハラカメムシ	クモハラカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>		
205			ホソハラカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>		
206		ハラカメムシ	ヒメトゲ'ハラカメムシ	<i>Coriomeris scabricornis</i>		
207			ホソハラカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>		
208			ホソハラヒ'ハラカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>		
209			ツマキハラカメムシ	<i>Hygia opaca</i>		
210			キハ'ハラカメムシ	<i>Plinactus bicoloripes</i>		
211		ヒメハラカメムシ	スカジヒメハラカメムシ	<i>Liorhyssus hyalinus</i>		
212			アガヒメハラカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>		
213			ア'チヒゲ'ハラカメムシ	<i>Stictopleurus punctattonervosus</i>		
214		マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacocta punctatissima</i>		
215		ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	<i>Geotomus pygmaeus</i>		
216			ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>		
217		カメムシ	オオクハカメムシ	<i>Scotinophara horvathi</i>		
218			イネクハカメムシ	<i>Scotinophara lurida</i>		
219			ウス'ラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>		
220			トゲ'シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris aeneus</i>		
221			マルシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris guttiger</i>		
222			シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>		
223			ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>		
224			クサキ'カメムシ	<i>Halyomorpha picus</i>		
225			ミヤマカメムシ'の一種	<i>Hermolaus</i> sp.		
226			フタテンカメムシ	<i>Laprius gastricus</i>		
227			スコットカメムシ	<i>Menida scotti</i>		
228			イチモンジ'カメムシ	<i>Piezodorus hybneri</i>		
229			チャハ'ネアオカメムシ	<i>Plautia crossota</i>		
230		エ'イロカメムシ	エ'イロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>		
231		ツリカメムシ	ヒメハサミツリカメムシ	<i>Acanthosoma forficula</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(4/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
232	(カメシ)	(ツリカメシ)	アホシツリカメシ	<i>Dichobothrium nubilum</i>		
233			ヒメツリカメシ	<i>Elasmucha putoni</i>		
234			イサキモキツリカメシ	<i>Sastragala esakii</i>		
235			モキツリカメシ	<i>Sastragala scutellata</i>		
236	アミメカゲ	ヒメカゲ	ヒメカゲの一種	<i>Hemerobius</i> sp.		
237			チハ 祉メカゲ	<i>Micromus numerosus</i>		
238		ケサカゲ	ケモンサカゲ	<i>Chrysopa formosa</i>		
239			ヤマトケサカゲ	<i>Chrysoperla carnea</i>		
240			イホ シアカラダ ラサカゲ	<i>Mallada cognatella</i>		
241		ウスバカゲ	コカスリウスバカゲ	<i>Distoleon contubernalis</i>		
242			ホシウスバカゲ	<i>Glenuroides japonicus</i>		
243	コウチュウ	ハンミョウ	イサ ハンミョウ	<i>Cicindela elisae</i>		
244		オサムシ	ママイカブリ	<i>Damaster blaptoides</i>		
245			オコロシカガミ	<i>Leptocarabus kumagaii</i>		
246			コヒメヨウタンゴミ	<i>Clivina vulgivaga</i>		
247			ホシヨウタンゴミ	<i>Scarites acutidens</i>		
248			ナカヒヨウタンゴミ	<i>Scarites terricola</i>		
249			アトシミスギワゴミ	<i>Bembidion niloticum</i>		
250			ミズギワゴミの一種	<i>Bembidion</i> sp.		
251			ムツシロミズギワゴミ	<i>Paratachys plagiatus</i>		
252			ウスバミズギワゴミ	<i>Paratachys sericans</i>		
253			ウリロコミズギワゴミ	<i>Tachyura funicata</i>		
254			ヨツシロミズギワゴミ	<i>Tachyura laetifica</i>		
255			オコミ	<i>Lesticus magnus</i>		
256			オコガミ	<i>Pterostichus fortis</i>		
257			コガミ	<i>Pterostichus microcephalus</i>		
258			キンガミ	<i>Pterostichus planicollis</i>		
259			マルガミ	<i>Pterostichus subovatus</i>		
260			アソビガミ	<i>Pterostichus sulcitorsis</i>		
261			ナガミの一種	<i>Pterostichus</i> sp.		
262			ムラサキオコミ	<i>Trigonognatha coreana</i>		
263			アオコ	<i>Agonum chalconus</i>		
264			ヒメアオコ	<i>Dolichus halensis</i>		
265			オオアオコ	<i>Platynus magnus</i>		
266			マルカ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>		
267			クワヤヒラコ	<i>Synuchus cycloderus</i>		
268			ヒメヤヒラコ	<i>Synuchus dulcigradus</i>		
269			コアマルガミ	<i>Amara chalcophaea</i>		
270			オアマルガミ	<i>Amara gigantea</i>		
271			ナガマルガミ	<i>Amara macronota</i>		
272			ヒメヤマルガミ	<i>Amara nipponica</i>		
273			マルガミの一種	<i>Amara</i> sp.		
274			ウラスコ	<i>Harpalus griseus</i>		
275			ヒメウラスコ	<i>Harpalus jureceki</i>		
276			ウスアカロコ	<i>Harpalus sinicus</i>		
277			ウチナガ	<i>Oxycentrus argutoroides</i>		
278			カラネコ	<i>Platymetopus flavilabris</i>		
279			キロヒ	<i>Acupalpus inornatus</i>		
280			キヘ	<i>Anoplogenius cyanescens</i>		
281			コクロコ	<i>Bradycellus subditus</i>		
282			ミト	<i>Stenolophus difficilis</i>		
283			マコ	<i>Stenolophus fulvicornis</i>		
284			ムネアカマコ	<i>Stenolophus propinquus</i>		
285			イホシマコ	<i>Stenolophus quinquepustulatus</i>		
286			コキハ	<i>Chlaenius circumdatus</i>		
287			コアアオコ	<i>Chlaenius hamifer</i>		
288			ヒメキハ	<i>Chlaenius inops</i>		
289			オオアトホ	<i>Chlaenius micans</i>		
290			アトホ	<i>Chlaenius naeviger</i>		
291			コガ	<i>Chlaenius varicornis</i>		
292			アトアオコ	<i>Chlaenius virgulifer</i>		
293			チハ	<i>Odacantha aegrota</i>		
294			トゲ	<i>Aepheidius adelioides</i>		
295			クロス	<i>Anchista binotata</i>		
296			スジ	<i>Apristus grandis</i>		
297			ミズ	<i>Demetrias marginicollis</i>		
298			ホソアトホ	<i>Dromius prolixus</i>		
299		ホソアトホ	オホアトホ	<i>Brachinus scotomedes</i>		
300			ミテ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>		
301		ゲ	ヒゲ	<i>Guignotus japonicus</i>		
302			ケシ	<i>Hyphidrus japonicus</i>		
303			チヤイロヒ	<i>Liodessus megacephalus</i>		
304			マダ	<i>Agabus japonicus</i>		
305			ホシ	<i>Copelatus weymarni</i>		
306			ヒメ	<i>Rhantus pulverosus</i>		
307			ウシ	<i>Hydaticus grammicus</i>		
308			ウス	<i>Hydaticus rhantoides</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(5/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
309	(コチユウ)	ガムシ	セシ'ケガムシ	<i>Cercyon aequalis</i>		
310			ケガムシ属の一種	<i>Cercyon</i> sp.		
311			セマルケガムシ	<i>Cryptopleurum subtile</i>		
312			キハ'リヒラケガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>		
313			キロヒラケガムシ	<i>Enochrus simulans</i>		
314			コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>		
315			ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>		
316			アマゴ'マツガムシ	<i>Berosus japonicus</i>		
317			トゲ'バ'ゴ'マツガムシ	<i>Berosus lewisius</i>		
318			ゴ'マツガムシ	<i>Berosus signaticollis</i>		
319			ヒゲ'ブ'ト'ヒ'シ'デ'ムシ	<i>Colon japonicum</i>		
320			ヒ'シ'デ'ムシ	<i>Catops angustitarsis</i>		
321			ヒ'シ'デ'ムシ属の一種	<i>Catops</i> sp.		
322			シ'デ'ムシ	<i>Nicrophorus investigator</i>		
323			ヒ'ロ'ヒ'モ'シ'デ'ムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i>		
324			マ'エ'モ'シ'デ'ムシ	<i>Nicrophorus maculifrons</i>		
325			オ'モ'モ'ト'シ'デ'ムシ	<i>Necrodes asiaticus</i>		
326			ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Micropeplus fulvus</i>		
327			ヒ'ク'ロ'セ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Anotylus latiusculus</i>		
328			ル'イ'セ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Anotylus lewisius</i>		
329			セ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シの一種	<i>Anotylus</i> sp.		
330			ア'ク'ロ'ア'カ'ヒ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Atheta weisei</i>		
331			ツ'マ'ク'ロ'カ'ハ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Bledius lucidus</i>		
332			オ'オ'ツ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Bledius salsus</i>		
333			ニ'セ'ミ'セ'ミ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Carpelimus vagus</i>		
334			ア'カ'セ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Oxytelus incisus</i>		
335			ク'ロ'ヒ'メ'カ'ハ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Platystethus operosus</i>		
336			ア'シ'マ'ダ'ラ'メ'ダ'カ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Stenus cicidelooides</i>		
337			メ'ダ'カ'ハ'ネ'カ'ク'シ属の一種	<i>Stenus</i> sp.		
338			ク'ロ'ス'ト'カ'リ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Lithocharis nigriceps</i>		
339			ク'ロ'カ'エ'ル'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Ochtheophilum densipenne</i>		
340			ア'オ'ハ'ア'リ'ガ'タ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Paederus fuscipes</i>		
341			ヒ'ト'ガ'リ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Sunius debilicornis</i>		
342			ア'ク'ロ'ヒ'メ'カ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Leptacinus angustus</i>		
343			ウ'ス'ア'カ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Othius medius</i>		
344			ア'カ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Othius rufipennis</i>		
345			キ'ア'シ'チ'ビ'コ'ガ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Philonthus numata</i>		
346			ヒ'メ'ホ'ソ'コ'ガ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Philonthus wusthoffi</i>		
347			ク'ロ'コ'ガ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シの一種	<i>Philonthus</i> sp.		
348			ヤ'マ'ト'イ'ク'ビ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Mycetoporus discoidalis</i>		
349			ヒ'メ'キ'ノ'ハ'ネ'カ'ク'シの一種	<i>Sepedophilus</i> sp.		
350			ク'ロ'ク'ロ'マル'ク'ビ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Tachinus diminutus</i>		
351			ク'ロ'ス'マル'ク'ビ'ハ'ネ'カ'ク'シの一種	<i>Tachinus</i> sp.		
352			ク'ロ'ス'シ'リ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Tachyporus celatus</i>		
353			シ'リ'ホ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ科の一種	Tachyporinae gen. sp.		
354			ク'ロ'シ'ビ'イ'ロ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Ocybus lewisius</i>		
355			キ'ハ'ネ'セ'ミ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Falagria sapida</i>		
356			ヤ'マ'ト'ヒ'ラ'キ'ノ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Gyrophaena niponensis</i>		
357			ツ'ツ'ク'シ'キ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Nehemitropa sordida</i>		
358			ア'カ'セ'シ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Santhota sparsa</i>		
359			ク'ビ'ア'ガ'リ'ノ'ハ'ネ'カ'ク'シ	<i>Zyras pictus</i>		
360			ハ'ネ'カ'ク'シ科類	Staphylinidae gen. spp.		
361			ア'リ'ツ'カ'ム'シ	<i>Pilopius discedens</i>		
362			ア'リ'ツ'カ'ム'シ科の一種	Pselaphidae gen. sp.		
363			マル'ハ'ナ'ミ'ダ'マ'シ	<i>Eucinetus haemorrhoidalis</i>		
364			マル'ハ'ナ'ミ	<i>Cyphon puncticeps</i>		
365			ヒ'メ'チ'ビ'マル'ハ'ナ'ミ	<i>Cyphon</i> sp.		
366			ヒ'ト'イ'ロ'マル'ハ'ナ'ミ	<i>Scirtes japonicus</i>		
367			ク'ワ'ガ'タ'ム'シ	<i>Macrodorcas rectus</i>		
368			ヒ'ラ'タ'ク'ワ'ガ'タ'ム'シ	<i>Serrognathus platymelus</i>		
369			コ'フ'マル'エ'ン'マ'コ'ガ'ネ	<i>Onthophagus atripennis</i>		
370			ミ'ツ'ノ'エ'ン'マ'コ'ガ'ネ	<i>Onthophagus tricornis</i>		
371			オ'オ'ク'ロ'コ'ガ'ネ	<i>Holotrichia parallela</i>		
372			オ'オ'コ'フ'キ'コ'ガ'ネ	<i>Melolontha frater</i>		
373			ヒ'ゲ'コ'ガ'ネ	<i>Polyphylla laticollis</i>		
374			ア'カ'ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ	<i>Maladera castanea</i>		
375			ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ	<i>Maladera japonica</i>		
376			ヒ'メ'ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ	<i>Maladera orientalis</i>		
377			オ'オ'ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ	<i>Maladera renardi</i>		
378			ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ属の一種	<i>Maladera</i> sp.		
379			ウ'タ'リ'ビ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネの一種	<i>Nipponoserica</i> sp.		
380			コ'イ'チ'ヤ'コ'ガ'ネ	<i>Adoretus tenuimaculatus</i>		
381			ア'オ'ト'ウ'ガ'ネ	<i>Anomala albopilosa</i>		
382			ド'ウ'ガ'ネ'イ'イ'	<i>Anomala cuprea</i>		
383			ヤ'マ'ト'ア'オ'ト'ウ'ガ'ネ	<i>Anomala japonica</i>		
384			ハ'ン'ヒ'メ'コ'ガ'ネ	<i>Anomala puncticollis</i>		
385						

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(6/13)

目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
386	(コガネ)	ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i>		
387		ヒメコガネ	<i>Anomala schoenfeldti</i>		
388		ヒメコガネ	<i>Blitopertha orientalis</i>		
389		コガネ	<i>Mimela splendens</i>		
390		ウスチャコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>		
391		マコガネ	<i>Popillia japonica</i>		
392		ヒラタハゲムシ	<i>Nipponovalgus angusticollis</i>		
393		コアハゲムシ	<i>Oxycetonia jucunda</i>		
394		シロテハゲムシ	<i>Protaetia orientalis</i>		
395		カブ	<i>Rhomborrhina japonica</i>		
396		カブ	<i>Allomyrina dichotoma</i>		
397	マルトゲムシ	シラフヒマルトゲムシ	<i>Simplocaria bicolor</i>		
398	ナガドムシ	タテシナガドムシ	<i>Heterocerus fenestratus</i>		
399	タマムシ	ナガヒラタヒタマムシ	<i>Habroloma yuasai</i>		
400	コムツキムシ	マダラヒコムツキ	<i>Aeoloderma agnata</i>		
401		サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus</i>		
402		ホソサビキコリ	<i>Agrypnus fuliginosus</i>		
403		ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa</i>		
404		オビヒラタコムツキ	<i>Aphotistus notabilis</i>		
405		アヒゲヒラタコムツキ	<i>Neopristilophus serrifer</i>		
406		ニセケチブトコムツキ	<i>Lanecarus palustris</i>		
407		ヒゲナガコムツキ	<i>Neotrichophorus junior</i>		
408		クロツヤクシコムツキ	<i>Melanotus annosus</i>		
409		ヒラタクシコムツキ	<i>Melanotus koikei</i>		
410		クシコムツキ	<i>Melanotus legatus</i>		
411		クロクシコムツキ	<i>Melanotus senilis</i>		
412		キアシミズクコムツキ	<i>Migiwa tutus</i>		
413		クロハナホタル	<i>Paracardiophorus opacus</i>		
414	ヒゲブトコムツキ	ナガヒゲブトコムツキ	<i>Aulonothroscus longulus</i>		
415		チャロビゲブトコムツキ	<i>Trixaqus turgidus</i>		
416	ハニホタル	コクロハナホタル	<i>Libnetis granicollis</i>		
417	ジヨウカイ	ヒメジヨウカイ	<i>Athemus vitellinus</i>		
418	カツオブシムシ	カドマルカツオブシムシ	<i>Dermestes haemorrhoidalis</i>		
419		クロヒゲブトカツオブシムシ	<i>Thaumaglossa hilleri</i>		
420		カマキリタマコカツオブシムシ	<i>Thaumaglossa rufocapillata</i>		
421		ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>		
422	カコウムシ	ヤマヒメメダカコウムシ	<i>Neohydnus hozumii</i>		
423	ジヨウカイモトキ	クシヨウカイモトキ	<i>Dasytes vulgaris</i>		
424		クロキボシヨウカイモトキ	<i>Laius niponicus</i>		
425		ツマキアオシヨウカイモトキ	<i>Malachius prolongatus</i>		
426	クキスイ	クロハナクキスイ	<i>Carpophilus chalybeus</i>		
427		クワイロクキスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>		
428		カサヘニクキスイ	<i>Urophorus humeralis</i>		
429		ホソキヒラタクキスイ	<i>Epuraea parilis</i>		
430		マヒラタクキスイ	<i>Haptoncurina paulula</i>		
431		モンチヒラタクキスイ	<i>Haptoncus ocellaris</i>		
432		モンチヒラタクキスイの一種	<i>Haptoncus sp.</i>		
433		アカマダラクキスイ	<i>Lasiodactylus pictus</i>		
434		マルキマダラクキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i>		
435		ヨツホシクキスイ	<i>Librodor japonicus</i>		
436	ネスイムシ	ホソネスイ	<i>Euryps temporis</i>		
437		コバケネスイ	<i>Mimemodes japonus</i>		
438		トビイロネスイ	<i>Monotoma picipes</i>		
439	ヒメハナムシ	トビイロヒメハナムシ	<i>Olibrus consanguineus</i>		
440	ホヒラタムシ	ヒラムネホヒラタムシ	<i>Protosilvanus lateritius</i>		
441		ホムネホヒラタムシ	<i>Silvanoprus angusticollis</i>		
442		ミツカドコヒラタムシ	<i>Silvanoprus scuticollis</i>		
443		ヒメフタゴホヒラタムシ	<i>Silvanus lewisii</i>		
444		ミツモンセマヒラタムシ	<i>Psammoecus triguttatus</i>		
445	キスイムシ	クナガセマルキスイ	<i>Atomaria horridula</i>		
446		キロセマルキスイ	<i>Atomaria lewisi</i>		
447		ナガマルキスイ	<i>Atomaria punctatissima</i>		
448		マルカクキスイ	<i>Curelius japonicus</i>		
449		キスイムシ科の一種	<i>Cryptophagidae gen. sp.</i>		
450	コムツキモトキ	キロムクゲオキノコ	<i>Cryptophilus cryptophagoides</i>		
451		ヒメムクゲオキノコ	<i>Cryptophilus propinquus</i>		
452		クナガマルキスイ	<i>Toramus glisonothoides</i>		
453		キムネヒコムツキモトキ	<i>Anadastus atriceps</i>		
454	ミジシムシ	ムクゲミジシムシ	<i>Sericoderus lateralis</i>		
455	テントウムシ	フタシヒメテントウ	<i>Horniolus fortunatus</i>		
456		フタシテントウ	<i>Hyperaspis japonica</i>		
457		オマヒメテントウ	<i>Nephus oshimensis</i>		
458		セシヒメテントウ	<i>Nephus patagiatus</i>		
459		ハハヒメテントウ	<i>Scymnus babai</i>		
460		クロハヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>		
461		ヒメテントウ属の一種	<i>Scymnus sp.</i>		
462		ヒメアカシテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(7/13)

目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
463	(コウチュウ)	(テントウムシ)	ヨツホシテントウ	<i>Phymatosternus lewisii</i>	
464			ハダリアテントウ	<i>Rodolia cardinalis</i>	
465			シロシユウゴホシテントウ	<i>Calvia quindecimpunctata</i>	
466			ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	
467			ナメテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	
468			シユウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tredecimpunctata</i>	
469			キロテントウ	<i>Illeis koebelei</i>	
470			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>	
471		ヒメマキムシ	ウスキケシマキムシ	<i>Corticaria japonica</i>	
472			クロホシケシマキムシ	<i>Corticaria ornata</i>	
473			ウスチャケシマキムシ	<i>Corticaria gibbosa</i>	
474			ヤマトケシマキムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>	
475			ヒメマキムシ	<i>Stephostethus chinensis</i>	
476		コキコムシ	チャイロコキコムシ	<i>Typhaea stercorea</i>	
477		ハナミ	クロハナミ	<i>Mordella brachyura</i>	
478			カガヤヒメハナミ	<i>Mordellina kaquyahime</i>	
479			フタホシヒメハナミ	<i>Mordellina signatella</i>	
480			モルメハナミ属の一種	<i>Mordellina</i> sp.	
481			アカハナミ	<i>Mordellistenoda aka</i>	
482			ハナミ科類	Mordellidae gen. spp.	
483		カミキリモドキ	アカミキリモドキ	<i>Xanthochroa waterhousei</i>	
484		アリモドキ	クビアリモドキ	<i>Anthelephila cribriceps</i>	
485			ヨツホシホリアリモドキ	<i>Pseudoleptaleus valgipes</i>	
486		ハナミダマシ	コナガハナミの一種	<i>Anaspis</i> sp.	
487		クビキカワムシ	ヒメクビキカワムシ	<i>Prostominia lewisi</i>	
488		ハムシダマシ	ヒゲブトゴミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>	
489		クビキムシ	ウスイロクビキムシ	<i>Allecula simiola</i>	
490			クワイロクビキムシ	<i>Borboresthes acicularis</i>	
491		ゴミムシダマシ	ゴナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>	
492			ヒメナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum persimile</i>	
493		カミキリムシ	アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>	
494			ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>	
495			シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i>	
496			シラホシゴマダラカミキリ	<i>Exocentrus guttulatus</i>	
497		ハムシ	ムナキハムシ	<i>Smaragdina semiaurantiaca</i>	
498			ムネミヅヒメツツハムシ	<i>Coenobius sulcicollis</i>	
499			ハラルツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>	
500			アオハネツツハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>	
501			ヒメキハネツツハムシ	<i>Pagria signata</i>	
502			ドウガネツツハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>	
503			ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>	
504			コガタハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>	
505			ヤナギハムシ	<i>Plagioderes versicolora</i>	
506			ウリハムシ	<i>Aulacophora femoralis</i>	
507			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis</i>	
508			フタスジヒメハムシ	<i>Medythia nigrobilineata</i>	
509			ヨツホシハムシ	<i>Paridea quadriplagiata</i>	
510			カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>	
511			スジカミナリハムシ	<i>Altica latericosta</i>	
512			コカミナリハムシ	<i>Altica viridicyanea</i>	
513			ツブノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>	
514			サメハダツブノミハムシ	<i>Aphthona strigosa</i>	
515			ハネシロハムシ	<i>Batophila acutangula</i>	
516			フタイロヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema bicolorata</i>	
517			ヒメトウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>	
518			ヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema ingenua</i>	
519			キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>	
520			ナトビハムシ	<i>Psylliodes punctifrons</i>	
521			ダイトウナガネトビハムシ	<i>Psylliodes subrugosa</i>	
522			クロトウハムシ	<i>Hispellinus moerens</i>	
523		オトシブミ	クロケツツブチョッキリ	<i>Auletobius uniformis</i>	
524		ホウキクサウシ	ヒメクサホウキクサウシ	<i>Apion praecarium</i>	
525			ウスイロホウキウシ	<i>Nanophyes usuironis</i>	
526		ゾウウシ	サビヒョウタンゾウウシ属の一種	<i>Scepticus</i> sp.	
527			ハコバタゾウウシ	<i>Hypera basalis</i>	
528			アルアルアタタゾウウシ	<i>Hypera postica</i>	
529			ヤザイゾウウシ	<i>Listroderes costirostris</i>	
530			ハスジカサゾウウシ	<i>Lixus acutipennis</i>	
531			カサゾウウシ	<i>Lixus impressiventris</i>	
532			アカイネゾウモドキ	<i>Dorytomus roelofsi</i>	
533			ホウライネゾウモドキ	<i>Dorytomus urakoeae</i>	
534			イネズミゾウウシ	<i>Lissorhopterus oryzophilus</i>	
535			ウスクアサゾウウシ	<i>Gryporrhynchus obscurus</i>	
536			ヒラヒラゾウウシ	<i>Rhynchaenus dorsoplanatus</i>	
537			エキノミゾウウシ	<i>Rhynchaenus horii</i>	
538			ムネズミゾウウシ	<i>Rhynchaenus takabayashii</i>	
539			ノミゾウウシ属類	<i>Rhynchaenus</i> spp.	

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(8/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
540	(コウチュウ)	(ウ) ウムシ	イチゴ ハナゾ ウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>		
541			アカアシクサフ トサバ ヲ ウムシ	<i>Rhinoncus cribricollis</i>		
542			コブ ナシクサフ トサバ ヲ ウムシ	<i>Rhinoncus perpendicularis</i>		
543			ダ イコサバ ヲ ウムシ	<i>Ceuthorrhynchidius albosuturalis</i>		
544			アオハ 稗草 ヲ ウムシ	<i>Ceutorhynchus ibukianus</i>		
545			クサ ヲ ウムシ	<i>Homorosoma asperum</i>		
546			ヤナギ シロシ 田 ヲ ウムシ	<i>Cryptorhynchus lapathi</i>		
547		ニセマツリシホ ヲ ウムシ	<i>Shirahoshizo rufescens</i>			
548	ハチ	ミツハチ	アカシ チュウレンジ	<i>Arge nigrinodosa</i>		
549			ニホチチュウレンジ	<i>Arge nipponensis</i>		
550		ハチ	ハダ ハチ	<i>Allantus luctifer</i>		
551			ワラビ ハチ	<i>Aneugmeus kiotonis</i>		
552			セウ ロカブ ラハチ	<i>Athalia infumata</i>		
553			オスグ ハチ	<i>Dolerus similis</i>		
554			カサアサキ サハチ	<i>Loderus genucinctus</i>		
555		ヨシハチ	<i>Pachyprotasis pallidiventris</i>			
556		コマバチ	ブ ランコサムライコマバチの一種	<i>Apanteles</i> sp.		
557			コマバチ 科類	Braconidae gen. spp.		
558		ヒメバチ	シロヒメバチの一種	<i>Coccygomimus</i> sp.		
559			アホムシバチ	<i>Itoplectis naranyae</i>		
560			イロヒメバチ	<i>Amblyjoppa proteus</i>		
561			ヒメバチ 科類	Ichneumonidae gen. spp.		
562		アシバトコバチ	キアシバトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>		
563			ヒメアシバトコバチ	<i>Antrocephalus japonicus</i>		
564			ハネアシバトコバチ	<i>Epitranus albipennis</i>		
565		コバチ上科	コバチ上科類	Chalcidoidea fam. & gen. spp.		
566		タマバチ	タマバチ 科の一種	Cynipidae gen. sp.		
567		セイゴウ	ツマムシキセイゴウ	<i>Chrysis splendidula</i>		
568		アリガタバチ	アリガタバチ 科の一種	Bethylidae gen. sp.		
569		コツバチ	スジ コツバチの一種	<i>Tiphia</i> sp.		
570		ツバチ	オオモンツバチ	<i>Scolia histrionica</i>		
571			ヒメツバチ	<i>Campsomeriella annulata</i>		
572			ハラツバチ	<i>Campsomeris schultzei</i>		
573		アリ	オハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>		
574			ニセハリアリ	<i>Hypoponera sauteri</i>		
575			ニセハリアリ 属の一種	<i>Hypoponera</i> sp.		
576			テラニハリアリ	<i>Ponera scabra</i>		
577			ケブ カリアリ	<i>Trachymesopus pilosior</i>		
578			ハラバ トシアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>		
579			キイロシアゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>		
580			クサ ミシアゲアリ	<i>Crematogaster vagula</i>		
581			ムネホ ヲアリ	<i>Leptothorax congruus</i>		
582			ハラカ ムネホ ヲアリ	<i>Leptothorax spinosior</i>		
583			ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>		
584			シクシクアリ	<i>Myrmica kotokui</i>		
585			コツアリ	<i>Oligomyrmex yamatonis</i>		
586			アミアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>		
587			イカ ウロコアリ	<i>Smithistruma benten</i>		
588			ヤマトウロコアリ	<i>Smithistruma japonica</i>		
589			ノコウロコアリ 属の一種	<i>Smithistruma</i> sp.		
590			トコアリ	<i>Solenopsis japonica</i>		
591			ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>		
592			トビイロアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>		
593			ルリアリ	<i>Iridomyrmex itoi</i>		
594			ウメツオアリ	<i>Camponotus tokioensis</i>		
595	クサアリ		<i>Formica japonica</i>			
596	アメイロアリ		<i>Lasius umbratus</i>			
597	トビイロアリ		<i>Lasius japonicus</i>			
598	アメイロアリ		<i>Paratrechina flavipes</i>			
599	ハ ッコウバチ		ハ ッコウバチ	<i>Cyphomyrmex dorsalis</i>		
600		アケホ ハ ッコウ	<i>Anoplius eous</i>			
601		オオシロハ ッコウ	<i>Episyron arrogans</i>			
602	ハ ッコウバチ 科の一種	Pompilidae gen. sp.				
603	トコバチ	オオタビトコバチ	<i>Anterhynchium flavomarginatum</i>			
604		キホ シツクリバチ	<i>Eumenes fraterculus</i>			
605		ミカト トツクリバチ	<i>Eumenes micado</i>			
606		サムライトツクリバチ	<i>Eumenes samuray</i>			
607		ミカト トコバチ	<i>Euodynerus nipanicus</i>			
608	ヒトコバチ	<i>Stenodynerus frauenfeldi</i>				
609	スズメバチ	フタモンアサガハチ	<i>Polistes chinensis</i>			
610		セウ アサガハチ	<i>Polistes jadvigae</i>			
611		モンスズメバチ	<i>Vespa crabro</i>			
612		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>			
613	アサバチ	コクアサバチ	<i>Isodontia nigella</i>			
614		カキツバセン	<i>Psen caocinnus</i>			
615		キアツマエダテ	<i>Psenulus carinifrons</i>			
616		ヒメコオロキハチ	<i>Liris festinans</i>			

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(9/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度		
617	(ハチ)	(アハチ)	ナミジカバチトドキ	<i>Trypoxylon petiolatum</i>				
618			サカチキツグチ	<i>Ectemnius schletteri</i>				
619			ナミキツグチ属の一種	<i>Ectemnius</i> sp.				
620			ナミツチサガリ	<i>Cerceris hortivaga</i>				
621			マルモンツチサガリ	<i>Cerceris japonica</i>				
622			アハチ科の一種	Sphecidae gen. sp.				
623			ムカシハチチ	ヒレムカシハチチ属の一種	<i>Hylaeus</i> sp.			
624			コハチチ	アカネコハチチ	<i>Halictus aerarius</i>			
625			ツマルツチコハチチ	<i>Lasioglossum proximatium</i>				
626			ハチリハチチ	ツクハチリハチチ	<i>Chalicodoma monticola</i>			
627			ハチリハチチ	ハチリハチチ	<i>Megachile nipponica</i>			
628			ヒメツチハチリハチチ	<i>Megachile subalbata</i>				
629			ハチリハチチトドキ	<i>Megachile tsurugensis</i>				
630			ハチリハチチ属の一種	<i>Megachile</i> sp.				
631			コシバトハチチ	ヤマトツチハチチの一種	<i>Ceratina</i> sp.			
632			クマハチチ	<i>Xylocopa appendiculata</i>				
633			ミツハチチ	セイヨウミツハチチ	<i>Apis mellifera</i>			
634			ハ	カガハチ	エノハカガハチ	<i>Nephrotoma cornicina</i>		
635					キロハカガハチ	<i>Nephrotoma virgata</i>		
636					マダラカガハチ	<i>Tipula coquilleti</i>		
637					ヤチカガハチ	<i>Tipula serricauda</i>		
638					キリウジカガハチ	<i>Tipula aino</i>		
639					クロキリウジカガハチ	<i>Tipula patagiata</i>		
640					カガハチ属の一種	<i>Tipula</i> sp.		
641					セアハチカガハチ	<i>Limonia pulchra</i>		
642					カスリヒメカガハチ	<i>Limnophila japonica</i>		
643					カガハチ科類	Tipulidae gen. spp.		
644	チヨウバ	チヨウバ科類			Psychodidae gen. spp.			
645	カ	ヒトシジミカ類			<i>Aedes</i> spp.			
646		イカ科の一種			<i>Culex</i> sp.			
647	ヌカカ	ヌカカ科類			Ceratopogonidae gen. spp.			
648	ヌスリカ	ハハスリカ			<i>Procladius sagittalis</i>			
649		ダツタヌスリカ			<i>Ablabesmyia moniliformis</i>			
650		カスリモヌスリカ			<i>Tanytus punctipennis</i>			
651		ヤマトイヌスリカ			<i>Telmatogeton japonicus</i>			
652		マドオヒリヌスリカ属の一種			<i>Bryophaenocladus</i> sp.			
653		ワタシツヌスリカ			<i>Cricotopus bicinctus</i>			
654		ナカオツヌスリカ			<i>Cricotopus triannulatus</i>			
655		ミツオツヌスリカ			<i>Cricotopus trifasciatus</i>			
656		コムナツヌスリカ			<i>Limnophyes minimus</i>			
657		エリヌスリカ属の一種			<i>Orthocladus</i> sp.			
658		ヒメエリヌスリカ属の一種			<i>Psectrocladius aquatrons</i>			
659		ヒメエリヌスリカ属の一種			<i>Psectrocladius</i> sp.			
660		ニセロウエリヌスリカ属の一種			<i>Pseudosmittia</i> sp.			
661		ヒロウエリヌスリカ	<i>Smittia aterrima</i>					
662		ヒメロウエリヌスリカ	<i>Smittia pratara</i>					
663		フチロウエリヌスリカ	<i>Chironomus circumdatus</i>					
664		ヒメフチロウエリヌスリカ	<i>Chironomus flaviplumus</i>					
665		ウスフチロウエリヌスリカ	<i>Chironomus kiiensis</i>					
666		ホセシヌスリカ	<i>Chironomus nippodorsalis</i>					
667		ヤマトヌスリカ	<i>Chironomus nipponensis</i>					
668		オオヌスリカ	<i>Chironomus plumosus</i>					
669		シロヌスリカ	<i>Chironomus salinarius</i>					
670		セシヌスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>					
671		イシカキヌスリカ	<i>Cladopelma edwardsi</i>					
672		シロシカキヌスリカ	<i>Cryptochironomus albofasciatus</i>					
673		イノエリヌスリカ	<i>Dicrotendipes inoue</i>					
674		イノエリヌスリカ	<i>Dicrotendipes lobiger</i>					
675	メダカヌスリカ	<i>Dicrotendipes pelochloris</i>						
676	クロヌスリカ	<i>Einfeldia dissidens</i>						
677	ハイロウエリヌスリカ	<i>Glyptotendipes tokunagai</i>						
678	オオミドリヌスリカ	<i>Lipiniella goryoensis</i>						
679	コガヌスリカ属の一種	<i>Microchironomus</i> sp.						
680	ミナミヌスリカ	<i>Nilodorum biro</i>						
681	ミナミタニヌスリカ	<i>Parachironomus arcuatus</i>						
682	フトオバヌスリカ	<i>Polypedilum convexum</i>						
683	アサカハチヌスリカ	<i>Polypedilum asakawaense</i>						
684	ミヤコムネヌスリカ	<i>Polypedilum kyotoense</i>						
685	ヤチヌスリカ	<i>Polypedilum nubifer</i>						
686	キミドリハチヌスリカ	<i>Polypedilum convictum</i>						
687	ヤマトハチヌスリカ	<i>Polypedilum japonicum</i>						
688	ハチヌスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.						
689	オヤマヒメヌスリカ	<i>Tanytarsus oyamai</i>						
690	ヒメヌスリカ属類	<i>Tanytarsus</i> spp.						
691	ヌスリカ科類	Chironomidae gen. spp.						
692	カハチ	マダラカハチ	<i>Sylvicola japonica</i>					
693	カハチ	クワシホカハチ	<i>Bibio holomaurus</i>					

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覽(10/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
694	(ハ)	(カ) I	ヌアアカシホ ヲカバ I	<i>Bibio simulans</i>		
695			ハク ロカバ I	<i>Bibio tenebrosus</i>		
696			カトケ ナシカバ I	<i>Plecia adiastrata</i>		
697			カトケ ナシカバ I の一種	<i>Plecia hadrosoma</i>		
698			カトケ ナシカバ I の一種	<i>Plecia membranifera</i>		
699		ニセカバ I	ニセカバ I 科の一種	Scatopsidae gen. sp.		
700		タマハ I	タマハ I 科類	Cecidomyiidae gen. spp.		
701		キノコバ I	キノコバ I 科類	Mycetophilidae gen. spp.		
702		カバハ 袈裟ノコバ I	カバハ 袈裟ノコバ I 科類	Sciaridae gen. spp.		
703		ミス アフ	イツ ホルミス アフ	<i>Actina jezoensis</i>		
704			アメリカミス アフ	<i>Hermetia illucens</i>		
705		ツリアフ	カバハ 袈裟リアフ	<i>Ligyra tantalus</i>		
706			スナハ ツリアフ	<i>Villa limbata</i>		
707		ムシヒキアフ	アメイロムシヒキ	<i>Leptogaster trimucronotata</i>		
708			シヤアフ	<i>Promachus yesonicus</i>		
709			シロス ヒメムシヒキ	<i>Philonicus albiceps</i>		
710		オト リハ I	ナガ レオト リハ I 属の一種	<i>Hilara</i> sp.		
711			ヒョウ トゲ カト リハ I の一種	<i>Hybos</i> sp.		
712			アカセガ カト リハ I の一種	<i>Syneches</i> sp.		
713			ヒョウ トト リハ I 属類	<i>Platypalpus</i> spp.		
714			オト リハ I 科の一種	Empididae gen. sp.		
715		アシナガ ハ I	マダ ラアシナガ ハ I	<i>Psilopus nebulosus</i>		
716			マダ ラアシナガ ハ I の一種	<i>Psilopus</i> sp.		
717			アシナガ キンハ I 属類	<i>Dolichopus</i> spp.		
718			アシナガ ハ I 科類	Dolichopodidae gen. spp.		
719		ノミハ I	ノミハ I 科類	Phoridae gen. spp.		
720		アタマアフ	アタマアフ 科の一種	Pipunculidae gen. sp.		
721		ハチアフ	カヒラアフ	<i>Betasyrphus serarius</i>		
722			ハヒラアフ	<i>Didea alneti</i>		
723			ホヒラアフ	<i>Episyrphus balteatus</i>		
724			ナミホヒラアフ	<i>Eupeodes frequens</i>		
725			イツ コヒラアフ	<i>Metasyrphus corollae</i>		
726			ホヒラアフ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>		
727			キタヒラアフ	<i>Sphaerophoria philanthus</i>		
728			ホツツヒラアフ	<i>Melanostoma scalare</i>		
729			マカ リヒラアフ の一種	<i>Platycheirus pennipes</i>		
730			キアツマヒラアフ	<i>Paragus haemorrhous</i>		
731			シマヒラアフ	<i>Paragus fasciatus</i>		
732			コヒラアフ 属の一種	<i>Pipiza</i> sp.		
733			マド ヒラアフ	<i>Eumerus japonicus</i>		
734			キョ シアフ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>		
735			シマハアフ	<i>Eristalis cerealis</i>		
736			ハチアフ	<i>Eristalis tenax</i>		
737			アツト ハチアフ	<i>Helophilus virgatus</i>		
738			シマアツト ハチアフ	<i>Mesembrius flaviceps</i>		
739			オハチアフ	<i>Phytomia zonata</i>		
740		メハ I	マダ ラメハ I	<i>Myopa buccata</i>		
741		テ ガ シラハ I	スエミエラ属の一種	<i>Sphecomyiella</i> sp.		
742		ミハ I	ヒラヤマミメク カミハ I	<i>Campiglossa hirayamae</i>		
743		ヒロケチハ I	ダ イズ コリョウハ I	<i>Rivellia apicalis</i>		
744		ヤチハ I	ヒゲ ナガ ヤチハ I	<i>Sepedon aenescens</i>		
745		ハマハ I	ハマハ I	<i>Coelopa frigida</i>		
746		シマハ I	ヤブ クロシマハ I	<i>Minettia longipennis</i>		
747			シマハ I 科類	Lauxaniidae gen. spp.		
748		クチキハ I	クチキハ I 科の一種	Clusiidae gen. sp.		
749		ハモク リハ I	ハモク リハ I 科類	Agromyzidae gen. spp.		
750		キモク リハ I	キモク リハ I 科類	Chloropidae gen. spp.		
751		ミギ ヲハ I	ミギ ヲハ I 科類	Ephydriidae gen. spp.		
752		シヨウジ ヲハ I	ダ ンダ ラシヨウジ ヲハ I	<i>Drosophila annulipes</i>		
753			オトウシヨウジ ヲハ I	<i>Drosophila suzukii</i>		
754			シヨウジ ヲハ I 属類	<i>Drosophila</i> spp.		
755			シヨウジ ヲハ I 科類	Drosophilidae gen. spp.		
756		トゲ ルネハ I	トゲ ルネハ I 科の一種	Heleomyzidae gen. sp.		
757		ハヤトヒ ハ I	ハヤトヒ ハ I 科類	Sphaeroceridae gen. spp.		
758		フンハ I	ヒメフンハ I	<i>Scathophaga stercoraria</i>		
759		ハナハ I	ハコハ ハナハ I	<i>Delia echinata</i>		
760			タネハ I	<i>Delia platura</i>		
761			ケブ カロハナハ I	<i>Paregle vetula</i>		
762			ハナハ I 科類	Anthomyiidae gen. spp.		
763		ヒメハ I	ヒメハ I 属類	<i>Fannia</i> spp.		
764		イハ I	カトイハ I	<i>Musca bezzi</i>		
765			ヒメクハ I	<i>Hydrotaea ignava</i>		
766			ヤマトケ ハナハ I	<i>Phaonia japonica</i>		
767			イハ I 科類	Muscidae gen. spp.		
768		カバハ I	ケブ カバハ I	<i>Aldrichina grahmi</i>		
769			オカバハ I	<i>Calliphora lata</i>		
770			ヒロス キンハ I	<i>Lucilia sericata</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覽(11/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
771	(ハ)	(クハ I)	キバ I	<i>Lucilia caesar</i>		
772			ホクノヒキバ I	<i>Chrysomya pinguis</i>		
773			ツマノキバ I	<i>Stomorphina obsoleta</i>		
774		ニバ I	セチニバ I	<i>Sarcophaga peregrina</i>		
775			シリクノニバ I	<i>Sarcophaga melanura</i>		
776			チニバ I	<i>Sarcophaga similis</i>		
777			ニバ I 属類	<i>Sarcophaga</i> spp.		
778		ヤドバ I	ブランコヤドバ I	<i>Exorista japonica</i>		
779			カイコウシバ I	<i>Blepharipa zebina</i>		
780			セシナカバ I	<i>Dexia flavipes</i>		
781			ヤドバ I 科類	Tachinidae gen. spp.		
782	トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>		
783			ウルマシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>		
784		エグリトビケラ	ニギヨウトビケラ	<i>Goera japonica</i>		
785	チョウ	マカリガ	マカリガ科の一種	Incurvariidae gen. sp.		
786		ホクツウガ	ハイロホクツウ	<i>Phragmataecia castaneae</i>		
787		ハマキガ	チャノカケモノハマキ	<i>Adoxophyes honmai</i>		
788			フタモトガバハマキ	<i>Bactra hostilis</i>		
789			ヨモギネムシガ	<i>Epiblema foenella</i>		
790			トビモンシロハマキ	<i>Eucosma metzneriana</i>		
791			ホソバチハマキ	<i>Lobesia aeolopa</i>		
792			ニセマサバハマキ	<i>Matsumuraeses falcana</i>		
793			ナツハセハマキ	<i>Olethreutes moderata</i>		
794			ハマキガ科類	Tortricidae gen. spp.		
795		ミノガ	シバミノガ	<i>Nipponopsyche fuscescens</i>		
796			ハソバノリ属の一種	<i>Bambalina</i> sp.		
797		ヒロスコガ	マダラハヒロスコガ	<i>Hypophrittis conspersa</i>		
798			トキメコガ	<i>Opogona thiadelta</i>		
799		ホソガ	ホソガ科の一種	Gracillariidae gen. sp.		
800		スガ	コナガ	<i>Plutella xylostella</i>		
801		マルハキバガ	ホソバキマルハキバガ	<i>Cryptolechia malacobyrsa</i>		
802			カレハチマルハキバガ	<i>Tyrolimnas anthraconesa</i>		
803			ヒマヤキスギバガ	<i>Autosticha kyotensis</i>		
804			ミツホシバガ	<i>Autosticha modicella</i>		
805		ツツミガ	ツツミガ科の一種	Coleophoridae gen. sp.		
806		カザリバガ	ハニエトカザリバガ	<i>Labdia semicoccinea</i>		
807			キナシトカザリバガ	<i>Stagmatophra niphostica</i>		
808		キバガ	タテマキバガ	<i>Helcystogramma arotreae</i>		
809			キバガ科類	Gelechiidae gen. spp.		
810		イラガ	アオイイラガ	<i>Parasa consocia</i>		
811			ヒロリアアオイイラガ	<i>Parasa lepida</i>		
812		メイガ	ホソバヤマイガ	<i>Scoparia isochroalis</i>		
813			ヨシツガ	<i>Chilo luteellus</i>		
814			ニカメイガモトキ	<i>Chilo nipponella</i>		
815			ニカメイガ	<i>Chilo suppressalis</i>		
816			シロシツガ	<i>Crambus argyrophorus</i>		
817			ナカゲロツガ	<i>Crambus virgatellus</i>		
818			シバツガ	<i>Parapediasia teterrella</i>		
819			クロシキオノメイガ	<i>Acropentias aurea</i>		
820			ヒメトガリノメイガ	<i>Anania verbascalis</i>		
821			シロモンメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>		
822			タイワウスキノメイガ	<i>Botyodes diniasalis</i>		
823			アカウスノメイガ	<i>Bradina angustalis</i>		
824			モンウスノメイガ	<i>Bradina geminalis</i>		
825			ヒメアカウスノメイガ	<i>Bradina trigonalis</i>		
826			キハハハハノメイガ	<i>Circobotys aurealis</i>		
827			コノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>		
828			ハネナガコノメイガ	<i>Cnaphalocrocis pilosa</i>		
829			ウタヘリクノメイガ	<i>Diaphania indica</i>		
830			キアサヒノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>		
831			アサミノメイガ	<i>Eurrhyarodes accessalis</i>		
832			クロヘリキノメイガ	<i>Goniorhynchus butyrosa</i>		
833			モンキクノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosalis</i>		
834			マノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>		
835			クロミシノメイガ	<i>Omiodes similis</i>		
836			アキノメイガ属の一種	<i>Ostrinia</i> sp.		
837			マアサカノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>		
838			ヒロバウスノメイガ	<i>Paranacoleia lophophoralis</i>		
839			クビシロノメイガ	<i>Pileocera aegimiusalis</i>		
840			コガタシロノメイガ	<i>Pileocera sodalis</i>		
841			ウスロキノメイガ	<i>Pleuroptya punctimarginalis</i>		
842			キムシノメイガ	<i>Prodasyncnemis inornata</i>		
843			タテマノメイガ	<i>Sclerocona acutella</i>		
844			マキシツガノメイガ	<i>Sitochroa umbrosalis</i>		
845			シロホノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>		
846			シロシエノメイガ	<i>Sufetula sunidesalis</i>		
847			ヒメマダラシノメイガ	<i>Elophila turbata</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覽(12/13)

	目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
771	(ハ)	(カバ)	キンバ	<i>Lucilia caesar</i>		
772			赫ク ロバ キンバ	<i>Chrysomya pinguis</i>		
773			ツマク ロキンバ	<i>Stomorphina obsoleta</i>		
774		ニカバ	セチニカバ	<i>Sarcophaga peregrina</i>		
775			シク ロニカバ	<i>Sarcophaga melanura</i>		
776			チニカバ	<i>Sarcophaga similis</i>		
777			ニカバ 工属類	<i>Sarcophaga</i> spp.		
778		ヤト	ラコヤト	<i>Exorista japonica</i>		
779			カコノウシ	<i>Blepharipa zebina</i>		
780			セシナガ	<i>Dexia flavipes</i>		
781			ヤト 工科類	Tachinidae gen. spp.		
782	ヒ	シマ	コガ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>		
783			ウルマ	<i>Hydropsyche orientalis</i>		
784		エ	ニキ	<i>Goera japonica</i>		
785	ヲ	マ	マ	Incurvariidae gen. sp.		
786		ホ	ハ	<i>Phragmataecia castaneae</i>		
787		ハ	チ	<i>Adoxophyes honmai</i>		
788			フ	<i>Bactra hostilis</i>		
789			モ	<i>Epiblema foenella</i>		
790			ト	<i>Eucosma metzneriana</i>		
791			ホ	<i>Lobesia aeolopa</i>		
792			ニ	<i>Matsumuraeses falcana</i>		
793			ナ	<i>Olethreutes moderata</i>		
794			ハ	Tortricidae gen. spp.		
795		ミ	シ	<i>Nipponopsyche fuscescens</i>		
796			バ	<i>Bambalina</i> sp.		
797		ヒ	ラ	<i>Hypophrictis conspersa</i>		
798			ト	<i>Opogona thiadelta</i>		
799		ホ	ホ	Gracillariidae gen. sp.		
800		ス	コ	<i>Plutella xylostella</i>		
801		マ	ホ	<i>Cryptolechia malacobyrsa</i>		
802			カ	<i>Tyrolimnas anthraconesa</i>		
803			ヒ	<i>Autosticha kyotensis</i>		
804			ミ	<i>Autosticha modicella</i>		
805		ツ	ツ	Coleophoridae gen. sp.		
806		カ	ハ	<i>Labdia semicoccinea</i>		
807			キ	<i>Stagmatophra niphostica</i>		
808		キ	タ	<i>Helcystogramma arotreae</i>		
809			キ	Gelechiidae gen. spp.		
810		イ	ア	<i>Parasa consocia</i>		
811			ヒ	<i>Parasa lepida</i>		
812		メ	ホ	<i>Scoparia isochroalis</i>		
813			ヨ	<i>Chilo luteellus</i>		
814			ニ	<i>Chilo nipponella</i>		
815			ニ	<i>Chilo suppressalis</i>		
816			シ	<i>Crambus argyrophorus</i>		
817			ナ	<i>Crambus virgatellus</i>		
818			シ	<i>Parapediasia teterrella</i>		
819			ク	<i>Acrocentias aurea</i>		
820			ヒ	<i>Anania verbascalis</i>		
821			シ	<i>Bocchoris inspersalis</i>		
822			タ	<i>Botyodes diniasalis</i>		
823			ア	<i>Bradina angustalis</i>		
824			モ	<i>Bradina geminalis</i>		
825			ヒ	<i>Bradina trigonalis</i>		
826			キ	<i>Circobotys aurealis</i>		
827			コ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>		
828			ハ	<i>Cnaphalocrocis pilosa</i>		
829			ウ	<i>Diaphania indica</i>		
830			キ	<i>Diasemia accalis</i>		
831			ア	<i>Eurrhparodes accessalis</i>		
832			ク	<i>Goniorhynchus butyrosa</i>		
833			モ	<i>Herpetogramma luctuosalis</i>		
834			マ	<i>Maruca vitrata</i>		
835			ク	<i>Omiodes similis</i>		
836			フ	<i>Ostrinia</i> sp.		
837			マ	<i>Palpita nigropunctalis</i>		
838			ヒ	<i>Paranacoleia lophophoralis</i>		
839			ク	<i>Piletocera aegimiusalis</i>		
840			コ	<i>Piletocera sodalis</i>		
841			ウ	<i>Pleuroptya punctimarginalis</i>		
842			キ	<i>Prodasynchemis inornata</i>		
843			タ	<i>Sclerocona acutella</i>		
844			マ	<i>Sitochroa umbrosalis</i>		
845			シ	<i>Spoladea recurvalis</i>		
846			シ	<i>Sufetula sunidesalis</i>		
847			ヒ	<i>Elophila turbata</i>		

表 8.6.1.4 (1) 陸生昆虫類確認種一覧(13/13)

目名	科名	種名	学名	平成14年度	平成15年度
925 (チヨリ)	カ/コガ	カ/コガ	<i>Amata fortunei</i>		
926	ヤカ	ウス ^レ リケン	<i>Anacronicta nitida</i>		
927		オオハ ^レ コガ	<i>Helicoverpa armigera</i>		
928		ツメクサガ	<i>Heliothis maritima</i>		
929		タマヤカ	<i>Agrotis ipsilon</i>		
930		オオカ ^レ ヲヤカ	<i>Agrotis tokionis</i>		
931		オハ ^レ コヤカ	<i>Diarsia canescens</i>		
932		コウスチャヤカ	<i>Diarsia deparca</i>		
933		クロクモヤカ	<i>Hermonassa cecilia</i>		
934		シロモンヤカ	<i>Xestia cnigrum</i>		
935		オオフタビ ^レ キヨトウ	<i>Mythimna grandis</i>		
936		ウラキ ^レ ナキヨトウ	<i>Mythimna hamifera</i>		
937		クサシロキヨトウ	<i>Mythimna loreyi</i>		
938		スジ ^レ シロキヨトウ	<i>Mythimna striata</i>		
939		フタビ ^レ キヨトウ	<i>Mythimna turca</i>		
940		ヒメウス ^レ ヲヨトウ	<i>Athetis lapidea</i>		
941		ヒメウス ^レ スジ ^レ ヲヨトウ	<i>Athetis stellata</i>		
942		キスジ ^レ ツマキヨトウ	<i>Callopietria japonibia</i>		
943		クロクモヨトウ	<i>Dypterygia caliginosa</i>		
944		ハ ^レ ニモノヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>		
945		テノビ ^レ ヲトウ	<i>Sesamia turpis</i>		
946		スジ ^レ キヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>		
947		ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i>		
948		シロスジ ^レ アオヨトウ	<i>Trachea atriplicis</i>		
949		クロスジ ^レ キノカガ	<i>Nycteoila asiatica</i>		
950		シロモンコヤカ	<i>Erastroides fentoni</i>		
951		マウスガ ^レ リコヤカ	<i>Hyposada hirashimai</i>		
952		クロモンコヤカ	<i>Koyaga senex</i>		
953		ヒメスジ ^レ コヤカ	<i>Maliattha signifera</i>		
954		フタビ ^レ コヤカ	<i>Naranga aenescens</i>		
955		ヨモギ ^レ コヤカ	<i>Phyllophila obliterated</i>		
956		エ ^レ キ ^レ クキンウツハ	<i>Ctenoplusia albostrigata</i>		
957		ミンツキンウツハ	<i>Ctenoplusia agnata</i>		
958		ナカ ^レ クツハ	<i>Grammodes geometrica</i>		
959		ニセウンモンクチハ	<i>Mocis ancilla</i>		
960		オオウンモンクチハ	<i>Mocis undata</i>		
961		ホソビ ^レ アシ ^レ トクチハ	<i>Dysgonia arctotaenia</i>		
962		クロテンカ ^レ アツハ	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>		
963		キンスジ ^レ アツハ	<i>Colobochoyla salicalis</i>		
964		ヒメウス ^レ リハ	<i>Oraesia emarginata</i>		
965		アガエ ^レ リハ	<i>Oraesia excavata</i>		
966		ウス ^レ ク ^レ ロセニ ^レ モンアツハ	<i>Paragona inchoata</i>		
967		クロスジ ^レ ヒメアツハ	<i>Schrankia costaestrigalis</i>		
968		キンタアツハ	<i>Hypena claripennis</i>		
969		アオアツハ	<i>Hypena subcyanea</i>		
970		キミアツハ	<i>Adrapa ablualis</i>		
971		ウスキミスジ ^レ アツハ	<i>Herminia arenosa</i>		
972		オオシナミアツハ	<i>Hipoepa fractalis</i>		
973		ソトウス ^レ ヲアツハ	<i>Hydrillodes lentalis</i>		
974		ヒロビ ^レ ウス ^レ ヲアツハ	<i>Hydrillodes morosa</i>		
975		フサキハ ^レ アツハ	<i>Mosopia sordidum</i>		
976		オオアカミアツハ	<i>Simplicia nippona</i>		
977		ニセアカミアツハ	<i>Simplicia xanthoma</i>		
978		ムモンキイロアツハ	<i>Stenhypena nigripuncta</i>		
計	15目	209科	978種	-	-

注1)種名および配列は原則として「環境庁、1995. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物植物の種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。
 注2)「~の一種」、「~類」等、種まで同定できないものについても便宜上1種として扱った。

表 8.6.1.4 (2) 陸生昆虫類 (ライトトラップ調査ボックス法) 確認種一覧(1/3)

目	科	種	学名	平成14年度											
				事業実施区域内					事業実施区域外						
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月		
ハ ッタ	コオロキ	クマコオロキ	<i>Mitius minor</i>												1
	クサヒハ'リ	キツヒハ'リ	<i>Natula matsuurai</i>					3							
	カネタタキ	カネタタキ	<i>Trigonidium japonicum</i>	2	9							3			
カメムシ	アマアキムシ	ハマヘ アウフキ	<i>Aphrophora maritima</i>					5							
	ヨコバ'イ	アオズ'キヨコバ'イ	<i>Batracomorphus mundus</i>										1		
		ホシヨコバ'イ	<i>Xestocephalus japonicus</i>						86		3				3
		ホソシ'ヨコバ'イ	<i>Nirvana pallida</i>						1						
		カンキツ'メヨコバ'イ	<i>Apheliona ferruginea</i>						1						
		ミド'リ'メヨコバ'イ	<i>Edwardsiana flavescens</i>						1						
		ヨモギ'ヒメヨコバ'イ	<i>Eupteryx minuscula</i>						3						
		ホシ'メヨコバ'イ	<i>Limassolla multipunctata</i>								1				
		ミド'リ'ナガ'ヨコバ'イ	<i>Balcutha incisus</i>												
		シロミ'ヤク'イモ'シ'ヨコバ'イ	<i>Paramesodes albinervosus</i>						1						2
		ハ'ニ'シ'ト'ガ'リ'ヨコバ'イ	<i>Stymphalus rubrolineatus</i>										1		
	カスミカメムシ	ウスモン'ミド'リ'カスミカメ	<i>Taylorilygus pallidulus</i>										10		6
		コミド'リ'ナガ'ヒ'カスミカメ	<i>Campylomma chinensis</i>										1		1
		シラ'ゲ'ヨモ'ギ'カスミカメ	<i>Plagiognathus albipennis</i>												1
	ハナカメムシ	ヒメハナカメムシ	<i>Orius sauteri</i>											1	
	ナガ'カメムシ	ヒメナガ'カメムシ	<i>Nysius plebeius</i>										1		
	ホシカメムシ	フタモン'ホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>						1						
	カメムシ	イネ'ク'ロカメムシ	<i>Scotinophara lurida</i>											6	
		フタ'テ'ナカメムシ	<i>Lagrius gastricus</i>											1	
アミメカゲ'ロウ	ヒメカゲ'ロウ	<i>Micromus numerosus</i>												1	
コウチユウ	オサムシ	アト'モン'シ'キ'ワ'コ'ミムシ	<i>Bembidion niloticum</i>									1			
		ムツ'モン'コ'シ'キ'ワ'コ'ミムシ	<i>Paratachys plagiatus</i>											1	
		オホ'ヒ'ラ'コ'ミムシ	<i>Platynus magnus</i>											1	
		キ'イ'ロ'ヒ'コ'モ'ムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>									1			
		キ'ハ'リ'コ'モ'ムシ	<i>Anoplogenus cyanescens</i>											10	
		ミド'リ'マ'コ'モ'ムシ	<i>Stenolophus difficilis</i>											2	
		ムネ'ア'カ'マ'コ'モ'ムシ	<i>Stenolophus propinquus</i>											6	
		ホ'ア'ト'キ'リ'コ'ミムシ	<i>Dromius prolixus</i>											2	
ゲ'ン'ゴ'ロウ	ヒ'レ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	<i>Guianotus japonicus</i>												1	
	ホ'セ'シ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	<i>Copelatus weymarni</i>												2	
	ヒ'メ'ゲ'ン'ゴ'ロウ	<i>Rhantus pulverosus</i>												1	
ガ'ムシ	クシ'ガ'ムシ'属'の'一'種	<i>Cercyon sp.</i>												1	
	ヒ'メ'ガ'ムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>										2		1	
	ヤ'マト'コ'マ'フ'ガ'ムシ	<i>Berosus japonicus</i>											1		
	ト'ケ'ハ'コ'マ'フ'ガ'ムシ	<i>Berosus lewisii</i>											1		
ハネカクシ	ツマ'グ'ロ'カ'ハ'ハ'ネ'カクシ	<i>Bledius lucidus</i>												12	
	オ'オ'ツ'ハ'ネ'カクシ	<i>Bledius salsus</i>												2	
	ニ'セ'コ'シ'ミ'ハ'ネ'カクシ	<i>Carpelimus vagus</i>										2		56	
	ア'カ'セ'シ'ハ'ネ'カクシ	<i>Oxytelus incisus</i>												1	
	ク'ロ'ズ'ト'ガ'リ'ハ'ネ'カクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>										1			
	ス'グ'ロ'ヒ'メ'ナ'ガ'ハ'ネ'カクシ	<i>Leptacinus angustus</i>												2	
	ハ'ネ'カクシ'科'類	Staphylinidae gen. spp.										22		1	
マルハナ'ハ'ミ'ダ'マシ	ツマ'アカ'マルハナ'ハ'ミ'ダ'マシ	<i>Eucinetus haemorrhoidalis</i>												2	
マルハナ'ハ'ミ	ヒ'レ'マルハナ'ハ'ミ'属'の'一'種	<i>Cyphon sp.</i>												2	
	ヒ'レ'イ'ロ'マルハナ'ハ'ミ	<i>Scirtes japonicus</i>												6	
コカ'ネムシ	オ'オ'コ'フ'キ'コ'ガ'ネ	<i>Melolontha frater</i>											5	1	
	ヒ'ゲ'コ'ガ'ネ	<i>Polyphylla laticollis</i>												1	
	ア'カ'ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ	<i>Maladera castanea</i>											29	11	
	ウ'タ'リ'ヒ'ロ'ウ'ト'コ'ガ'ネ'の'一'種	<i>Nipponoserica sp.</i>											1	24	
	ア'オ'ト'ウ'ガ'ネ	<i>Anomala albopilosa</i>											29	23	
	ト'ウ'ガ'ネ'ア'イ'イ'	<i>Anomala cuprea</i>												1	
	ヤ'マト'ア'オ'ト'ウ'ガ'ネ	<i>Anomala japonica</i>												1	
	ハ'ン'ヒ'メ'コ'ガ'ネ	<i>Anomala puncticollis</i>											40	54	
	ヒ'メ'コ'ガ'ネ	<i>Anomala rufocuprea</i>												2	
	ヒ'レ'サ'ク'ラ'コ'ガ'ネ	<i>Anomala schoenfeldti</i>												2	
ナガ'ト'ロムシ	タ'テ'シ'ナガ'ト'ロムシ	<i>Heterocerus fenestratus</i>												1	
コメツキムシ	サ'ビ'キ'コ'リ	<i>Agrypnus binodulus</i>												1	
	ク'シ'コ'メ'ツ'キ	<i>Melanotus legatus</i>												2	
シ'ヨウ'カイ'モ'ト'キ	ツマ'キ'ア'オ'シ'ヨウ'カイ'モ'ト'キ	<i>Malachius prolongatus</i>												1	
クシ'キ'スイ	マ'ヒ'ラ'タ'ク'シ'キ'スイ	<i>Haptoncurina paulula</i>												1	
キ'スイ'ムシ	ク'ナ'ガ'セ'マル'キ'スイ	<i>Atomaria horridula</i>												2	
	キ'イ'ロ'セ'マル'キ'スイ	<i>Atomaria lewisi</i>												1	
	マル'ガ'ク'シ'スイ	<i>Curelius japonicus</i>												1	
	ク'ナ'ガ'マル'キ'スイ	<i>Toramus glisonothoides</i>												43	
コメツキ'モ'ト'キ	ナ'ミ'テ'ントウ	<i>Harmonia axyridis</i>												1	
テントウ'ムシ	ウ'ス'チ'ヤ'ク'シ'マ'キ'ムシ	<i>Corticaria gibbosa</i>												1	
ヒメマ'キ'ムシ	ヤ'マト'ク'シ'マ'キ'ムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>												5	
ハ'ナ'ハ'ミ	フ'タ'オ'ヒ'ヒ'メ'ハ'ナ'ハ'ミ	<i>Mordellina signatella</i>												4	
ハ'ムシ	カ'ミ'ナ'リ'ハ'ムシ	<i>Altica cyanea</i>													
	ツ'ツ'ニ'ハ'ムシ	<i>Aphthona perminuta</i>												1	
ヅ'ウ'ムシ	イ'ネ'ミ'ズ'ヅ'ウ'ムシ	<i>Lissorhoptrus oryzophilus</i>												1	

表 8.6.1.4 (2) 陸生昆虫類(ライトトラップ調査ボックス法)確認種一覧(2/3)

目	科	種	学名	平成14年度											
				事業実施区域内					事業実施区域外						
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月		
ハチ	コマコバチ	コマコバチ科類	Braconidae gen. spp.										2		
	ヒメバチ	ヒメバチ科の一種	Ichneumonidae gen. sp.											1	
	アリ	ルアリ	<i>Iridomyrmex itoi</i>					2							
		クマヤアリ	<i>Formica japonica</i>							8	64				
トビイロアリ		<i>Lasius japonicus</i>		3						2					
ハエ	ヤチガカンボ	ヤチガカンボ科の一種	<i>Tipula serricauda</i>		4		1				4				
	チョウバエ	チョウバエ科の一種	Psychodidae gen. sp.	1	2		1					9	1		
	カ	ヒトスジシマカ類	<i>Aedes</i> spp.				8								
	ヌカ	ヌカ科の一種	Ceratopogonidae gen. sp.	1	1	4						3			
	コスリカ	ハスガコスリカ	<i>Procladius sagittalis</i>		6	105		14	4			117		8	
		カスリコスリカ	<i>Tanytus punctipennis</i>			9	3		1			23	11		1
		ヤマトコスリカ	<i>Telmatogeton japonicus</i>									1			
		ワタシコスリカ	<i>Cricotopus bicinctus</i>		2									4	1
		ミツバコスリカ	<i>Cricotopus trifasciatus</i>		3	51			7	4	679	1			
		ヒメコスリカ属の一種	<i>Psectrocladius aquatronus</i>			6									
		ニセコスリカ属の一種	<i>Pseudosmittia</i> sp.												2
		フクコスリカ	<i>Chironomus circumdatus</i>									1			
		ヒメコスリカ	<i>Chironomus flaviplumus</i>		1	6						4			
		ウスコスリカ	<i>Chironomus kiiensis</i>		1	6						27			1
		ホセコスリカ	<i>Chironomus nippondorsalis</i>			1						1			
		オコスリカ	<i>Chironomus plumosus</i>			5						15			
		シコスリカ	<i>Chironomus salinarius</i>									20		2	4
		シロコスリカ	<i>Cryptochironomus albobasicius</i>									14			
		メグコスリカ	<i>Dicretendipes pelochloris</i>									1			
		クコスリカ	<i>Einfeldia dissidens</i>					1				1			
		コカコスリカ属の一種	<i>Microchironomus</i> sp.						2						
		ミナコスリカ	<i>Nilodorum biroi</i>			3	27	2				3		10	
		コシコスリカ	<i>Parachironomus arcuatus</i>									5			
		ヤコスリカ	<i>Polypedilum nubifer</i>						6			7	2		
	ハコスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.						1							
	オヤコスリカ	<i>Tanytarsus ovamai</i>			349	2	25				215			2	
	ヒメコスリカ属の一種	<i>Tanytarsus</i> sp.					1								
	ヌバコスリカ	Cecidomyiidae gen. sp.					1								
	キノコバエ	キノコバエ科類	Mycetophilidae gen. spp.					4			1	1	2		
	クバネコバエ	クバネコバエ科類	Sciaridae gen. spp.		6	25	25	40	4		4	14	12	19	3
	ムシコバエ	アキノコバエ科類	<i>Leptogaster trimucronotata</i>				1								
	ホトコバエ	ホトコバエ科の一種	<i>Hilera</i> sp.									11			
	ホトコバエ	ホトコバエ科の一種	Empididae gen. sp.												1
	ノコバエ	ノコバエ科の一種	Phoridae gen. sp.												1
	ハメコバエ	ハメコバエ	<i>Coelopa frigida</i>		34	4					58	17	59	2	
	ハメコバエ	ハメコバエ科の一種	Agromyzidae gen. sp.							4					
	ミキコバエ	ミキコバエ科類	Ephydriidae gen. spp.				48	6	15			4	8	4	
	ショウコバエ	ショウコバエ科類	Drosophilidae gen. spp.				26					1			
	ハヤコバエ	ハヤコバエ科類	Sphaeroceridae gen. spp.						3	8				4	3
	イハコバエ	イハコバエ科の一種	Muscidae gen. sp.		1				3	1				1	1
	シマトビケラ	シマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>												1
	ホクコバエ	ホクコバエ科類	<i>Phragmataecia castaneae</i>									16			
	ハチマキ	チャコバエ	<i>Adoxophyes honmai</i>				2	1					7	1	1
		ヨモギ	<i>Epiblema foenella</i>					1					1	4	
		トビ	<i>Eucosma metzneriana</i>				2						1		
		ホソバ	<i>Lobesia aeolopa</i>				1								
		ニセ	<i>Matsumuraeses falcana</i>							1					
ナツ		<i>Olethreutes moderata</i>										2			
ハチマキ科類		Tortricidae gen. spp.									6				
ヒロ		<i>Hypophrictis conspersa</i>				1									
モト		<i>Ooqona thiadelta</i>												1	
ホソ		ホソ科の一種	Gracillariidae gen. sp.					1							
スガ	スガ	<i>Plutella xylostella</i>						1			1				
マルハキ	ホソ	<i>Cryptolechia malacobyrsa</i>				5									
	カ	<i>Tyrolimnas anthraconesa</i>				8						9	1		
	ヒマ	<i>Autosticha kyotensis</i>				1						9			
	ミツ	<i>Autosticha modicella</i>							1				1		
ツツ	ツツ科の一種	Coleophoridae gen. sp.					1	23					17		
カサ	カサ科の一種	<i>Labdia semicoccinea</i>				1						2			
キハ	キハ科類	<i>Stigmatopora niphostica</i>										1			
メイ	キハ	<i>Helcystogramma arotraea</i>										1			
	キハ	Gelechiidae gen. spp.				12						91	3		
	ホソ	<i>Scoparia isochroalis</i>											3	1	
	ヨツ	<i>Chilo luteellus</i>				2					4	8			
シバ	<i>Parapediasia teterrella</i>				2						4	1			
ヒメ	<i>Anania verbascalis</i>				1										

表 8.6.1.4 (2) 陸生昆虫類(ライトトラップ調査)確認種一覧(3/3)

目	科	種	学名	平成14年度											
				事業実施区域内					事業実施区域外						
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月		
チョウ	メカ	ヒメアカスガノメイカ	<i>Bradina trigonalis</i>			2							1		
		アキノメイカ 属の一種	<i>Ostrinia</i> sp.									1			
		ヒロハノウスガノメイカ	<i>Paranacoleia lophophoralis</i>			1									
		クハシノメイカ	<i>Pileocera aegimiusalis</i>					1							
		コガタシロモンノメイカ	<i>Pileocera sodalis</i>											1	
		クテスマノメイカ	<i>Sclerocona acutella</i>											1	
		ヒメタテラミスノメイカ	<i>Elophila turbata</i>				1								
		キモンノメイカ	<i>Endotricha kuznetzovi</i>				5	3	1					2	5
		ウスハシノメイカ	<i>Endotricha olivacealis</i>												1
		マエシノメイカ	<i>Emmalocera venosella</i>				4								19
	ジャクガ	コウスアオジャクガ	<i>Chlorissa obliterata</i>			1									
		ミンナキヒメジャクガ	<i>Idaea trisetata</i>											6	2
		キトガノヒメジャクガ	<i>Scopula emissaria</i>											15	1
		キンバノヒメジャクガ	<i>Scopula epiorrhoe</i>				2								
		クロテヤスシノカハナミジャクガ	<i>Eupithecia interpunctaria</i>						1						
		ヒメシノヒメミジャクガ	<i>Orthonama obstipata</i>											2	
		フナシノマナミジャクガ	<i>Xanthorhoe saturata</i>											1	
		エグサノマエダシノジャクガ	<i>Odontopera arida</i>											1	
	ジャチホコガ	クワコノモトノキヤチホコガ	<i>Gonoclostera timoniorum</i>											1	
		ヒメジャチホコガ	<i>Neostauropus basalis</i>											1	
	ドクガ	スゲノドクガ	<i>Laelia coenosa</i>						1					1	
	ヒトリガ	ハカノタキコケガ	<i>Mitlochista calamina</i>											9	
		クロシノホリガ	<i>Pelosia noctis</i>											21	
		クロシノヒメコケガ	<i>Stictane rectilinea</i>											1	
	ヤガ	ウスハシノリケモン	<i>Anacronicta nitida</i>			1								1	
		オオカノヤガ	<i>Agrotis tokionis</i>												2
		オオアヲオビノキヨトウ	<i>Mythimna grandis</i>												1
		クサシロキヨトウ	<i>Mythimna loreyi</i>												1
		フタオビノキヨトウ	<i>Mythimna turca</i>											2	
		ヒメザビノシノヨトウ	<i>Athetis stellata</i>				1							1	
		キスシノツマキヨトウ	<i>Callopietria japonibia</i>					1							
		テンオビノヨトウ	<i>Sesamia turpis</i>			1								1	
		シノキヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>											2	
クロモンコヤガ		<i>Koyaga senex</i>											1		
フタオビノコヤガ		<i>Naranga aenescens</i>				1							1		
ヨモギノコヤガ		<i>Phyllophila obliterata</i>											1		
エノキノクサノコヤガ		<i>Ctenoplosia albostrigata</i>						1							
ホリオビノアシノトケチガ		<i>Dysgonia arctotaenia</i>												1	
クロテヤノアツハ		<i>Anachrostitis nigripunctalis</i>					16	1					1	3	
ウスガノヒメシノモンアツハ		<i>Paragona inchoata</i>					10	1					3	4	3
クロスノヒメアツハ		<i>Schrankia costaestrigalis</i>												1	
キタアツハ		<i>Hypena claripennis</i>												1	
キマアツハ		<i>Adrapa ablualis</i>					3	1							
ウスキミスシノアツハ		<i>Herminia arenosa</i>											1		
オオシラノアツハ		<i>Hipoepa fractalis</i>					1	1	1				1		
ソトウスガノアツハ		<i>Hydrillodes lentalis</i>					2	1							
ヒロオビノウスガノアツハ		<i>Hydrillodes morosa</i>							1						
ムモンキイノアツハ	<i>Stenhypona nigripuncta</i>												2		
合計種数				13	28	59	33	31	11	72	46	45	15		
合計個体数				61	603	452	153	103	84	1532	429	115	39		

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1995. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物の種の現状

- (無脊椎動物編) .」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22,23

表 8.6.1.4 (4) 陸生昆虫類(マレーズトラップ調査)確認種一覧(1/4)

目	科	種	学名	事業実施区域内					事業実施区域外									
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月					
ゴキブリ	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>			1								3				
カマキリ	カマキリ	オカマキリ的一种	<i>Tenodera</i> sp.											1				
ハッパ	クサハカリ	キアシハカリモドキ	<i>Trigonidium japonicum</i>						1					5				
		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>				4	1									
		キリキリス	ツムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>						1					1			
チャタテムシ	ホリチャタテ	ホリチャタテ的一种	<i>Stenopsocus</i> sp.											1				
		-	チャタテムシ類	<i>Psocoptera</i> fam. & gen. spp.			3		1						1			
カメムシ	ハネガウカ	マダラハネガウカ	<i>Pamendanga matsumurae</i>					1										
		アオハハコロモ	トビロハコロモ	<i>Mimophantia maritima</i>					1						1			
		コガシラアワフキ	コガシラアワフキ	<i>Eoscartopis assimilis</i>					1									
		アワフキムシ	ハマアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>												1		
		ヨコバエ	アオキヨコバエ	<i>Batracomorphus mundus</i>												1	1	1
			ホシヨコバエ	<i>Xestocephalus japonicus</i>			134	22	2							7		
			カンキツヒメヨコバエ	<i>Apheliona ferruginea</i>			10	1								3		
			ヒトツヒメヨコバエ	<i>Ishiharella polyphemus</i>													1	
			ミドリヒメヨコバエ	<i>Edwardsiana flavescens</i>					2									
			ヨツモンヒメヨコバエ	<i>Empoasca limbata</i>					2	1						1		
			ヨモギヒメヨコバエ	<i>Eupteryx minuscula</i>					8							2		
			フタテヒメヨコバエ	<i>Arboridia apicalis</i>					6									
			ホシヒメヨコバエ	<i>Limassolla multipunctata</i>						1								
			ヒメヨコバエ亜科類	Typhlocybinæ gen. spp.					2							2		
			ヒシモンヨコバエ	<i>Hishimonia sellatus</i>						1								
			フタテヨコバエ的一种	<i>Macrosteles</i> sp.						1						2		
			ヨコバエ科類	Cicadellidae gen. spp.							6	2				5	1	
			キジラミ	キジラミ属的一种	<i>Psylla</i> sp.					3								
		クロトガリキジラミ		<i>Trioza nigra</i>												1		
		アブラムシ	アブラムシ科類	Aphididae gen. spp.	38	114			2	3	23	17			13			
		カスミカメムシ	コアカスミカメ	<i>Apolygus lucorum</i>							4					2		
			ハリカスミカメ属的一种	<i>Hallodapus</i> sp.												2		
		ハナカメムシ	ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>	1	1	7											
		ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebejus</i>						1				2	2	4		
			クロアシホリナガカメムシ	<i>Paromius exiguus</i>						2	1							
		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>						1								
		マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>					1									
アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	ヒメカゲロウ属的一种	<i>Hemerobius</i> sp.										1					
コウチュウ	ハネカクシ	キハネセミゾハネカクシ	<i>Falagria sapida</i>					1										
		ハネカクシ科的一种	Staphylinidae gen. sp.												2			
	コガネムシ	アカヒロウコガネ	<i>Maladera castanea</i>					2										
	ヒゲブトコメツキ	ナガヒゲブトコメツキ	<i>Aulonothroscus longulus</i>						6						4			
		チャロヒゲブトコメツキ	<i>Triaxagus turgidus</i>						1									
	ホリヒラタムシ	ミツカドコバヒラタムシ	<i>Silvanoprus scuticollis</i>						1									
		ミツモンセマルヒラタムシ	<i>Psammoecus triguttatus</i>						1									
	キスイムシ	クナガセマルキスイ	<i>Atomaria horridula</i>							1								
		キスイムシ科的一种	Cryptophagidae gen. sp.						1									
	テントウムシ	セシジヒメテントウ	<i>Nephus patagiatus</i>											1				
	ヒメマキムシ	ウスチャケマキムシ	<i>Corticaria gibbosa</i>												1			
		ヤマトケマキムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>						1									
	ハナミ	モンヒメハナミ属的一种	<i>Mordellina</i> sp.					43							9			
		ハナミ科類	Mordellidae gen. spp.					19							3			
	ハムシ	ムネミゾヒメツツハムシ	<i>Coenobius sulcicollis</i>					1										

表 8.6.1.4 (4) 陸生昆虫類(マレーストラップ調査)確認種一覧(2/4)

目	科	種	学名	事業実施区域内					事業実施区域外				
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月
ハチ	コバチ	コバチ科類	Braconidae gen. spp.	1	9	3	6	2	2	6	1	9	4
	ヒメバチ	ヒメバチ科類	Ichneumonidae gen. spp.	4	18	3	3	2	7	22	1	8	7
	アシブトコバチ	キアシブトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>								1		
	コバチ上科	コバチ上科類	Chalcidoidea fam. & gen. spp.		11		24	6	11	5		20	10
	タバチ	タバチ科の一種	Cynipidae gen. sp.		23								
	アリガタバチ	アリガタバチ科の一種	Bethylidae gen. sp.							2			
	ツバチ	ヒメラナガツバチ	<i>Campsomeriella annulata</i>								1		
	アリ	オオアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>					113					72
		ニセアリ	<i>Hypoponera sauteri</i>				2						
		ヒメアリ	<i>Monomorium intrudens</i>									1	
		アミアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>				1						
		トビイロアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>				8	1				34	
		ルリアリ	<i>Iridomyrmex itoi</i>					1	1				
		ウメツオアリ	<i>Camponotus tokioensis</i>	1									1
		クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>								2	1	
		トビイロアリ	<i>Lasius japonicus</i>				2					1	
アメロアリ		<i>Paratrechina flavipes</i>	1		1				9	1			
ヘッコウバチ	ヘッコウバチ科の一種	Pompilidae gen. sp.					1				1		
スズメバチ	フタモンツナガバチ	<i>Polistes chinensis</i>	1	2	1								
	セグロツナガバチ	<i>Polistes jadwigae</i>					1						
ムカシハナバチ	ヒメムカシハナバチ属の一種	<i>Hylaeus</i> sp.		1						1		1	
ハエ	ガガンボ	キロホガガンボ	<i>Nephrotoma virgata</i>		2		3			2		8	
		ヤチガガンボ	<i>Tipula serricauda</i>				3						
		セアカヒメガガンボ	<i>Limonia pulchra</i>								1		
		ガガンボ科類	Tipulidae gen. spp.		4		7			66	63	28	
	チョウバエ	チョウバエ科類	Psychodidae gen. spp.		23		31			11			
	カ	イカの一種	<i>Culex</i> sp.									1	
	ヌカ	ヌカ科類	Ceratopogonidae gen. spp.	9	2	205	11	7	1	19	6	1	6
	ユスリカ	ヤハスユスリカ	<i>Procladius sagittalis</i>		22		3			1	1		
		ダントラヒユスリカ	<i>Ablabesmyia moniliformis</i>		2	4				1	19		
		カスリユスリカ	<i>Tanytus punctipennis</i>								1		
		マドリユスリカ属の一種	<i>Bryophaeocladius</i> sp.		21			82		1		341	
		ナカヒツユスリカ	<i>Cricotopus triannulatus</i>							2			
		ミツヒツユスリカ	<i>Cricotopus trifasciatus</i>		49					5	27		
		コムナゲユスリカ	<i>Limnophyes minimus</i>		1					3	7		
		ヒメユスリカ属の一種	<i>Psectrocladius aquatronus</i>		2						84		
		ニセロウトユスリカ属の一種	<i>Pseudosmittia</i> sp.								40		87
		ヒロウトユスリカ	<i>Smittia aterrima</i>	3	3						2		
		フチロユスリカ	<i>Chironomus circumdatus</i>		2		1			2		1	1
		ヒシユスリカ	<i>Chironomus flaviplumus</i>		5							15	
		ウスロユスリカ	<i>Chironomus kiiensis</i>		5	4				4	6	1	1
		ホセシユスリカ	<i>Chironomus nippondorsalis</i>		1								
		ヤマトユスリカ	<i>Chironomus nipponensis</i>		1								
		シオユスリカ	<i>Chironomus salinarius</i>	1	4					1	15	8	2
		セシユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>								6		
		イサギユスリカ	<i>Cladopelma edwardsi</i>					5					
		シロシカマタユスリカ	<i>Cryptochironomus albofasciatus</i>		2						6		
	イノウユスリカ	<i>Dicrotendipes inouei</i>								2			
ホシユスリカ	<i>Dicrotendipes lobiger</i>									1			
ミナユスリカ	<i>Nilodorum biroi</i>					7					1		

表 8.6.1.4 (4) 陸生昆虫類(マレーズトラップ調査)確認種一覧(3/4)

目	科	種	学名	事業実施区域内					事業実施区域外								
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月				
ハI	ユスリカ	ミガ タセコブ ナユスリカ	<i>Parachironomus arcuatus</i>	3						2							
		フトオハ ネユスリカ	<i>Polypedilum convexum</i>							1							
		アサカハモユスリカ	<i>Polypedilum asakawaense</i>				1										
		ミヤコモユスリカ	<i>Polypedilum kyotoense</i>	2													
		ヤモユスリカ	<i>Polypedilum nubifer</i>	1	2	6				5	3	4					
		キト リハモユスリカ	<i>Polypedilum convictum</i>								1	1					
		ヤマトハモユスリカ	<i>Polypedilum japonicum</i>	1													
		ハモユスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.	1													
		オヤマヒゲ ユスリカ	<i>Tanytarsus oyamai</i>		5							1					
		ヒゲ ユスリカ属類	<i>Tanytarsus</i> spp.	2	32						5	33					
		ユスリカ科類	Chironomidae gen. spp.			125	25										43
	ケバ I	クロトゲ ナシケバ I	<i>Plecia adiastrata</i>							1							
	ニセバ I	ニセバ I科の一種	Scatopsidae gen. sp.	1													
	ヌバ I	ヌバ I科類	Cecidomyiidae gen. spp.	4	10	98	52	6	21	12	18	7	7				
	キノバ I	キノバ I科類	Mycetophilidae gen. spp.	5	5	1	1		2	1	3						
	クハ キノバ I	クハ キノバ I科類	Sciaridae gen. spp.	362	127	72	89	30	194	325	82	241	61				
	オドリバ I	カガレオドリバ I属の一種	<i>Hilara</i> sp.	22						27	22						
		モエトセガカオドリバ Iの一種	<i>Hybos</i> sp.			1					1						
		アカセガカオドリバ Iの一種	<i>Syneches</i> sp.					1									
		モエトオドリバ I属の一種	<i>Platypalpus</i> sp.	8	2					3							
		オドリバ I科の一種	Empididae gen. sp.				1								1		
	アシナガバ I	マダラアシナガバ I	<i>Psilopus nebulosus</i>								1						
		マダラアシナガバ Iの一種	<i>Psilopus</i> sp.		1	2		1		28	1						
		アシナガバ I属類	<i>Dolichopus</i> spp.	12	5		4				3	7	2				
		アシナガバ I科類	Dolichopodidae gen. spp.	2	1	1				3							
	ノミバ I	ノミバ I科類	Phoridae gen. spp.	1	18	4	1			11	44	2					
	アタマアブ	アタマアブ 科の一種	Pipunculidae gen. sp.					2		1		4					
	ハナアブ	ハリヒラアブ	<i>Didea alneti</i>								1						
		ホリヒラアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>				1				1	8					
		ナミホリヒラアブ	<i>Eupeodes frequens</i>								1						
		イゾコヒラアブ	<i>Metasyrphus corollae</i>		1												
		キタヒラアブ	<i>Sphaerophoria philanthus</i>	71		5	2			6		20	2				
		シママヒラアブ	<i>Paragus fasciatus</i>				1										
		コヒラハナアブ 属の一種	<i>Pipiza</i> sp.												1		
		デガシバ I	スフェコミエラ属の一種	<i>Sphecomyiella</i> sp.							6						
	ミバ I	ヒラヤマミメグ カミバ I	<i>Campiglossa hirayamae</i>								1						
	ヒロカチバ I	ダイス コリュウバ I	<i>Rivellia apicalis</i>								1						
	シマバ I	シマバ I科類	Lauxaniidae gen. spp.		6	39	7	5		2	4	6	3				
	ハモガリバ I	ハモガリバ I科類	Agromyzidae gen. spp.	7	15		2	2	9	2	1	1					
	キモガリバ I	キモガリバ I科類	Chloropidae gen. spp.	1	5		1	4		11		2	1				
	ミギワバ I	ミギワバ I科類	Ephydriidae gen. spp.	1			3	1						17			
	ショウジ ヨウバ I	ダントラショウジ ヨウバ I	<i>Drosophila annulipes</i>					1									
		ショウジ ヨウバ I属類	<i>Drosophila</i> spp.	2	9						2		2				
ショウジ ヨウバ I科類		Drosophilidae gen. spp.								2							
ハヤトヒバ I	ハヤトヒバ I科類	Sphaeroceridae gen. spp.		8	4	3			7	1	2	1					
ハナバ I	ハナバ I科類	Anthomyiidae gen. spp.	2	9		2			1	10					4		
イバ I	イバ I科類	Muscidae gen. spp.	3	16	14	15	16		83	7	19	13					
クハ I	ヒロズ キバ I	<i>Lucilia sericata</i>				1											
	ツマクロキバ I	<i>Stomorphina obsoleta</i>												1			
ニクバ I	ニクバ I属類	<i>Sarcophaga</i> spp.			2					53	5	2					

表 8. 6. 1. 4 (4) 陸生昆虫類(マレーズトラップ調査)確認種一覧(4/4)

目	科	種	学名	事業実施区域内					事業実施区域外						
				4月	5月	7月	9月	10月	4月	5月	7月	9月	10月		
ハエ	ヤト ^リ ハ ^エ	セス ^シ ナ ^ガ ハリ ^ハ エ	<i>Dexia flavipes</i>			1						3			
		ヤト ^リ ハ ^エ 科類	Tachinidae gen. spp.			22	9	1	1	1	3	1	2		
チョウ	ハマキ ^カ	ヨモキ ^ネ シ ^カ	<i>Epiblema foenella</i>				2								
	スカ ^カ	コナ ^カ	<i>Plutella xylostella</i>							2					
	マルハキ ^ハ カ ^カ	ヒマ ^ラ ヤ ^ス キ ^キ ハ ^カ	<i>Autosticha kyotensis</i>					1							
	キハ ^カ	キハ ^カ 科類	Gelechiidae gen. spp.		12	181	4	27	2	12	183	5	9		
	メイ ^カ	ヒメト ^カ リノ ^メ イ ^カ	<i>Anania verbascalis</i>					1							
		モンウ ^ス ク ^ロ ノ ^メ イ ^カ	<i>Bradina geminalis</i>				3								
		キム ^シ ノ ^メ イ ^カ	<i>Prodasynemis inornata</i>									1			
		キモン ^カ リ ^メ イ ^カ	<i>Endotricha kuznetzovi</i>					1				1	3		
		フタ ^シ シ ^マ メ ^イ カ ^カ	<i>Orthopygia glaucinalis</i>						1						
		アカ ^マ タ ^ラ メ ^イ カ ^カ	<i>Onococera semirubella</i>						1				1		
	トリ ^ハ カ ^カ	トリ ^ハ カ ^カ 科の一種	Pterophoridae gen. sp.						1						
	シヤク ^カ	ウス ^オ エ ^タ シヤク	<i>Godonela hebesata</i>		1	1				3	1	1			
	ト ^ク カ ^カ	スゲ ^ト ク ^カ	<i>Laelia coenosa</i>					2							
	ヤカ ^カ	ウス ^ヘ リ ^ケ ン ^{モン}	<i>Anacronicta nitida</i>			1									
		オオ ^カ ア ^ラ ヤ ^カ	<i>Agrotis tokionis</i>						1						
		コウ ^ス チヤ ^ヤ カ ^カ	<i>Diarsia deparca</i>			2									
		ウ ^ラ キ ^ン キヨ ^ト ウ	<i>Mythimna hamifera</i>					2	1				3	1	
		クサ ^シ ロ ^キ ヨ ^ト ウ	<i>Mythimna loreyi</i>					3							
		ス ^シ シ ^ロ キヨ ^ト ウ	<i>Mythimna striata</i>					1						2	
		フタ ^オ ヒ ^キ ヨ ^ト ウ	<i>Mythimna turca</i>			1		1		3			1		
ヒメ ^サ ヒ ^シ ヨ ^ト ウ		<i>Athetis stellata</i>						1							
クロ ^モ ク ^メ ヨ ^ト ウ		<i>Dypterygia caliginosa</i>			1										
シロ ^シ ア ^オ ヨ ^ト ウ		<i>Trachea atriplicis</i>			2										
オオ ^ウ ン ^{モン} チ ^ハ		<i>Mocis undata</i>									1				
ホソ ^オ ヒ ^ア シ ^ブ トク ^チ ハ ^カ		<i>Dysgonia arctotaenia</i>					1						2		
クロ ^テ ン ^カ ハ ^ア ツ ^ハ		<i>Anachrostitis nigripunctalis</i>			1						1				
ヒメ ^エ ク ^リ ハ ^カ		<i>Oraesia emarginata</i>						1							
アカ ^エ ク ^リ ハ ^カ		<i>Oraesia excavata</i>							1						
ウス ^ク ロ ^セ シ ^{モン} ア ^ツ ハ ^カ		<i>Paragona inchoata</i>					12				6	4	6		
ア ^オ ア ^ツ ハ ^カ		<i>Hypena subcyanea</i>						1				1	2		
キ ^マ エ ^ア ツ ^ハ		<i>Adrapsa ablualis</i>					1	2				1			
オ ^オ ア ^カ マ ^エ ア ^ツ ハ ^カ	<i>Simplicia niphona</i>						1								
合計種数		184		22	65	61	59	36	22	67	59	51	28		
合計個体数		6124		475	732	1081	395	337	338	1023	571	909	263		
総合計		10目78科184種6124個体		8目64科145種3020個体		10目61科126種3104個体									

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1995. 日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—(無脊椎動物編Ⅱ).」に従った。

注2) 「～の一種」、「～類」は便宜上、1種として扱った。

表 8.6.1.5(1) クモ類確認種一覧(1/2)

No.	科名	種名	学名	平成14年度				
				春季		夏季		秋季
				4月	5月	7月	9月	10月
1	ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>					
2	ガケジグモ	ヤマトガケジグモ	<i>Titanoeca albofasciata</i>					
3	ハグモ	アハグモ	<i>Dictyna arundinacea</i>					
4		ネコハグモ	<i>Dictyna felis</i>					
5		ハグモ属類	<i>Dictyna</i> spp.					
6	コウレイグモ	イコウレイグモ	<i>Pholcus phalangioides</i>					
7	ヒメグモ	オオヒメグモ	<i>Achaeearanea tepidariorum</i>					
8		アシブトヒメグモ	<i>Anelosimus crassipes</i>					
9		シロカネイワウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>					
10		ホカミジソグモ	<i>Dipoena castrata</i>					
11		ミジソグモ属の一種	<i>Dipoena</i> sp.					
12		カハヒメグモ	<i>Enoplognatha transversifoveata</i>					
13		ゴマダラヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>					
14		ハナグモオオサキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>					
15		スネグモオオハヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>					
16		ハイロヒメグモ	<i>Theridion subpallens</i>					
17		ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.					
18	ホロヒメグモ	ヒホロヒメグモ	<i>Nesticus mogaera</i>					
19	サグモ	タヤマサグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>					
20		ノボリヒサグモ	<i>Erigone prominens</i>					
21		ヒサグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.					
22		ズキヌサグモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>					
23		クロサキサグモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>					
24		コブケサグモ	<i>Meioneta nodosa</i>					
25		ツメサグモ	<i>Meioneta unguolata</i>					
26		サグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.					
27	コガネグモ	キザハシコグモ	<i>Araneus obscurus</i>					
28		ナカハラコグモ	<i>Araneus cornutus</i>					
29		ヤエコグモ	<i>Araneus macacus</i>					
30		オグモ	<i>Araneus ventricosus</i>					
31		オグモ属類	<i>Araneus</i> spp.					
32		コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>					
33		ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichii</i>					
34		コガネグモ属の一種	<i>Argiope</i> sp.					
35		コガネグモマシ	<i>Larinia argiopiformis</i>					
36		ドヨウコグモ	<i>Neoscona adianta</i>					
37		ヤマシロコグモ	<i>Neoscona scylla</i>					
38		サツノミダマシ	<i>Neoscona scylloides</i>					
39		ジヨウコグモ	<i>Nephila clavata</i>					
40		ズグモオグモ	<i>Yaginomia sia</i>					
41		コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.					
42	アソナグモ	ヒメアソナグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>					
43		キラシロカネグモ	<i>Leucauge subgennea</i>					
44		トガリアソナグモ	<i>Tetragnatha caudicula</i>					
45		キヌアソナグモ	<i>Tetragnatha lauta</i>					
46		アソナグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>					
47		ウロコアソナグモ	<i>Tetragnatha squamata</i>					
48		アソナグモ属の一種	<i>Tetragnatha</i> sp.					
49		アソナグモ科の一種	Tetragnathidae gen. sp.					
50	タグモ	コウサグモ	<i>Agelena opulenta</i>					
51		タグモ属の一種	<i>Agelena</i> sp.					
52		シモリヤチグモ	<i>Coelotes insidiosus</i>					
53		メカネチグモ	<i>Coelotes luctuosus</i>					
54		タグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.					
55	キダグモ	イオウハシタグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>					
56	コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>					
57		フジコモリグモ	<i>Arctosa fujii</i>					

表 8.6.1.5(1) クモ類確認種一覧(2/2)

No.	科名	種名	学名	平成14年度				
				春季		夏季		秋季
				4月	5月	7月	9月	10月
58	(コモリグモ)	ヒノムコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>					
59		ハラコモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>					
60		ウツコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>					
61		ハリグモ	<i>Pardosa laura</i>					
62		キクグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i>					
63		オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.					
64		ピラコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>					
65		キハラコモリグモ	<i>Pirata subpiraticus</i>					
66		カイコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.					
67		アライコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>					
68		コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.					
69	サグモ	サグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>					
70	フクログモ	ヤマトコマダグモ	<i>Chiracanthium lascivum</i>					
71		コマダグモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.					
72		フクログモ属の一種	<i>Clubiona</i> sp.					
73		オトヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>					
74		ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>					
75		ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.					
76		ネコグモ	<i>Trachelas japonicus</i>					
77		フクログモ科の一種	Clubionidae gen. sp.					
78	シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>					
79	ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.					
80		ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.					
81	カニグモ	ハナグモ	<i>Misumenops tricuspidatus</i>					
82		アズマカニグモ	<i>Xysticus insulicola</i>					
83		オオヤマカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>					
84		カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.					
85	エビグモ	キノコエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>					
86		ヤトカリグモ	<i>Thanatus miniaceus</i>					
87		エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.					
88	ハイトリグモ	ネコハイトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>					
89		マミシロハイトリ	<i>Evarcha albaria</i>					
90		ヤハスハイトリ	<i>Marpissa elongata</i>					
91		オオハイトリグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.					
92		シラビグハイトリ	<i>Menemerus confusus</i>					
93		タイリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>					
94		アリグモ属の一種	<i>Myrmarachne</i> sp.					
95		メカネアザハイトリ	<i>Phintella linea</i>					
96		ヤマトハイトリグモ属の一種	<i>Phintella</i> sp.					
97		ミスジハイトリ	<i>Plexippus setipes</i>					
98		チクニハイトリ	<i>Pseudicius chikunii</i>					
99		イナズマハイトリ	<i>Pseudicius vulpes</i>					
100		アオヒハイトリ	<i>Silerella vittata</i>					
101		ハイトリグモ科類	Salticidae gen. spp.					
計	19科		101種	53種	40種	45種	30種	46種

注1)種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物植物の種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2)「~の一種」、「~類」等、種まで同定できないものについても便宜上1種として扱った。

表 8.6.1.5(2) クモ類 (バイトトラップ調査) 確認種一覧(1/5)

科	種	学名	平成14年					
			4月					
			事業実施区域内			事業実施区域外		
			草地	竹林	ヤナギ林	樹林	草地	ヤナギ林
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>			3	1		
ヒメグモ	ホカシジグモ	<i>Diplocephala castrata</i>						
	ゴマダラヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>						
	ハンガツオシキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>						
	スネグロオシヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>						
	ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.						
ホラヒメグモ	ホラヒメグモ	<i>Nesticus magera</i>						
サラグモ	タヤマテナガグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>	1					
	ノキリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>						
	ヒザグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.			1	1		
	スギノカグモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>						
	クロシキグモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>						1
	コノケグモ	<i>Meioneta nodosa</i>						
	ツメグモ	<i>Meioneta unguolata</i>					1	
	サラグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.	1					1
コガネグモ	コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.	1					
アシカグモ	ヒメアシカグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>						
タナグモ	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.						
キンダグモ	イオロハシグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>						
コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>			1		1	
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujii</i>	9	3	19	27	1	15
	ヒマルコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>						
	ハラココモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	1			2	4	21
	ハラグモ	<i>Pardosa laura</i>						
	オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.					1	1
	オビコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>						
	カイノコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.	1	4	1	1		1
	アライノコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>						
	コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.						
フクログモ	コラシグモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.						
	フクログモ属の一種	<i>Clubiona</i> sp.	3					
	オビヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>					1	
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>				1		
	ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.						
	フクログモ科の一種	Clubionidae gen. sp.						
シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>			2			
ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.						
	ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.	1					
カニグモ	オヤミロカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>						
	カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.						
エビグモ	キンイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>						
	エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.						
ハイトグモ	オハイトグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.					1	
ハイトグモ	タイクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>						
	ミスジハイト	<i>Plexippus setipes</i>						
	アオヒハイト	<i>Silerella vittata</i>						
	ハイトグモ科類	Salticidae gen. spp.						
合計種数			8	2	6	6	7	6
合計個体数			18	7	27	33	10	40

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生動物目録 - 本邦産野生動物植物の種の検索 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22, 23

表 8.6.1.5(2) クモ類 (バイトトラップ調査) 認確種一覧 (2/5)

科	種	学名	平成14年					
			5月					
			事業実施区域内			事業実施区域外		
草地	竹林	ヤナギ林	樹林	草地	ヤナギ林			
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>	2		4			2
ヒメグモ	ホカシジグモ	<i>Diplocephalus castrata</i>						
	ゴマダラヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>						
	ハンゲツオシキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>						
	スネグロオシヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>		4				
	ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.						
ホラヒメグモ	ホラヒメグモ	<i>Nesticus magera</i>						
サラクモ	タヤマテナガグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>						
	ノキリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>						
	ヒザグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.						
	スキノカグモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>					1	
	クワンキンクモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>						
	コノケグモ	<i>Meioneta nodosa</i>						
	ツメグモ	<i>Meioneta unguolata</i>						
	サラクモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.				1		1
コガネグモ	コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.					1	
アシナガグモ	ヒメアシナガグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>						1
タナグモ	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.						
キンダグモ	イワイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>						
コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>	1				1	1
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujiii</i>	1	2	1	7		3
	ヒマルコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>	1					
	ハラココモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	13	2	1	2	1	9
	ハラグコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>			1			
	オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.						
	オビコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>	1					
	カイクコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.	2	4	4	5		2
	アライコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>						
	コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.	2		1	1	6	5
フクログモ	コマダグモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.						
	フクログモ属の一種	<i>Clubiona</i> sp.	1				1	
	オトヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>	1	1				5
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>						
	ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.						
	フクログモ科の一種	Clubionidae gen. sp.						
シホグモ	シホグモ	<i>Anahita fauna</i>			1		2	
ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.						
	ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.						
カニグモ	オヤミロカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>						
	カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.						1
エビグモ	キイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>				1		
	エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.						
ハイトリグモ	オハイトリグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.						
ハイトリグモ	タイリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>						
	ミスジハイトリ	<i>Plexippus setipes</i>						
	アオホハイトリ	<i>Silerella vittata</i>						
	ハイトリグモ科類	Salticidae gen. spp.						
合計種数			10	5	7	6	6	11
合計個体数			25	13	13	17	11	32

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種のリスト (無脊椎動物編)」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22, 23

表 8.6.1.5(2) クモ類 (バイトトラップ調査) 確認種一覧(3/5)

科	種	学名	平成14年										
			7月										
			事業実施区域内				事業実施区域外						
			草地	竹林	ヤナギ林	水路脇	樹林	草地	ヤナギ林	水路脇			
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>	2		1	2							1
ヒメグモ	ホカミジグモ	<i>Dipoena castrata</i>											1
	ゴマダヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>								1			
	ハダツオスナキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>											
	スネグロオナヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>		1									
	ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.											
ホエヒメグモ	ホエヒメグモ	<i>Nesticus mogera</i>				1	1						1
	タテヤマナガグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>											
	ノキヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>							1				1
	ヒザグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.											
	ズキヌカグモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>											
	クロナンキグモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>											
	コブケグモ	<i>Meioneta nodosa</i>	1							2			1
	ツメグモ	<i>Meioneta unguata</i>											
	サグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.		1		1						2	
コガネグモ	コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.											
アシナガグモ	ヒメアシナガグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>											
タナグモ	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.				1							
キンダグモ	イナバハシグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>							2				
コモリグモ	エビチヤコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>											
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujii</i>								3			1
	ヒノマルコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>											
	ハラココモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	5	1	1	2							5
	ハラココモリグモ	<i>Pardosa laura</i>				1							1
	オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.											
	ヒメコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>	10	24	5	5	25						2
	カイゾクコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.											
	アライコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>				1	1		2		1		6
	コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.	59	18	19	8	6				10		40
フクログモ	コマチグモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.											
	フクログモ属の一種	<i>Clubiona</i> sp.											
	オビメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>								1			
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>											
	ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.											
	フクログモ科の一種	Clubionidae gen. sp.											
	シホグモ	シホグモ	<i>Anahita fauna</i>	1				1					
ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.											
	ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.	1							1			
カニグモ	オヤマイロカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>	6		22	3			16		14		65
	カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.											
エビグモ	キノコエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>											
	エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.											
ハイトリグモ	オハイトリグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.											
ハイトリグモ	タイリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>				1							
	ミスジハイトリ	<i>Plexippus setipes</i>											
	アオビハイトリ	<i>Silerella vittata</i>								1			
	ハイトリグモ科類	Salticidae gen. spp.										1	
合計種数			8	5	10	11	5	6	7	10			
合計個体数			85	45	53	27	36	23	31	122			

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物の種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22, 23

表 8.6.1.5(2) クモ類 (バイトトラップ調査) 確認種一覧(4/5)

科	種	学名	平成14年																
			9月																
			事業実施区域内				事業実施区域外												
			草地	竹林	ヤナギ林	水路脇	樹林	草地	ヤナギ林	水路脇									
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>																	
ヒメグモ	ホカミジグモ	<i>Dipoena castrata</i>																	
	ゴマダヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>																	
	ハナグツオスナキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>									2								
	スネグロオハヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>																	
	ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.		1	1														
ホラヒメグモ	ホラヒメグモ	<i>Nesticus magera</i>																	
サラグモ	タテマテナガグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>																	
	ノギリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>																	
	ヒザグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.																	
	ズキン双グモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>																	
	クロナンキングモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>																	
	コブケシグモ	<i>Meioneta nodosa</i>																	
	ツメシグモ	<i>Meioneta unguolata</i>																	
	サラグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.															2		
	コガネグモ	コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.																
アソナカグモ	ヒメアソナカグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>																	
タナグモ	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.																	
キンダグモ	イロイロハシグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>																	
コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>																	
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujiii</i>	1	6	4	1	23									10			
	ヒマルコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>	1																
	ハラクコモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	8	2	6	7	1	4			5	1							
	ハラコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>																	
	オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.																	
	フビコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>	2		1	2	1	4			4								
	カイウコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.																	
	アライコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>																	
	コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.														1		1	
	フクログモ	コマチグモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.																
フクログモ属の一種		<i>Clubiona</i> sp.																	
オヒメグモ		<i>Orthobula crucifera</i>			1				2										
ウツナグモ		<i>Phrurolithus nipponicus</i>																	
ウツナグモ属の一種		<i>Phrurolithus</i> sp.																	
フクログモ科の一種		Clubionidae gen. sp.																	
シホグモ	シホグモ	<i>Anahita fauna</i>	2		1	1			2								1		
ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.																	
	ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.																	
カニグモ	オヤミロカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>				3	2			1					2				
	カニグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.																	
エビグモ	キイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>																	
	エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.		1															
ハイトリグモ	オハイトリグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.																	
ハイトリグモ	タリクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>																	
	ミスジハイトリ	<i>Plexippus setipes</i>																	
	アオヒハイトリ	<i>Silerella vittata</i>																	
	ハイトリグモ科類	Salticidae gen. spp.																	
合計種数			5	4	7	6	4	5	6	3									
合計個体数			14	10	17	14	27	13	24	3									

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物植物の種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22,23

表 8.6.1.5(2) クモ類 (バイトトラップ調査) 確認種一覧(5/5)

科	種	学名	平成14年										
			10月										
			事業実施区域内				事業実施区域外						
			草地	竹林	ヤナギ林	水路脇	樹林	草地	ヤナギ林	水路脇			
ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>											
ヒメグモ	ホカミジグモ	<i>Diplocephala castrata</i>											
	ゴマダラヒメグモ	<i>Steatoda albomaculata</i>											
	ハンゲツオシキグモ	<i>Steatoda cavernicola</i>											
	スネグロオシハヒメグモ	<i>Stemmops nipponicus</i>											
	ヒメグモ科類	Theridiidae gen. spp.											
ホラヒメグモ	ホラヒメグモ	<i>Nesticus mogera</i>											
サラグモ	タテヤマテナグモ	<i>Bathyphantes tateyamaensis</i>											
	ノキリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i>											
	ヒザグモ属の一種	<i>Erigone</i> sp.											
	ズキンヌカグモ	<i>Gongylidioides cucullatus</i>											
	クオノキンクグモ	<i>Hylyphantes graminicola</i>											
	コノケツグモ	<i>Meioneta nodosa</i>											
	ツメクシグモ	<i>Meioneta unguolata</i>											
	サラグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.											
	コガネグモ	コガネグモ科の一種	Araneidae gen. sp.										
アシナグモ	ヒメアシナグモ	<i>Dyschiriognatha tenera</i>											
タナグモ	タナグモ科の一種	Agelenidae gen. sp.											
キンダグモ	イオロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>											
コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>							1				
	フジイコモリグモ	<i>Arctosa fujiii</i>	2		4			16		7		1	
	ヒマルコモリグモ	<i>Arctosa japonica</i>	2										
	ハラココモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>	1		4	8				6		3	
	ハラココモリグモ	<i>Pardosa laura</i>											
	オアシコモリグモ属の一種	<i>Pardosa</i> sp.											
	フビコモリグモ	<i>Pirata procurvus</i>	4	1				4					2
	カイノコモリグモ属の一種	<i>Pirata</i> sp.											
	アライコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>							2		1		
	コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.							1				
フクログモ	コマクモ属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.										1	
	フクログモ属の一種	<i>Clubiona</i> sp.											
	オヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>							1				
	ウラシマグモ	<i>Phrurolithus nipponicus</i>											
	ウラシマグモ属の一種	<i>Phrurolithus</i> sp.							1				
	フクログモ科の一種	Clubionidae gen. sp.											
シボグモ	シボグモ	<i>Anahita fauna</i>	1				1						
ワシグモ	ケムリグモ属の一種	<i>Zelotes</i> sp.				1					1	1	
	ワシグモ科の一種	Gnaphosidae gen. sp.											
カコグモ	オヤミロカコグモ	<i>Xysticus saganus</i>	1		2	1					1		
	カコグモ属の一種	<i>Xysticus</i> sp.											
エビグモ	キンロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>											
	エビグモ属の一種	<i>Philodromus</i> sp.											
ハイトリグモ	オハイトリグモ属の一種	<i>Marpissa</i> sp.											
ハイトリグモ	タイクアリグモ	<i>Myrmarachne formicaria</i>											
	ミスハイトリ	<i>Plexippus setipes</i>				1							
	アオヒハイトリ	<i>Silerella vittata</i>											
	ハイトリグモ科類	Salticidae gen. spp.											
合計種数			6	1	5	3	6	1	6	4			
合計個体数			11	1	12	10	24	2	17	7			

注1) 種名および配列は原則として「環境庁, 1993. 日本産野生動物目録 - 本邦産野生動物植物の種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2) 「~の一種」、「~類」は便宜上、1種として扱った。

注3) 調査日: 4/22,23

表 8.6.1.6(1) 土壌動物確認種一覧(1/3)

No.	目名	科名	種名	学名	平成14年度		
					春季 5月	夏季 7月	秋季 10月
1	ウスムシ	コガケル	コガケル属の一種	<i>Bipalium</i> sp.			
2	マイマイ	オモノアラガイ	ヒメオモノアラガイ	<i>Neosuccinea lyrata horticola</i>			
3		ナナカイ	ナナカイ	<i>Punctum amblygonum</i>			
4		コウナメクシ	チャコウナメクシ	<i>Limax marginatus</i>			
5		ベッコウマイマイ	ヒゲガイ	<i>Gastrodontella multivolvis</i>			
6			ハリマヒ	<i>Parakaliella harimensis</i>			
7			ウラシムクシ	<i>Urazirochlamys doenitzii</i>			
8	トミミズ	トミミズ	トミミズ 属類	<i>Pheretima</i> spp.			
9	カガミミズ	ツリミミズ	ツリミミズ 科の一種	Lumbricidae gen. sp.			
10	イトミミズ	ヒメミミズ	ヒメミミズ 科類	Enchytraeidae gen. spp.			
11	カニムシ	コカニムシ	カニムシ	<i>Microbisium pygmaeum</i>			
12	ダニ	ヤドリダニ	ヤドリダニ 科類	Parasitidae gen. spp.			
13		キツネダニ	キツネダニ 科の一種	Veigaiidae gen. sp.			
14		ツブツブダニ	ツブツブダニ 科類	Ologamasidae gen. spp.			
15		マヨイダニ	マヨイダニ 科類	Ascidae gen. spp.			
16		カガリダニ	カガリダニ 科の一種	Ameroseiidae gen. sp.			
17		ヤリダニ	ヤリダニ 科の一種	Eviphididae gen. sp.			
18		ホコダニ	ホコダニ 科類	Parholaspididae gen. spp.			
19		トゲダニ	トゲダニ 科類	Laelapidae gen. spp.			
20		イトダニ	イトダニ 科の一種	Uropodidae gen. sp.			
21		ヒシダダニ	ヒシダダニ 科の一種	Scutacaridae gen. sp.			
22		ハシダダニ	ハシダダニ 科の一種	Eupodidae gen. sp.			
23		アキトダニ	アキトダニ 科の一種	Rhagidiidae gen. sp.			
24		テングダニ	テングダニ 科の一種	Bdellidae gen. sp.			
25		イルコダニ	イルコダニ 科の一種	Phthiracaridae gen. sp.			
26		クビレコダニ	クビレコダニ 科の一種	Oribotritiidae gen. sp.			
27		ウソイルコダニ	ウソイルコダニ 科類	Euphthiracaridae gen. spp.			
28		ヒワダニ	ヒワダニ 科の一種	Hypochthoniidae gen. sp.			
29		ハラソダニ	ハラソダニ 科の一種	Epilohmanniidae gen. sp.			
30		オダニ	オダニ 科の一種	Camisiidae gen. sp.			
31		モツキダニ	モツキダニ 科の一種	Trhypochthoniidae gen. sp.			
32		ツキノダニ	ツキノダニ 科の一種	Nanhermanniidae gen. sp.			
33		ウスダダニ	ウスダダニ 科の一種	Liodidae gen. sp.			
34		ツリユダニ	ツリユダニ 科の一種	Damaeidae gen. sp.			
35		イモダニ	イモダニ 科の一種	Eremulidae gen. sp.			
36		クモダニ	クモダニ 科の一種	Eremobelbidae gen. sp.			
37		ダニマダダニ	ダニマダダニ 科の一種	Astegistidae gen. sp.			
38		ツブダニ	ツブダニ 科類	Oppiidae gen. spp.			
39		コソダニ	コソダニ 科の一種	Haplozetidae gen. sp.			
40		オヒメダニ	オヒメダニ 科類	Scheloribatidae gen. spp.			
41		フリダニ	フリダニ 科類	Galumnidae gen. spp.			
42	クモ	ジグモ	ジグモ	<i>Atypus karschi</i>			
43		サラグモ	ノボリサラグモ	<i>Erigone prominens</i>			
44			ニシアサグモ	<i>Gnathonarium exsiccatum</i>			
45			サラグモ科の一種	Linyphiidae gen. sp.			
46		コモリグモ	ヒメコモリグモ	<i>Alopecosa ebicha</i>			
47			コモリグモ科類	Lycosidae gen. spp.			
48		クモグモ	オヒメグモ	<i>Orthobula crucifera</i>			
49		カニグモ	オヤミカニグモ	<i>Xysticus saganus</i>			
50			カニグモの一種	Xysticus sp.			
51	ワラジムシ	オダノコムシ	オダノコムシ	<i>Armadillidium vulgare</i>			
52	ツムギヤスデ	ミコヤスデ	ミコヤスデ 科の一種	Diplomaragnidae gen. sp.			
53	ヒメヤスデ	ヤヤスデ	ヤヤスデ 科の一種	Paradoxosomatidae gen. sp.			
54	イシムカ	イシムカ	イシムカ 属の一種	<i>Lithobius</i> sp.			
55			イシムカ 科類	Lithobiidae gen. spp.			

表 8.6.1.6(1) 土壌動物確認種一覧(2/3)

No.	目名	科名	種名	学名	平成14年度				
					春季 5月	夏季 7月	秋季 10月		
56	ヒメムシ	ヒメムシムシ	ヒメムシムシ科類	Hypogastruridae gen. spp.					
57		イボヒメムシ	イボヒメムシ科の一種	Neanuridae gen. sp.					
58		シロヒメムシ	シロヒメムシ科の一種	Onychiuridae gen. sp.					
59		ツチヒメムシ	ツチヒメムシ科類	Isotomidae gen. spp.					
60		アヤヒメムシ	アヤヒメムシ科類	Entomobryidae gen. spp.					
61		マルヒメムシ	マルヒメムシ科の一種	Sminthuridae gen. sp.					
62	シロアリ	ミノガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>					
63	カメムシ	アブラムシ	アブラムシ科の一種	Aphididae gen. sp.					
64		サシガメ	サシガメ科の一種	Reduviidae gen. sp.					
65		ツチカメムシ	ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>					
66	コウチュウ	オサムシ	クビミズキワコミムシ	<i>Polyderis microscopicus</i>					
67			オオゴミムシ	<i>Lesticus magnus</i>					
68			ヒメツヤマルガクミムシ	<i>Amara nipponica</i>					
69	(コウチュウ)	(オサムシ)	クビナガゴモクムシ	<i>Oxycentrus argutoroides</i>					
70			ミドリマメコモクムシ	<i>Stenolophus difficilis</i>					
71			マメコモクムシ	<i>Stenolophus fulvicornis</i>					
72			ツヤマメコモクムシ	<i>Stenolophus iridicolor</i>					
73	ゲンコウ	ホソセシゲンコウ	<i>Copelatus weymarni</i>						
74	ハネカクシ		ハハヒハネカクシ	<i>Ilegarthrus japonicus</i>					
75			ルイスセシハネカクシ	<i>Anotylus lewisius</i>					
76			ヒザゲロメダハネカクシ	<i>Stenus distans</i>					
77			メダハネカクシ属の一種	<i>Stenus</i> sp.					
78			フタホシシクハネカクシ	<i>Astenus bicolor</i>					
79			キアシクハネカクシ	<i>Astenus latifrons</i>					
80			ツマゲロナガハネカクシ	<i>Lathrobium unicolor</i>					
81			アラハダトウナガハネカクシ	<i>Palaminus japonicus</i>					
82			クビホソハネカクシ	<i>Rugilus rufescens</i>					
83			ウスアハホソハネカクシ	<i>Othius medius</i>					
84			アハホソハネカクシ	<i>Othius rufipennis</i>					
85			ツマキツナガハネカクシ	<i>Nudobius apicipennis</i>					
86			クロズマルクビハネカクシ	<i>Tachinus nigriceps</i>					
87			マルクビハネカクシ属類	<i>Tachinus</i> spp.					
88			クロズシロホソハネカクシ	<i>Tachyporus celatus</i>					
89			ズグロアハヒハネカクシ	<i>Atheta weisei</i>					
90			クビアハリノハネカクシ	<i>Zyras pictus</i>					
91			ハネカクシ科類	Staphylinidae gen. spp.					
92			アリツカムシ		ホソクシゲアリツカムシ	<i>Pilopius discedens</i>			
93					アリツカムシ科の一種	Pselaphidae gen. sp.			
94	テオキノコムシ	クリイロクシテオキノコムシ	<i>Scaphisoma castaneipenne</i>						
95	マルハナミ	ヒメチビマルハナミ	<i>Cyphon puncticeps</i>						
96	コガネムシ		オオコガネ	<i>Melolontha frater</i>					
97			アハヒロウドコガネ	<i>Maladera castanea</i>					
98			ワタリヒロウドコガネの一種	<i>Nipponoserica</i> sp.					
99			アトウコガネ	<i>Anomala albopilosa</i>					
100			ハンヒメコガネ	<i>Anomala puncticollis</i>					
101			マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>					
102			シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis</i>					
103			カブツ	<i>Rhomborrhina japonica</i>					
104			コガネムシ科類	Scarabaeidae gen. spp.					
105			コメツクムシ		ニセクシブコメツク	<i>Lanecarus palustris</i>			
106	コメツクムシ科類	Elateridae gen. spp.							
107	キスイムシ	キスイムシ科	<i>Atomaria lewisi</i>						
108	ヒメマキムシ	クハヒメマキムシ	<i>Corticaria ornata</i>						
109	アリモトキ	クハヒメマキムシ	<i>Anthelephila cribriceps</i>						
110	ゴミムシ	ハシモキノコミムシ	ゴミムシ	<i>Platydema subfascia</i>					
111			ゴミムシ科の一種	Tenebrionidae gen. sp.					
112	ハムシ	カミナリハムシ属の一種	<i>Altica</i> sp.						
113	ゾウムシ	イネミスゾウムシ	<i>Lissorhoptus oryzophilus</i>						

表 8.6.1.6(1) 土壤動物確認種一覧(3/3)

No.	目名	科名	種名	学名	平成14年度		
					春季 5月	夏季 7月	秋季 10月
114	ハチ	アリカクハチ	アリカクハチ科の一種	Bethylidae gen. sp.			
115		アリ	ノキリハリ	<i>Amblyopone silvestrii</i>			
116			オオハリ	<i>Brachyponera chinensis</i>			
117			ニセハリ	<i>Hypoponera sauteri</i>			
118			テラニハリ	<i>Ponera scabra</i>			
119			クハカリ	<i>Trachymesopus pilosior</i>			
120			キロシアアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>			
121			ムネソアリ	<i>Leptothorax congruus</i>			
122			ハリガムネソアリ	<i>Leptothorax spinosior</i>			
123			コツアリ	<i>Oligomyrmex sauteri</i>			
124			アミアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>			
125			トツアリ	<i>Solenopsis japonica</i>			
126			ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>			
127			ヒドシアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>			
128			ルアリ	<i>Iridomyrmex itoi</i>			
129			ヒドクアリ	<i>Lasius japonicus</i>			
130		アメイアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>				
131	ハエ	ガガンボ	ガガンボ科類	Tipulidae gen. spp.			
132		ユスリカ	ユスリカ属の一種	<i>Orthocladus</i> sp.			
133			マトヒユスリカ属の一種	<i>Bryophaenocladus</i> sp.			
134			スミティ属の一種	<i>Smittia aterrima</i>			
135			スミティ属の一種	<i>Smittia</i> sp.			
136			タバノ	タバノ科類	Cecidomyiidae gen. spp.		
137	(ハエ)	クハノ	クハノ科類	Sciaridae gen. spp.			
138		アシガハ	アシガハ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.			
139		ヒラタシバ	ヒラタシバ科の一種	Platypezidae gen. sp.			
140		ノミバ	ノミバ科の一種	Phoridae gen. sp.			
141		イハ	イハ科の一種	Muscidae gen. sp.			
142	チョウ	カノガ	カノガ	<i>Amata fortunei</i>			
計	19目	83科		142種	84種	90種	65種

注1)種名および配列は原則として以下の文献に従った。

- ・青木淳一, 1991. 日本産土壤動物検索図説. 東海大学出版会.
- ・環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).
- ・環境庁, 1995. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).
- ・環境庁, 1998. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).

注2)「～の一種」、「～類」等、種まで同定できないものについても便宜上1種として扱った。

表 8.6.1.6(2) 土壌動物(ツルグレン法)確認種一覧(1/2)

目	科	種	学名	平成14年度																
				事業実施区域内						事業実施区域外										
				草地		竹林		ヤナギ林		樹林		草地		ヤナギ林						
				5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月					
フトミズ	フトミズ	フトミズ 属類	<i>Pheretima</i> spp.				1	1			1	1								
イトミズ	ヒメミズ	ヒメミズ 科類	Enchytraeidae gen. spp.		5			18	18	2		6	1	1		19	17			
カニムシ	コカニムシ	カニムシ 科類	<i>Microbisium pygmaeum</i>									2	3							
ダニ	ヤトリダニ	ヤトリダニ 科類	Parasitidae gen. spp.	14			4		1	35	3	7						2	26	
	ツツダニ	ツツダニ 科類	Ologamasidae gen. spp.	9			3			22		71	4			1		73		
	マヨイダニ	マヨイダニ 科類	Ascidae gen. spp.	6				1			1					1		2		
	カサダニ	カサダニ 科類	Ameroseiidae gen. sp.									5						3		
	ヤリダニ	ヤリダニ 科類	Eviphididae gen. sp.							4		1								
	ホコダニ	ホコダニ 科類	Parholaspidae gen. spp.	18	1		1	1		28		8	11	9				12	14	
	トゲダニ	トゲダニ 科類	Laelapidae gen. spp.							16		2			23				7	
	イトダニ	イトダニ 科類	Uropodidae gen. sp.	2								6							3	
	ヒツダニ	ヒツダニ 科類	Scutacaridae gen. sp.	1												322				
	ハシリダニ	ハシリダニ 科類	Eupodidae gen. sp.	3																
	アキトダニ	アキトダニ 科類	Rhagidiidae gen. sp.									3								
	テングダニ	テングダニ 科類	Bdellidae gen. sp.										1							
	イルコダニ	イルコダニ 科類	Phthiracaridae gen. sp.									6		3						
	クワイルコダニ	クワイルコダニ 科類	Oribotritiidae gen. sp.																1	
	ハシリコダニ	ハシリコダニ 科類	Euphthiracaridae gen. spp.	11	3		2			10	34	4	3						2	
	ヒツダニ	ヒツダニ 科類	Hypochthoniidae gen. sp.				63	28						2						
	ハラミダニ	ハラミダニ 科類	Epilohmanniidae gen. sp.			1														
	オダニ	オダニ 科類	Camisiidae gen. sp.	101						72	10		6	2				36	4	
	モツキダニ	モツキダニ 科類	Trhypochthoniidae gen. sp.									8								
	ツバキダニ	ツバキダニ 科類	Nanhermanniidae gen. sp.	26																
	ウスツバキダニ	ウスツバキダニ 科類	Liodidae gen. sp.				1													
	ツバキダニ	ツバキダニ 科類	Damaeidae gen. sp.	1	2															
	イモダニ	イモダニ 科類	Eremulidae gen. sp.				3							1						
	クモダニ	クモダニ 科類	Eremobelbidae gen. sp.				12													
	ダマダニ	ダマダニ 科類	Astegistidae gen. sp.				141													
	ツツダニ	ツツダニ 科類	Oppiidae gen. spp.	86	1		137	5		316	52	31	6	84					19	
	コソダニ	コソダニ 科類	Haplozetidae gen. sp.	12	1														3	
オヒメダニ	オヒメダニ 科類	Schelorbidae gen. spp.	97	1	1	21	8				1	14	18	12		1		6		
フリツダニ	フリツダニ 科類	Galumnidae gen. spp.	88	1		39			119	2	3	14	2							
クモ	ツツダニ	ツツダニ 科類	<i>Gnathonarium exsiccatum</i>												1					
	ツツダニ	ツツダニ 科類	Linyphiidae gen. sp.														3	1		
	ツツダニ	ツツダニ 科類	Lycosidae gen. spp.	1			1			1					2					
	ツツダニ	ツツダニ 科類	<i>Xysticus</i> sp.			1														
ワラジムシ	オカダムシ	オカダムシ 科類	<i>Armadillidium vulgare</i>	1		1			26		3			4		10	40	4		
ツツダニ	ツツダニ 科類	Diplomagnidae gen. sp.	1																	
ツツダニ	ツツダニ 科類	Lithobiidae gen. spp.	1	1		3						2								
トビムシ	トビムシ	トビムシ 科類	Hypogastruridae gen. spp.	1			1			2	1			4			5	1		
	トビムシ	トビムシ 科類	Neanuridae gen. sp.				1			34	5	4	1		6	2		66		
	トビムシ	トビムシ 科類	Onychiuridae gen. sp.			1		1				2		1	25	1	62	25		
	トビムシ	トビムシ 科類	Isotomidae gen. spp.			1	1	2		75		346	37	2	13	1	7	41	5	
	トビムシ	トビムシ 科類	Entomobryidae gen. spp.			9					12		2		3	4	1	11	8	
	トビムシ	トビムシ 科類	Sminthuridae gen. sp.			2				4				1						
	トビムシ	トビムシ 科類	<i>Reticulitermes speratus</i>			13														
カメムシ	アブラムシ	アブラムシ 科類	<i>Aphididae</i> gen. sp.							4				5						
コナメシ	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Polyderis microscopica</i>				2					1	14	2	15					
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Anatylus lewisius</i>																1	
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Stenus</i> sp.													1				
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Lathrobium unicolor</i>																1	
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Rugilus rufescens</i>												1					
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Othius rufipennis</i>						1											
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Nudobius apicipennis</i>												1					
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Tachinus nigriceps</i>																1	
	コナメシ	コナメシ 科類	<i>Zyras pictus</i>					1												
	コナメシ	コナメシ 科類	Staphylinidae gen. spp.				1			1	1			11		3		2		
コナメシ	コナメシ 科類	Scarabaeidae gen. spp.												1	1					
コナメシ	コナメシ 科類	Elateridae gen. spp.								4										
コナメシ	コナメシ 科類	<i>Lissorhoptus oryzophilus</i>												1						

表 8.6.1.6(2) 土壌動物(ツルグレン法)確認種一覧(2/2)

目	科	種	学名	平成14年度																	
				事業実施区域内									事業実施区域外								
				草地			竹林			ヤナギ林			樹林			草地			ヤナギ林		
				5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
ハチ	アリガクハチ	アリガクハチ科の一種	Bethylidae gen. sp.				1														
	アリ	ヒメアリ	<i>Hypoponera sauteri</i>				3	1													
		アライシアリ	<i>Ponera scabra</i>						3					1							
		クワガタアリ	<i>Trachymesopus pilosior</i>							10	2								12	2	
		キロシラゲアリ	<i>Crematogaster osakensis</i>				6														
		ハリカクムシアリ	<i>Leptothorax spinosior</i>		1																
		ツツアリ	<i>Oligomyrmex sauteri</i>				35														
		アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>												29		31	7	1		
		トツアリ	<i>Solenopsis japonica</i>	4	28								2								
		ウロコアリ	<i>Strumigenys lewisi</i>				2														
		ヒメシロアリ	<i>Tetramorium caespitum</i>		1										4	1					
トビシロアリ	<i>Lasius japonicus</i>												3				12				
アマノアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>				3																
ハエ	ガクンボ	ガクンボ科類	Tipulidae gen. spp.																3		
	スリカ	スリカ属の一種	<i>Bryophaenocladus</i> sp.											4				2			
	スミシカ	スミシカ属の一種	<i>Smittia</i> sp.								2							12			
	タマシ	タマシ科類	Cecidomyiidae gen. spp.		8	2		1	13	1								6			
	クロハシノコハシ	クロハシノコハシ科類	Sciaridae gen. spp.	4			4	1	22		1			3				11			
	アツカハシ	アツカハシ科の一種	Dolichopodidae gen. sp.		1		2		2	1		4	3					1	2		
	ムシハシ	ムシハシ科の一種	Phoridae gen. sp.									1							1		
イハシ	イハシ科の一種	Muscidae gen. sp.			1																
チョウ	カノカ	カノカ	<i>Amata fortunei</i>															1	1		
合計種数		82		2	28	16	1	29	14	3	21	21	3	23	14	21	14	11	15	30	9
合計個体数		4052		5	518	59	1	461	104	5	841	143	3	525	109	155	446	26	216	416	19

注1) 種名および配列は原則として以下の文献に従った。

- ・青木淳一, 1991. 日本産土壌動物検索図説. 東海大学出版会.
- ・環境庁, 1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).
- ・環境庁, 1995. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).
- ・環境庁, 1998. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物編).

注2) 「～の一種」、「～類」は便宜上、1種として扱った。

7 陸生植物

7.1 調査結果の概要

資料 8.7.1.1-1 植物相調査の調査結果

[本編 p357 対応]

表 8.7.1.1-1(1) 陸生植物確認種一覧(1/5)

No.	分類	科名	種名	学名	平成14年度				
					植物相		立木	植生	
					春季	夏季	秋季	秋季	秋季
1	シダ植物	ヒカゲノカサヲ	ヒカゲノカサヲ	<i>Lycopodium clavatum</i>					
2		トケ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>					
3			イボトケ	<i>Equisetum ramosissimum</i>					
4			センマイ	<i>Osmunda japonica</i>					
5			ウラボシ	<i>Dicranopteris linearis</i>					
6			コバノイシカグマ	<i>Hypolepis punctata</i>					
7			アモトクサ	<i>Microlepia marginata</i>					
8			ワレビ	<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i>					
9			イモトクサ	<i>Pteris multifida</i>					
10			シロカシラ	<i>Struthiopteris niponica</i>					
11			オトコ	<i>Dryopteris erythrosora</i>					
12			ヒメトクサ	<i>Stegogramma pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>					
13			ハルカネツバ	<i>Thelypteris japonica</i>					
14	種子植物	マツ	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>					
15	裸子植物亜門		クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>					
16			イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> var. <i>maki</i>					
17	種子植物		ヤマモ	<i>Myrica rubra</i>					
18	被子植物亜門		ヤナギ	ホノヲ sp.	<i>Populus nigra</i> var. <i>italica</i>				
19	離弁花亜綱			ヤナギ	<i>Populus sieboldii</i>				
20				アカヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>				
21				カヤナギ	<i>Salix gilgiana</i>				
22				キヌヤナギ	<i>Salix kinuyanagi</i>				
23				クサヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>				
24				ヤナギ sp.	<i>Salix</i> sp.				
25			カシ	ハルカシ	<i>Alnus japonica</i>				
26				オハカシ	<i>Alnus sieboldiana</i>				
27		クヌギ	ウハクヌギ	<i>Quercus phillyraeoides</i>					
28		コ	ムクナギ	<i>Aphananthe aspera</i>					
29			エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i>					
30			アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i>					
31			ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>					
32		クワ	クワカサ	<i>Fatoua villosa</i>					
33			イチブク	<i>Ficus carica</i>					
34			カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>					
35		イヌカサ	ナンバノカサ	<i>Boehmeria nivea</i>					
36			カサ	<i>Boehmeria nivea</i> ssp. <i>nipoanonivea</i>					
37		クサ	ヤナギクサ	<i>Persicaria hydropiper</i>					
38			シロハナクサ	<i>Persicaria japonica</i>					
39			オオバクサ	<i>Persicaria lapathifolia</i>					
40			イヌクサ	<i>Persicaria longiseta</i>					
41			イシカサ	<i>Persicaria perfoliata</i>					
42			ホノハナクサ	<i>Persicaria praetermissa</i>					
43			ハルカサ	<i>Persicaria vulgaris</i>					
44			オオハルカサ	<i>Persicaria vulgaris</i> var. <i>pubescens</i>					
45			イボトリ	<i>Reynoutria japonica</i>					
46			スイハ	<i>Rumex acetosa</i>					
47			ヒメスイハ	<i>Rumex acetosella</i>					
48			ナガバクサ	<i>Rumex crispus</i>					
49			クサ	<i>Rumex japonicus</i>					
50		ヤマコホウ	ヨクシヤマコホウ	<i>Phytolacca americana</i>					
51		ザクボウ	クヌギザクボウ	<i>Mollugo verticillata</i>					
52		スズリヒコ	スズリヒコ	<i>Portulaca oleracea</i>					
53			ヒメツバ	<i>Portulaca pilosa</i>					
54		チヂミ	ノミチヂミ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>					
55			オランダミミナギサ	<i>Cerastium glomeratum</i>					
56			ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>					
57			ノミカサ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>					
58			ウハクサ	<i>Stellaria aquatica</i>					
59			コハクサ	<i>Stellaria media</i>					
60		アカサ	シロサ	<i>Chenopodium album</i>					
61			クサ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>					
62		ヒコ	ヒコイノコ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>					
63			ヒコイノコ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>					
64			ツルノコ	<i>Alternanthera sessilis</i>					
65			イヌコ	<i>Amaranthus lividus</i>					
66			ホノハナ	<i>Amaranthus patulus</i>					
67			ホノハナ	<i>Amaranthus viridis</i>					
68		モクシ	オオクサ	<i>Michelia compressa</i>					
69		シキミ	シキミ	<i>Illicium anisatum</i>					
70		クスノキ	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>					
71			ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum japonicum</i>					

表 8.7.1.1-1(1) 陸生植物確認種一覧(2/5)

分類	科名	種名	学名	平成14年度				
				植物相			立木	植生
				春季	夏季	秋季		
72 (種子植物)	(カス/キ)	タブ/キ	<i>Machilus thunbergii</i>					
73 (被子植物亜門)	キンポウ/ウケ	セニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>					
74 (離弁花亜綱)		タカ/ヲシ	<i>Ranunculus sceleratus</i>					
75	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>					
76		ミツハ/アケビ	<i>Akebia trifoliata</i>					
77	ツツ/ヲシ	アツツ/ヲシ	<i>Cocculus orbiculatus</i>					
78	ツバ/キ	ヤブ/ツバ/キ	<i>Camellia japonica</i>					
79		サザ/ツバ	<i>Camellia sasanqua</i>					
80		ヒサ/キ	<i>Eurya japonica</i>					
81		モッコク	<i>Ternstroemia gymnanthera</i>					
82	クサ	クサ/クサ	<i>Macleaya cordata</i>					
83	アブ/ヲシ	セイヨウ/アブ/ヲシ	<i>Brassica napus</i>					
84		タネツバ/キ	<i>Cardamine flexuosa</i>					
85		マク/ツバ/イヌ/ヲシ	<i>Lepidium virginicum</i>					
86		オランダ/カ/ヲシ	<i>Nasturtium officinale</i>					
87		ハマ/タ/イコ	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>raphanistroides</i>					
88		イヌ/カ/ヲシ	<i>Rorippa indica</i>					
89		スカ/タコ/ホ/ウ	<i>Rorippa islandica</i>					
90	ハ/ツ/ケ/イ/ウ	メキシコ/マ/ネ/ツ/ガ/サ	<i>Sedum mexicanum</i>					
91		ツル/マ/ネ/ツ/ガ/サ	<i>Sedum sarmentosum</i>					
92	ト/ラ	ト/ラ	<i>Pittosporum tobira</i>					
93	ハ/ラ	キ/ミ/ズ/ヒ/キ	<i>Agrimonia japonica</i>					
94		ヒ/ウ	<i>Eriobotrya japonica</i>					
95		ス/ミ	<i>Malus torino</i>					
96		オキ/ツ/ム/シ/ロ	<i>Potentilla supina</i>					
97		ソ/メ/イ/ロ/シ	<i>Prunus x yedoensis</i>					
98		サ/ウ/ラ/sp.	<i>Prunus</i> sp.					
99		クサ/ハ/サ/モ/ト/キ	<i>Pyracantha angustifolia</i>					
100		シャ/リ/ハ/イ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i>					
101		ノ/ハ/ラ	<i>Rosa multiflora</i>					
102		テ/リ/ハ/ノ/ハ/ラ	<i>Rosa wichuriana</i>					
103		サ/ク/シ/ロ/イ/チ/コ	<i>Rubus parvifolius</i>					
104	マ	クサ/ム	<i>Aeschynomene indica</i>					
105		ム/キ	<i>Albizia julibrissin</i>					
106		ヤブ/マ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> ssp. <i>edgeworthii</i> var. <i>japonica</i>					
107		カ/ラ/ウ/ケ/メ/イ	<i>Cassia mimosoides</i> ssp. <i>nomame</i>					
108		ア/レ/チ/ヌ/シ/ト/ハ/キ	<i>Desmodium paniculatum</i>					
109		ツル/マ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>					
110		コ/マ/ツ/キ	<i>Indigofera pseudo-tinctoria</i>					
111		タイ/ウ/コ/マ/ツ/キ	<i>Indigofera tinctoria</i>					
112		マ/ル/ハ/ヤ/ハ/ス/ウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>					
113		ヤ/ハ/ス/ウ	<i>Kummerowia striata</i>					
114		ム/ト/ハ/キ	<i>Lespedeza cuneata</i>					
115		マ/ル/ハ/ハ/キ	<i>Lespedeza cyrtobotrya</i>					
116		ネ/コ/ハ/キ	<i>Lespedeza pilosa</i>					
117		コ/メ/ツ/ウ/マ/コ/ヤ	<i>Medicago lupulina</i>					
118		ク/ス	<i>Pueraria lobata</i>					
119		コ/メ/ツ/ウ/メ/ク/サ	<i>Trifolium dubium</i>					
120		シ/ロ/ツ/メ/ク/サ	<i>Trifolium repens</i>					
121		ス/ズ/メ/ノ/エ/ト/ウ	<i>Vicia hirsuta</i>					
122		カ/ラ/ス/ノ/エ/ト/ウ	<i>Vicia sepium</i>					
123		カ/ス/ク/サ	<i>Vicia tetrasperma</i>					
124	カ/タ/ハ/ミ	カ/タ/ハ/ミ	<i>Oxalis corniculata</i>					
125		オ/ツ/チ/カ/タ/ハ/ミ	<i>Oxalis stricta</i>					
126	ア/カ/ノ/ウ	ア/カ/ノ/ウ	<i>Geranium carolinianum</i>					
127	ト/ウ/ク/イ/ク/サ	エ/ノ/キ/ク/サ	<i>Acalypha australis</i>					
128		オ/オ/ニ/キ/ク/サ	<i>Euphorbia maculata</i>					
129		エ/ニ/キ/ク/サ	<i>Euphorbia supina</i>					
130		ア/カ/ガ/シ/ク	<i>Mallotus japonicus</i>					
131		サ/キ/ン/ハ/セ	<i>Sapium sebiferum</i>					
132	ユ/ス/リ/ハ	ヒ/メ/ユ/ス/リ/ハ	<i>Daphniphyllum teijsmannii</i>					
133	ミ/カ/シ	カ/ラ/ス/ガ/シ/ク	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>					
134	ウ/ル/シ	ウ/ル/シ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburgii</i>					
135		ハ/セ/ノ/キ	<i>Rhus succedanea</i>					
136	カ/エ/テ	イ/ロ/ハ/ヒ/メ/シ	<i>Acer palmatum</i>					
137	イ/ク/ノ/キ	イ/ク/ノ/キ	<i>Ilex crenata</i>					
138		ク/ロ/カ/ネ/チ	<i>Ilex rotunda</i>					
139	ニ/シ/キ	ツル/ウ/メ/ト/キ	<i>Celastrus orbiculatus</i>					
140		マ/サ/キ	<i>Euonymus japonicus</i>					
141		マ/ユ/ミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>					
142	ア/ド/ウ	ヤブ/カ/ヲシ	<i>Cavratia japonica</i>					

表 8.7.1.1-1(1) 陸生植物確認種一覧(3/5)

分類	科名	種名	学名	平成14年度					
				植物相				立木	植生
				春季	夏季	秋季	秋季		
143 (種子植物)	(ブドウ)	ツツ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>						
144 (被子植物亜門)		ヱヅル	<i>Vitis ficifolia</i> var. <i>lobata</i>						
145 (離弁花亜綱)	グミ	サシロクミ	<i>Elaeagnus pungens</i>						
146	スミレ	ユスレ	<i>Viola japonica</i>						
147	ミソハキ	ホハヒミソハキ	<i>Ammannia coccinea</i>						
148	アカハナ	チヨウダ	<i>Ludwigia epilobioides</i>						
149		マヌヨウサ	<i>Oenothera biennis</i>						
150		ユマツヨウサ	<i>Oenothera laciniata</i>						
151	ウツキ	ヤブ	<i>Fatsia japonica</i>						
152	セリ	ヤブシラミ	<i>Torilis japonica</i>						
153 種子植物	ヤブコウジ	マツヨウ	<i>Ardisia crenata</i>						
154 被子植物亜門	ヤブコウジ	オホトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>						
155 合弁花亜綱		オホトラノオ	<i>Lysimachia fortunei</i>						
156	ハハク	ハハク	<i>Diospyros kaki</i>						
157	エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>						
158	モクセイ	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>						
159		トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>						
160	キョウチクトウ	キョウチクトウ	<i>Nerium indicum</i>						
161	ガガイ	ガガイ	<i>Metaplexis japonica</i>						
162	アカ	メリアム	<i>Diodia virginiana</i>						
163		ヤムグサ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>						
164		フタバムグサ	<i>Hedyotis diffusa</i>						
165		ナカエツバムグサ	<i>Hedyotis diffusa</i> f. <i>longipes</i>						
166		ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>						
167		アカネ	<i>Rubia argyi</i>						
168	ヒルガオ	ハルヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>						
169		アメリカナシカズラ	<i>Cuscuta pentagona</i>						
170		マルハルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>						
171		マルハアメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> var. <i>integriuscula</i>						
172		マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i>						
173		アサガオ	<i>Ipomoea nil</i>						
174		ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>						
175	ムササキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>						
176		キョウリクサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>						
177	クマツヅラ	ムラサキキク	<i>Callicarpa japonica</i>						
178		ウツキ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>						
179		アシチカサ	<i>Verbena brasiliensis</i>						
180		ダケルアシチカサ	<i>Verbena incompta</i>						
181		ハマコウ	<i>Vitex rotundifolia</i>						
182	シソ	ホトケナ	<i>Lamium amplexicaule</i>						
183		イヌコウジュ	<i>Mosla punctulata</i>						
184	ナス	アメリカイモムシキ	<i>Solanum americanum</i>						
185		ワルナシ	<i>Solanum carolinense</i>						
186		ヒヨドリヨウゴ	<i>Solanum lyratum</i>						
187		イモムシキ	<i>Solanum nigrum</i>						
188		ジャガイモ	<i>Solanum tuberosum</i>						
189	コマハナグサ	マツハナグサ	<i>Linaria canadensis</i>						
190		ウツキ	<i>Lindernia crustacea</i>						
191		トキハヒ	<i>Mazus pumilus</i>						
192		オシロイバナ	<i>Veronica arvensis</i>						
193		オシロイバナ	<i>Veronica persica</i>						
194	ノボリバナ	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>						
195	オオバコ	ツバミオオバコ	<i>Plantago virginica</i>						
196	スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>						
197		サユコ	<i>Viburnum odoratissimum</i> var. <i>awabuki</i>						
198	キキョウ	キキョウ	<i>Specularia perfoliata</i>						
199		ヒナキキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>						
200	キ	アザミ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i>						
201		オトコモミ	<i>Artemisia japonica</i>						
202		ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i>						
203		ノコン	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i>						
204		キダチノコン	<i>Aster pilosus</i>						
205		ホウキノコ	<i>Aster subulatus</i>						
206		ヒロハホウキノコ	<i>Aster subulatus</i> var. <i>subulatus</i>						
207		ウツキ	<i>Aster tripolium</i>						
208		アメリカハナグサ	<i>Bidens frondosa</i>						
209		コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i>						
210		タウキ	<i>Bidens tripartita</i>						
211		アシチカ	<i>Conyza bonariensis</i>						
212		オシロイバナ	<i>Conyza sumatrensis</i>						
213		アメリカカササギ	<i>Eclipta alba</i>						

表 8.7.1.1-1(1) 陸生植物確認種一覧(4/5)

No.	分類	科名	種名	学名	平成14年度			
					植物相		立木	植生
					春季	夏季	秋季	秋季
214	種子植物		タカサゴ	<i>Eclipta prostrata</i>				
215	(被子植物亜門)		タンドホトク	<i>Erechtites hieracifolia</i>				
216	(合弁花亜綱)		ヒムカヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>				
217			ハルシオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>				
218			ケチシムカヨモギ	<i>Erigeron pusillus</i>				
219			ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium chinense</i> var. <i>oppositifolium</i>				
220			ハキダセキク	<i>Galinsoga ciliata</i>				
221			ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>				
222			チコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>				
223			チコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>				
224			ウラジロチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>				
225			ヒメアザミ	<i>Hypochoeris glabra</i>				
226			オビシバ	<i>Ixeris debilis</i>				
227			ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>				
228			シシバ	<i>Ixeris stolonifera</i>				
229			ヨメ	<i>Kalimeris vomena</i>				
230			アキノガサ	<i>Lactuca indica</i>				
231			ホハアキノガサ	<i>Lactuca indica</i> f. <i>indivisa</i>				
232			コオバコ	<i>Lapsana apocynoides</i>				
233			ヤブコバコ	<i>Lapsana humilis</i>				
234			コバノリ	<i>Picris hieracioides</i> var. <i>glabrescens</i>				
235			ノボリ	<i>Senecio vulgaris</i>				
236			セイヤブコ	<i>Solidago altissima</i>				
237			オニガサ	<i>Sonchus asper</i>				
238			アノガサ	<i>Sonchus oleraceo-asper</i>				
239			ノボリ	<i>Sonchus oleraceus</i>				
240			ヒシシバ	<i>Stenactis annuus</i>				
241			セイヨウオトギリ	<i>Taraxacum officinale</i>				
242			イナズマ	<i>Xanthium italicum</i>				
243			オオオトギリ	<i>Xanthium occidentale</i>				
244			オニシバ	<i>Youngia japonica</i>				
245	種子植物	ユリ	ユリ	<i>Allium tuberosum</i>				
246	単子葉植物綱		タカサゴ	<i>Lilium formosanum</i>				
247			シシバ	<i>Ophiopogon japonicus</i>				
248			キミカヨモギ	<i>Yucca recurvifolia</i>				
249		ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>				
250		アヤメ	ニセキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>				
251		イグサ	イグサ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>				
252			コバノイモ	<i>Juncus leschenaultii</i>				
253			ホノ	<i>Juncus setchuensis</i> var. <i>effusoides</i>				
254			クサ	<i>Juncus tenuis</i>				
255			スズメバネ	<i>Luzula capitata</i>				
256		ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>				
257		イネ	アオカモメ	<i>Agropyron racemiferum</i>				
258			カモメ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>				
259			コメ	<i>Agrostis alba</i>				
260			ハチマキ	<i>Aira elegans</i>				
261			スズメバネ	<i>Alopecurus aequalis</i>				
262			メギ	<i>Andropogon virginicus</i>				
263			トクシバ	<i>Arundinella hirta</i>				
264			ミナトカラスムギ	<i>Avena barbata</i>				
265			カラスムギ	<i>Avena fatua</i>				
266			コバノ	<i>Briza maxima</i>				
267			ヒメコバノ	<i>Briza minor</i>				
268			イヌハ	<i>Bromus catharticus</i>				
269			スズメバネ	<i>Bromus japonicus</i>				
270			ヒゲ	<i>Bromus rigidus</i>				
271			ヤマア	<i>Calamagrostis epigeios</i>				
272			シユズ	<i>Coix lacryma-jobi</i>				
273			シロガ	<i>Cortaderia selloana</i>				
274			キヨウ	<i>Cynodon dactylon</i>				
275			カモガ	<i>Dactylis glomerata</i>				
276			ヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>				
277			コメシバ	<i>Digitaria radicata</i>				
278			アキノシバ	<i>Digitaria violascens</i>				
279			イヌ	<i>Echinochloa crus-galli</i>				
280			ケイ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>echinata</i>				
281			オシバ	<i>Eleusine indica</i>				
282			シタ	<i>Eragrostis curvula</i>				
283			カ	<i>Eragrostis ferruginea</i>				
284			コ	<i>Eragrostis poaeoides</i>				

表 8.7.1.1-1(1) 陸生植物確認種一覧(5/5)

分類	科名	種名	学名	平成14年度					
				植物相			立木	植生	
				春季	夏季	秋季	秋季	秋季	
285	(種子植物)	(イ)	ニツホリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>					
286	(単子葉植物綱)		オニツノカサ	<i>Festuca arundinacea</i>					
287			ムツオシクサ	<i>Glyceria acutiflora</i>					
288			チカヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>					
289			サヤアサガサ	<i>Leersia sayanuka</i>					
290			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>					
291			ホムキ	<i>Lolium perenne</i>					
292			ハチンヨウスチ	<i>Miscanthus condensatus</i>					
293			オキ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>					
294			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>					
295			ケチミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>					
296			ヌカヒ	<i>Panicum bisulcatum</i>					
297			オコササヒ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>					
298			シラスメヒ	<i>Paspalum dilatatum</i>					
299			アイソ	<i>Phacelurus latifolius</i>					
300			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>					
301			ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>					
302			モウソウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>					
303			ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>					
304			クロチク	<i>Phyllostachys nigra</i>					
305			ササ	<i>Pleioblastus chino</i> var. <i>viridis</i>					
306			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>					
307			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>					
308			ヒエガエリ	<i>Polygonum fugax</i>					
309			ヌメリクサ	<i>Sacciolepis indica</i> var. <i>oryzeterum</i>					
310			アキヒノコクサ	<i>Setaria faberi</i>					
311			コウキキエノコ	<i>Setaria pallide-fusca</i>					
312			キエノコ	<i>Setaria pumila</i>					
313			エノコクサ	<i>Setaria viridis</i>					
314			セイハンノコ	<i>Sorghum halepense</i>					
315			ネズミノ	<i>Sporobolus fertilis</i>					
316			ササノカタビラ	<i>Vulpia myuros</i>					
317			シバ	<i>Zovsia japonica</i>					
318		ガマ	ヒメガマ	<i>Typha angustifolia</i>					
319			ガマ	<i>Typha latifolia</i>					
320		カヤツリグサ	アヒナクサ	<i>Carex dimorpholepis</i>					
321			シオクサ	<i>Carex scabrifolia</i>					
322			アヒナクサ	<i>Carex thunbergii</i>					
323			アヒナクサ	<i>Cyperus brevifolius</i>					
324			ヒメクサ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>					
325			クサガヤツリ	<i>Cyperus compressus</i>					
326			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>					
327			ホリミキガヤツリ	<i>Cyperus engelmannii</i>					
328			メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>					
329			ヒメムツオシガヤツリ	<i>Cyperus ferruginescens</i>					
330			アヒナクサ	<i>Cyperus globosus</i>					
331			コメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>					
332			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>					
333			イガガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i>					
334			カワラササ	<i>Cyperus sanguinolentus</i> f. <i>nipponicus</i>					
335			テツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i>					
336			ヒトリコ	<i>Fimbristylis miliacea</i>					
337			アヒナクサ	<i>Fimbristylis velata</i>					
338			アヲラガサ	<i>Scirpus wichurae</i>					
計	-	81科	338種		220種	203種	205種	23種	72種

注1) 種名及び配列は「植物目録(環境庁、1987)」に準じた。

2) 準備書における確認種について、一部干拓地では見られないと思われる山地性の種が掲載されているとの指摘があり、平成14年度調査時の標本の確認を行うとともに、現地踏査により、再度確認調査を行った。現在、干拓地は乾燥化により植生が単調化しており、確認できない種もあったことから、有識者の指導・助言を得て確認種数等を整理した。

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (1/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)					No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)					No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)					
1	ナギナネドキ	2.0	3.0					82	アカガシ	4.0	7.0					163	アカガシ	3.0	2.5					
2	ヤナギ 属の一種	2.8	6.0	1.5	2.5	3.5	83	アカガシ	4.0	3.5					164	アカガシ	3.0	2.0						
3	仏子	5.0	10.0	8.0	2.5	6.0	84	アカガシ	4.5	7.0					165	アカガシ	3.0	2.0						
4	ナギナハヒ	4.0	7.0					85	アカガシ	4.0	6.0					166	アカガシ	2.5	1.5					
5	アヒ	3.0	6.0	2.5	3.0	4.5	86	アカガシ	4.5	6.0					167	アカガシ	2.5	1.8						
6	アカガシ	3.0	9.0					87	アカガシ	3.0	3.0					168	アカガシ	3.0	2.8					
7	アカガシ	2.3	5.0					88	アカガシ	4.0	8.0					169	ナギナハヒ	2.5	3.5					
8	アカガシ	2.5	5.0	4.0				89	アカガシ	3.8	5.5	5.5				170	アカガシ	2.5	2.5	2.5				
9	アカガシ	2.0	4.0					90	アカガシ	3.5	3.5					171	アカガシ	4.0	5.0					
10	アカガシ	2.5	5.0	4.0				91	アカガシ	4.5	5.0					172	アカガシ	4.0	6.0					
11	アカガシ	3.0	4.5					92	アカガシ	5.0	5.0	3.5				173	アカガシ	3.0	3.5					
12	アカガシ	3.0	5.0					93	アカガシ	5.0	6.5					174	アカガシ	3.0	3.0					
13	アカガシ	2.3	3.5					94	アカガシ	4.0	4.5					175	アカガシ	3.0	3.5					
14	アカガシ	2.5	3.5					95	アカガシ	5.0	5.0					176	アカガシ	3.0	3.0					
15	アカガシ	2.5	2.5					96	アカガシ	5.0	6.5					177	アカガシ	3.0	4.0					
16	アカガシ	2.5	3.0					97	アカガシ	5.0	5.0					178	アカガシ	3.0	4.5					
17	アカガシ	2.5	3.0	2.5				98	アカガシ	4.5	5.0					179	アカガシ	5.0	7.5					
18	アカガシ	2.3	3.5					99	アカガシ	4.5	6.5					180	アカガシ	5.0	8.0					
19	アカガシ	4.0	6.5	4.5				100	アカガシ	4.5	6.5					181	アカガシ	5.0	6.0					
20	アカガシ	4.0	5.0	2.5				101	アカガシ	3.8	3.5					182	アカガシ	5.0	6.5					
21	アカガシ	3.5	4.5					102	アカガシ	4.0	4.5					183	アカガシ	5.0	5.5					
22	アカガシ	3.5	6.0					103	アカガシ	5.0	6.0					184	アカガシ	5.0	6.0	5.0	4.5	3.0		
23	アカガシ	3.0	4.5	2.5				104	アカガシ	5.0	6.0					185	アカガシ	4.5	4.5					
24	アカガシ	2.5	5.0					105	アカガシ	4.5	4.5					186	アカガシ	4.5	6.0					
25	アカガシ	3.5	6.5					106	アカガシ	4.5	4.0					187	アカガシ	3.5	2.5	3.0				
26	アカガシ	3.0	4.5					107	アカガシ	3.0	5.0					188	アカガシ	3.5	5.0					
27	アカガシ	2.5	3.5					108	アカガシ	4.5	6.0					189	アカガシ	3.0	4.5					
28	アカガシ	4.5	4.0					109	アカガシ	4.5	6.5					190	アカガシ	3.0	3.0					
29	アカガシ	5.0	6.5	6.0				110	アカガシ	3.5	6.5					191	アカガシ	3.5	4.5					
30	アカガシ	4.0	3.5					111	アカガシ	5.0	7.0					192	アカガシ	3.5	7.0	3.0				
31	アカガシ	4.5	7.0	4.0				112	アカガシ	4.5	6.0					193	アカガシ	3.5	4.5					
32	ヒサキ	2.5	4.0					113	アカガシ	4.5	4.0	4.0	4.5				194	アカガシ	3.5	5.0				
33	アカガシ	4.0	8.0					114	アカガシ	4.5	4.5	3.5				4.5	195	アカガシ	3.5	4.5				
34	アカガシ	4.0	7.0					115	アカガシ	4.6	4.0					196	アカガシ	3.5	6.0					
35	アカガシ	5.0	15.0	5.5				116	アカガシ	4.6	4.5					197	アカガシ	3.5	4.0					
36	アカガシ	3.5	5.5	6.0				117	アカガシ	4.0	4.0					198	アカガシ	3.5	6.0					
37	アカガシ	3.0	5.0					118	アカガシ	4.3	5.0	2.5				199	アカガシ	3.5	7.0					
38	ヒ	7.0	24.0					119	アカガシ	5.0	5.0					200	アカガシ	3.5	4.5					
39	ヒ	4.0	7.0					120	アカガシ	4.6	4.0	2.5	4.0	4.0	3.0	201	アカガシ	3.5	8.0					
40	ヒ	3.0	6.0					121	アカガシ	4.3	4.5					202	アカガシ	3.5	5.5					
41	アカガシ	3.0	7.0					122	アカガシ	4.3	6.0					203	アカガシ	4.0	5.0					
42	アカガシ	3.0	4.0					123	アカガシ	4.0	5.0					204	アカガシ	3.0	4.0					
43	アカガシ	2.5	4.5					124	アカガシ	3.8	3.0					205	アカガシ	4.0	6.0					
44	アカガシ	4.0	5.5					125	アカガシ	4.5	4.5					206	アカガシ	4.0	5.5					
45	アカガシ	3.5	6.0	5.5	4.5				126	アカガシ	4.5	5.0					207	アカガシ	4.5	7.5	4.5			
46	アカガシ	3.0	5.0	4.0				127	アカガシ	4.5	4.0					208	アカガシ	4.0	5.0					
47	アカガシ	2.0	2.5	2.5	3.0				128	アカガシ	4.0	6.0					209	アカガシ	3.5	4.5				
48	アカガシ	2.5	3.0					129	アカガシ	4.0	3.0					210	アカガシ	4.5	7.0					
49	アカガシ	2.0	1.5					130	アカガシ	4.0	7.0					211	アカガシ	4.0	6.0					
50	アカガシ	2.0	2.5					131	アカガシ	4.0	3.5					212	アカガシ	5.0	8.0	5.5				
51	アカガシ	2.0	3.0					132	アカガシ	4.5	6.5					213	アカガシ	4.5	8.5	6.0				
52	アカガシ	2.5	4.0					133	アカガシ	3.0	2.0					214	アカガシ	4.3	7.5					
53	アカガシ	3.5	4.0					134	アカガシ	4.0	6.0					215	アカガシ	4.3	5.5					
54	アカガシ	3.5	2.5					135	アカガシ	4.0	3.0					216	アカガシ	4.5	5.5					
55	アカガシ	3.0	4.5					136	アカガシ	4.0	6.0					217	アカガシ	4.0	6.0					
56	アカガシ	3.0	3.5					137	アカガシ	4.0	7.5					218	アカガシ	2.5	3.5					
57	アカガシ	2.8	4.0					138	アカガシ	3.0	3.5					219	アカガシ	4.0	6.0					
58	アカガシ	2.5	2.0					139	アカガシ	3.8	4.0					220	アカガシ	4.5	6.0					
59	ヤマモ	3.0	6.0	4.0				140	アカガシ	3.0	3.0					221	アカガシ	4.3	3.5	2.5	5.5			
60	アカガシ	3.0	3.5					141	アカガシ	4.0	5.0					222	アカガシ	3.5	3.5					
61	アカガシ	3.0	2.5					142	アカガシ	3.0	3.0					223	アカガシ	3.5	5.0	6.0	3.5	5.5		
62	アカガシ	2.8	3.5					143	アカガシ	3.8	4.0	4.0				224	アカガシ	4.6	8.5	4.5				
63	アカガシ	2.5	2.5					144	アカガシ	4.3	6.0	5.0				225	アカガシ	4.5	6.0					
64	アカガシ	2.0	1.5					145	アカガシ	4.0	4.5					226	アカガシ	4.5	3.5					
65	アカガシ	2.3	2.5					146	アカガシ	4.5	5.0	5.5	5.5				227	アカガシ	4.5	6.0				
66	アカガシ	2.0	2.5					147	アカガシ	3.5	4.5	2.0				228	アカガシ	4.0	7.5	5.0				
67	アカガシ	2.5	3.5					148	アカガシ	4.0	5.5	2.5				229	アカガシ	4.5	6.0					
68	アカガシ	2.0	1.5					149	アカガシ	3.8	8.0					230	アカガシ	4.3	5.0					
69	ヒ	3.0	4.0	2.5				150	アカガシ	4.0	5.0					231	アカガシ	4.5	7.0					
70	ヒ	3.0	3.5					151	アカガシ	3.0	4.5					232	アカガシ	3.0	5.0					
71	アカガシ	5.0	5.5					152	アカガシ	3.0	3.0					233	アカガシ	4.5	5.5					
72	アカガシ	5.5	5.5					153	アカガシ	3.0	2.5	2.0				234	アカガシ	4.5	9.0					
73	アカガシ	5.5	7.0					154	アカガシ	2.0	1.5					235	アカガシ	4.6	7.5					
74	アカガシ	5.0	5.0					155	アカガシ	2.5	1.8					236	アカガシ	4.5	6.5					
75	アカガシ	5.5	8.0					156	アカガシ	4.0	6.5					237	アカガシ	3.5	4.5					
76	アカガシ	5.5	6.5					157	アカガシ	3.5	4.0					238	アカガシ	4.0	4.0					
77	アカガシ	4.5	3.5					158	アカガシ	3.0	2.0					239	アカガシ	4.5	7.0	4.0				
78	アカガシ	3.0	3.0					159	アカガシ	3.5	5.0	3.5				240	アカガシ	4.0	5.5					
79	アカガシ	3.5	6.0	2.5				160	アカガシ	3.0	2.5					241	アカガシ	4.0	6.0					
80	アカガシ	4.5	4.0					161	アカガシ	3.5	3.0					242	アカガシ	3.8	4.5					
81	アカガシ	4.0	4.5					162	アカガシ	3.5	7.0	3.0	5.0				243	アカガシ	4.0	7.0				

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (2/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
244	アカガシ	3.5	6.0	324	アカガシ	4.5	6.0 4.0	405	コナラ	2.8	3.0
245	アカガシ	3.5	3.5	325	アカガシ	4.0	4.0	406	コナラ	1.5	2.5
246	アカガシ	3.5	2.0 2.0 3.0 2.5	326	アカガシ	5.0	7.0 7.0 5.0	407	コナラ	3.0	3.5
247	アカガシ	4.0	5.0	327	アカガシ	4.5	8.0	408	コナラ	3.3	3.0
248	アカガシ	4.5	5.5	328	アカガシ	4.0	6.0	409	コナラ	3.0	3.0
249	アカガシ	4.0	6.0	329	アカガシ	4.0	7.0	410	コナラ	3.5 2.5 3.5	
250	アカガシ	3.5	3.5	330	アカガシ	4.0	6.0	411	コナラ	3.0 2.8 1.5 1.5	
251	アカガシ	4.0	3.5	331	アカガシ	5.0	5.5 4.0	412	コナラ	3.5 3.3	
252	アカガシ	4.0	4.0	332	アカガシ	4.5	6.0	413	コナラ	3.0 2.0 4.0 3.5	
253	アカガシ	4.6	6.0	333	アカガシ	4.5	6.5 4.0	414	コナラ	3.5 4.0	
254	アカガシ	4.5	6.5	334	アカガシ	5.5	7.5	415	コナラ	3.0 4.0	
255	アカガシ	5.0	4.0	335	アカガシ	5.5	6.5	416	コナラ	3.0 2.2	
256	アカガシ	4.0	4.5	336	アカガシ	5.5	5.0	417	コナラ	3.0 3.3	
257	アカガシ	4.3	3.5	337	アカガシ	4.5	4.5	418	コナラ	3.0 3.7	
258	アカガシ	4.5	4.5	338	アカガシ	5.5	8.0	419	コナラ	3.0 3.3	
259	アカガシ	4.5	4.0 6.0	339	アカガシ	4.5	4.0	420	コナラ	3.0 3.5	
260	アカガシ	5.0	10.0	340	アカガシ	5.0	6.0	421	コナラ	3.5 2.5	
261	アカガシ	5.0	6.0	341	アカガシ	5.5	5.5	422	コナラ	3.0 3.0	
262	アカガシ	4.0	3.0	342	アカガシ	5.5	5.0	423	コナラ	2.5 2.5	
263	アカガシ	5.0	5.5	343	アカガシ	3.5	2.0 3.5	424	コナラ	2.5 2.8	
264	アカガシ	4.5	5.5	344	アカガシ	5.0	5.0	425	コナラ	2.5 2.8	
265	アカガシ	5.0	6.0	345	アカガシ	5.0	6.0	426	コナラ	2.5 2.0	
266	アカガシ	5.0	7.0	346	アカガシ	5.0	5.0 4.5	427	コナラ	3.0 3.5	
267	アカガシ	4.5	7.0	347	アカガシ	4.8	4.0	428	コナラ	2.8 2.8	
268	アカガシ	5.0	7.0	348	アカガシ	5.5	7.0 6.0	429	コナラ	2.5 1.8	
269	アカガシ	5.0	5.5	349	アカガシ	3.5	4.0	430	コナラ	2.5 2.5	
270	アカガシ	5.0	4.0	350	アカガシ	4.5	6.5 6.0	431	コナラ	2.5 2.8	
271	アカガシ	3.0	3.0	351	アカガシ	4.5	9.0	432	コナラ	2.5 2.0	
272	アカガシ	4.0	5.5	352	アカガシ	4.5	6.5	433	コナラ	3.0 2.5	
273	アカガシ	5.0	7.0	353	アカガシ	3.5	8.0	434	コナラ	2.5 2.4	
274	アカガシ	4.5	3.5	354	アカガシ	3.0	3.0 2.0	435	コナラ	2.5 3.8	
275	アカガシ	4.5	5.5	355	アカガシ	3.5	4.0	436	コナラ	3.0 2.5	
276	アカガシ	5.0	4.5 5.5	356	アカガシ	3.5	5.0	437	コナラ	2.5 1.6	
277	アカガシ	5.0	7.5	357	アカガシ	3.5	3.5	438	コナラ	3.0 2.5	
278	アカガシ	4.2	5.5 5.0	358	アカガシ	3.5	4.5	439	コナラ	3.0 3.3	
279	アカガシ	5.0	8.5	359	アカガシ	3.0	2.0	440	コナラ	3.5 5.5	
280	アカガシ	5.0	4.0	360	アカガシ	3.5	4.5	441	コナラ	3.0 2.8 2.0	
281	アカガシ	2.5	2.0	361	アカガシ	2.5	2.0	442	コナラ	3.5 3.5	
282	アカガシ	5.5	7.5	362	アカガシ	4.0	8.0	443	コナラ	3.0 3.5	
283	アカガシ	5.5	7.0 6.5	363	アカガシ	3.5	4.5	444	コナラ	2.5 2.8	
284	アカガシ	5.0	5.0	364	アカガシ	3.0	3.0	445	コナラ	2.5 2.8	
285	アカガシ	5.5	7.5 6.0	365	クスノキ	5.5	9.0 7.5 8.0 14.0	446	コナラ	3.8 3.8	
286	アカガシ	5.5	7.0 6.5	366	アカツ	6.0	20.0	447	コナラ	2.5 1.5 2.0	
287	アカガシ	3.5	3.0	367	アカツ	6.0	19.0 17.0 28.0	448	コナラ	2.5 2.0 2.0	
288	アカガシ	5.5	7.0	368	クスノキ	3.0	3.5	449	コナラ	2.3 2.5	
289	アカガシ	5.5	10.0	369	クスノキ	3.0	3.5 2.0 2.0 2.0	450	コナラ	2.5 2.3	
290	アカガシ	5.5	8.0 7.0 3.5	370	アカツ	2.5	17.0	451	コナラ	3.0 3.5 1.0	
291	アカガシ	5.5	4.0 4.0	371	クハナナドキ	2.0	5.0 4.0 2.5 5.0	452	コナラ	3.0 4.2	
292	アカガシ	5.5	3.5 6.0 3.0	372	ナギノヒ	12.0	35.0	453	コナラ	3.0 3.5	
293	アカガシ	5.0	4.0	373	ナギノヒ	4.5	7.5	454	コナラ	2.0 1.0	
294	アカガシ	5.5	6.0	374	ナギノヒ	4.0	4.0	455	コナラ	2.5 3.5	
295	アカガシ	5.5	6.0	375	ナギノヒ	3.0	2.0	456	コナラ	2.3 2.0	
296	アカガシ	5.5	7.0	376	ナギノヒ	3.0	2.5	457	コナラ	3.0 2.8	
297	アカガシ	5.5	7.5	377	ナギノヒ	3.5	4.5	458	コナラ	2.5 3.3	
298	アカガシ	3.5	4.0	378	ナギノヒ	4.5	3.5	459	コナラ	2.3 2.2	
299	アカガシ	5.0	6.0 6.5 2.5 7.0	379	ナギノヒ	3.0	3.0	460	コナラ	2.2 2.5	
300	アカガシ	4.5	6.5	380	ナギノヒ	3.5	6.0	461	コナラ	2.2 2.0	
301	アカガシ	2.5	3.0	381	ナギノヒ	4.2	6.5	462	コナラ	2.5 2.8	
302	アカガシ	2.0	1.5	382	ナギノヒ	4.0	4.5	463	コナラ	2.0 1.8	
303	アカガシ	2.5	1.5	383	コナラ	1.8	1.5	464	コナラ	2.5 2.0	
304	アカガシ	2.5	1.5 1.0 1.5	384	コナラ	2.5	2.8	465	コナラ	2.5 2.0 2.5 1.8	
305	アカガシ	4.5	6.0	385	コナラ	2.5	3.0	466	コナラ	2.2 2.5	
306	アカガシ	4.5	4.0	386	コナラ	2.5	2.5	467	コナラ	2.5 2.3 2.5	
307	アカガシ	4.5	5.0 5.0 7.0	387	コナラ	2.5	2.0	468	コナラ	2.3 2.5 2.3 1.5	
308	アカガシ	5.5	8.0	388	コナラ	2.6	2.5	469	コナラ	2.8 2.3 2.5	
309	アカガシ	5.0	7.5	389	コナラ	2.5	2.8	470	コナラ	2.8 3.0	
310	アカガシ	3.5	3.0	390	コナラ	2.5	3.3	471	コナラ	3.0 3.5	
311	アカガシ	4.5	3.5	391	コナラ	2.5	3.0	472	コナラ	2.5 1.5	
312	アカガシ	5.5	5.0	392	コナラ	2.8	3.3	473	コナラ	2.5 1.5	
313	アカガシ	3.5	2.5	393	コナラ	2.8	3.5	474	コナラ	3.0 2.8	
314	アカガシ	5.5	9.0	394	コナラ	3.0	2.8	475	コナラ	3.5 2.8	
315	アカガシ	5.0	9.0	395	コナラ	3.5	3.0	476	コナラ	3.3 4.0	
316	アカガシ	4.5	7.5	396	コナラ	3.0	2.5	477	コナラ	2.3 2.3	
317	アカガシ	4.5	6.5	397	コナラ	2.8	2.8	478	コナラ	3.0 3.5 2.5	
318	アカガシ	4.5	6.5 3.5	398	コナラ	2.5	2.3	479	コナラ	3.5 2.5	
319	アカガシ	4.5	7.5	399	コナラ	2.6	2.8	480	コナラ	3.0 2.8	
320	アカガシ	4.0	4.5	400	コナラ	3.0	3.3	481	コナラ	2.5 2.0	
321	アカガシ	3.0	6.5	401	コナラ	3.0	2.8	482	コナラ	2.5 1.8	
322	アカガシ	4.0	7.5	402	コナラ	3.0	3.0	483	コナラ	3.0 2.8	
323	アカガシ	4.5	7.0	403	コナラ	3.0	2.3	484	アカガシ	2.5 7.0	
				404	コナラ	3.0	2.5	485	アカガシ	2.5 3.0	
								486	アカガシ	3.0 4.0	

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (3/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
487	アカカシ	2.2	2.0	565	ナキハヒ	4.0	5.0	641	ヤマナシ	7.0	4.5
488	アカカシ	2.0	2.5	566	ナキハヒ	3.0	2.5	642	ヤマナシ	5.0	4.0
489	アカカシ	2.5	3.0	567	ナキハヒ	3.2	3.0	643	ヤマナシ	4.5	3.0
490	アカカシ	2.3	3.5	568	ナキハヒ	3.5	4.0	644	ヤマナシ	8.0	7.5
491	アカカシ	2.8	5.5 3.0	569	ナキハヒ	4.0	5.0	645	ヤマナシ	5.0	5.5
492	アカカシ	2.5	2.5	570	ナキハヒ	2.8	3.0	646	ヤマナシ	6.0	6.5
493	アカカシ	2.0	2.5	571	ナキハヒ	2.0	1.5	647	ヤマナシ	4.5	4.5 5.0
494	アカカシ	2.0	2.0 1.5 1.5	572	ナキハヒ	3.5	4.5	648	ヤマナシ	7.0	8.0
495	アカカシ	2.3	2.0	573	ナキハヒ	3.0	4.5	649	ヤマナシ	6.5	6.5 3.0
496	アカカシ	2.0	2.0	574	ナキハヒ	2.8	4.0	650	ヤマナシ	8.0	7.0
497	アカカシ	2.0	3.0	575	ナキハヒ	5.0	8.5 4.5	651	ヤマナシ	6.0	5.0
498	アカカシ	2.0	3.0	576	ナキハヒ	7.0	14.0 6.0 7.0 6.0	652	ヤマナシ	8.0	7.0
499	アカカシ	2.0	3.0	577	ウツクス	3.5	11.0 9.5	653	ヤマナシ	7.0	7.5
500	アカカシ	2.0	3.5	578	ナキハヒ	3.0	4.0	654	ヤマナシ	7.0	10.0
501	ヒノキ	5.0	9.0	579	ナキハヒ	2.0	4.0	655	ヤマナシ	9.0	9.0
502	コナラ	3.2	5.0 3.0	580	アカカシ	2.0	4.0	656	ヤマナシ	8.0	6.5
503	コナラ	3.0	6.0	581	アカカシ	7.0	28.0 27.0	657	ヤマナシ	7.0	7.0
504	コナラ	3.0	4.0	582	ヒノキ	2.8	7.0 5.0 2.5	658	ヤマナシ	5.0	3.5
505	コナラ	3.0	3.0	583	クマツ	5.0	18.0	659	ヤマナシ	7.0	6.0
506	コナラ	3.0	5.0 3.0	584	ウツクス	5.0	13.5 10.0	660	ヤマナシ	7.0	5.5
507	コナラ	3.0	3.0	585	ウツクス	2.6	3.5 4.0 4.0	661	ヤマナシ	5.5	7.0
508	コナラ	3.0	3.0	586	ナキハヒ	6.0	7.0 7.0 4.5	662	ヤマナシ	4.5	4.5
509	コナラ	3.0	3.0 2.0	587	ナキハヒ	7.0	11.0	663	ヤマナシ	4.0	3.0
510	コナラ	3.0	5.0	588	ナキハヒ	3.5	3.0 2.8 4.5 1.5	664	ヤマナシ	4.0	4.0
511	コナラ	3.4	8.0 8.0	589	ナキハヒ	4.0	8.0	665	ヤマナシ	3.0	2.5
512	コナラ	3.0	4.0	590	ナキハヒ	7.0	12.5	666	ヤマナシ	3.5	3.0
513	コナラ	3.0	3.0	591	ナキハヒ	10.0	9.5 10.0 5.0 10.0 8.0 15.0 6.5 4.0	667	ヤマナシ	4.5	4.0
514	コナラ	3.0	6.0					668	ヤマナシ	4.0	4.0
515	コナラ	3.0	3.0					669	ヤマナシ	4.0	3.0
516	コナラ	3.0	7.0					670	ヤマナシ	2.5	2.0
517	コナラ	3.0	6.0	592	ナキハヒ	2.0	7.0	671	ヤマナシ	4.0	4.0
518	コナラ	3.0	6.0	593	ナキハヒ	7.0	8.0 5.5	672	ヤマナシ	3.0	2.0
519	コナラ	3.2	8.0	594	ナキハヒ	8.0	9.0 4.0 5.5 9.5	673	ヤマナシ	2.5	3.0
520	コナラ	3.0	7.0	595	ナキハヒ	5.0	5.0	674	ヤマナシ	2.5	2.5
521	コナラ	3.0	5.0	596	ナキハヒ	7.0	9.0 10.0	675	ヤマナシ	4.0	3.0
522	コナラ	3.0	4.0	597	ナキハヒ	8.0	10.0 9.0 8.0	676	ヤマナシ	4.0	4.0
523	コナラ	3.0	4.0	598	ナキハヒ	9.0	15.0 4.0 6.0 5.5	677	ヤマナシ	4.5	4.5
524	ヤマナシ	2.5	6.0	599	ナキハヒ	8.0	10.0 10.0 3.5 4.5	678	ヤマナシ	5.0	5.0
525	アカカシ	5.0	10.0					679	ヤマナシ	7.0	6.0
526	アカカシ	5.0	9.0	600	アカカシ	6.5	28.0 17.0 21.0 28.0	680	ヤマナシ	4.5	2.5
527	アカカシ	5.0	12.0 7.0	601	ナキハヒ	2.5	5.0	681	ヤマナシ	5.0	3.0
528	アカカシ	5.0	9.0	602	ナキハヒ	2.5	5.0	682	ヤマナシ	5.5	3.5
529	アカカシ	5.0	9.0 8.5	603	アカカシ	2.0	2.0	683	ヤマナシ	5.5	7.5
530	アカカシ	2.5	2.0	604	アカカシ	2.0	2.0	684	ヤマナシ	7.0	6.5
531	アカカシ	2.8	2.0	605	アカカシ	2.0	2.0	685	ヤマナシ	8.0	11.0
532	アカカシ	2.5	2.5 1.5	606	アカカシ	2.5	3.5	686	ヤマナシ	8.0	6.5
533	アカカシ	2.5	2.0 2.0	607	アカカシ	2.0	2.5	687	ヤマナシ	4.0	4.5
534	アカカシ	2.8	4.0	608	アカカシ	2.5	2.5	688	ヤマナシ	3.0	2.7
535	アカカシ	2.3	1.5 1.5 1.5	609	アカカシ	2.5	3.0	689	ヤマナシ	2.5	3.0
536	アカカシ	2.2	2.5 1.0	610	アカカシ	2.8	3.5	690	ヤマナシ	4.5	7.0
537	アカカシ	2.0	1.5	611	アカカシ	2.5	3.0 2.5	691	ヤマナシ	4.0	4.0
538	アカカシ	2.0	2.0 1.0	612	アカカシ	2.2	2.5	692	ヤマナシ	9.0	8.5
539	アカカシ	2.0	2.0	613	アカカシ	2.0	2.5	693	ヤマナシ	9.0	9.0
540	アカカシ	2.0	3.5 2.5	614	アカカシ	2.5	3.5	694	ヤマナシ	9.0	8.0
541	ナキハヒ	3.0	6.5	615	ササ	3.0	7.0 4.5 1.0 2.5	695	ヤマナシ	8.0	6.5
542	ナキハヒ	3.0	3.0	616	アカカシ	2.8	3.5	696	ヤマナシ	6.0	7.0
543	ナキハヒ	3.0	6.5	617	アカカシ	3.0	6.5	697	ヤマナシ	7.5	6.0 7.0
544	ナキハヒ	2.2	4.0	618	アカカシ	2.8	5.0	698	ヤマナシ	6.0	3.5
545	ウツクス	2.5	5.0	619	ササ	5.0	15.0	699	ヤマナシ	9.0	10.0
546	ササ 属の一種	3.0	3.5 5.0 2.5	620	ササ	4.8	16.0	700	ヤマナシ	4.0	3.0
547	ササ 属の一種	3.6	4.0 6.0 4.0 5.0	621	アカカシ	6.0	18.0 15.0 16.0 15.0	701	ヤマナシ	8.0	8.5
548	ササ 属の一種	4.0	6.0 4.5	622	クマツ	5.0	35.0	702	ヤマナシ	9.0	9.5
549	ササ 属の一種	3.8	8.0 6.5 6.0 5.5	623	ヤマナシ	4.0	4.0	703	ヤマナシ	4.0	6.5
550	ササ 属の一種	3.0	4.5	624	ヤマナシ	4.5	6.5	704	ヤマナシ	10.0	11.0
551	ササ 属の一種	2.8	6.5 2.5 5.5 5.6	625	ヤマナシ	6.0	7.0	705	ヤマナシ	6.0	5.0
552	ヤマナシ	3.0	7.0 5.5	626	ヤマナシ	7.0	7.0	706	ヤマナシ	10.0	11.5
553	ヤマナシ	2.8	3.0 2.5 5.0 3.0	627	ヤマナシ	7.0	7.0	707	ヤマナシ	10.0	13.5
554	アカカシ	3.0	5.5 8.0	628	ヤマナシ	7.0	6.0	708	ヤマナシ	9.0	9.0
555	ヤマナシ	2.3	3.5 3.0 2.0 2.0	629	ヤマナシ	7.0	6.0	709	ヤマナシ	4.5	5.5
556	ナキハヒ	6.0	6.5	630	ヤマナシ	6.0	8.5	710	ヤマナシ	4.5	7.5
557	ナキハヒ	6.0	12.0	631	ヤマナシ	7.0	7.5	711	ヤマナシ	4.0	3.5
558	ナキハヒ	6.0	15.0	632	ヤマナシ	6.0	5.5 3.5	712	ヤマナシ	3.5	4.5
559	ナキハヒ	3.0	3.0	633	ヤマナシ	3.0	3.0	713	ヤマナシ	3.0	2.0
560	ナキハヒ	2.5	2.0	634	ヤマナシ	6.5	6.0	714	ヤマナシ	2.5	2.5
561	ナキハヒ	3.5	4.5	635	ヤマナシ	3.5	2.6	715	ヤマナシ	4.0	3.5
562	ナキハヒ	2.8	2.0	636	ヤマナシ	6.0	4.5	716	ヤマナシ	3.5	2.5
563	ナキハヒ	3.5	4.5	637	ヤマナシ	5.5	6.0	717	ヤマナシ	4.0	4.0
564	ナキハヒ	4.0	6.0	638	ヤマナシ	5.5	4.5	718	ヤマナシ	4.0	3.5
				639	ヤマナシ	8.0	7.5	719	ヤマナシ	3.5	2.8 2.5
				640	ヤマナシ	7.0	5.0	720	ヤマナシ	3.0	2.0
								721	ヤマナシ	4.0	4.0
								722	ヤマナシ	3.5	2.5

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (4/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
723	ヤマナシ	4.0	3.0	805	ヤマナシ	5.5	7.0	887	ヤマナシ	4.0	4.0
724	ヤマナシ	5.5	5.8	806	ヤマナシ	7.0	9.0	888	ヤマナシ	8.0	8.0
725	ヤマナシ	5.0	6.5	807	ヤマナシ	6.0	7.5	889	ヤマナシ	5.0	7.5
726	ヤマナシ	4.5	5.0	808	ヤマナシ	10.0	14.0	890	ヤマナシ	6.0	8.0
727	ヤマナシ	3.0	2.3	809	ヤマナシ	10.0	13.0	891	ヤマナシ	4.0	5.5
728	ヤマナシ	4.5	3.3 4.6	810	ヤマナシ	5.5	7.0	892	ヤマナシ	6.5	7.0
729	ヤマナシ	3.0	2.8	811	ヤマナシ	10.0	12.0	893	ヤマナシ	4.0	3.5
730	ヤマナシ	4.0	3.3	812	ヤマナシ	5.0	8.0	894	ヤマナシ	9.0	11.0
731	ヤマナシ	6.5	8.5	813	ヤマナシ	4.6	6.0	895	ヤマナシ	4.0	5.0
732	ヤマナシ	4.0	6.5	814	ヤマナシ	4.8	5.0	896	ヤマナシ	4.0	3.5
733	ヤマナシ	3.5	3.5	815	ヤマナシ	6.0	7.0	897	ヤマナシ	4.0	3.5
734	ヤマナシ	3.5	2.0	816	ヤマナシ	4.0	4.5	898	ヤマナシ	3.5	3.0
735	ヤマナシ	2.5	2.8	817	ヤマナシ	3.0	2.5	899	ヤマナシ	8.0	10.0
736	ヤマナシ	3.0	3.3	818	ヤマナシ	2.5	1.8	900	サ	11.7	31.0
737	ヤマナシ	3.0	2.5	819	ヤマナシ	2.5	2.0	901	サ	11.7	24.0
738	ヤマナシ	4.0	5.5	820	ヤマナシ	2.5	1.5	902	サ	4.0	5.0
739	ヤマナシ	5.5	4.0	821	ヤマナシ	3.0	2.0	903	サ	5.5	13.3
740	ヤマナシ	5.0	6.0 6.5	822	ヤマナシ	3.0	4.0	904	サ	11.0	27.5
741	ヤマナシ	9.0	12.0	823	ヤマナシ	3.0	3.0	905	サ	12.0	39.0
742	ヤマナシ	2.5	3.0	824	ヤマナシ	3.0	2.8	906	サ	12.5	26.0
743	ヤマナシ	5.5	7.0	825	ヤマナシ	3.0	3.0	907	サ	11.7	22.0
744	ヤマナシ	10.0	11.0	826	ヤマナシ	3.0	4.5	908	サ	10.0	20.0
745	ヤマナシ	11.0	17.0	827	ヤマナシ	5.5	6.5	909	サ	10.0	37.0 12.0
746	ヤマナシ	10.0	16.0	828	ヤマナシ	5.0	6.5	910	サ	7.0	32.0
747	ヤマナシ	4.5	7.0	829	ヤマナシ	9.0	11.0 5.0	911	サ	6.0	10.0
748	ヤマナシ	6.0	9.0	830	ヤマナシ	10.0	10.0	912	サ	5.0	6.0
749	ヤマナシ	3.0	3.5	831	ヤマナシ	10.0	12.0 11.0	913	サ	8.0	30.0 3.0 7.0 14.0
750	ヤマナシ	12.0	16.0	832	ヤマナシ	7.5	8.5	914	サ	6.0	10.0
751	ヤマナシ	12.0	17.0	833	ヤマナシ	3.0	3.0	915	サ	6.0	8.0 11.5
752	ヤマナシ	3.5	3.5	834	ヤマナシ	3.5	4.0	916	サ	4.5	7.0 4.0
753	ヤマナシ	3.5	2.5 1.0 1.0	835	ヤマナシ	2.5	2.0	917	アカハシ	9.0	13.0 25.0 15.0 12.0
754	ヤマナシ	5.5	6.5	836	ヤマナシ	8.0	11.0	918	アカハシ	9.0	13.0
755	ヤマナシ	7.5	12.0	837	ヤマナシ	10.0	11.5	919	アカハシ	9.0	14.0
756	ヤマナシ	5.0	7.0	838	ヤマナシ	7.0	6.5	920	アカハシ	9.0	6.0 10.0 9.0 12.0
757	ヤマナシ	5.5	9.0	839	ヤマナシ	10.0	14.0	921	アカハシ	9.0	9.0
758	ヤマナシ	3.5	5.0	840	ヤマナシ	11.0	15.0	922	アカハシ	8.0	14.0 11.0 10.0
759	ヤマナシ	5.5	7.0	841	ヤマナシ	6.0	10.0	923	アカハシ	3.5	3.5
760	ヤマナシ	8.5	14.0	842	ヤマナシ	8.0	13.0	924	アカハシ	3.0	3.0
761	ヤマナシ	8.0	13.0	843	ヤマナシ	8.5	11.0	925	アカハシ	3.0	3.5
762	ヤマナシ	6.0	8.0	844	ヤマナシ	8.0	10.0	926	アカハシ	9.0	11.0
763	ヤマナシ	4.0	3.5	845	ヤマナシ	8.0	9.5	927	アカハシ	8.0	11.0
764	ヤマナシ	4.0	5.0	846	ヤマナシ	5.0	6.0	928	アカハシ	9.0	13.0
765	ヤマナシ	3.0	3.0	847	ヤマナシ	9.0	15.5	929	アカハシ	9.0	11.0
766	ヤマナシ	2.5	1.8	848	ヤマナシ	5.5	6.0	930	アカハシ	8.0	13.0
767	ヤマナシ	2.5	2.0	849	ヤマナシ	9.0	12.5	931	アカハシ	5.5	10.5
768	ヤマナシ	4.0	4.0	850	ヤマナシ	6.5	8.0	932	アカハシ	3.0	4.0
769	ヤマナシ	8.0	8.0 9.0	851	ヤマナシ	4.0	4.5 6.0 2.0	933	アカハシ	2.8	4.5 4.0
770	ヤマナシ	8.0	9.0	852	ヤマナシ	3.0	2.5	934	アカハシ	2.5	3.0
771	ヤマナシ	7.0	5.0	853	ヤマナシ	4.0	3.0	935	アカハシ	2.5	2.5
772	ヤマナシ	6.0	5.5	854	ヤマナシ	4.0	5.0	936	アカハシ	3.0	3.0
773	ヤマナシ	6.0	4.5	855	ヤマナシ	7.0	9.0	937	アカハシ	2.5	2.0
774	ヤマナシ	4.0	2.2	856	ヤマナシ	5.0	6.0	938	アカハシ	2.5	2.0
775	ヤマナシ	6.0	7.0 5.0	857	ヤマナシ	7.0	11.5	939	アカハシ	4.0	14.0 8.0
776	ヤマナシ	5.0	5.0	858	ヤマナシ	10.0	16.0	940	アカハシ	3.5	11.0
777	ヤマナシ	4.5	5.0	859	ヤマナシ	12.0	18.0	941	アカハシ	2.8	3.5
778	ヤマナシ	4.5	5.0	860	ヤマナシ	12.0	22.0	942	アカハシ	2.8	5.5
779	ヤマナシ	6.5	7.0	861	ヤマナシ	4.0	5.0	943	アカハシ	3.0	6.0
780	ヤマナシ	7.0	8.0	862	ヤマナシ	8.0	9.0	944	アカハシ	2.5	3.5 3.0
781	ヤマナシ	7.0	5.0	863	ヤマナシ	5.0	7.0	945	アカハシ	2.2	3.5
782	ヤマナシ	8.0	9.0	864	ヤマナシ	3.5	3.0	946	アカハシ	2.2	3.5
783	ヤマナシ	7.0	14.0	865	ヤマナシ	4.5	5.0	947	アカハシ	2.3	2.5
784	ヤマナシ	4.5	4.0	866	ヤマナシ	3.0	2.5	948	アカハシ	4.5	8.5
785	ヤマナシ	4.0	3.5	867	ヤマナシ	2.5	2.5	949	アカハシ	4.0	10.5
786	ヤマナシ	8.0	11.5	868	ヤマナシ	3.0	3.5 2.5 1.0	950	アカハシ	4.0	11.0
787	ヤマナシ	3.5	3.0	869	ヤマナシ	4.5	5.0	951	アカハシ	4.0	8.5
788	ヤマナシ	6.5	5.5	870	ヤマナシ	4.0	3.5	952	アカハシ	2.0	2.5
789	ヤマナシ	7.5	6.0	871	ヤマナシ	4.5	5.0	953	アカハシ	2.0	2.0
790	ヤマナシ	6.5	7.0	872	ヤマナシ	3.5	5.0	954	アカハシ	2.5	2.5
791	ヤマナシ	3.0	2.0	873	ヤマナシ	10.0	9.0	955	アカハシ	2.5	10.0
792	ヤマナシ	6.0	4.0	874	ヤマナシ	6.0	7.0	956	アカハシ	5.0	9.0
793	ヤマナシ	8.0	8.0	875	ヤマナシ	5.0	5.0	957	アカハシ	5.0	12.0
794	ヤマナシ	8.0	7.0	876	ヤマナシ	3.0	4.5	958	アカハシ	5.0	9.5 8.0
795	ヤマナシ	5.0	5.0	877	ヤマナシ	9.0	10.0	959	アカハシ	5.5	9.0
796	ヤマナシ	8.5	12.0 11.0	878	ヤマナシ	8.0	10.5	960	アカハシ	5.5	8.5
797	ヤマナシ	4.0	3.0	879	ヤマナシ	8.0	10.0	961	アカハシ	4.8	9.0
798	ヤマナシ	5.0	4.0	880	ヤマナシ	8.0	9.0	962	アカハシ	4.0	8.5
799	ヤマナシ	4.0	3.0	881	ヤマナシ	8.0	9.0	963	アカハシ	5.0	7.5
800	ヤマナシ	5.5	6.0	882	ヤマナシ	8.0	10.0 10.0	964	アカハシ	5.0	10.0 9.0 10.0
801	ヤマナシ	8.0	9.0	883	ヤマナシ	10.0	13.0	965	アカハシ	4.5	9.0
802	ヤマナシ	8.0	7.5	884	ヤマナシ	7.0	12.0	966	アカハシ	5.0	10.0
803	ヤマナシ	3.5	3.0	885	ヤマナシ	6.0	5.5				
804	ヤマナシ	4.0	4.0 2.5	886	ヤマナシ	7.0	7.0				

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト(5/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)				No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)				No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)			
967	アカカシ	5.0	7.0	8.0			1047	ハマナツ	4.0	2.5			1129	ハマナツ	2.5	2.5	2.0	2.0	1.2	
968	アカカシ	2.5	6.5				1048	ハマナツ	7.0	5.0	2.0									
969	アカカシ	2.0	3.0				1049	ハマナツ	4.5	3.0			1130	ハマナツ	2.5	1.5				
970	アカカシ	3.8	7.5				1050	ハマナツ	3.5	2.0			1131	ハマナツ	2.0	2.0				
971	アカバネ	5.0	21.0				1051	ハマナツ	4.0	1.7			1132	ハマナツ	3.0	2.0				
972	ナギ 属の一種	3.5	3.5	7.0	6.0	3.0	1052	ハマナツ	3.0	1.5			1133	ハマナツ	2.5	1.6				
			6.0	4.5			1053	ハマナツ	3.0	2.0			1134	ハマナツ	4.0	2.0				
973	ナギ 属の一種	2.8	4.0	3.5	4.0	3.0	1054	ハマナツ	5.0	3.3			1135	ハマナツ	4.0	3.0				
			3.5	4.5			1055	ハマナツ	5.0	3.5			1136	ハマナツ	4.0	2.5				
974	クロマツ	4.5	11.0	9.5	11.0		1056	ハマナツ	4.0	3.0			1137	ハマナツ	4.0	2.0				
975	エノキ	2.8	3.0				1057	ハマナツ	3.5	1.5			1138	ハマナツ	4.0	2.2				
976	アカカシ	2.2	3.0				1058	ハマナツ	4.0	2.5			1139	ハマナツ	3.5	1.5				
977	クロマツ	3.2	13.0				1059	ハマナツ	5.0	3.0			1140	ハマナツ	3.5	1.5				
978	ササ	4.5	9.5	2.8			1060	ハマナツ	5.0	3.5			1141	ハマナツ	3.5	2.5				
979	アカカシ	2.8	3.0	3.0			1061	ハマナツ	4.5	2.2			1142	ハマナツ	4.0	3.0				
980	アカカシ	3.0	4.0				1062	ハマナツ	4.0	2.4			1143	ハマナツ	3.5	1.5				
981	アカカシ	3.0	3.5				1063	ハマナツ	5.0	5.0			1144	ハマナツ	4.0	2.2				
982	アカカシ	2.5	3.0				1064	ハマナツ	5.0	3.0			1145	ハマナツ	3.5	2.0				
983	ウツギsp.	3.5	6.0	5.5	2.0	2.0	1065	ハマナツ	3.5	1.5			1146	ハマナツ	4.0	2.5				
984	アカカシ	2.5	4.0				1066	ハマナツ	6.0	4.5			1147	ハマナツ	4.0	2.3				
985	アカカシ	2.5	3.5				1067	ハマナツ	5.0	2.0	2.8		1148	ハマナツ	3.5	1.5				
986	アカマツ	2.5	13.0				1068	ハマナツ	4.5	2.2			1149	ハマナツ	3.0	1.5				
987	スズナ	2.5	5.5				1069	ハマナツ	5.0	3.5			1150	ハマナツ	4.0	2.5				
988	アカカシ	2.0	3.5				1070	ハマナツ	3.0	1.8			1151	ハマナツ	4.5	2.7				
989	エノキ	4.0	12.0				1071	ハマナツ	3.0	1.5			1152	ハマナツ	4.0	2.5				
990	クワガキ	4.0	9.5				1072	ハマナツ	4.0	2.5			1153	ハマナツ	3.5	2.0				
991	ナギハヒ	2.8	8.0				1073	ハマナツ	4.5	1.8	1.8	2.5	1154	ハマナツ	3.0	1.7	1.5	1.5		
992	ササ	6.0	8.0	6.0			1074	ハマナツ	4.0	2.0			1155	ハマナツ	4.0	2.0				
993	ササ	3.8	4.0				1075	ハマナツ	4.0	2.5			1156	ハマナツ	4.0	2.0				
994	アカカシ	2.2	2.5	1.5	1.0	1.5	1076	ハマナツ	4.5	3.0			1157	ハマナツ	3.5	2.2				
995	スズナ	6.0	14.0				1077	ハマナツ	4.0	1.8	1.5		1158	ハマナツ	3.5	3.0	2.2			
996	アカカシ	2.8	5.5	3.5	5.0		1078	ハマナツ	4.0	2.3			1159	ハマナツ	3.5	2.0				
997	アカカシ	3.0	1.8				1079	ハマナツ	4.5	2.4			1160	ハマナツ	3.5	1.8				
998	アカカシ	3.0	2.3				1080	ハマナツ	4.0	2.0			1161	ハマナツ	3.5	1.8				
999	アカカシ	3.5	3.3				1081	ハマナツ	3.5	2.0			1162	ハマナツ	4.5	2.8				
1000	アカカシ	2.5	1.5				1082	ハマナツ	5.0	1.8			1163	ハマナツ	4.0	3.0				
1001	アカカシ	3.5	2.0				1083	ハマナツ	3.5	2.0			1164	ハマナツ	4.5	3.0				
1002	アカカシ	3.0	1.7				1084	ハマナツ	4.5	1.5			1165	ハマナツ	4.0	2.0				
1003	アカカシ	4.0	2.0				1085	ハマナツ	4.0	3.0			1166	ハマナツ	5.0	3.0				
1004	アカカシ	4.0	2.5				1086	ハマナツ	5.0	3.0			1167	ハマナツ	3.0	1.6				
1005	アカカシ	4.0	2.3	2.5			1087	ハマナツ	4.0	1.5			1168	ハマナツ	5.0	2.8				
1006	アカカシ	4.5	2.8				1088	ハマナツ	4.0	1.5			1169	ハマナツ	5.0	3.0				
1007	アカカシ	3.0	1.5				1089	ハマナツ	4.0	2.3	1.4		1170	ハマナツ	5.0	3.5	2.5			
1008	アカカシ	4.0	2.5				1090	ハマナツ	4.0	2.0			1171	ハマナツ	4.5	2.5	2.5	1.0		
1009	アカカシ	2.5	1.5				1091	ハマナツ	4.5	2.5			1172	ハマナツ	5.0	3.5				
1010	アカカシ	3.5	2.3				1092	ハマナツ	4.0	1.8	1.3		1173	ハマナツ	5.0	3.5				
1011	アカカシ	5.5	7.0				1093	ハマナツ	4.0	2.4			1174	ハマナツ	4.5	3.0				
1012	アカカシ	5.5	7.5				1094	ハマナツ	2.5	1.5			1175	ハマナツ	5.0	4.0				
1013	アカカシ	3.0	1.8				1095	ハマナツ	4.0	2.0	1.2	1.0	1176	ハマナツ	4.5	3.0				
1014	アカカシ	3.0	2.5				1096	ハマナツ	3.0	1.7			1177	ハマナツ	3.5	2.5				
1015	アカカシ	2.5	1.8				1097	ハマナツ	3.5	2.0			1178	ハマナツ	5.0	3.3				
1016	アカカシ	3.0	1.8				1098	ハマナツ	3.0	1.5			1179	ハマナツ	2.5	1.8	1.5	1.2	1.0	
1017	アカカシ	3.0	2.0	1.3			1099	ハマナツ	3.0	2.0					0.8					
1018	アカカシ	3.5	2.0				1100	ハマナツ	5.0	2.8			1180	ハマナツ	2.5	1.8				
1019	アカカシ	3.5	5.0				1101	ハマナツ	4.0	1.5			1181	ハマナツ	3.0	1.8				
1020	アカカシ	3.0	1.5				1102	ハマナツ	4.0	1.7			1182	ハマナツ	3.0	1.5				
1021	アカカシ	3.0	2.0				1103	ハマナツ	4.0	2.5			1183	ハマナツ	3.5	3.5				
1022	アカカシ	3.0	3.0				1104	ハマナツ	3.5	2.2			1184	ハマナツ	3.5	1.6				
1023	アカカシ	4.0	2.0	2.5	1.5		1105	ハマナツ	4.0	2.5			1185	ハマナツ	3.5	1.5				
1024	アカカシ	3.5	2.0				1106	ハマナツ	3.5	2.0			1186	ハマナツ	4.0	1.8				
1025	アカカシ	3.5	1.5				1107	ハマナツ	3.5	1.8			1187	ハマナツ	3.5	1.8				
1026	アカカシ	3.5	2.0	2.4	2.0		1108	ハマナツ	3.5	1.8			1188	ハマナツ	3.5	2.5				
1027	アカカシ	3.0	1.5				1109	ハマナツ	4.0	2.0			1189	ハマナツ	3.0	3.0				
1028	アカカシ	3.0	2.0	2.4			1110	ハマナツ	4.0	3.0			1190	ハマナツ	3.5	1.8				
1029	アカカシ	3.0	1.5				1111	ハマナツ	4.0	3.0			1191	ハマナツ	3.5	1.8				
1030	アカカシ	2.5	1.2				1112	ハマナツ	4.0	3.0			1192	ハマナツ	4.5	4.5				
1031	アカカシ	2.2	6.0				1113	ハマナツ	3.0	1.5			1193	ハマナツ	2.5	1.5				
1032	スズナ	2.5	5.5				1114	ハマナツ	3.0	1.5			1194	ハマナツ	3.0	1.8				
1033	ナギハヒ	3.5	14.0	11.0	11.0		1115	ハマナツ	4.0	2.5	2.0	2.0	1195	ハマナツ	2.5	1.0	1.8			
1034	アカカシ	2.2	3.5	1.5	2.0		1116	ハマナツ	4.0	2.5			1196	ハマナツ	4.0	2.5				
1035	ハマナツ	4.5	2.5				1117	ハマナツ	4.0	2.0			1197	ハマナツ	4.0	3.0				
1036	ハマナツ	4.5	3.3				1118	ハマナツ	4.0	3.0			1198	ハマナツ	3.5	1.8				
1037	ハマナツ	4.0	3.0	2.0			1119	ハマナツ	3.5	1.5			1199	ハマナツ	3.5	2.3				
1038	ハマナツ	5.0	2.8				1120	ハマナツ	4.0	1.8	2.0		1200	ハマナツ	2.3	1.3				
1039	ハマナツ	4.5	2.5				1121	ハマナツ	3.0	3.0			1201	ハマナツ	3.0	1.8				
1040	ハマナツ	4.0	2.5				1122	ハマナツ	2.5	2.8	2.0		1202	ハマナツ	3.0	2.5	1.8			
1041	ハマナツ	5.5	4.0				1123	ハマナツ	4.0	4.0			1203	ハマナツ	2.5	1.5	1.7	0.8		
1042	ハマナツ	5.0	4.0				1124	ハマナツ	2.5	2.0			1204	ハマナツ	2.0	1.4	1.4			
1043	ハマナツ	5.5	3.5				1125	ハマナツ	2.5	2.0			1205	ハマナツ	2.5	2.5				
1044	ハマナツ	6.0	5.0				1126	ハマナツ	3.0	2.5			1206	ハマナツ	2.5	1.8	1.5	0.8		
1045	ハマナツ	4.0	2.0				1127	ハマナツ	3.0	2.3			1207	ハマナツ	4.0	1.8				
1046	ハマナツ	4.0	2.5				1128	ハマナツ	2.5	2.5			1208	ハマナツ	3.0	1.5				

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (6/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
1209	ワナナ	3.5	1.5	1290	ワナナ	5.5	3.8	1372	ワナナ	4.5	3.5
1210	ワナナ	4.0	2.5	1291	ワナナ	5.5	4.0	1373	ワナナ	7.0	6.5
1211	ワナナ	3.0	1.5	1292	ワナナ	4.5	3.0	1374	ワナナ	4.5	3.5
1212	ワナナ	5.5	8.0	1293	ワナナ	3.0	1.5	1375	ワナナ	4.0	3.5
1213	ワナナ	3.5	3.0	1294	ワナナ	4.0	3.5	1376	ワナナ	6.0	6.5
1214	ワナナ	2.5	2.5	1295	ワナナ	3.0	2.0	1377	ワナナ	4.5	3.5
1215	ワナナ	5.5	4.0 3.5	1296	ワナナ	4.0	3.0	1378	ワナナ	3.0	2.8
1216	ワナナ	5.0	4.5	1297	ワナナ	5.5	3.0	1379	ワナナ	4.0	3.8
1217	ワナナ	5.0	2.8	1298	ワナナ	3.0	2.0	1380	ワナナ	7.0	6.0
1218	ワナナ	5.0	3.7	1299	ワナナ	3.0	2.0	1381	ワナナ	4.0	3.5
1219	ワナナ	4.5	3.5	1300	ワナナ	6.0	6.5	1382	ワナナ	4.0	3.5
1220	ワナナ	5.0	5.5	1301	ワナナ	7.0	7.0	1383	ワナナ	6.0	6.5
1221	ワナナ	4.5	4.0	1302	ワナナ	7.0	7.5	1384	ワナナ	3.5	3.5
1222	ワナナ	3.5	2.0	1303	ワナナ	7.0	7.0	1385	ワナナ	4.0	3.5
1223	ワナナ	6.0	7.0	1304	ワナナ	6.0	5.5	1386	ワナナ	7.0	5.5
1224	ワナナ	5.0	4.5	1305	ワナナ	5.0	4.0	1387	ワナナ	7.0	6.5
1225	ワナナ	5.5	3.5	1306	ワナナ	4.0	2.5	1388	ワナナ	7.0	7.5
1226	ワナナ	4.0	3.5	1307	ワナナ	4.5	3.5	1389	ワナナ	5.0	3.0
1227	ワナナ	3.2	12.0	1308	ワナナ	4.0	3.5	1390	ワナナ	6.0	5.0
1228	ワナナ	2.2	9.5	1309	ワナナ	4.0	2.8	1391	ワナナ	6.0	4.5
1229	ワナナ	4.5	26.0	1310	ワナナ	6.0	7.0	1392	ワナナ	8.0	5.5
1230	ワナナ	3.5	8.0	1311	ワナナ	5.0	4.5	1393	ワナナ	4.5	3.0
1231	ワナナ	5.5	30.0	1312	ワナナ	4.5	4.5	1394	ワナナ	3.0	2.5
1232	ワナナ	6.0	23.0	1313	ワナナ	5.5	5.5 2.5 3.0	1395	ワナナ	6.0	4.0
1233	ワナナ	3.5	7.5 6.0	1314	ワナナ	5.5	6.5	1396	ワナナ	6.5	4.0
1234	ワナナ	3.2	4.5 4.5 6.0 5.0	1315	ワナナ	5.0	3.5	1397	ワナナ	6.0	4.0
1235	ワナナ	3.0	6.0 5.5	1316	ワナナ	6.0	6.0	1398	ワナナ	7.0	6.0
1236	ワナナ	2.2	5.5	1317	ワナナ	5.5	4.5	1399	ワナナ	7.5	6.5
1237	ワナナ	5.5	16.5	1318	ワナナ	4.0	2.8	1400	ワナナ	8.5	7.0
1238	ワナナ	4.0	11.0	1319	ワナナ	5.0	4.0	1401	ワナナ	6.5	5.0
1239	ワナナ	2.0	5.0	1320	ワナナ	3.5	3.0	1402	ワナナ	7.5	4.5
1240	ワナナ	2.5	1.2	1321	ワナナ	4.5	2.5	1403	ワナナ	9.0	6.5
1241	ワナナ	3.0	2.5	1322	ワナナ	3.0	2.2	1404	ワナナ	8.0	5.0
1242	ワナナ	4.0	3.5	1323	ワナナ	4.0	1.8	1405	ワナナ	9.0	6.0
1243	ワナナ	4.0	3.5	1324	ワナナ	4.0	2.5	1406	ワナナ	9.0	7.5
1244	ワナナ	4.5	4.5	1325	ワナナ	4.0	2.5	1407	ワナナ	5.5	4.0
1245	ワナナ	2.5	1.7	1326	ワナナ	4.5	3.8	1408	ワナナ	3.5	2.5
1246	ワナナ	3.5	2.0	1327	ワナナ	5.0	3.5	1409	ワナナ	3.0	2.0
1247	ワナナ	3.0	1.8	1328	ワナナ	4.5	3.0	1410	ワナナ	4.0	3.5
1248	ワナナ	4.5	3.0	1329	ワナナ	5.0	5.0	1411	ワナナ	7.0	6.0
1249	ワナナ	4.0	2.0	1330	ワナナ	3.5	3.0	1412	ワナナ	7.0	7.5
1250	ワナナ	3.2	1.6	1331	ワナナ	3.5	2.3	1413	ワナナ	6.5	7.0
1251	ワナナ	3.5	2.0	1332	ワナナ	4.0	2.5	1414	ワナナ	3.0	1.5
1252	ワナナ	4.0	2.8	1333	ワナナ	3.5	2.8	1415	ワナナ	3.0	2.0
1253	ワナナ	3.0	2.5	1334	ワナナ	5.0	3.8	1416	ワナナ	3.5	3.0
1254	ワナナ	3.5	2.0	1335	ワナナ	3.0	2.4	1417	ワナナ	3.0	2.0
1255	ワナナ	4.0	3.5	1336	ワナナ	4.5	4.3	1418	ワナナ	3.0	3.0 3.0
1256	ワナナ	2.5	1.0	1337	ワナナ	3.0	3.0	1419	ワナナ	3.5	4.0
1257	ワナナ	3.0	2.2	1338	ワナナ	4.0	3.6	1420	ワナナ	4.5	5.0
1258	ワナナ	4.0	3.0	1339	ワナナ	6.5	6.0	1421	ワナナ	4.0	2.5
1259	ワナナ	3.5	2.5	1340	ワナナ	6.0	7.0	1422	ワナナ	5.5	5.0
1260	ワナナ	3.0	1.5	1341	ワナナ	6.5	8.0	1423	ワナナ	5.5	5.5
1261	ワナナ	4.0	2.5	1342	ワナナ	4.0	3.0	1424	ワナナ	5.5	3.5
1262	ワナナ	3.0	1.5	1343	ワナナ	3.0	2.8	1425	ワナナ	4.5	3.2
1263	ワナナ	6.0	5.5	1344	ワナナ	4.0	3.0	1426	ワナナ	3.5	4.0
1264	ワナナ	6.0	4.5	1345	ワナナ	5.0	5.5	1427	ワナナ	5.5	5.5
1265	ワナナ	5.0	3.5	1346	ワナナ	4.0	3.2	1428	ワナナ	3.0	4.0
1266	ワナナ	3.5	2.2	1347	ワナナ	4.5	3.3	1429	ワナナ	3.5	2.5
1267	ワナナ	4.0	2.8	1348	ワナナ	4.5	4.5 2.4	1430	ワナナ	4.0	2.5
1268	ワナナ	5.0	3.5	1349	ワナナ	4.5	4.5	1431	ワナナ	4.0	3.5
1269	ワナナ	3.5	2.0 1.5	1350	ワナナ	8.0	9.5	1432	ワナナ	2.5	1.8
1270	ワナナ	3.5	2.5	1351	ワナナ	7.0	6.5	1433	ワナナ	3.0	1.5
1271	ワナナ	4.5	3.2	1352	ワナナ	7.0	9.5	1434	ワナナ	3.5	2.3
1272	ワナナ	4.5	3.5 3.0	1353	ワナナ	9.0	8.5	1435	ワナナ	4.0	3.0
1273	ワナナ	3.0	1.5	1354	ワナナ	6.0	7.0	1436	ワナナ	4.5	3.5
1274	ワナナ	2.5	1.2	1355	ワナナ	8.0	8.5	1437	ワナナ	4.0	2.8
1275	ワナナ	4.0	2.5	1356	ワナナ	7.0	6.5	1438	ワナナ	6.0	6.0
1276	ワナナ	3.0	2.2	1357	ワナナ	8.0	11.0	1439	ワナナ	5.0	4.0
1277	ワナナ	4.5	2.5	1358	ワナナ	7.5	7.0	1440	ワナナ	6.0	5.5
1278	ワナナ	4.5	5.0	1359	ワナナ	7.0	6.5	1441	ワナナ	6.5	5.5
1279	ワナナ	3.5	2.0	1360	ワナナ	5.5	4.5	1442	ワナナ	6.5	6.0
1280	ワナナ	5.5	3.8	1361	ワナナ	4.5	5.0	1443	ワナナ	3.5	3.0
1281	ワナナ	3.5	2.5	1362	ワナナ	7.5	8.0	1444	ワナナ	5.0	4.0
1282	ワナナ	3.5	2.0	1363	ワナナ	8.5	6.5	1445	ワナナ	6.5	6.5
1283	ワナナ	4.0	2.5	1364	ワナナ	5.0	3.5	1446	ワナナ	6.0	4.5
1284	ワナナ	5.5	7.0	1365	ワナナ	5.0	4.0	1447	ワナナ	5.0	4.5
1285	ワナナ	3.5	1.8	1366	ワナナ	4.0	3.0	1448	ワナナ	8.5	7.5
1286	ワナナ	3.5	1.8	1367	ワナナ	9.0	8.5	1449	ワナナ	8.5	7.0
1287	ワナナ	5.0	3.0	1368	ワナナ	7.0	7.0	1450	ワナナ	8.0	6.5
1288	ワナナ	7.0	5.0	1369	ワナナ	6.0	5.5	1451	ワナナ	6.5	6.5
1289	ワナナ	7.0	5.5	1370	ワナナ	4.0	3.0	1452	ワナナ	7.5	6.0
				1371	ワナナ	8.5	6.5	1453	ワナナ	5.5	4.5

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (7/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
1454	ハマナツ	9.0	7.0	1536	ハマナツ	6.0	5.5	1597	ハマナツ	3.5	3.0
1455	ハマナツ	8.0	7.5	1537	ハマナツ	4.0	2.5	1598	ハマナツ	3.0	2.0
1456	ハマナツ	6.0	5.0	1538	ハマナツ	5.5	5.0	1599	ハマナツ	3.5	2.8 2.0
1457	ハマナツ	6.0	5.0	1539	ハマナツ	4.5	4.0	1600	ハマナツ	3.0	1.8
1458	ハマナツ	2.5	3.5	1540	ハマナツ	4.5	5.0	1601	ハマナツ	3.5	4.0
1459	ハマナツ	7.5	5.5	1541	ハマナツ	3.0	2.8	1602	ハマナツ	3.5	2.5 1.8 2.0 1.5
1460	ハマナツ	7.5	6.0	1542	ハマナツ	3.0	2.0	1603	ハマナツ	4.5	4.5
1461	ハマナツ	7.5	5.5	1543	ハマナツ	2.5	1.5	1604	ハマナツ	3.5	2.5
1462	ハマナツ	7.5	5.5	1544	ハマナツ	3.0	2.8	1605	ハマナツ	4.5	2.0 3.5 3.5
1463	ハマナツ	5.0	4.5	1545	ハマナツ	2.5	1.5	1606	ハマナツ	4.0	3.0
1464	ハマナツ	8.0	6.0	1546	ハマナツ	3.0	2.3	1607	ハマナツ	4.0	2.5
1465	ハマナツ	8.5	6.0	1547	ハマナツ	5.0	4.5	1608	ハマナツ	4.0	3.0
1466	ハマナツ	8.5	7.0	1548	ハマナツ	2.5	2.5	1609	ハマナツ	4.5	3.5
1467	ハマナツ	9.0	9.0	1549	ハマナツ	4.5	3.5	1610	ハマナツ	4.5	3.5
1468	ハマナツ	8.0	6.5	1550	ハマナツ	5.0	4.0	1611	ハマナツ	4.5	4.5
1469	ハマナツ	5.5	5.0	1551	ツバキ 属の一種	2.2	3.3	1612	ハマナツ	3.5	2.5
1470	ハマナツ	6.0	4.0	1552	ツバキ 属の一種	3.0	2.5	1613	ハマナツ	4.0	3.0
1471	ハマナツ	8.0	6.0	1553	ツバキ 属の一種	2.0	2.0	1614	ハマナツ	3.5	4.0
1472	ハマナツ	5.5	4.2	1554	ツバキ 属の一種	2.8	3.0	1615	ハマナツ	3.5	3.0
1473	ハマナツ	9.0	5.5 3.5	1555	エノキ	2.5	3.0	1616	ハマナツ	3.5	2.8
1474	ハマナツ	9.0	6.5				7.0 5.5 3.0 6.5	1617	ハマナツ	3.5	2.0
1475	ハマナツ	6.0	5.0	1556	ツバキ 属の一種	5.0	6.5 4.0 4.5 7.0	1618	ハマナツ	3.5	3.5
1476	ハマナツ	8.0	7.5				6.0 3.0 6.0	1619	ハマナツ	3.5	2.8
1477	ハマナツ	7.0	6.5	1557	ツバキ 属の一種	2.5	5.5 3.5	1620	ハマナツ	4.0	3.5
1478	ハマナツ	7.0	9.5				4.0 3.5 2.5 2.0	1621	ハマナツ	3.5	3.3
1479	ハマナツ	6.0	9.0	1558	ツバキ 属の一種	3.5	1.3 4.5	1622	ハマナツ	4.0	3.0
1480	ハマナツ	4.0	4.5				4.0 1.5 1.5 1.8	1623	ハマナツ	4.5	3.5
1481	ハマナツ	6.5	9.0				1.8 7.0 1.5 3.5	1624	ハマナツ	3.5	2.5
1482	ハマナツ	4.0	4.0	1559	ツバキ 属の一種	4.5	1.0 11.0 8.5 1.5	1625	ハマナツ	3.5	3.5
1483	ハマナツ	4.0	3.5				1.8 3.5 1.0 1.8	1626	ハマナツ	3.5	2.0
1484	ハマナツ	4.5	5.5				4.0 3.5 3.0 3.5	1627	ハマナツ	3.5	2.5 2.0 2.0 1.0
1485	ハマナツ	6.5	7.0	1560	ツバキ 属の一種	4.5	4.0 8.0 3.0 3.5	1628	ハマナツ	4.0	2.3 2.8
1486	ハマナツ	5.0	5.0				13.0 10.0 5.5	1629	ハマナツ	4.0	2.4
1487	ハマナツ	5.0	5.5				5.5 16.0 15.0 2.5	1630	ハマナツ	3.5	2.5
1488	ハマナツ	4.0	3.8	1561	ツバキ 属の一種	5.0	1.5 2.5 3.5 2.0	1631	ハマナツ	3.0	2.0
1489	ハマナツ	3.0	1.5				10.0 6.0 8.0 8.5	1632	ハマナツ	3.5	2.8
1490	ハマナツ	2.5	1.8				11.0 10.0	1633	ハマナツ	3.5	3.5
1491	ハマナツ	3.0	2.5				14.0 13.0 5.0 3.5	1634	ハマナツ	3.5	2.0
1492	ハマナツ	3.0	2.0 2.0	1562	ツバキ 属の一種	6.5	3.0 3.0 11.0 10.0	1635	ハマナツ	4.0	2.3
1493	ハマナツ	2.5	2.0				4.5 4.0	1636	ハマナツ	3.5	2.2
1494	ハマナツ	2.5	1.5				13.0 11.0 11.0 14.0	1637	ハマナツ	4.5	2.5
1495	ハマナツ	3.0	2.5	1563	ツバキ 属の一種	6.0	8.0 11.0	1638	ハマナツ	4.0	3.5
1496	ハマナツ	3.5	3.3				6.0 4.0 4.0 12.5	1639	アカガシ	5.5	11.0
1497	ハマナツ	3.0	2.0	1564	ツバキ 属の一種	6.0	5.0	1640	アカガシ	4.0	4.0
1498	ハマナツ	5.0	5.0				3.5 3.5 5.0 1.8	1641	アカガシ	3.5	3.5
1499	ハマナツ	5.0	5.0	1565	ツバキ 属の一種	3.0	4.0 2.0 1.5 2.5	1642	アカガシ	3.0	2.5
1500	ハマナツ	4.0	3.0				11.0 10.0	1643	アカガシ	3.5	2.5
1501	ハマナツ	4.5	4.0	1566	ツバキ 属の一種	6.0	4.0 5.0	1644	アカガシ	3.0	1.7
1502	ハマナツ	3.0	3.5	1567	ツバキ 属の一種	4.0	4.5 3.5 2.5 2.0	1645	アカガシ	4.5	5.0 2.5 4.0
1503	ハマナツ	6.0	7.0	1568	ツバキ 属の一種	4.5	4.5	1646	アカガシ	1.8	2.5 1.5 2.0
1504	ハマナツ	4.0	2.8	1569	ツバキ 属の一種	3.5	2.5 3.0 2.0 3.0	1647	アカガシ	4.0	10.5 9.0 8.5
1505	ハマナツ	5.5	4.5	1570	ツバキ 属の一種	6.5	10.0 6.0 20.0	1648	アカガシ	3.0	1.7 5.3 4.0 2.5
1506	ハマナツ	5.5	5.5	1571	ツバキ 属の一種	5.5	6.0 4.5 2.5	1649	アカガシ	2.5	3.5 3.5 4.8 2.8
1507	ハマナツ	8.0	7.0				4.0 4.0 9.0 3.0	1650	アカガシ	2.5	4.0 3.5 2.0 4.0
1508	ハマナツ	7.0	6.0	1572	ツバキ 属の一種	5.0	2.5 4.0 3.0 2.0	1651	アカガシ	2.0	2.0 2.5 3.0 1.5
1509	ハマナツ	7.0	2.0				4.5 11.0 4.0 7.0				2.0 2.0 1.5
1510	ハマナツ	7.0	7.5				5.0 2.0 4.5 3.0				2.5 2.0 3.0 1.8
1511	ハマナツ	6.0	6.0	1573	ツバキ 属の一種	5.0	7.0 6.5 5.0 4.0	1652	アカガシ	2.5	1.5 2.5 1.5 1.5
1512	ハマナツ	6.5	4.5				12.0 6.0 12.0				1.8
1513	ハマナツ	7.0	6.5	1574	ハマナツ	4.0	3.5 3.0	1653	アカガシ	2.5	1.0 2.0 1.0
1514	ハマナツ	7.0	7.0	1575	ハマナツ	4.0	4.5	1654	アカガシ	2.7	2.8
1515	ハマナツ	6.5	5.5	1576	ハマナツ	4.0	2.5	1655	アカガシ	2.4	3.0 2.5
1516	ハマナツ	5.0	6.0	1577	ハマナツ	3.0	3.5	1656	アカガシ	3.0	2.0 2.0 2.6 2.0
1517	ハマナツ	4.0	4.0	1578	ハマナツ	4.0	2.5	1657	アカガシ	2.5	1.8 2.2 1.5 1.5
1518	ハマナツ	3.5	3.5	1579	ハマナツ	4.0	2.5				2.3 2.5
1519	ハマナツ	4.0	4.5	1580	ハマナツ	4.0	3.5	1658	アカガシ	3.0	2.5
1520	ハマナツ	4.0	3.0	1581	ハマナツ	4.0	3.5	1659	アカガシ	3.0	2.5
1521	ハマナツ	4.5	2.5	1582	ハマナツ	4.0	3.8	1660	アカガシ	2.5	2.8
1522	ハマナツ	8.0	6.5	1583	ハマナツ	4.0	4.5	1661	アカガシ	4.5	5.5 5.5 3.5 5.5
1523	ハマナツ	5.0	3.5	1584	ハマナツ	4.0	3.5	1662	アカガシ	3.0	3.5
1524	ハマナツ	5.5	4.0	1585	ハマナツ	4.0	3.3	1663	アカガシ	3.0	2.5 2.7 2.5 2.0
1525	ハマナツ	4.0	3.5	1586	ハマナツ	3.5	2.5	1664	アカガシ	3.5	2.5 1.0 1.5 2.0
1526	ハマナツ	8.0	8.0	1587	ハマナツ	3.0	1.5	1665	アカガシ	3.0	2.0 2.0 2.8
1527	ハマナツ	7.0	6.0	1588	ハマナツ	2.5	1.5	1666	アカガシ	3.0	2.5
1528	ハマナツ	6.0	5.5	1589	ハマナツ	3.0	2.5	1667	アカガシ	2.5	1.8 1.5
1529	ハマナツ	5.5	6.0	1590	ハマナツ	3.0	2.2	1668	アカガシ	3.0	2.0
1530	ハマナツ	5.5	6.0	1591	ハマナツ	3.5	2.5	1669	アカガシ	3.5	2.0 1.6 1.3 1.5
1531	ハマナツ	4.5	3.5	1592	ハマナツ	3.0	2.5				1.5
1532	ハマナツ	5.0	5.5	1593	ハマナツ	5.0	4.0 4.0	1670	アカガシ	5.0	9.5 7.5 2.5
1533	ハマナツ	4.0	2.3	1594	ハマナツ	3.0	2.5	1671	アカガシ	2.5	2.8
1534	ハマナツ	4.0	3.0	1595	ハマナツ	3.0	2.0				
1535	ハマナツ	6.0	5.0	1596	ハマナツ	2.5	1.8				

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (8/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径 (cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径 (cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径 (cm)
1672	アカガシ	3.0	2.3 3.0 3.0 1.5	1731	柞ノ属の一種	5.0	6.0 7.0	1811	クヌギ	3.0	1.5
1673	アカガシ	2.0	3.0 3.5 3.0	1732	トハ	2.0	1.5	1812	クヌギ	2.5	1.5
1674	アカガシ	3.0	4.0	1733	トハ	2.5	3.0	1813	クヌギ	3.5	3.0
1675	アカガシ	2.5	2.0 2.0 3.0 2.5	1734	柞ノ属の一種	6.0	9.0 10.0 8.0	1814	クヌギ	3.0	2.5
1676	アカガシ	3.0	1.5 1.5 1.8 1.5	1735	トハ	1.5	1.0	1815	クヌギ	2.5	1.5
1677	アカガシ	3.0	1.8 1.8	1736	コナラ	4.0	2.0	1816	クヌギ	2.5	1.5
1678	アカガシ	2.5	2.8 3.0 3.3 3.0	1737	柞ノ属の一種	5.5	7.0 5.0 6.0 8.0	1817	クヌギ	3.0	2.0
1679	アカガシ	2.6	3.0 3.8 3.0 4.5	1738	柞ノ属の一種	5.0	6.5 6.0	1818	クヌギ	2.5	2.0
1680	アカガシ	3.0	2.8 1.3 2.3 2.3	1739	柞ノ属の一種	6.0	6.0 5.5 8.0 6.0	1819	クヌギ	2.5	1.5
1681	アカガシ	3.0	3.0 1.8 1.5 4.0	1740	柞ノ属の一種	5.5	8.0 6.0	1820	クヌギ	2.5	1.5
1682	アカガシ	3.0	3.5	1741	柞ノ属の一種	5.0	6.0 6.5 4.0 6.0	1821	クヌギ	5.5	4.5
1683	アカガシ	3.0	4.5	1742	柞ノ属の一種	4.5	4.0 7.0 7.0 4.0	1822	クヌギ	5.5	7.0
1684	アカガシ	2.5	2.5 3.0 4.0 4.0	1743	柞ノ属の一種	4.0	5.0 4.5	1823	クヌギ	4.0	3.5
1685	アカガシ	2.5	5.0 2.0 4.0 4.0	1744	トハ	1.8	7.0 4.5 4.0 5.0	1824	クヌギ	4.0	4.0
1686	アカガシ	2.5	2.0 2.0 1.0 1.0	1745	トハ	1.2	6.5 7.0	1825	クヌギ	6.0	6.5
1687	アカガシ	3.0	1.0	1746	柞ノ属の一種	4.5	5.0 6.0	1826	クヌギ	7.5	9.0
1688	アカガシ	3.5	2.5 1.0 1.6 2.0	1747	柞ノ属の一種	5.0	7.0	1827	クヌギ	6.0	6.0
1689	アカガシ	2.5	4.0 3.5 2.5	1748	柞ノ属の一種	4.0	8.0 7.0	1828	クヌギ	8.0	12.0
1690	アカガシ	2.5	2.5 3.0 3.0 2.5	1749	柞ノ属の一種	5.0	7.5 9.0	1829	クヌギ	8.5	10.0
1691	アカガシ	2.5	1.5 1.0 3.3 2.0	1750	柞ノ属の一種	5.0	5.5 5.5	1830	クヌギ	2.5	3.0
1692	アカガシ	2.5	2.8 1.0	1751	柞ノ属の一種	6.0	6.5 5.5	1831	クヌギ	4.0	3.5
1693	アカガシ	2.5	1.6 1.5 1.5 1.2	1752	クヌギ	2.5	2.0	1832	クヌギ	6.0	6.0
1694	アカガシ	2.0	1.5 1.5 1.8	1753	クヌギ	2.0	1.5	1833	クヌギ	4.5	3.5
1695	アカガシ	3.0	3.0 1.2 1.2 2.0	1754	クヌギ	3.5	5.0	1834	クヌギ	11.0	3.5
1696	アカガシ	3.0	1.5	1755	クヌギ	4.0	6.0	1835	クヌギ	8.0	9.0
1697	柞ノ属の一種	7.0	1.3 1.5 1.3 1.5	1756	クヌギ	5.0	5.0	1836	クヌギ	8.5	15.0
1698	アカガシ	6.0	1.6 1.5 1.5 1.2	1757	クヌギ	3.0	2.0	1837	クヌギ	6.0	4.5
1699	アカガシ	5.8	1.5 1.5 1.8	1758	クヌギ	3.0	2.0	1838	クヌギ	8.0	11.0
1700	柞ノ属の一種	3.0	3.0 1.2 1.2 2.0	1759	クヌギ	2.0	2.0	1839	クヌギ	6.0	5.0
1701	柞ノ属の一種	2.8	1.5	1760	クヌギ	2.0	2.0	1840	クヌギ	6.5	6.0
1702	アカガシ	5.0	3.0 2.8 1.5 2.5	1761	クヌギ	2.0	2.0	1841	クヌギ	4.5	5.0
1703	柞ノ属の一種	5.5	2.0 1.2 1.8 2.0	1762	クヌギ	2.0	1.5	1842	クヌギ	7.0	8.0
1704	アカガシ	7.0	2.8 1.0 1.0 1.0	1763	クヌギ	2.0	1.5	1843	クヌギ	4.5	4.0
1705	トハ	2.0	1.8 1.2	1764	クヌギ	3.5	3.0	1844	クヌギ	7.0	7.5
1706	トハ	2.0	1.8 1.2	1765	クヌギ	3.5	4.0	1845	クヌギ	6.0	5.5
1707	トハ	1.8	4.0 1.5 1.5 1.0	1766	クヌギ	2.5	2.0	1846	クヌギ	6.0	6.0
1708	トハ	2.2	1.3 1.1	1767	クヌギ	2.0	1.5	1847	クヌギ	8.0	12.0
1709	トハ	2.4	5.0 7.0 6.0 5.5	1768	クヌギ	3.5	3.0	1848	クヌギ	5.0	5.0
1710	柞ノ属の一種	5.0	3.0 4.0 4.5 4.5	1769	クヌギ	3.5	3.0	1849	クヌギ	5.0	4.5
1711	トハ	1.8	2.5 3.5 4.5 6.0	1770	クヌギ	3.5	3.0	1850	クヌギ	7.5	10.0
1712	クササギ	2.4	3.0 3.0 5.0 3.5	1771	クヌギ	4.5	4.0	1851	クヌギ	5.0	5.0
1713	柞ノ属の一種	5.5	2.0 2.0 2.0 2.0	1772	クヌギ	3.5	2.5	1852	クヌギ	8.0	6.0 10.0
1714	トハ	2.5	3.0 3.0 5.0 3.5	1773	クヌギ	2.5	1.5	1853	クヌギ	5.0	5.0
1715	柞ノ属の一種	6.0	4.0 4.0 5.0 6.0	1774	クヌギ	2.5	2.0	1854	クヌギ	8.0	6.0 10.0
1716	柞ノ属の一種	5.5	5.0 7.0 8.0 5.0	1775	クヌギ	5.0	5.0	1855	クヌギ	6.5	8.0
1717	柞ノ属の一種	5.0	7.5 8.0 4.5 5.5	1776	クヌギ	5.0	5.0	1856	クヌギ	5.5	7.0
1718	柞ノ属の一種	5.5	2.0	1777	クヌギ	5.0	5.0	1857	クヌギ	8.0	13.0
1719	トハ	2.0	3.3 6.0 4.0 3.5	1778	クヌギ	3.0	2.5	1858	クヌギ	8.0	12.0
1720	トハ	2.0	15.0 15.0	1779	クヌギ	2.5	2.0	1859	クヌギ	5.0	6.0
1721	柞ノ属の一種	5.0	7.5 8.0 4.5 5.5	1780	クヌギ	7.0	11.0	1860	クヌギ	6.5	7.0
1722	クササギ	2.0	2.0	1781	クヌギ	3.5	2.0	1861	クヌギ	6.0	7.5
1723	クササギ	2.2	2.0	1782	クヌギ	7.5	10.0	1862	クヌギ	3.5	2.5
1724	柞ノ属の一種	6.0	26.0	1783	クヌギ	7.0	8.0	1863	クヌギ	3.0	2.5
1725	柞ノ属の一種	6.0	8.0 7.0 8.0 5.0	1784	クヌギ	2.5	2.0	1864	クヌギ	4.0	3.0
1726	柞ノ属の一種	5.0	5.5 6.0 8.5 9.0	1785	クヌギ	5.0	3.0	1865	クヌギ	4.0	5.0
1727	クササギ	3.5	2.0	1786	クヌギ	6.0	5.0	1866	クヌギ	4.0	4.0
1728	トハ	2.0	1.0	1787	クヌギ	3.5	4.0	1867	クヌギ	3.5	2.0
1729	柞ノ属の一種	6.0	4.0 4.0	1788	クヌギ	3.5	3.0	1868	クヌギ	3.5	3.0
1730	トハ	2.0	2.0 2.0	1789	クヌギ	5.5	5.0	1869	クヌギ	2.0	1.5
			1.8 1.0	1790	クヌギ	4.0	4.0	1870	クヌギ	3.5	2.0
			2.4 1.5	1791	クヌギ	2.0	2.0	1871	クヌギ	2.5	1.5
			5.5 7.0 6.5	1792	クヌギ	3.0	2.5	1872	クヌギ	2.5	2.0
			2.5 1.5	1793	クヌギ	5.0	5.0	1873	クヌギ	2.5	2.0
			6.0 6.0 12.0 10.0 6.0	1794	クヌギ	5.0	5.0	1874	クヌギ	6.5	6.0
			8.0 7.0 8.0 5.0	1795	クヌギ	2.5	2.5	1875	クヌギ	4.5	5.0
			5.5 5.5 6.0 8.5 9.0	1796	クヌギ	3.0	2.5	1876	クヌギ	7.5	9.0
			5.0 6.5	1797	クヌギ	2.5	2.0	1877	クヌギ	5.5	5.0
			5.5 8.0 6.0	1798	クヌギ	2.5	2.5	1878	クヌギ	6.5	8.0
			2.0 1.0	1799	クヌギ	3.5	3.0	1879	クヌギ	6.5	6.5
			2.0 1.5	1800	クヌギ	4.5	4.0	1880	クヌギ	7.0	11.0
			5.0 7.0 6.5 6.5	1801	クヌギ	2.0	1.5	1881	クヌギ	3.5	4.0
			2.0 2.0	1802	クヌギ	2.5	2.0	1882	クヌギ	3.5	4.0
			2.2 1.5	1803	クヌギ	3.0	2.0	1883	クヌギ	3.0	2.0
			6.0 4.5 7.0	1804	クヌギ	3.0	2.0	1884	クヌギ	4.5	5.0
			6.0 11.0 12.0	1805	クヌギ	3.0	2.5	1885	クヌギ	3.5	3.5
			5.0 6.0 6.0 8.0	1806	クヌギ	3.0	2.0	1886	クヌギ	2.5	1.5
			3.5 2.0	1807	クヌギ	2.5	1.5	1887	クヌギ	3.5	2.0
			2.0 1.5	1808	クヌギ	3.5	2.0	1888	クヌギ	4.0	4.0
			6.0 13.0 12.0	1809	クヌギ	3.5	3.0	1889	クヌギ	5.0	4.5
			2.0 1.0	1810	クヌギ	3.5	2.0	1890	クヌギ	3.0	2.5
								1891	クヌギ	5.5	4.0
								1892	クヌギ	5.0	6.0
								1893	クヌギ	3.5	3.0

表 8.7.1.1-2 立木調査確認リスト (9/9)

No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)	No.	種	樹高(m)	胸高直径(cm)
1894	柞ノ属の一種	5.5	10.0	1971	双葉	5.0	11.0	2042	アサシ	2.0	12.0
1895	柞ノ属の一種	5.0	10.0	1972	双葉	4.5	6.0	2043	柞ノ属の一種	2.0	5.0 3.0 7.0 5.0
1896	クヌギ	2.0	2.5	1973	双葉	3.0	4.0				8.0
1897	柞ノ属の一種	5.5	11.0 6.0 7.0 10.0	1974	双葉	5.0	8.0	2044	柞ノ属の一種	2.2	4.5
1898	柞ノ属の一種	6.0	7.0 9.0 14.0	1975	双葉	4.0	4.0	2045	アカツ	2.5	19.0
1899	トウ	2.0	2.0	1976	双葉	5.0	5.0	2046	アカツ	2.2	11.0
1900	柞ノ属の一種	6.0	11.0 6.0 7.0 7.0	1977	双葉	5.0	8.0				13.0 9.0 8.5 10.0
			7.0 5.0 9.0 8.0	1978	双葉	4.0	6.0	2047	柞ノ属の一種	4.0	7.5 7.0 8.0 7.0
1901	柞ノ属の一種	5.5	9.0	1979	双葉	5.0	8.0				6.0
1902	柞ノ属の一種	5.5	8.0 5.5 7.0	1980	双葉	3.5	7.0	2048	柞ノ属の一種	4.0	10.0 11.0 21.0 8.0
1903	柞ノ属の一種	5.5	8.0 7.0	1981	双葉	3.5	5.0				17.0
1904	柞ノ属の一種	5.5	8.0 5.0	1982	双葉	3.5	6.0	2049	柞ノ属の一種	4.0	10.0
1905	クヌギ	3.0	2.0	1983	双葉	3.0	4.0	2050	柞ノ属の一種	3.0	6.0 3.0 3.0
1906	柞ノ属の一種	6.0	6.5 10.0 5.0	1984	双葉	5.0	9.0	2051	柞ノ属の一種	3.0	11.0
1907	柞ノ属の一種	5.0	8.0 9.0 6.0	1985	双葉	5.0	11.0	2052	柞ノ属の一種	3.0	15.0
1908	柞ノ属の一種	4.0	7.0 7.0	1986	双葉	5.0	8.0	2053	柞ノ属の一種	3.0	4.0
1909	柞ノ属の一種	3.5	9.0	1987	双葉	5.0	7.0	2054	柞ノ属の一種	3.5	11.0 3.0 19.0 5.0
1910	柞ノ属の一種	5.0	12.0 7.0 8.0 8.0	1988	双葉	4.0	6.0				5.5 5.0 17.0 4.0
1911	柞ノ属の一種	4.0	7.0 8.0	1989	双葉	2.0	2.0	2055	柞ノ属の一種	3.0	13.0 8.0 13.0 17.0
1912	柞ノ属の一種	4.0	12.0	1990	双葉	4.5	6.0				10.0
1913	柞ノ属の一種	4.0	10.0	1991	双葉	4.0	4.5	2056	柞ノ属の一種	3.5	17.0 9.5 15.0 9.5
1914	柞ノ属の一種	3.5	9.0	1992	双葉	4.5	5.0				16.0
1915	柞ノ属の一種	3.5	9.0	1993	双葉	5.0	16.0	2057	柞ノ属の一種	2.5	14.0
1916	柞ノ属の一種	5.0	9.0 15.0 13.0 18.0	1994	双葉	5.0	11.0	2058	柞ノ属の一種	3.0	22.0 15.0
			6.0 7.0 6.0 5.0	1995	双葉	5.0	8.0	2059	エノ	3.0	4.5 3.5
1917	柞ノ属の一種	6.0	7.0 6.0	1996	双葉	5.0	10.0	2060	柞ノ属の一種	3.2	18.0 7.5 7.5 11.0
1918	柞ノ属の一種	4.0	6.0	1997	双葉	4.5	7.5	2061	柞ノ属の一種	3.0	18.0
1919	柞ノ属の一種	4.5	5.0 4.0 4.0	1998	双葉	3.5	3.5	2062	アカツ	2.8	5.0
1920	柞ノ属の一種	4.5	4.5 4.0	1999	双葉	4.0	7.0	2063	柞ノ属の一種	4.0	28.0
1921	オハナドモ	2.0	2.0	2000	双葉	2.5	5.5	2064	柞ノ属の一種	3.5	10.0 10.0 8.5 7.5
			9.0 7.0 10.0 8.0	2001	双葉	3.0	5.5				9.0 6.5 4.5 3.5
1922	柞ノ属の一種	5.5	10.0 10.0	2002	双葉	3.0	5.0	2065	柞ノ属の一種	4.0	6.5 8.5 6.5 6.0
			13.0 13.0 18.0 11.0	2003	双葉	4.0	7.0				9.0 9.0 8.0 6.5
1923	柞ノ属の一種	5.5	10.0 12.0	2004	双葉	4.0	4.5				11.0
1924	柞ノ属の一種	5.5	10.0 10.0 12.0	2005	双葉	5.0	12.0	2066	柞ノ属の一種	4.0	7.0 4.5 5.5 4.0
1925	柞ノ属の一種	5.5	12.0 9.0 5.0	2006	双葉	5.0	14.0				3.0 5.5 5.0
1926	柞ノ属の一種	6.0	15.0 12.0 8.0 8.0	2007	双葉	5.5	15.0	2067	柞ノ属の一種	5.5	9.0 7.0 5.0 4.5
1927	柞ノ属の一種	4.0	4.0	2008	双葉	5.5	10.0				7.0
1928	エノ	2.0	1.5	2009	双葉	5.5	9.0	2068	柞ノ属の一種	5.0	16.0 11.0 13.0 14.0
1929	トウ	2.0	1.5	2010	双葉	5.5	9.0				7.5 9.0 6.5 6.2
1930	柞ノ属の一種	5.5	9.0 14.0 7.0 11.0	2011	双葉	5.0	8.0	2069	柞ノ属の一種	2.5	5.0 4.0 3.5
			12.0	2012	双葉	4.0	10.0	2070	クヌギsp.	3.5	5.5
1931	柞ノ属の一種	5.0	11.0	2013	双葉	5.0	8.0 11.0	2071	柞ノ属の一種	2.5	5.5 5.5 3.5
1932	柞ノ属の一種	4.0	6.0	2014	双葉	5.0	10.0	2072	柞ノ属の一種	4.0	5.0
1933	柞ノ属の一種	3.0	6.0 5.0 6.5	2015	双葉	5.0	11.0	2073	柞ノ属の一種	4.0	15.0 13.0
1934	柞ノ属の一種	3.5	4.0	2016	双葉	4.0	8.0	2074	柞ノ属の一種	3.0	5.0
1935	アカツ	4.0	13.0	2017	双葉	4.5	6.0 6.0	2075	柞ノ属の一種	4.0	8.0
1936	アカツ	4.0	8.0 6.0 6.0	2018	双葉	5.0	12.0	2076	柞ノ属の一種	3.5	5.0
1937	柞ノ属の一種	4.0	9.0	2019	双葉	5.0	11.0	2077	柞ノ属の一種	4.0	14.0 8.0 7.0 9.0
			4.5 9.0 5.0 5.0	2020	双葉	4.5	8.0	2078	柞ノ属の一種	4.0	10.0 5.5
1938	アカツ	4.0	6.0	2021	双葉	5.5	16.0	2079	柞ノ属の一種	4.5	8.0 11.0 8.0 7.0
			12.0 10.0	2022	双葉	5.0	11.0 10.0	2080	柞ノ属の一種	3.5	5.0
1939	柞ノ属の一種	5.5	12.0 10.0	2023	双葉	2.5	4.0	2081	柞ノ属の一種	3.5	7.0
1940	柞ノ属の一種	5.5	6.5	2024	双葉	5.0	10.0	2082	柞ノ属の一種	3.0	4.5
1941	柞ノ属の一種	5.0	7.0 6.5 6.0 8.0	2025	双葉	5.0	15.0	2083	柞ノ属の一種	3.5	3.5 4.0
1942	柞ノ属の一種	5.0	9.0 8.0	2026	双葉	2.5	2.5	2084	柞ノ属の一種	3.5	5.0
1943	柞ノ属の一種	5.0	13.0 11.0 7.0	2027	双葉	3.0	3.0	2085	柞ノ属の一種	4.5	9.0 7.0
1944	エノ	2.5	2.0	2028	双葉	3.5	3.0	2086	柞ノ属の一種	3.0	4.0
1945	柞ノ属の一種	4.0	7.0	2029	双葉	3.0	3.0	2087	柞ノ属の一種	3.0	3.0
1946	柞ノ属の一種	4.5	10.0 16.0 9.0	2030	柞ノ属の一種	5.0	11.0 9.0 13.0 17.0	2088	柞ノ属の一種	3.5	5.0 6.0
1947	柞ノ属の一種	4.5	9.0 6.0 7.0 10.0			5.0 5.0 5.0 4.5	2089	柞ノ属の一種	4.0	15.0	
1948	柞ノ属の一種	3.5	9.0	2031	オハナドモ	1.7	2.5	2090	柞ノ属の一種	4.5	8.0
1949	柞ノ属の一種	4.0	9.0 7.0 9.0 8.0			9.0 10.0 9.0 9.0	2091	柞ノ属の一種	3.0	4.0	
1950	柞ノ属の一種	3.0	3.0	2032	柞ノ属の一種	5.0	4.5 8.5 7.0 18.0	2092	柞ノ属の一種	4.0	13.0
1951	柞ノ属の一種	3.0	3.0			4.0 6.0 4.0 6.0	2093	柞ノ属の一種	3.5	4.0	
1952	柞ノ属の一種	4.5	15.0 18.0 11.0			4.0 14.0 9.0 8.0	2094	アカツ	3.5	14.0	
1953	柞ノ属の一種	4.5	12.0 7.0 13.0	2033	柞ノ属の一種	4.5	18.0 6.0 5.0 3.5	2095	柞ノ属の一種	5.0	20.0
1954	柞ノ属の一種	4.0	7.0 5.0 6.5			6.5 6.0	2096	柞ノ属の一種	4.0	6.0 4.0	
1955	柞ノ属の一種	3.5	4.5	2034	柞ノ属の一種	5.0	20.0	2097	エノ	4.5	6.0
1956	柞ノ属の一種	3.5	4.0			8.0 3.5 4.5 6.0	2098	アカツ	3.0	6.5 4.5 3.0	
1957	柞ノ属の一種	5.0	13.0 6.0	2035	柞ノ属の一種	4.5	9.0 4.0 6.0 4.5	2099	オハナドモ	2.5	3.0
1958	柞ノ属の一種	4.5	19.0			7.0 8.0 13.0 11.0	2100	双葉	3.5	6.0 3.0	
1959	刊	4.5	11.0			5.0 5.0 5.5 6.0	2101	双葉	3.5	5.0	
1960	刊	5.0	17.0	2036	柞ノ属の一種	4.0	5.0	2102	双葉	3.0	4.0
1961	刊	4.0	9.0	2037	柞ノ属の一種	4.5	16.0	2103	双葉	3.5	5.0
1962	柞ノ属の一種	4.5	14.0	2038	エノ	4.0	5.5	2104	双葉	3.5	4.0
1963	双葉	3.5	5.0			10.0 16.0 11.0 10.0	2105	双葉	3.0	3.0	
1964	双葉	3.0	3.0	2039	柞ノ属の一種	4.0	7.0 13.0 5.5 8.0	2106	双葉	3.5	7.0
1965	双葉	3.0	3.5			6.0 12.0 8.0 6.0	2107	双葉	3.0	6.0	
1966	双葉	5.0	4.0			11.0	2108	双葉	3.0	5.0	
1967	双葉	2.0	2.0	2040	柞ノ属の一種	3.5	10.0 7.0 9.0 6.0	2109	双葉	2.5	2.0
1968	双葉	4.0	6.0			8.0 6.0 11.0	2110	双葉	2.5	3.0	
1969	双葉	5.0	13.0	2041	エノ	4.0	6.0	2111	アカツ	4.0	14.0
1970	双葉	5.0	9.0				2112	柞ノ属の一種	4.0	7.0 8.0 5.0	

それぞれの群落の断面模式図を図8.7.1.1-3(1)～(16)に示した。

a ヤナギ群落

この群落は本干拓地及びその隣接地域に最も多く見られる木本植物群落で、樹高5～6mのヤナギsp.と林床にセイタカアワダチソウ・ヘクソカズラ・ススキ・チガヤ等が多く出現し、やや湿潤な所ではシオクグが優占することもある。



図8.7.1.1-3(1) ヤナギ群落断面模式図(調査地点No.33)

b ヤマナラシ群落

一部に植林と考えられる樹高12mに達する高木林が見られるが、それ以外にも数ヶ所に群落がみられ、大半は6m前後の低木林である。林床にはセイタカアワダチソウ・ススキ・ヘクソカズラ・ノイバラ等が多い。

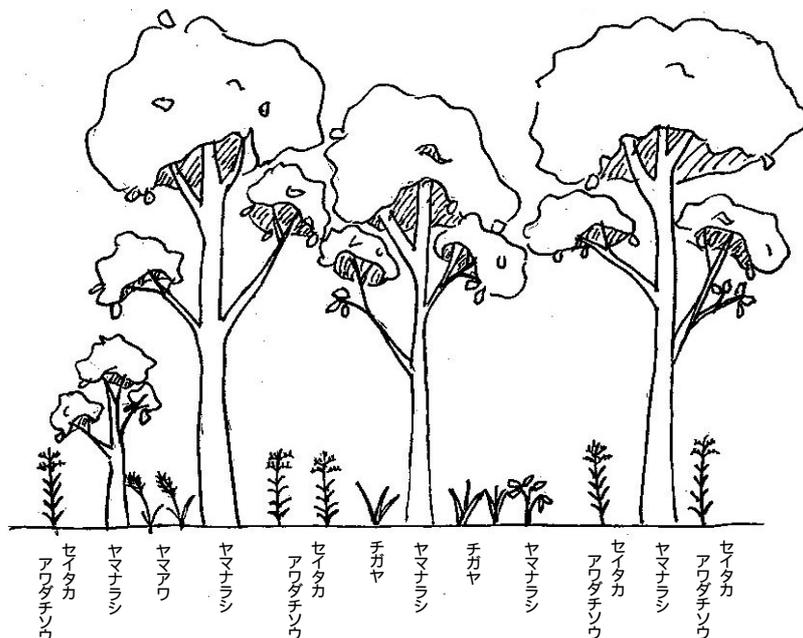


図8.7.1.1-3(2) ヤマナラシ群落断面模式図(調査地点No.32)

c アカメガシワ群落

遷移の初期に進入して林縁等に生育する種としてアカメガシワ等があり、干拓地内でも低木群落を形成している。ヤナギ林よりさらに乾燥した立地に成立するので、土手状に土が盛り上がっている所に成立している。荒地の指標種であるイワヒメワラビの出現頻度が高く、セイタカアワダチソウ・ススキ・ノイバラが多い。

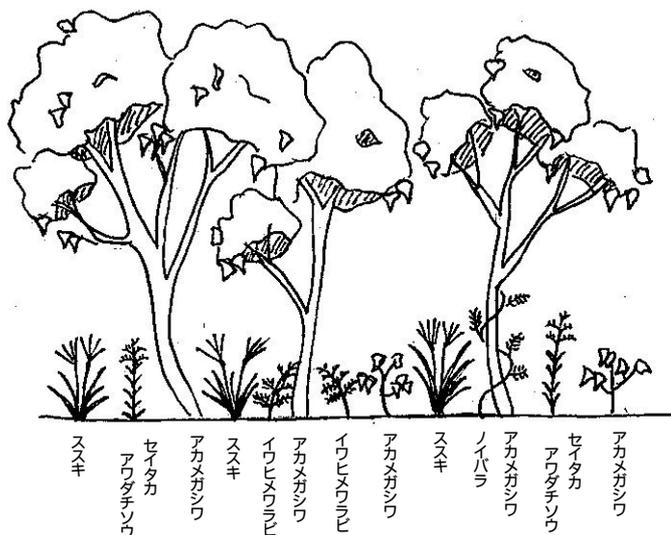


図 8.7.1.1-3(3) アカメガシワ群落断面模式図 (調査地点 No.6)

d モウソウチク群落

植林されたものと考えられる。15mに達するモウソウチクの林で、草本層にハチジョウススキ、イワヒメワラビが生育している。

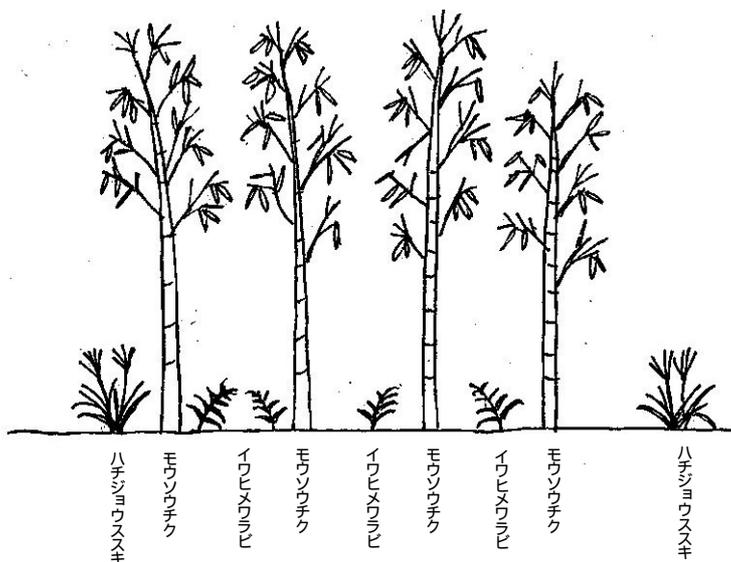


図 8.7.1.1-3(4) モウソウチク群落断面模式図 (調査地点 No.23)

e メダケ群落

シロバナサクラタデが出現しており、以前は地下水位が高く、周辺には水がたまっていたことが推定される。また、メダケの生育密度が高く、遮光により陽性植物であるセイタカアワダチソウ、チガヤ等が少ない。

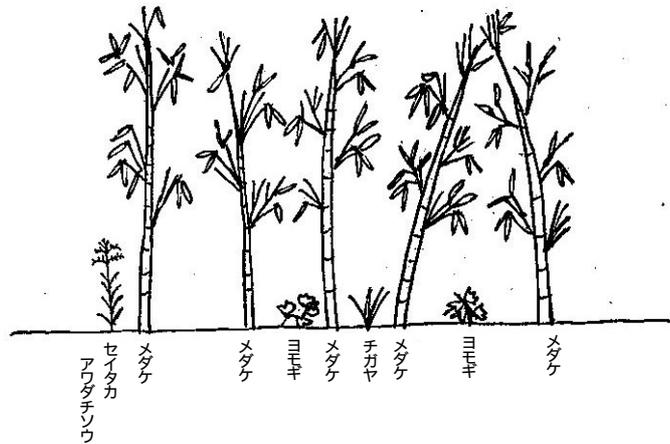


図 8.7.1.1-3(5) メダケ群落断面模式図 (調査地点 No.4)

f トベラ - クスノキ群落

植栽された樹木で構成される群落で、植栽の初期には早期の緑化等の目的でハンノキが植栽されたと考えられる。その後クスノキ・トベラ・マサキ・ウバメガシ・サザンカ・モッコク・サンゴジュ等の常緑広葉樹やアカマツ等が植えられ、現在の植栽林が形成された。しかしアカマツは全て枯死している。

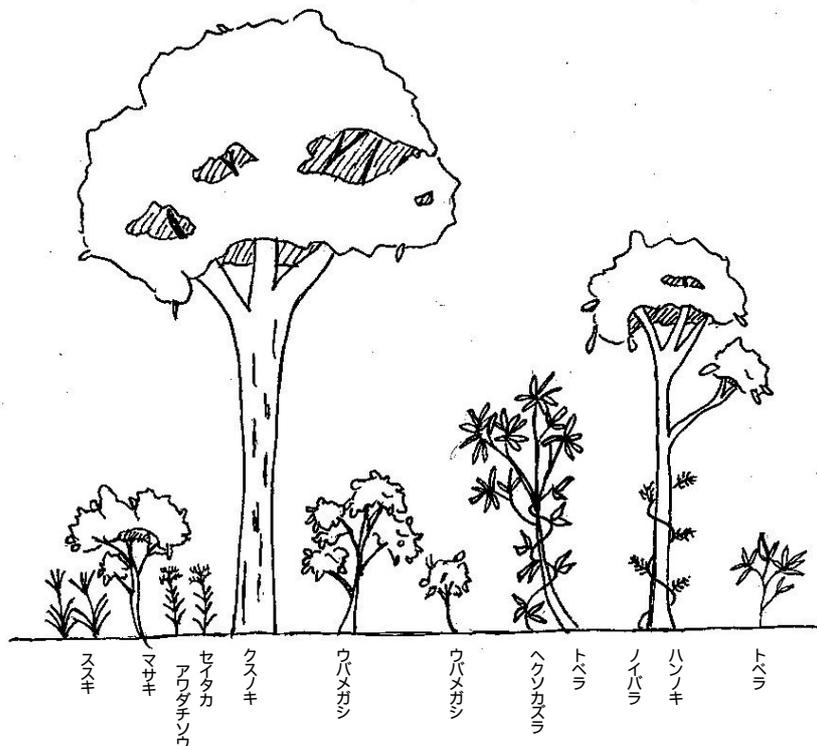


図 8.7.1.1-3(6) トベラ-クスノキ群落断面模式図 (調査地点 No.37)

g セイタカアワダチソウ群落

1.6～3mに達するセイタカアワダチソウが優占する群落で、干拓地全域に見られる。

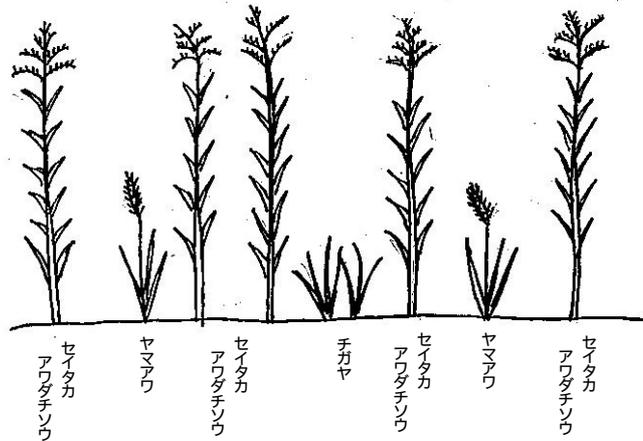


図8.7.1.1-3(7) セイタカアワダチソウ群落断面模式図(調査地点No.12)

h チガヤ群落

セイタカアワダチソウ・ヤマアワ・メドハギが高い頻度で出現し、干拓地全域に見られる。

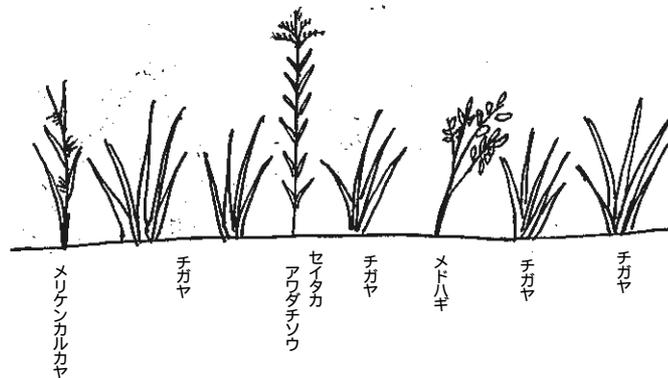


図8.7.1.1-3(8) チガヤ群落断面模式図(調査地点No.48)

i オギ群落

草丈3mに達するオギの優占する群落で混生種はセイタカアワダチソウ・イシミカワ・ヨモギ等が僅かに見られる。

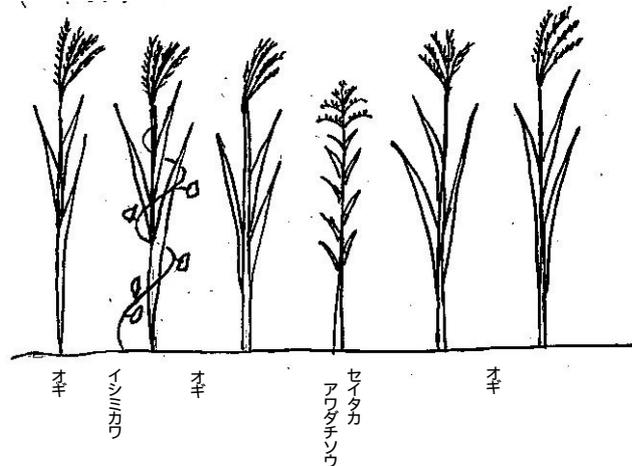


図 8.7.1.1-3(9) オギ群落断面模式図 (調査地点 No.24)

j ススキ - ハチジョウススキ群落

干拓地内は海岸地域のためにハチジョウススキが非常に多く、ススキよりも個体数が多い。両方をまとめてススキ - ハチジョウススキ群落とした。優占種はいずれも塊状になって生育するので、その間にはセイタカアワダチソウ・イワヒメワラビ・チガヤ・ヤマアワが高い頻度で出現する。

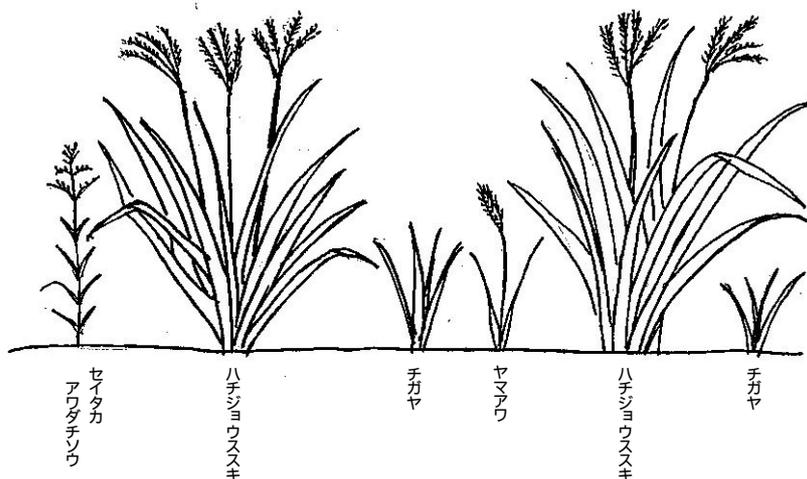


図 8.7.1.1-3(10) ススキ - ハチジョウススキ群落断面模式図 (調査地点 No.30)

k ヨシ群落

本来ヨシは泥土内に地下茎を伸ばして繁殖する水湿地の種で、アゼスゲやシオクグと結びついて群落を構成する。干拓地北側（鍋田川）ではヨシ群落が広がり、下層にシオクグが優占する植分が見られた（53）。しかし干拓地内に出現するヨシの優占する植分はオオクサキビ・ヤマアワ・セイタカアワダチソウ・オオアレチノギク・メドハギ・チガヤ等が頻度、被度ともに高い植分が多くなっている。干拓地北側の生育環境はヨシの生育に適した泥土で、満潮時に約50~80cm冠水し、常に湿潤状態を保っている。それに対して、干拓地内は乾燥化によりヨシが繁茂できる環境は減少傾向にある。

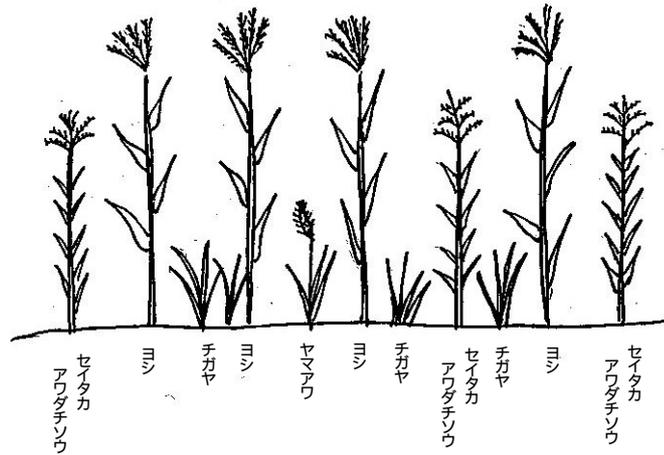


図 8.7.1.1-3(11) ヨシ群落断面模式図（調査地点 No.38）

1 クズ群落

クズが繁茂して下層の草本類を被い尽くしている植分が見られる。クズは林縁植生の構成種で、特に結びつきの強い種はない。

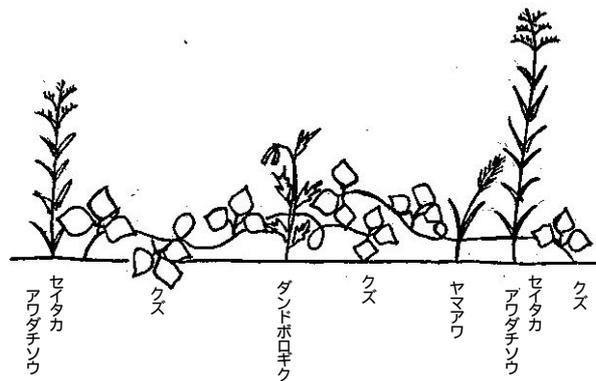


図 8.7.1.1-3(12) クズ群落断面模式図（調査地点 No.42）

m オオクサキビ群落

オオクサキビが優占し、イガガヤツリ・アキノエノコログサ・ヨモギ・メヒシバ・オオイヌタデ・セイタカアワダチソウ等が高い頻度で出現する。なお、春から夏にかけてのオオクサキビが優占する前の時期には裸地の部分が目立ち、やや水たまりが出来やすいところにはヒメクグ・カワラスガナ・メアゼテンツキ等のカヤツリグサ科植物が目立つ。

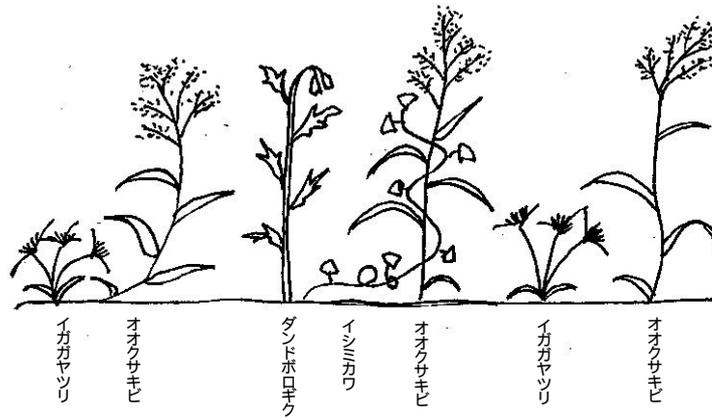


図 8.7.1.1-3(13) オオクサキビ群落断面模式図 (調査地点 No.25)

n ワラビ群落

ススキ草原の指標種であるワラビが独占して草丈1mに達する群落である。混生する種がほとんどないことが特徴である。

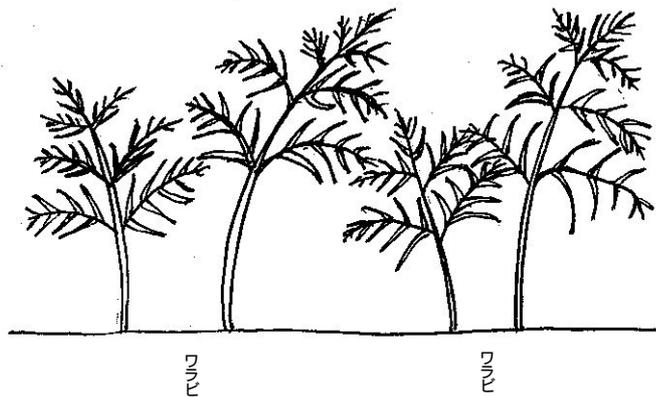


図 8.7.1.1-3(14) ワラビ群落断面模式図 (調査地点 No.20)

o メリケンカルカヤ群落

メリケンカルカヤが小群状に生育し、その隙間を縫ってホソイ・シロバナサクラタデ等が高い頻度で出現する比較的草丈の低い草本群落である。

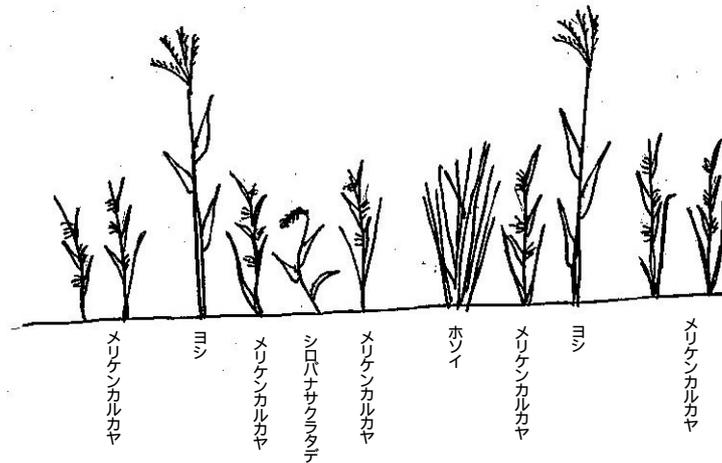


図 8.7.1.1-3(15) メリケンカルカヤ群落断面模式図 (調査地点 No.9)

p アイアシ群落 (調査範囲外鍋田川)

本来、河口部の波の影響の少ない塩湿地に群落を形成する種であり、干拓地内にも僅かに分布が認められたが、群落としてまとまったものはみられなかった。

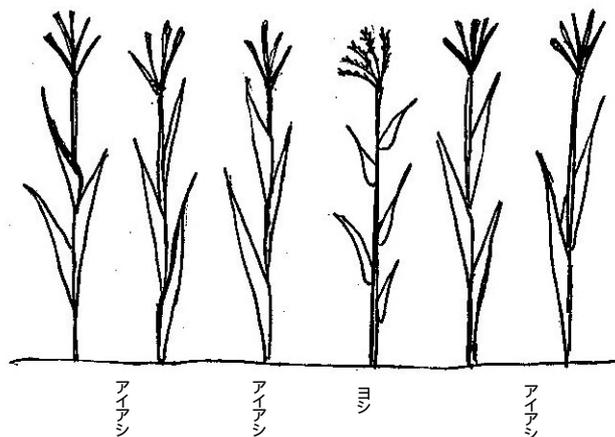


図 8.7.1.1-3(16) アイアシ群落断面模式図 (調査地点 No.54)

それぞれの群落の群落組成表を表 8.7.1.1-3(1) ~ (8) に示した。

表 8.7.1.1-3(1) 木本類群落

調査地点番号	36	33	47	44	34	32	16	7	6	23	2	3	4	37
高木層(T1) 植生高(最大) [m]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	12
高木層(T1) 植生高(最小) [m]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8
高木層(T1) 植被率 [%]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	-	-	-	60
亜高木層(T2) 植生高(最大) [m]	-	-	-	-	12	10	-	-	-	-	-	-	-	8
亜高木層(T2) 植生高(最小) [m]	-	-	-	-	6	5	-	-	-	-	-	-	-	6
亜高木層(T2) 植被率 [%]	-	-	-	-	80	70	-	-	-	-	-	-	-	40
低木層(S) 植生高(最大) [m]	6	5	6	6	5	6	5	5	5	-	5	5	4	6
低木層(S) 植生高(最小) [m]	1	1.5	1.5	2	1	1.5	1	1.5	1.5	-	1	1	1	1.5
低木層(S) 植被率 [%]	70	100	80	60	65	40	5	90	90	-	100	100	95	90
草本層 1 (H1) の植生高(最大) [m]	1.2	1.5	1.5	2	1.4	1.5	1.6	1.5	1.5	1.2	1	1	0.8	1.5
草本層 1 (H1) の植生高(最小) [m]	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草本層 1 (H1) の植被率 [%]	95	80	100	90	30	90	80	80	90	30	5	5	5	60
草本層 2 (H2) の植生高(最大) [m]	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層 2 (H2) の高さ(最小) [m]	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層 2 (H2) の植被率 [%]	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 [m ²]	10×10	10×10	5×10	5×10	5×10	10×10	10×10	8×10	10×10	10×10	5×5	5×5	5×5	6×10
出現種数	9	17	16	20	14	13	9	13	10	3	4	8	4	17
ヤナギ 群落区分種														
ヤナギ sp.	S	4・3	5・5	4・4	3・4	3・4	+
H
ヤマナシ 群落区分種														
ヤマナシ	T2	4・5	4・4
S	2・2	1・2
H	1・1	1・2
アカガシ 群落区分種														
アカガシ	S	+	.	.	5・5	5・5	.	.	.	1・1
H	1・3	1・3	.	.	.	+
モクコナシ 群落区分種														
モクコナシ	T1	5・5
メダケ 群落区分種														
メダケ	S	5・5	5・5	5・5	.
トウライ 群落区分種														
トウライ	S	1・1
H	.	2・2	3・4
クスノキ	T1	3・2
H1	.	.	+	+	+
H2
マサキ	S	3・4
クハシ	S	3・3
H	1・1
ハンノキ	T2	2・1
S	1・1
サコシ	S	1・1
アカマツ	T2	1・1
サザナギ	S	+
モッコク	H	+
伴生種														
セトクサ	H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
S
ヘクサ	S	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
チガヤ	H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
S
ノハ	H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
ヤマアザミ	H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
ヨモギ	H1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H2
ハコギリ	H
メダケ	H
クハシ	H
トウライ	H1
H2
アザミ	H1
H2
イネ	S
H
ツクシ	H
ヨシ	H1
H2
イシ	H

その他の出現種: シオガク No.36(H3・4)・No.33(H1・1)・アサギラサ No.16(H1+)・No.44(H2+)・ネズミ No.34(S+)・No.33(H+)・ヒメカサヨギ No.33(H+)・No.32(H+)・クノキ No.44(H+)・No.37(H+)・ノボリギク No.23(H1・1)・No.33(H+)・エビノキ No.2(S+,H+)・No.3(S+)・カキ No.7(H+)・No.44(H2+)・アカマサキ No.33(S1・1)・No.34(S+)・ツルギ 36(S+,H+)・チヂミザサ 47(H1・1)・ヒメユスリカ 47(H+)・オウゴン 47(H+)・クノキ 44(H1+)・ナンキンハゼ 44(H2+)・シクリン 44(H2+)・アヒナ 44(H2+)・メダケ 34(H1・2)・Prunus sp. 32(S+)・マユギ 16(H+)・ヒノキ 7(H+)・ノボリギク 7(H+)・シクリン 3(H+)・ホソクサ 34(H+)

表 8.7.1.1-3(2) セイタカアワダチソウ群落

調査地点番号	46	35	39	26	12	
草本層 (H) 植生高 (最大) [m]	2.5	2.1	1.6	1.6	2	
草本層 (H) 植生高 (最小) [m]	0	0	0	0	0	
草本層 (H) 植被率 [%]	100	90	100	100	100	
調査区面積 [m ²]	3×3	2×2	2×2	3×3	2×2	
出現種数	2	4	4	6	5	
セイタカアワダチソウ群落区分種						
セイタカアワダチソウ	H	4・5	5・5	5・5	4・4	5・5
伴 生 種						
ヤマアヲ	H	1・3	+・2	+	・	1・3
チカヤ	H	・	1・1	1・3	・	1・1
その他の出現種 ; ヨシNo.35(1・1), ムトハキNo.39(+), ヨモギNo.26(+・2), オアシダテNo.26(+), オクサキNo.26(+・2), メシハNo.26(2・3), アルヌスビトハキNo.26(+・2), ハチジヨウスキNo.12(1・2), イワヒメワラビNo.12(1・2)						

表 8.7.1.1-3(3) チガヤ、メリケンカルカヤ、ワラビ群落

調査地点番号	49	41	48	15	11	9	10	20	19	18
草本層 (H) 植生高 (最大) [m]	0.7	1.6	0.6	0.8	0.4	1.2	0.7	1	1	1
草本層 (H) 植生高 (最小) [m]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草本層 (H) 植被率 [%]	95	100	100	100	95	100	100	100	100	100
調査区面積 [m ²]	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	3×3
出現種数	5	4	5	4	2	4	5	1	1	1
チカヤ群落区分種										
チカヤ	H	4・4	5・5	5・5	4・5	+	・	+	・	・
メリケンカルカヤ群落区分種										
メリケンカルカヤ	H	・	・	+	・	5・5	5・5	5・5	・	・
ワラビ群落区分種										
ワラビ	H	・	・	・	・	・	・	5・5	5・5	5・5
伴 生 種										
セイタカアワダチソウ	H	1・2	1・2	+	1・2	・	・	・	・	・
ヨシ	H	・	2・3	・	・	・	1・2	+	・	・
ヤマアヲ	H	+	2・2	・	+	・	・	・	・	・
ムトハキ	H	1・2	・	+	+・2	・	・	・	・	・
ホソイ	H	・	・	+	・	・	1・2	+	・	・
シロハナサクラタテ	H	・	・	・	・	・	1・1	2・2	・	・
その他の出現種 ; マツヨイクサNo.49(+)										

表 8.7.1.1-3(4) オギ群落

調査地点番号	14	24	40	43	
草本層 1 (H1) の植生高 (最大) [m]	3	2.6	2.5	3	
草本層 1 (H1) の植生高 (最小) [m]	0	0	0	1.5	
草本層 1 (H1) の植被率 [%]	100	100	100	90	
草本層 2 (H2) の植生高 (最大) [m]	—	—	—	1.5	
草本層 2 (H2) の植生高 (最小) [m]	—	—	—	0	
草本層 2 (H2) の植被率 [%]	—	—	—	30	
調査区面積 [m ²]	3×3	2×2	2×2	2×2	
出現種数	1	3	2	3	
オギ群落区分種					
オギ	H1	5・5	5・5	5・5	5・5
伴 生 種					
セイタカアワダチソウ	H1	・	+	1・1	・
	H2	・	・	・	2・3
その他の出現種 ; イシカNo.24(H+), ヨモギNo.43(H ₂ +))					

表 8.7.1.1-3(5) ススキ・ハチジョウススキ群落

調査地点番号		13	5	17	30	21	22
草本層 (H) 植生高 (最大) [m]		2.5	1.5	2	2.5	2.5	2.5
草本層 (H) 植生高 (最小) [m]		0	0	0	0	0	0
草本層 (H) 植被率 [%]		100	100	100	100	70	60
調査区面積 [m ²]		2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2
出現種数		5	5	3	4	4	3
ススキ・ハチジョウススキ群落区分種							
ススキ	H	5・5	3・4	・	・	・	・
ハチジョウススキ	H	・	・	5・5	5・5	3・2	・
伴 生 種							
セイタカアワダチソウ	H	+	2・3	+	+	1・3	+・2
イリヒメワラビ	H	1・3	+	・	・	+	+
チガヤ	H	+	1・1	+	+	・	・
ヤマアヲ	H	+	1・1	・	+	・	・
イタドリ	H	・	・	・	・	3・3	3・3

表 8.7.1.1-3(6) ヨシ、アイアシ群落

調査地点番号		8	55	53	31	38	54	52	51
草本層 (H) 植生高 (最大) [m]		2.8	2.5	2	1.5	3	2	1.8	2.5
草本層 (H) 植生高 (最小) [m]		0	0	0	0	0	0	0	0
草本層 (H) 植被率 [%]		100	100	95	100	100	100	100	100
調査区面積 [m ²]		2×2	2×2	3×3	2×2	3×3	3×3	3×3	2×2
出現種数		1	1	2	8	4	2	1	1
ヨシ群落区分種									
ヨシ	H	5・5	5・5	5・5	5・5	3・3	+・2	・	・
アイアシ群落区分種									
アイアシ	H	・	・	・	・	・	5・5	5・5	5・5
伴 生 種									
セイタカアワダチソウ	H	・	・	・	+	2・3	・	・	・
その他の出現種；シオクグ No.53(2・3), シロハナサクラタテ No.31(1・1), オクサキビ No.31(+), イガカヤツリ No.31(+), オアレチノギク No.31(+), ダントホロキク No.31(+), メトハギ No.31(+), チガヤ No.38(2・2), ヤマアヲ No.38(+)									

表 8.7.1.1-3(7) クズ群落

調査地点番号		1	27	50	42
草本層 (H) 植生高 (最大) [m]		0.5	0.4	1.3	1.8
草本層 (H) 植生高 (最小) [m]		0	0	0	0
草本層 (H) 植被率 [%]		100	100	100	100
調査区面積 [m ²]		2×2	2×2	2×2	2×2
出現種数		1	6	4	5
クス群落区分種					
クス	H	5・5	5・5	5・5	5・5
伴 生 種					
セイタカアワダチソウ	H	・	・	3・4	1・1
チガヤ	H	・	・	+・2	+
ヨモギ	H	・	+	・	・
その他の出現種；オアレチノギク No.27(+), ヒメカシヨモギ No.27(+), シロサ No.27(+), オクサキビ No.27(+), ヤマアヲ No.50(+), ダントホロキク No.42(1・2), エノコログサ No.42(+)					

表 8.7.1.1-3(8) オオクサビキ群落

調査地点番号		25	28	29	45
草本層(H) 植生高(最大) [m]		0.8	0.6	0.7	0.4
草本層(H) 植生高(最小) [m]		0	0	0	0
草本層(H) 植被率 [%]		100	80	85	60
調査区面積 [m ²]		2×2	2×2	2×2	1×1
出現種数		7	9	7	7
オオクサビキ 群落区分種					
オオクサビキ	H	3・4	4・4	1・2	1・1
群団・群集標徴種					
オアルチギク	H	+	・	・	・
ケイビエ	H	・	+	・	・
伴 生 種					
イガヤツリ	H	1・2	+	+	2・2
ヒシバ	H	・	+	3・4	1・2
セイヤカワグサ	H	+・2	・	+	+
ヨモギ	H	・	+	+	+
アキエノコグサ	H	・	+	・	+
オオバコ	H	+	+	・	・
その他の出現種；イミカ 25(1・1), ダントホコグサ 25(1・2), シロガサ 28(+), イガオミ 28(+), マツヨイグサ 29(+・2), ケアリタケ 29(2・3), キヨキシバ 45(+)					

8 水生生物

8.1 調査結果の概要

資料 8.8.1.1 魚類

[本編 p184 対応]

表 8.8.1.1 魚類(漁具捕獲調査)確認種一覧

No.	目	科	種	学名	平成14年度																											
					春季								秋季																			
					St.a	St.b	St.c	St.d	St.e	St.h	St.i	St.j	合計	St.a	St.b	St.c	St.d	St.e	St.h	St.i	St.j	合計										
1	コイ	コイ	キンノナ	<i>Carassius carassius langsdorffii</i>														0				1										1
2	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis affinis</i>		6												6	2	11	22	30							14	79		
3	ニシ	ニシ	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>					25									25					20								20	
4			サバ	<i>Sardinella zunasi</i>					1									1													0	
5	スズキ	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>					6									6					28								28	
6	ホウ	ホウ	ホウ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>					24				12	36				36					7								7	
7	ハゼ	ハゼ	ハゼ	<i>Tridentiger obscurus</i>				2		3	7	2	14				14			13	22			10	15	18					78	
			合計		0	6	0	2	56	3	7	14	88		2	11	36	52	55	10	15	32	213									

- 注1) 種名および配列は原則として「新日本動物図鑑」に従った。
 注2) 春季調査：平成14年5月13,22日 秋季調査：平成14年10月21,23日
 注3) : 目視確認を示す。
 注4) 単位：個体数/5回投網、5回死網

表 8.8.1.2 底生動物(定量採集調査)確認種一覧

分類	目	科	種名	学名	平成14年度																							
					春季								秋季								冬季							
					St.k		St.l		St.m		合計		St.k		St.l		St.m		合計		St.k		St.l		St.m		合計	
個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量					
1	腔腸動物 花虫綱	イナヅナ科	イナヅナ目	Actiniaria																								
2	2	2	2	2	2	0.06																						
3	3	3	3	3	3	0.19																						
4	4	4	4	4	4	0.01																						
5	5	5	5	5	5	0.01																						
6	6	6	6	6	6	0.02																						
7	7	7	7	7	7	0.02																						
8	8	8	8	8	8	0.01																						
9	9	9	9	9	9	0.01																						
10	10	10	10	10	10	0.01																						
11	11	11	11	11	11	0.01																						
12	12	12	12	12	12	0.01																						
13	13	13	13	13	13	0.01																						
14	14	14	14	14	14	0.01																						
15	15	15	15	15	15	0.01																						
16	16	16	16	16	16	0.01																						
17	17	17	17	17	17	0.01																						
18	18	18	18	18	18	0.01																						
19	19	19	19	19	19	0.01																						
20	20	20	20	20	20	0.04																						
21	21	21	21	21	21	0.01																						
22	22	22	22	22	22	0.16																						
23	23	23	23	23	23	0.03																						
24	24	24	24	24	24	0.86																						
25	25	25	25	25	25	0.03																						
26	26	26	26	26	26	0.03																						
27	27	27	27	27	27	0.01																						
28	28	28	28	28	28	0.01																						
29	29	29	29	29	29	0.01																						
30	30	30	30	30	30	0.01																						
31	31	31	31	31	31	0.12																						
32	32	32	32	32	32	0.12																						
33	33	33	33	33	33	0.01																						
34	34	34	34	34	34	0.01																						
35	35	35	35	35	35	0.14																						
36	36	36	36	36	36	0.14																						
37	37	37	37	37	37	0.02																						
38	38	38	38	38	38	0.02																						
39	39	39	39	39	39	0.01																						
40	40	40	40	40	40	0.13																						
41	41	41	41	41	41	0.13																						
42	42	42	42	42	42	0.34																						
43	43	43	43	43	43	0.09																						
44	44	44	44	44	44	0.02																						
45	45	45	45	45	45	0.02																						
46	46	46	46	46	46	0.16																						
47	47	47	47	47	47	0.09																						
48	48	48	48	48	48	0.04																						
49	49	49	49	49	49	0.04																						
50	50	50	50	50	50	0.01																						
51	51	51	51	51	51	0.6																						
52	52	52	52	52	52	0.1																						
53	53	53	53	53	53	0.05																						
計	7門綱	16目	37科	53種	12種	19種				23種	36種									14種	7種	10種	21種	12種	5種	22種		

注1) 種名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成12年度河川版」に従った。
 注2) 調査日 春季：平成14年5月13、22日 秋季：平成14年10月21日 冬季：平成15年1月21日
 注3) 採取方法：スミスマックンタイヤー型採泥器
 注4) 湿重量の+は0.01g未満をあらわす。
 注5) 単位 個体数：個 湿重量：(g)/0.15cm²

表 8.8.1.3 潮間生物(定量採集調査)確認種一覧

No.	分類	目名	科名	種名	学名	平成14年度																		
						春季									秋季									
						St.f		St.g		St.n		St.o		合計		St.f		St.g		St.n		St.o		合計
個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量					
1	腔腸動物 花虫綱	イギ`ンヤク	タリ`マイギ`ンヤク	Haliplanelia属の一種	<i>Haliplanelia</i> sp.																			
2	2	2	針細虫	テトラステマ	メノモトシ	<i>Tetrastemma nigrifrons</i>			1	+										1	+			
3	3	3	有針綱	エム`レトマ	ヨウモトシ	<i>Nemertopsis gracilis</i>														8	0.02	13	0.03	
4	4	4	環形動物 多毛綱	遊在	ゴ`ガ	イイコ`ガ	<i>Perinereis nuntia</i> var. <i>vallata</i>					1	0.04	1	0.04									
5	5	5			シヤコ`ガ	<i>Perinereis nuntia</i> var. <i>brevici</i>	3	0.18			10	0.23	13	0.41					14	0.14	14	0.14		
6	6	6			テ`ンカ`ゴ`ガ	<i>Pseudonereis variegata</i>					1	0.01	1	0.01					1	0.05	1	0.05		
7	7	7			ゴ`ガ	<i>Neanthes japonica</i>					45	0.04	45	0.04			1	0.02			1	0.02		
8	8	8			ア`ナシ`ゴ`ガ	<i>Neanthes succinea</i>	2	+			7	0.44	9	0.44										
9	9	9	定在	ズ`オ	Polydora属の一種	<i>Polydora</i> sp.	2	+			39	0.02	41	0.02					1	+				
10	10	10			イト`ガ	Capitellidae																		
11	11	11	軟体動物 中腹足綱	中腹足	ア`サヒ`ガイ	<i>Littorina brevicula</i>	2	0.36			2	+	4	0.36			1	+			1	+		
12	12	12			ア`サヒ`ガイ	<i>Peasiella roepstorffiana</i>													1	+				
13	13	13			ア`サヒ`ガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>			2	+	3	0.02	5	0.02							1	+		
14	14	14	軟体動物 二枚貝綱	ガイ	ガイ	コ`ロシ`カ`ビ`ハ`リ`カ`イ	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>	45	4.55	75	31.68	36	3.93	156	40.16			45	5.31	84	3.73	129	9.04	
15	15	15			ガイ	<i>Vignadula atrata</i>	2	0.03					2	0.03							3	0.35		
16	16	16			ウ`イ`カ`イ	<i>Crassostrea gigas</i>	199	502.09	86	64.49	54	180.44	155	568.19	494	1315.21	59	150.68	50	44.36	94	355.02	302	617.72
17	17	17			ウ`イ`カ`イ	<i>Trapezium liratum</i>															3	0.35		
18	18	18	節足動物 甲殻綱	完胸	イ`ワ`シ`ガ	<i>Chthamalus challengeri</i>															5	0.03		
19	19	19			イ`ワ`シ`ガ	<i>Balanus amphitrite</i>									16	0.48			8	0.48	32	0.83		
20	20	20			イ`ワ`シ`ガ	<i>Balanus improvisus</i>			1	0.10	264	17.22	265	17.32							13	0.35		
21	21	21			イ`ワ`シ`ガ	<i>Balanus albicostatus</i>	531	80.94	1066	61.84	19	2.42	120	24.09	1717	166.87	624	101.60	896	72.93	25	1.84		
22	22	22			イ`ワ`シ`ガ	<i>Balanus kondakovi</i>			10	1.57	18	+	29	3.99			16	0.08	263	15.69	2	0.03		
23	23	23			イ`ワ`シ`ガ	<i>Sineleobus</i> sp.					18	+	18	+										
24	24	24	等脚	ゴ`ツ`ムシ	イ`ノ`コ`ク`ムシ`属の一種	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.					27	0.26	27	0.26					50	0.12	9	0.02		
25	25	25	端脚	メ`リ`ガ`コ`ムシ`	ヒ`ガ`メ`リ`ガ`コ`ムシ`	<i>Melita setiflagella</i>					24	0.02	24	0.02					19	0.04				
26	26	26			メ`リ`ガ`コ`ムシ`	<i>Melita shimizu</i>			1	+			1	+										
27	27	27			メ`リ`ガ`コ`ムシ`	<i>Hyale barbicornis</i>	190	0.22					75	0.08	265	0.30	100	0.15			292	0.36		
28	28	28			ト`ク`ガ`ムシ`	<i>Corophium</i> spp.					34	0.01	34	0.01					4	+				
29	29	29			イ`ガ`ニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>	3	0.58					6	1.91	9	2.49	3	0.06			14	0.72		
30	30	30			イ`ガ`ニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	7	0.05			5	0.54	12	0.59	2	0.05			50	1.44	11	0.53		
31	31	31			-	カ`ニ`類`ガ`ロ`バ`期`幼`生	Megalopa											1	+	1	+	2	+	
32	32	32	節足動物 双翅	ユ`シ`カ	ヤ`シ`ガ`ハ`イ`科	<i>Tematogaeton japonica</i>	2	+			1	+	7	+										
33	33	33	昆虫綱	ア`シ`ガ`ハ`イ`科	ア`シ`ガ`ハ`イ`科	Dolichopodidae															1	+		
計	5門7綱	14目	20科	32種	12種	8種	13種	10種	24種	7種	6種	12種	19種	25種	注6)									

注1)種名および記別は原則として「環境庁、1993. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動物種の現状 - (無脊椎動物編)」に従った。

注2)調査日 春季:平成14年5月13,22日 秋季:平成14年10月21日

注3)採取方法:25cm x 25cmト`ラ`ト`内採取

注4)湿重量の+は0.01g未満をあらわす。

注5)単位:個体数:個 湿重量:(g)/0.0625cm²

注6)カニ類メガロバ期幼生については、イワガニ科の確認種と同一である可能性があるため、1種としなかった。

注7)「-の一種」、「-類」等、種まで同定できないものについても便宜上1種として扱った。

第3項 人と自然との豊かな触れ合い、歴史的文化的な遺産の保存及び良好な景観の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素

10 景観

10.1 調査結果の概要

資料 8.10.1.1 眺望景観の調査結果

[本編 p441 対応]

主要な眺望地点における眺望状況写真（平成14年9月12日撮影、平成14年12月5日撮影、平成15年2月25日撮影及び平成17年10月25日・10月27日撮影）を写真8.10.1.1(1)～8.10.1.1(20)に示す。なお、眺望地点 No.4、No.5 については、撮影時期による変化はほとんど見られない。

(1)平成14年9月12日撮影



写真 8.10.1.1(1) 調査地点 No.1 からの眺望



写真 8.10.1.1(2) 調査地点 No.2 からの眺望



写真 8.10.1.1(3) 調査地点 No.3 からの眺望



写真 8.10.1.1(4) 調査地点 No.4 からの眺望



写真 8.10.1.1(5) 調査地点 No.5 からの眺望

(2)平成 14 年 12 月 5 日撮影



写真 8.10.1.1(6) 調査地点 No.1 からの眺望



写真 8.10.1.1(7) 調査地点 No.2 からの眺望



写真 8.10.1.1(8) 調査地点 No.3 からの眺望



写真 8.10.1.1(9) 調査地点 No.4 からの眺望



写真 8.10.1.1(10) 調査地点 No.5 からの眺望

(3)平成 15 年 2 月 25 日撮影



写真 8.10.1.1(11) 調査地点 No.1 からの眺望



写真 8.10.1.1(12) 調査地点 No.2 からの眺望



写真 8.10.1.1(13) 調査地点 No.3 からの眺望



写真 8.10.1.1(14) 調査地点 No.4 からの眺望



写真 8.10.1.1(15) 調査地点 No.5 からの眺望 (冬季)

(4)平成 17 年 10 月 25・27 日撮影



写真 8.10.1.1(16) 調査地点 No.1 からの眺望(平成 17 年 10 月 25 日撮影)



写真 8.10.1.1(17) 調査地点 No.2 からの眺望(平成 17 年 10 月 25 日撮影)



写真 8.10.1.1(18) 調査地点 No.3 からの眺望(平成 17 年 10 月 25 日撮影)



写真 8.10.1.1(19) 調査地点 No.4 からの眺望(平成 17 年 10 月 27 日撮影)



写真 8.10.1.1(20) 調査地点 No.5 からの眺望(平成 17 年 10 月 27 日撮影)

12. 温室効果ガス等

12.1 予測及び評価

資料8.12.1.1 工事の実施

[本編 p402 対応]

工事の実施による二酸化炭素の排出量の予測方法を以下に示す。

(1) 予測方法

1) 建設機械の稼働に伴う二酸化炭素排出量

a 予測式

建設機械の稼働に伴う二酸化炭素排出量は、次式により算出した。

$$E_1 = \sum_{m=1}^n (W_m \times ef_m \times k_h \times k_m \times 44/12)$$

m : 建設機械機種

W_m : 建設機械種別燃料使用量 (L/h)

ef_m : 燃料種別 CO₂ 排出係数 (kgC/L)

k_h : 稼働時間数 (6h/日)

k_m : 工事全期間の建設機械種別延べ稼働台数 (台)

b 予測条件

工事全期間の建設機械種別延べ稼働台数については、工事計画（機械工程根拠）をもとに表 8.12.1.1(1)に示すとおり設定した。また、わんぱく原っぱ盛土工事の土砂の敷均し及び転圧については、タイヤローラー（延べ1,504台）及びブルドーザー（延べ2,598台）が稼働するものとして、工事中の延べ稼働台数に加算した。建設機械種別燃料使用量については「建設機械等損料算定表 平成16年度版」（日本建設機械化協会、平成16年）をもとに設定した。

燃料種別のCO₂排出係数については表 8.12.1.1(2)に示すとおり設定した。

表 8.12.1.1(1) 工事全期間の建設機械種別延べ稼働台数及び燃料使用量

建設機械	延べ稼働台数 (台日)	燃料 種別	燃料使用量 (L/h)
マカドローラー 12t	592	軽油	6.0
タイヤローラー 8t	592	軽油	7.1
バックホー（平積0.6m ³ ）	1,625	軽油	18
ブルドーザー 21t	9,725	軽油	27
ダンプトラック 10t 積み	2,033	軽油	12

出典）「建設機械等損料算定表 平成16年度版」（日本建設機械化協会、平成16年）

表 8.12.1.1(2) 燃焼種別 CO₂ 排出係数

単位：kgC/L

燃料種別	CO ₂ 排出係数
ガソリン	0.6433
軽油	0.7212

出典）「環境アセスメントの技術」（（社）環境情報科学センター編、平成11年8月）

2) 工事用車両の走行に伴う二酸化炭素排出量

a 予測式

工事用車両の走行に伴う二酸化炭素排出量は次式により算出した。

$$E_2 = \sum_{m=1}^n (ef_m \times L \times k_m)$$

- m : 交通車種 (小型車・大型車)
 $e f_m$: 車種別 CO₂ 排出係数 (g/台・km)
 L : 走行距離 (km)
 k_m : 工事全期間の車種別延べ交通量 (台)

b 予測条件

工事用車両の走行は、ストックヤード土砂搬出入車両とわんぱく原っぱ盛土工事の土砂搬入車両がある。ストックヤードは2年次より供用を開始しているが、全ての施設が供用を開始するまでは工事中に含め、その間の土砂搬出入車両台数は、工事計画（機械工程根拠の延べ台数）より、大型車 123,492 台と設定した。また、わんぱく原っぱ盛土工事の土砂搬入車両については、盛土が完了する5年次までの期間に200万 m³の土砂を搬入する計画であることから、大型車が延べ400,000台であるとした。

また、走行距離については、近隣市町村の工事車両を使用することを想定し30km(片道)とした。車種別のCO₂排出係数については、表8.12.1.1(3)に示すとおりとした。

表 8.12.1.1(3) 車種別 CO₂ 排出係数

単位:g/台・km

車種		A 排出係数 (g-CO ₂ /台・km)	B 車種構成比 (%)	A × B (g-CO ₂ /台・km)
大型車	ガソリン車	227.98	0.6	1.37
	ディーゼル車	457.00	99.4	454.26
	計	-	-	455.63

出典) 排出係数:「環境アセスメントの技術」((社)環境情報科学センター編、平成11年8月)
 車種構成比:「道路環境影響評価の技術手法」((財)道路環境研究所、平成12年11月)

存在及び供用による二酸化炭素の排出量の予測方法を以下に示す。

(1) 予測方法

1) 作業機械の稼働に伴う二酸化炭素排出量

a 予測式

作業機械の稼働に伴う二酸化炭素排出量は、次式により算出した。

$$E_3 = \sum_{m=1}^n (W_m \times ef_m \times k_h \times k_m \times 44/12)$$

m : 作業機械機種

W_m : 作業機械種別燃料使用量 (L/h)

ef_m : 燃料種別 CO₂ 排出係数 (kgC/L)

k_h : 稼働時間数 (7 h/日)

k_m : 1 年間の機種別延べ稼働台数 (台)

b 予測条件

稼働台数は、ストックヤードにおける建設発生土の搬出入作業を最大で 25t トラック 6 台で行い、25 日/月稼働するものとして表 8.12.1.2(1)に示すとおり設定した。また、建設機械種別燃料使用量については「建設機械等損料算定表 平成 16 年度版」(日本建設機械化協会 平成 16 年)をもとに設定した。

燃料種別の CO₂ 排出係数については表 8.12.1.2(2)に示すとおり設定した。

表 8.12.1.2(1) 供用時の作業機械種別稼働台数及び燃料使用量

建設機械	延べ稼働台数 (台)	燃料種別	燃料使用量 (L/h)
ダンプトラック 25 t 積み	1,800	軽油	20

出典)「建設機械等損料算定表 平成 16 年度版」(日本建設機械化協会、平成 16 年)

表 8.12.1.2(2) 燃焼種別 CO₂ 排出係数

単位: kgC/L

燃料種別	CO ₂ 排出係数
軽油	0.7212

出典)「環境アセスメントの技術」((社)環境情報科学センター編、平成 11 年 8 月)

2) 発生車両の走行に伴う二酸化炭素排出量

a 予測式

ア 一般道路の走行に伴う二酸化炭素排出量

ストックヤードへの搬出入車両及び発生車両が一般道路を走行する際の二酸化炭素発生量は、次式により算出した

$$E_4 = \sum_{m=1}^n (ef_m \times L \times K_m)$$

- m : 交通車種 (小型車・大型車)
 ef_m : 車種別 CO₂ 排出係数 (g/台・km)
 L : 走行距離 (km)
 k_m : 1年間の車種別延べ交通量 (台)

イ 事業計画区域内の走行に伴う二酸化炭素排出量

搬出入車両、発生車両の事業計画区域内の走行に伴う二酸化炭素発生量は、次式により算出した。

$$E_5 = \sum_{j=1}^l \sum_{i=1}^n (ef_i \times L_i \times m_{ij})$$

- i : 交通車種 (小型車・大型車)
 j : 走行ルート
 ef_i : 車種別 CO₂ 排出係数 (g/台・km)
 L_j : ルート別走行距離 (km)
 m_{ij} : 1年間の車種別ルート別交通量 (台)

b 予測条件

ア 一般道路の走行に伴う二酸化炭素排出量

車種別交通量は、事業計画における来車台数より、大型車 (ストックヤードの搬出入車両) は最大 150 台/日 (片道) で 25 日/月 (300 日/年) であることから、1年間の延べ交通量を 45,000 台と設定した。小型車 (発生車両) については、年間の入り込み客数が約 49.5 万人であることから、1台あたり 3人乗車するとして、1年間の延べ交通量を 165,000 台と設定した。

走行距離については、大型車は近隣市町村の工事車両を使用することを想定し 30km (片道) とした。小型車については、事業計画 (公園緑地設計) における誘致圏範囲である 20.6km (都市公園利用実態調査における広域公園の平均誘致圏距離) とした。

車種別の CO₂ 排出係数については、表 8.12.1.2(3) に示すとおり設定した。

表 8.12.1.2(3) 車種別速度別 CO₂ 排出係数

単位: g/台・km

車種		A 排出係数 (g-CO ₂ /台・km)	B 車種構成比 (%)	A × B (g-CO ₂ /台・km)
大型車	ガソリン車	227.98	0.6	1.37
	ディーゼル車	457.00	99.4	454.26
	計	-	-	455.63
小型車	ガソリン車	185.74	72.7	135.03
	ディーゼル車	198.90	27.3	54.30
	計	-	-	189.33

出典) 排出係数: 「環境アセスメントの技術」((社)環境情報科学センター編、平成 11 年 8 月)
 車種構成比: 「道路環境影響評価の技術手法」((財)道路環境研究所、平成 12 年 11 月)

イ 事業計画区域内の走行に伴う二酸化炭素排出量

事業実施区域内における車両の走行距離は、出入り口である緑風橋から各施設または駐車場までの距離とした。ストックヤードへの搬出入車両(大型車)については 0.71km、各施設を利用する一般の発生車両(小型車)については、各駐車場への距離として表 8.12.1.2(4)に示すとおりとした。

車種別交通量は、事業計画における来車台数より、大型車(ストックヤードの搬出入車両)は最大 150 台/日(片道)で 25 日/月(300 日/年)であることから、1 年間の延べ交通量を 45,000 台と設定した。小型車(発生車両)については、年間の入り込み客数が約 49.5 万人であることから、1 台あたり 3 人乗車するとして、1 年間の延べ交通量を 165,000 台と設定した。

車種別速度別の CO₂ 排出係数については、表 8.12.1.2(5)に示すとおり設定した。

表 8.12.1.2(4) 各駐車場の事業計画区域内走行距離

駐車場	事業計画区域内 走行距離 (km)	収容台数 (台)
駐車場 1	0.68	48 (14 %)
駐車場 2	0.73	93 (26 %)
駐車場 3	0.73	49 (14 %)
駐車場 4	1.91	14 (4 %)
駐車場 5	1.67	14 (4 %)
駐車場 6	1.44	74 (21 %)
駐車場 7	1.70	14 (4 %)
駐車場 8	1.49	14 (4 %)
駐車場 9	1.99	32 (9 %)
合計	-	352 (100 %)

表 8.12.1.2(5) 車種別速度別 CO₂ 排出係数

単位:g/台・km

車種		A 排出係数 (g-CO ₂ /台・km)	B 車種構成比 (%)	A × B (g-CO ₂ /台・km)
大型車	ガソリン車	227.98	0.6	1.37
	ディーゼル車	457.00	99.4	454.26
	計	-	-	455.63
小型車	ガソリン車	185.74	72.7	135.03
	ディーゼル車	198.90	27.3	54.30
	計	-	-	189.33

出典) 排出係数:「環境アセスメントの技術」((社)環境情報科学センター編、平成11年8月)
 車種構成比:「道路環境影響評価の技術手法」((財)道路環境研究所、平成12年11月)

長産第 6903号
平成 14年 2月 27日

意 見 書

三重県桑名郡長島町
長島町長 平野 久



1. 意見の対象とする方法書の名称

木曾岬干拓地整備事業環境影響評価方法書

2. 意 見

この木曾岬干拓地整備事業については、事業特性及び地域特性において
環境保全施策を充分考慮し多面的な土地利用の検討を進め、有効活用をめ
ざすべく万全を期せられたい。



木企第 58 号
平成 14 年 2 月 27 日

三重県知事 北川正恭 様

桑名郡木曾岬町長 古村



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価方法書に対する意見書

木曾岬干拓地整備事業環境影響評価方法書に対する意見を次のとおり提出する。

記

木曾岬干拓地の土地利用は、三重県はもとより当町にとっても将来の町づくりに欠くことの出来ない最重点課題であります。

従い、町としては早期に高度利用への展開が図られることを強く望むものでありますが、当面現計画が早期着手されるよう、示された方法書に基づき早期に環境影響評価を進められたい。

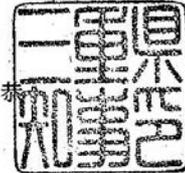
環 政 第 4 1 6 号

平成 14 年 3 月 26 日

三重県

三重県知事 北川 正恭 様

三重県知事 北川 正恭



木曾岬干拓地整備事業に係る環境影響評価方法書に対する意見について

平成 13 年 10 月 12 日付けで送付のありました環境影響評価方法書についての三重県環境影響
条例第 10 条第 1 項の規定に基づく意見は、別紙のとおりです。

なお、愛知県知事の意見（写し）及び愛知県海部郡弥富町長の意見（写し）を添付しますので、
当該意見を勧奨して、環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法の選定を行ってくだ
さい。

事務担当 環境政策課 環境審査グループ

中川、太田

TEL:059-224-2318 FAX:059-224-3024

木曾岬干拓地整備事業に係る環境影響評価方法書に対する意見

(総括的事項)

- 1 具体的な実施計画及び特筆すべき動植物の保護保全対策等の環境保全措置については、今後の調査及び予測の結果を基に、環境影響の回避・低減が最大限になされるよう、十分検討すること。また、その検討の経緯を明らかにするとともに、選択した環境保全措置の不確実性も明らかにすること。
- 2 環境影響評価を行う過程において、項目及び手法の選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合には、必要に応じて、選定した項目及び手法の見直しや追加調査、予測及び評価を行うこと。

(個別的事項)

1 大気環境

- (1) 大気質の評価除外項目の一酸化炭素、温室効果ガス等の除外理由として「燃料中の含有量の規制が図られている。」としているが、燃料中には存在しないので、見直すこと。
- (2) 光化学オキシダントの原因となる一次汚染物質である窒素酸化物に加え、ヒドロカーボンの測定を実施すること。また、オゾン濃度についても現況把握すること。

2 動物・植物

- (1) 動植物の環境影響評価の対象項目については、車両の走行による粉じん等や地形の少しの整形であっても生物には影響があると考えられるので、環境影響評価の対象項目を見直し、適正に設定すること。
- (2) クモ類、土壌動物の生息について調査を実施すること。
- (3) 動植物の現地調査の手法において、「項目毎に適切な方法を選定する。」としているが、木曾岬干拓地という地域特性を十分考慮して、専門家の指導を受けながら調査人数、調査日数、調査ルート等具体的な実施計画を作成し、調査を実施すること。
- (4) 三重県環境影響評価技術指針では、重要な種については、個体数の調査に加え分布及び生息の状況まで調査するようになっている。動植物の調査期間は1年間としているが、重要な種が確認された場合は調査目的に応じて調査期間の延長等適正な調査期間を設定すること。
- (5) 鳥類の生息については、渡り鳥等は毎年同じように飛来してくるとは限らないので、1年間の調査では適正な把握は困難である。最低2年間の調査を実施すること。
- (6) 鳥類の繁殖状況調査については、マップ法等による定量的な調査を実施する必要がある。特に、文献調査で繁殖の記録のあるチュウヒについては、2繁殖シーズン以上をかけて綿密に行うこと。
- (7) 鳥類の調査について、干潟特有の生態を考慮し、満潮時等における休息地としての干拓地の利用状況調査を実施すること。
- (8) 動植物の予測手法について、「分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた事例の引用又は解析による手法を用いる。」としているが、可能な限り定量的解析法を用いた評価を実施すること。
- (9) 環境保全措置として、「現存する植生を活用するよう努める。」としているが、どのように活用するのか示すこと。

3 その他

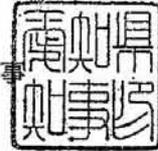
- 建設発生土ストックヤードの管理運営方法を明らかにすること。

13環政第288-10号

平成14年3月25日

三重県知事殿

愛知県知事



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価方法書について（通知）

このことについて、平成13年10月16日付け環政第241号の三重県知事協議
記書き1（5）に基づく環境の保全の見地からの意見は、別添1のとおりです。

また、方法書関係相当町長である弥富町長からの意見は、別添2のとおりです。

担当 環境部環境政策課

環境影響評価グループ

電話 052-961-2111

内線 3023・3024



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価方法書に係る意見

環境影響評価の実施に当たっては、以下の事項について十分に検討することにより適切に環境影響評価を実施し、その結果を環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）に記載する必要がある。

なお、環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合などにおいては、必要に応じて選定された項目、手法等を見直し、調査、予測又は評価を行う必要がある。

1 共通事項

(1) 当該事業については、具体的な事業内容を踏まえ、より確実性の高い環境影響評価を実施し、その結果を事業計画や環境保全対策の検討、施工・供用時の環境への配慮等に反映する必要がある。

このため、事業計画、工事計画等をより具体化し、その計画に即した環境影響評価の結果を準備書に記載すること。

(2) 事業計画、工事計画等の検討に当たっては、過去の状況も念頭に置きつつ、現況の自然環境を適正に評価した上で、環境影響の回避・低減を図ること。

(3) 事業計画、工事計画等の検討に当たっては、環境保全対策に関する最新の情報を考慮して、最善の利用可能な技術を導入するなど、より一層の環境負荷の低減について検討すること。また、低公害型の建設機械及び作業機械を積極的に採用すること。

(4) 事業計画、工事計画等の検討に当たっては、沿道大気環境、道路交通騒音、周辺道路の交通状況等について十分留意すること。

また、沿道大気環境及び道路交通騒音・振動の予測及び評価に当たっては、一般交通量及び当該事業による発生交通量を適切に設定すること。

2 大気質

(1) 工事中の建設機械の稼働による窒素酸化物及び浮遊粒子状物質に係る影響の予測については、予測結果により周辺への影響を適切に評価できる手法を採用すること。

(2) 工事中及び供用時における粉じん等の環境影響評価に当たっては、降下ばい

じんに係る現地調査を行い、現状を適切に把握した上で、定量的な予測を行うこと。

(3) ストックヤードにおける作業機械の稼働による窒素酸化物及び浮遊粒子状物質に係る影響が考えられるとしていることから、供用時の土地の利用による窒素酸化物及び浮遊粒子状物質に係る環境影響評価を行うこと。

(4) ストックヤードを利用する車両の走行による粉じん等に係る影響が考えられるとしていることから、供用時の発生車両の走行による粉じん等に係る環境影響評価を行うこと。

3 騒音・振動

(1) ストックヤードにおける作業騒音・振動の影響については、近傍集落付近での騒音・振動レベルのピーク値を予測するとしているが、評価指標とする基準値等を明らかにした上で、その評価指標に適した予測地域及び予測事項を設定すること。

(2) 環境騒音・振動の現地調査については、平日の昼間に1回測定するとしているが、休日においてもストックヤードを利用することが考えられることから、休日についても調査を実施すること。

4 水質

事業実施区域の周辺水路については、工事中及び供用時において、濁水及び汚水による影響が想定されるため、当該水路の水質に係る環境影響評価を行うこと。

5 地形及び地質

ストックヤードにおける建設発生土の保管量・保管方法及び地盤の土質によっては、その土砂の重みにより、地盤沈下、地盤変形等が懸念されることから、土地の安定性について環境影響評価を行うこと。

6 土壌・悪臭

(1) 盛土材として搬入される建設残土については、関係法令に定める基準に適合したものを使用するとしているが、この関係法令に定める基準及び基準適合に係る確認手法について明らかにすること。

- (2) スtockヤードへの建設発生土の搬入に対しては、土壌、悪臭等に係る管理運営規定を設け遵守するとしているが、この管理運営規定を明らかにすること。

7 動物・植物

- (1) 動物・植物の現地調査については、的確に事業実施区域及びその周辺の状況が把握できるよう、専門家の指導や助言を得て、現地調査計画を具体化すること。また、その調査結果を踏まえ、必要に応じ補完調査を実施すること。
とりわけ、鳥類のうち、ワシタカ類、水鳥類及び集団生息地の現地調査については、それらの特性に応じた適切な調査時期及び調査期間を設定すること。
- (2) 生態系の環境影響評価に当たっては、現地調査により事業実施区域及びその周辺の生態系の特徴を的確に把握した上で、注目される生物種等を適切に選定し、可能な限り定量的な予測を行うこと。
- (3) 動物・植物の文献調査については、その内容を充実すること。
- (4) 動物・植物に係る重要な種の選定に当たっては、最新の知見に基づき行うこと。また、「改訂・近畿地方の保護上重要な植物－レッドデータブック近畿2001－(平成13年 レッドデータブック近畿研究会)」を追加すること。

8 景観

景観の現地調査については年1回実施するとしているが、景観の現況を的確に把握できるよう調査頻度等を検討すること。

9 廃棄物等

- (1) 工作物、工事中道路等の建設に伴う廃棄物等及び供用時に発生する廃棄物等について、環境影響評価を行うこと。
- (2) 工事中における廃棄物等に係る予測対象時期については、工事による影響が最大となる時期としているが、全工事期間を対象とすること。

10 その他

準備書については、専門的な内容が多く、かつ、膨大な図書になる可能性があることから、作成に当たっては住民に分かりやすい内容となるよう配慮すること。

別添2

14 弥衛第 188 号

平成14年2月12日

愛知県知事 殿

海部郡弥富町 川 瀬 輝 夫



木曾岬干拓整備事業環境影響評価方法書
について（回答）

平成14年2月4日13環政第288-2号で照会のありましたこのことについては、
下記のとおりです。

記

意見なし。

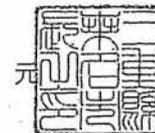


政 第 146 号

平成 17 年 10 月 14 日

三重県知事 様

桑名市長 水 谷



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書に対する意見書

三重県環境影響評価条例第 19 条の規定により、下記のとおり環境影響評価準備書に関する意見を提出します。

記

- ・ 木曾岬干拓地整備事業につきましては、事業の目的に沿って早期の都市的利用が図られるよう検討をされたい。また、当面の暫定利用に際しては、その区域内に生息する絶滅危惧種をはじめ、貴重な動植物の保全対策を講じられるなど生態系への影響を最小限にとどめられるよう万全を期せられたい。





木企第 148 号
平成 17 年 9 月 30 日

三重県知事 野呂昭彦 様

木曾岬町長 平野 勲



三重県環境影響評価条例第 19 条に規定により、木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書に対する町意見を次のとおり提出する。

記

木曾岬干拓地の土地利用は、三重県はもとより当町にとっても将来の町づくりに欠くことのできない最重点課題であります。

そもそも木曾岬干拓事業は昭和 36 年に農業干拓を工業干拓に変更し計画されたものですが、県と企業との話し合いが一向に進まず、防災上の見地から放っておけずに農業干拓に逆戻りし着手された事業であり、当時の木曾岬村民は生活の場を放棄して干拓事業に協力して参りました。

時代の変化により現在は多目的利用を可能とする計画へと転換されて参りましたが、自然ではなく人工的に造成された土地が長年放置されたがために動植物が繁殖するという状況になったものであります。

以上のことを勘案の上、町としては先人の苦勞と地元住民の意見を尊重していただき、早期に現計画が着手され完了することを望むものであり、加えて都市的利用への展開が図られることを強く望むものであります。





木企第 148 号
平成 17 年 9 月 30 日

三重県知事 野呂昭彦 様

木曾岬町長 平野 勲



三重県環境影響評価条例第 19 条に規定により、木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書に対する町意見を次のとおり提出する。

記

木曾岬干拓地の土地利用は、三重県はもとより当町にとっても将来の町づくりに欠くことのできない最重点課題であります。

そもそも木曾岬干拓事業は昭和 36 年に農業干拓を工業干拓に変更し計画されたものですが、県と企業との話し合いが一向に進まず、防災上の見地から放っておけずに農業干拓に逆戻りし着手された事業であり、当時の木曾岬村民は生活の場を放棄して干拓事業に協力して参りました。

時代の変化により現在は多目的利用を可能とする計画へと転換されて参りましたが、自然ではなく人工的に造成された土地が長年放置されたがために動植物が繁殖するという状況になったものであります。

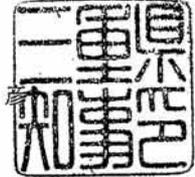
以上のことを勘案の上、町としては先人の苦勞と地元住民の意見を尊重していただき、早期に現計画が着手され完了することを望むものであり、加えて都市的利用への展開が図られることを強く望むものであります。



環森第 03- 87号
平成17年12月13日

三重県知事 野 呂 昭 彦 様

三重県知事 野 呂 昭 彦



木曾岬干拓地整備事業に係る環境影響評価準備書に対する
意見について

平成17年1月24日付けで送付のあった、環境影響評価準備書について、「三重県
環境影響評価条例」第20条第1項の規定に基づく意見は、別添のとおりです。

また、同条例第55条の規定による隣接県協議に基づき、当該準備書に対する愛知県
知事等からの意見を添付しますので、これらの意見についても勘案するとともに、当該
意見及びこれらに対する見解についても、併せて環境影響評価書に記載するようお願い
します。

事務担当

環境森林部 環境活動室

高橋、村田

TEL 059-224-2316

Fax 059-224-3024



木曾岬干拓地整備事業に係る環境影響評価準備書に対する意見

(総括的事項)

- 1 木曾岬干拓地は、もともと農業の近代化及び農業経営の安定化を図ることを目的として整備された干拓地であるものの、現在においては、草本及び低木からさらなる遷移の過程の段階にあり、豊かな生態系が出現している区域でもある。このような区域において、自然改変を行う当該事業については、関係住民の理解を得るためにも、当該事業の目的及び内容について環境保全の位置づけを含め、可能な限り理解しやすい内容で評価書を作成すること。
- 2 事業の実施に際しては、最新の知見を取り入れるとともに、事業実施区域及びその周辺の環境状況に変化が認められる場合には、事業の実施にあたり必要な措置を講じること。

(大気環境)

事業実施区域周辺は、二酸化窒素濃度が三重県の環境保全目標値を既に上回っていることから、事業の実施の際には、より一層の環境負荷の低減に努めるとともに、工事の実施手法や工事中及び供用後におけるアクセスルートの検討の際には、当該事業以外の公共事業等の影響についても配慮を行うこと。また、その際には、騒音等関連する環境負荷についても併せて検討を行うこと。

(水環境)

- 1 水生生物のリュウノヒゲモについては、生息する水路を保全すべき場所としていることから、適切な環境保全措置を講じるためにも、水の濁りに対する予測評価について、沈砂池からの雨水流出等、新たに検討を行った結果については、評価書に記載すること。
- 2 水の濁りの予測評価について、現時点では実際に搬入される土砂成分が不明であり、今回予測に用いた土砂による予測評価結果では十分とは言えないため、土砂搬入にあたり、実際に搬入される土砂を用いた事前の試験及び適宜モニタリングを行うとしたことについては、確実に実施すること。
また、事前の試験の結果、現時点での予測評価結果を上回る事が予測される場合には、適切に環境保全措置に反映するとともに、浚渫土などの高シルト分及び高有機物質を含む土砂が搬入されることとなった場合には、事前に十分な検討を行い、環境への影響がないよう処理を施すこと。

(動物、植物、生態系)

- 1 チュウヒに対する環境保全策については、ヨシ原等の整備を行うこととした根拠及び検討の経緯とあわせて、保全計画の実施手順を、評価書へ明確に記載すること。ただし、その際は、希少種の保全の観点から配慮された表現とすること。

- 2 現時点では、チュウヒに関する知見が少ないことから、事業の実施及び代償措置としての保全地の整備等の環境保全措置を講じるにあたっては、事業の実施前から継続したモニタリングを行い、その調査結果や他の事例に基づき専門家の指導及び助言を受けること。
また、保全地の整備を行う時期についても、専門家の助言及び指導を受け、チュウヒの繁殖活動に影響を与えると判断している区域の工事の着手までに実施されること。
- 3 代償措置の効果については不確実性を伴うため、事後調査に位置づけるとともに、結果によっては必要に応じて環境保全措置の改善を行うなど、適切な措置を講じること。
- 4 代償措置として実施することとしたヨシ原の整備については、平常水位や塩分濃度、底質の状態について十分検討を行い、ヨシと乾性草本種との競合に配慮して、ヨシ原の水位管理に配慮すること。
- 5 公園等の供用後には、利用者や作業者によるゴミの放置やペット動物の同伴などによるチュウヒの生息環境への影響が懸念されるため、徹底した公園管理を行うとともに、利用者等に対しても協力と理解を求めること。
また、現時点では事業実施区域外とされている区域の生態系に対しても、できる限り影響が回避される管理を行うこと。
- 6 事業の詳細な設計を行うにあたっては、改変区域を最小にし、できる限り環境に与える影響の回避を行うとともに、土地の形状変更や水路等の工作物の設置を行う部分については、自然との共生が図れる工法をできる限り取り入れるなどの検討を行うこと。
- 7 カヤネズミの調査については、どのような手法を用いたか詳細に記載されていないことから、評価書にわかりやすく記載すること。
- 8 事業実施区域は、概ね5年以内の着手が予定されている木曾岬干拓地の北部のみを対象としているものの、事業実施区域外で環境保全策を講じるとした部分があるため、その位置づけについては、事業者が実施可能であることが明確になるよう、評価書に明記すること。

(景観)

フェンスを含め、工作物を設置する際には、高速道路からの眺望及び動物の行動への影響に配慮して、周囲の風景に馴染むものとするのが望ましい。

(その他)

- 1 工事の実施及び供用に関しては、愛知県側と一体になされるものであることから、代償措置等の環境保全措置の実施にあたっては適切な実施時期等について十分に調整を行い、愛知県事業者とともに、搬入する土砂の品質管理を含め環境負荷の低減及び環境保全措置の維持を行うよう努めること。
- 2 評価書の作成にあたっては、関係住民からの意見を十分に勘案するとともに、わかりやすく記載すること。

写

17環政第715-9号

平成17年12月8日

三重県知事殿

愛知県知事



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書について（通知）

このことについて、平成13年10月16日付け環政第241号の三重県知事協議における記書き2(6)の規定に基づく環境の保全の見地からの意見は、別添1のとおりです。

また、関係相当町長である弥富町長からの意見は、別添2のとおりです。ついで、当該協議における記書き2(8)の規定に基づき対応してください。

担当 環境部環境政策課
環境影響評価グループ
電話 052-954-6211(ダイヤルイン)
ファックス 052-954-6914



別添 1

木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書に対する意見

木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書に係る環境の保全の見地からの意見は以下のとおりである。

については、当該意見を十分に検討し、その結果を環境影響評価書（以下「評価書」という。）に記載すること。

1 共通事項

- (1) 事業の実施に当たっては、環境保全対策に関する最善の技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減に努めること。
- (2) 環境への影響に関して新たな事実が判明した場合などにおいては、必要に応じ適切な措置を講じること。

2 大気質

工事の実施及び建設発生土ストックヤードの供用に当たっては、大気環境への影響を低減するため、低公害型の建設機械や作業機械の積極的な使用、散水等の環境保全措置を徹底すること。

3 動物

- (1) 干拓地には重要な鳥類であるチュウヒの営巣が確認されていることから、事業の実施に当たっては、チュウヒのモニタリング調査を的確に行い、必要に応じ、専門家の助言や指導を得て適切な措置を講じること。
- (2) チュウヒの保全区の整備については、干拓地の乾燥化傾向や植生の変化を踏まえ、専門家の助言や指導を得て適切に実施すること。
- (3) 施設の供用に当たっては、ごみの放置によりカラスや野犬が干拓地に侵入し、チュウヒの繁殖に影響を及ぼす可能性があることから、管理を徹底すること。
- (4) カヤネズミの調査については、どのような手法を用いたか詳細に記載されていないことから、評価書にわかりやすく記載すること。

4 その他

- (1) 住民などからの環境に関する要望などに対して、適切な対応を図ること。
- (2) 評価書の作成に当たっては、住民などの意見を十分に検討するとともに、住民などにわかりやすい内容となるよう努めること。

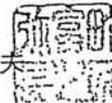
別添 2

写

17 弥環第125号
平成17年9月14日

愛知県知事殿

弥富町長 川瀬輝夫



木曾岬干拓地整備事業環境影響評価準備書について (回答)

平成17年8月25日付け17環政第715-1号で照会のありました
このことについては、下記のとおりです。

記

意見なし

